

# 高齢者の介護予防・日常生活アンケート調査

## 要介護高齢者・家族等介護者実態調査

(武蔵野市高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画及び認知症施策推進計画  
策定に係る調査)

### 報告書

令和8年3月

武蔵野市



## ■ □ 目 次 □ ■

はじめに .....	1
1. 調査の実施概要 .....	2
2. 報告書の記載に関する注意点 .....	2
第1章 高齢者の介護予防・日常生活アンケート .....	3
第1節 調査結果（基本集計） .....	4
1. 回答者（1,070人）の属性 .....	4
2. 家族や生活状況 .....	8
3. 認知症について .....	11
4. からだを動かすことについて .....	14
5. 食べることについて .....	19
6. 毎日の生活について .....	23
7. 地域での活動やたすけあいについて .....	27
8. 就労について .....	32
9. 健康について .....	33
10. 現在の暮らしについて .....	38
11. 今後の暮らしについて .....	42
第2節 調査結果（家族構成別の集計） .....	64
1. 年齢別 家族構成 .....	64
2. 在宅介護・地域包括支援センターの圏域別 家族構成 .....	65
3. 家族構成別 BMI の状況 .....	66
4. 家族構成別 現在の暮らしの経済的状況 .....	67
5. 家族構成別 たすけあいの状況 .....	68
第3節 調査結果（認知症に関する集計） .....	69
1. 年齢別 認知症基本法の成立及び「新しい認知症観」の認知度、認知機能低下の予防に向けた活動 .....	69
2. 家族構成別 認知機能低下の予防への関心、認知機能低下の予防に向けた活動状況 .....	70
3. 認知症の有無（本人又は家族）別 認知症に関する相談窓口の認知 .....	71
4. 社会参加の有無別 認知機能低下の予防に向けた活動の状況 .....	71
第4節 調査結果（社会参加に関する集計） .....	72
1. 集計の前提 .....	72
2. 年齢別 社会参加の有無 .....	72
3. 家族構成別 社会参加の有無 .....	73
4. 健康維持や介護予防の取組との関係 .....	73
5. 主観的健康状態・幸福度との関係 .....	74
第5節 調査結果（フレイル等に関する集計） .....	75
1. 集計の前提 .....	75

2.	フレイル該当者及び各機能のリスクあり該当者	78
3.	年齢別 フレイル該当者及び各機能のリスクあり該当者	79
4.	家族構成別 各機能のリスクあり該当者	83
5.	外出頻度との関係	85
6.	健康維持や介護予防の取組との関係	87
7.	社会参加との関係	88
8.	BMI、栄養状態との関係	89
第6節	調査結果（世帯全体の合計収入額と健康維持・認知機能低下予防の活動に関する集計）	91
1.	集計の前提	91
2.	世帯全体の合計収入額と健康維持や介護予防の取組との関係	91
3.	世帯全体の合計収入額別と認知機能低下の予防に向けた活動との関係	92
第2章	要介護高齢者・家族等介護者実態調査（在宅介護実態調査）	93
第1節	調査・分析手法の概要	95
第2節	調査結果	97
1.	本人の属性	97
2.	支援・サービスの利用状況・利用意向	102
3.	在宅生活の状況	118
4.	傷病状況など	120
5.	施設等への入所・入居の検討状況	122
6.	主な介護者の状況	131
7.	在宅生活の継続に向けて介護者が不安に感じる介護	154
8.	サービス水準と保険料の関係に係る希望	158
9.	介護保険制度及び本市の高齢者施策等について	159
資料	：使用した調査票	161
	高齢者の介護予防・日常生活アンケート 調査票	162
	要介護高齢者・家族等介護者実態調査（在宅介護実態調査） 調査票	199

はじめに

## 1. 調査の実施概要

武蔵野市では、「武蔵野市高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画及び認知症施策推進計画」を策定（令和8年度）するにあたりその基礎資料を得るため、高齢者の介護予防・日常生活アンケート、要介護高齢者・家族等介護者実態調査を実施した。調査の実施概要は以下のとおりである。

### （1）高齢者の介護予防・日常生活アンケート

市内在住の要介護1から要介護5の要介護認定を受けていない65歳以上市民1,500名（要支援1、要支援2、総合事業対象者を含む。令和7年10月1日時点の住民基本台帳より無作為抽出。）を対象に、高齢者の生活実態、地域活動への参加意向、介護保険事業の利用意向、その他高齢者施策全般に係る意見・要望等を把握するための調査を実施した。（厚生労働省の指針に基づく実態調査）

調査期間は令和7年12月1日から令和7年12月26日まで、有効回答数は1,070件（有効回収率71.3%）であった。うち、郵送による回答数は935件、WEBによる回答数は135件であった。

### （2）要介護高齢者・家族等介護者実態調査

要介護1から要介護5の在宅の方で「要介護認定の更新申請・変更申請」をし、本調査の調査期間内に要介護認定調査を受けた方を対象に、「要介護者の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方等を検討するための調査を実施した。（厚生労働省の指針に基づく実態調査）

調査期間は令和7年10月1日から令和8年1月31日まで、有効回答数は377件であった。（ただし、認定調査の結果、「非該当」「要支援1」および「要支援2」の認定結果であった調査対象者については、集計から除外している。）

## 2. 報告書の記載に関する注意点

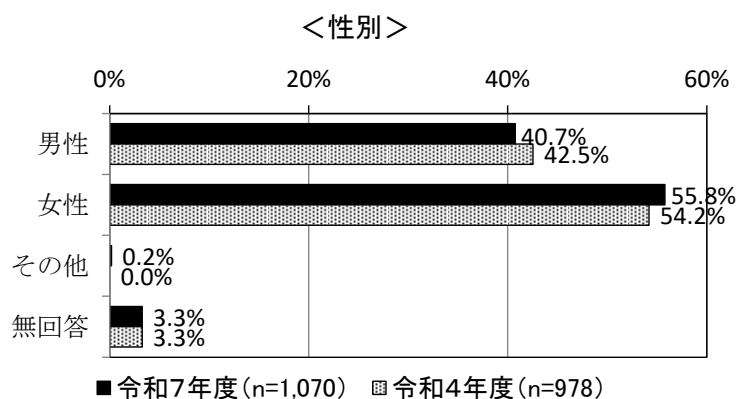
- （1）図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表している。
- （2）調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示している。そのため、その合計値が100.0%にならない場合がある。
- （3）複数回答の設問の場合、回答比率の合計は100.0%を超える場合がある。
- （4）図表中「無回答」とあるものは、回答が示されていないものである。

# **第 1 章 高齢者の介護予防・日常生活アンケート**

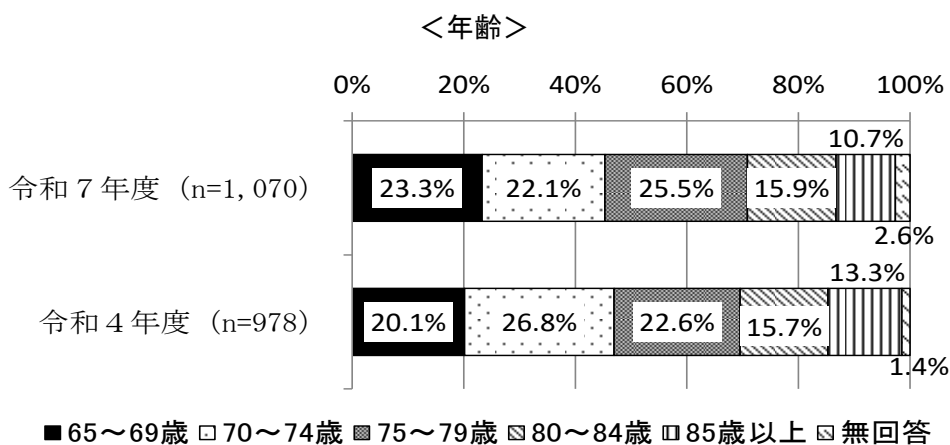
## 第1節 調査結果（基本集計）

### 1. 回答者（1,070人）の属性

問2<sup>1</sup> あなたの性別と年齢、身長・体重等について教えてください。（令和7年12月1日時点。それぞれ○は1つ）

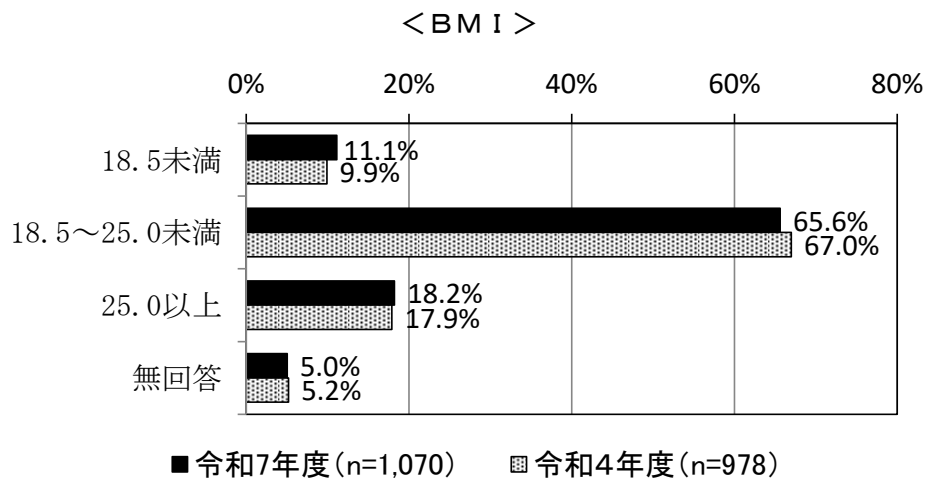


性別は「男性」が40.7%、「女性」が55.8%となっている。

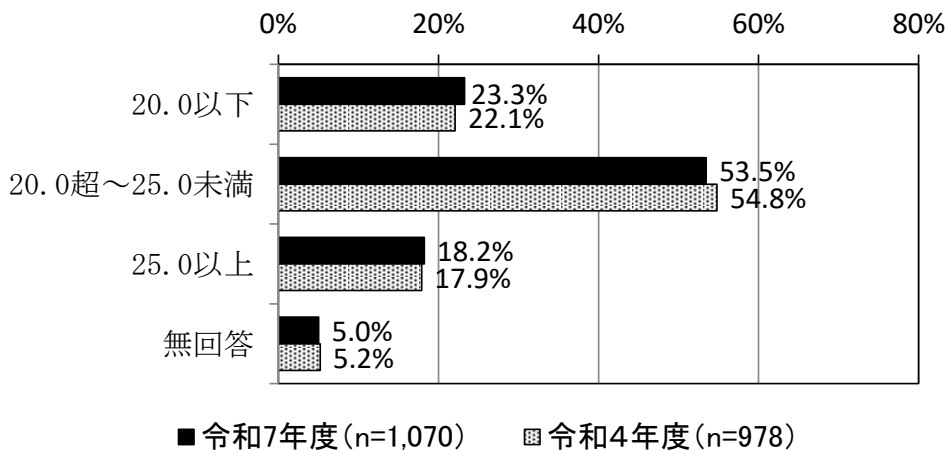


年齢は「75～79歳」の割合が最も高く25.5%、次いで「65～69歳」が23.3%となっている。令和4年度調査の結果と比べると「70～74歳」「85歳以上」の割合が低く、「65～69歳」「75～79歳」の割合が高くなっている。

<sup>1</sup> 問1には、回答の重複を避けるため、紙あるいはWEBで既に回答済みかどうかを尋ねる設問を設けた。

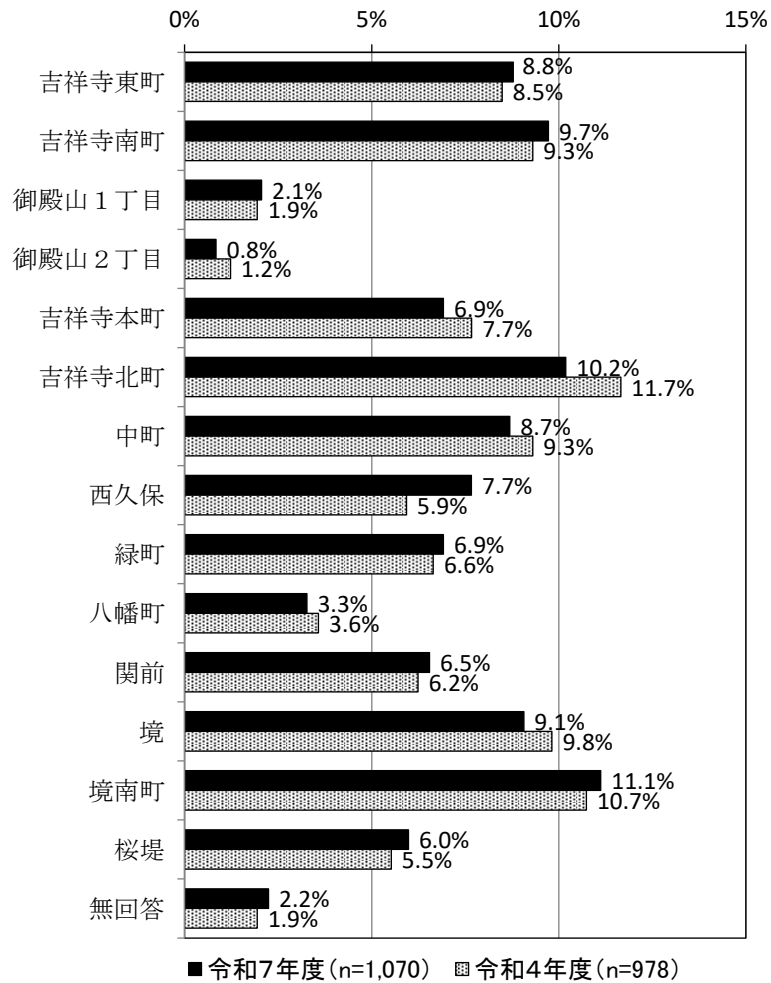


身長・体重からBMIを算出したところ、「18.5未満（やせ）」が11.1%、「25.0以上（肥満）」が18.2%となっている。（BMI = 体重(kg) ÷ {身長(m) × 身長(m)}）

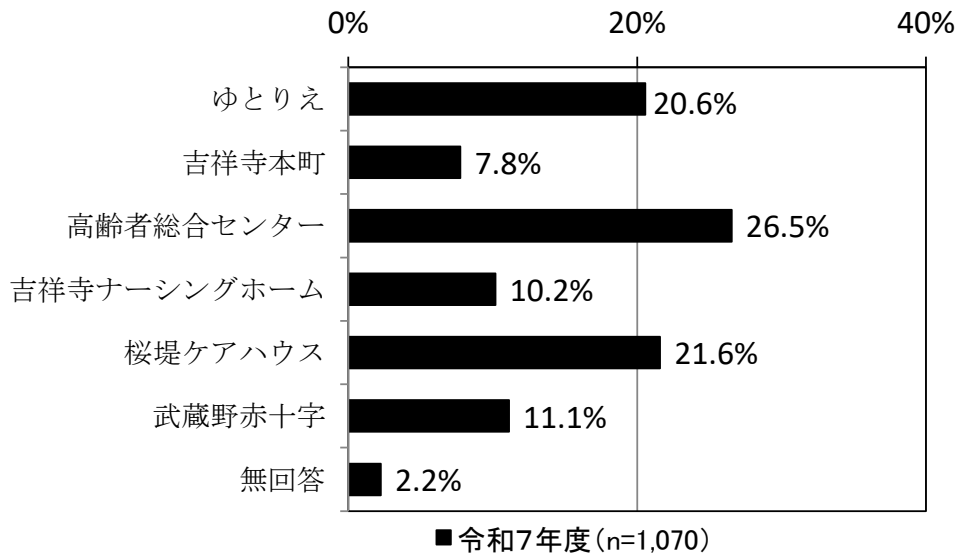


また、BMI「20.0以下」は23.3%となっている。低体重は18.5未満だが、高齢者においては、20.0以下で低栄養傾向と判断される。

<居住地域>

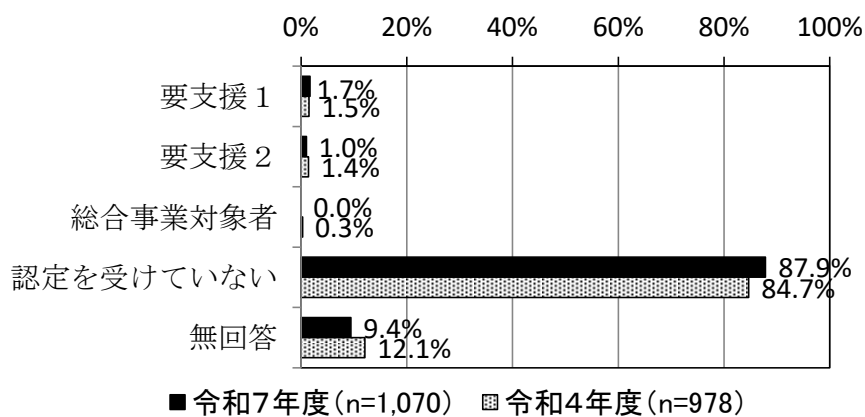


居住地域は、「境南町」が11.1%、「吉祥寺北町」が10.2%となっている。



在宅介護・地域包括支援センターの圏域別にみた居住地域は、「高齢者総合センター」が26.5%、「桜堤ケアハウス」が21.6%となっている。

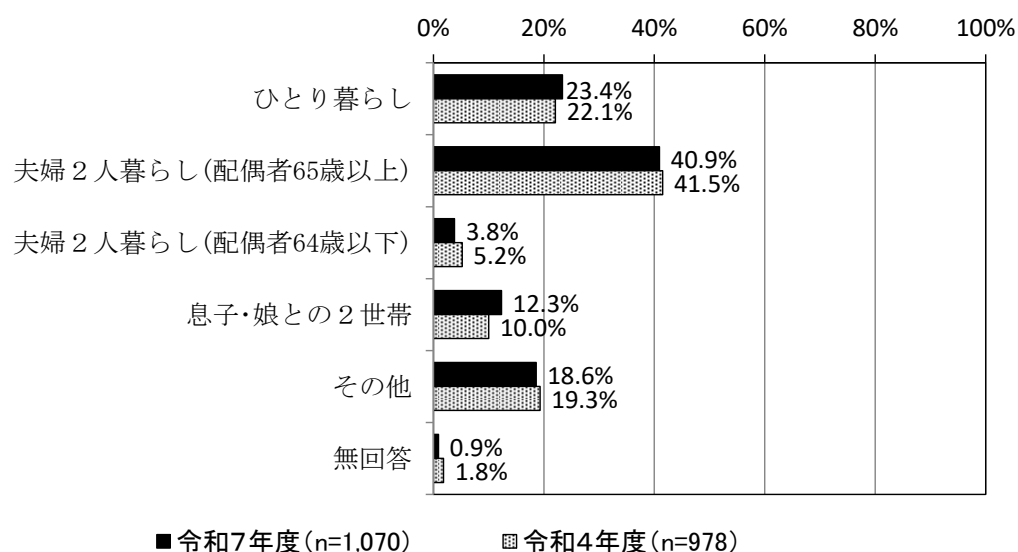
### <要支援（介護）認定の状況>



要支援（介護）認定の状況は、「要支援 1」が 1.7%、「要支援 2」が 1.0%と要支援認定を受けている人は少なく、「認定を受けていない」人が 87.9%となっている。

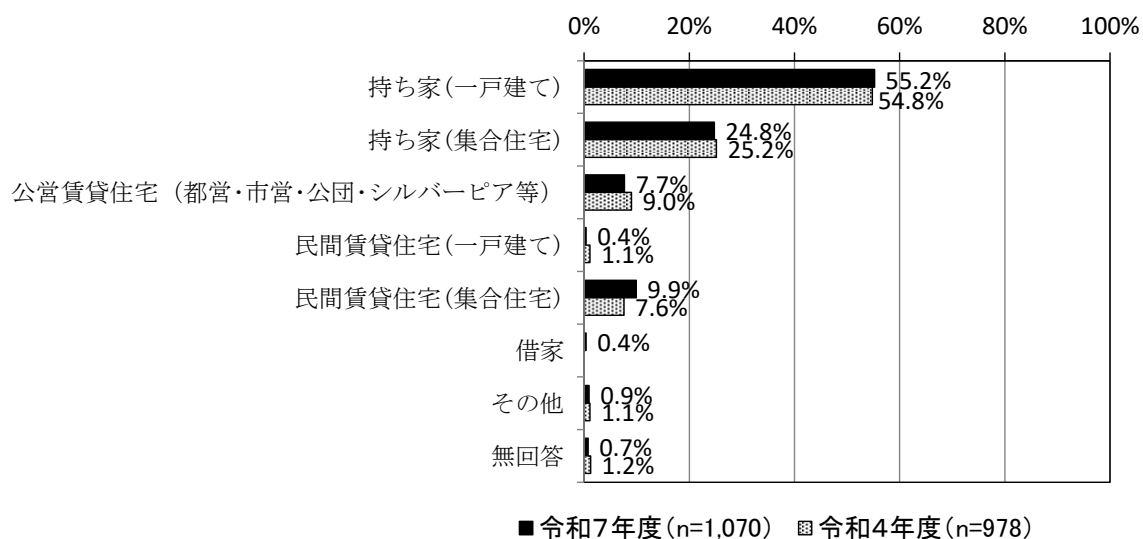
## 2. 家族や生活状況

問3 家族構成をお教えてください。(〇は1つ)



家族構成は「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が40.9%、「ひとり暮らし」が23.4%となっている。

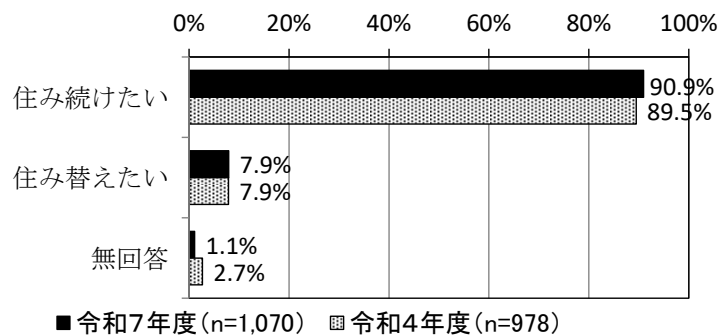
問4 現在のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。(〇は1つ)



(注) 令和7年度調査では「借家」の選択肢を設けた。また、「都営・市営・公団・シルバーピア等の集合住宅」の選択肢の表現を「公営賃貸住宅(都営・市営・公団・シルバーピア等)」に修正した。

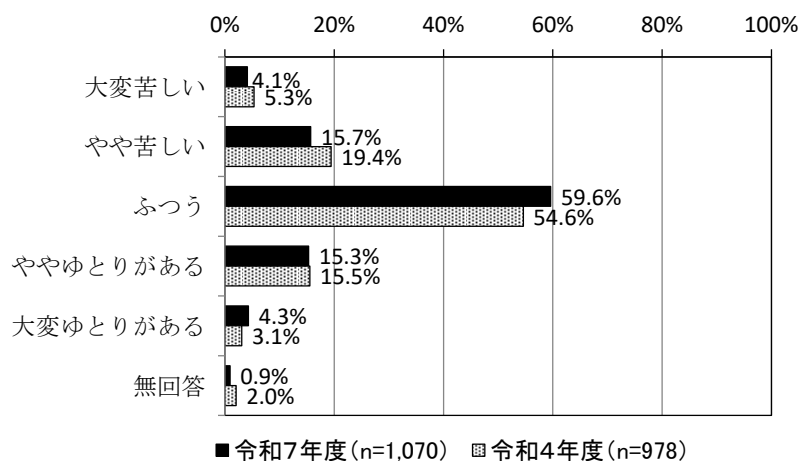
現在の住まいは「持ち家(一戸建て)」が55.2%となっている。

問5 現在のお住まいに住み続けたいですか。(〇は1つ)



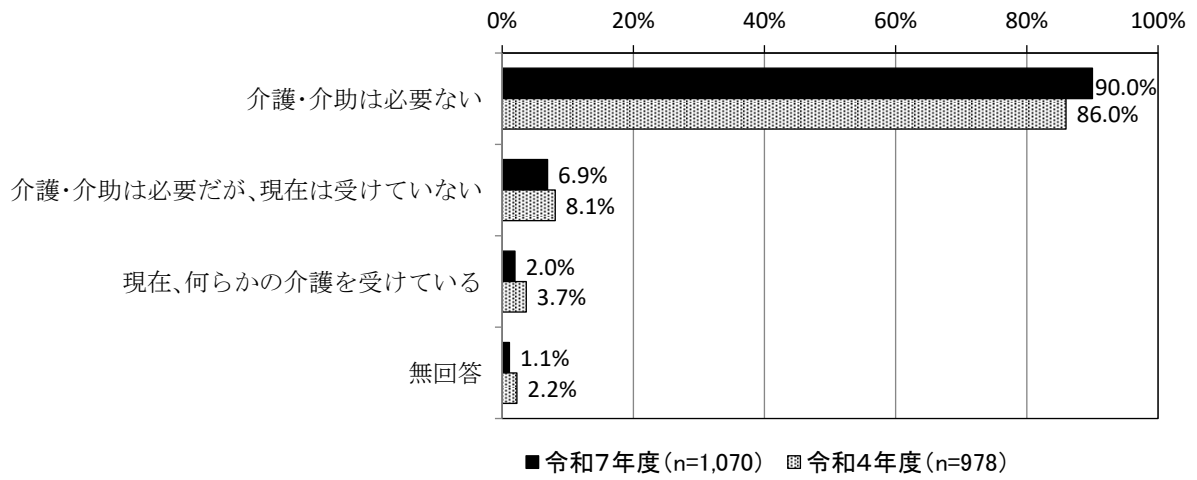
現在の住まいに対する居住意向は「住み続けたい」が90.9%となっている。

問6 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇は1つ)



現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じているかについては、「ふつう」が、59.6%となっている。

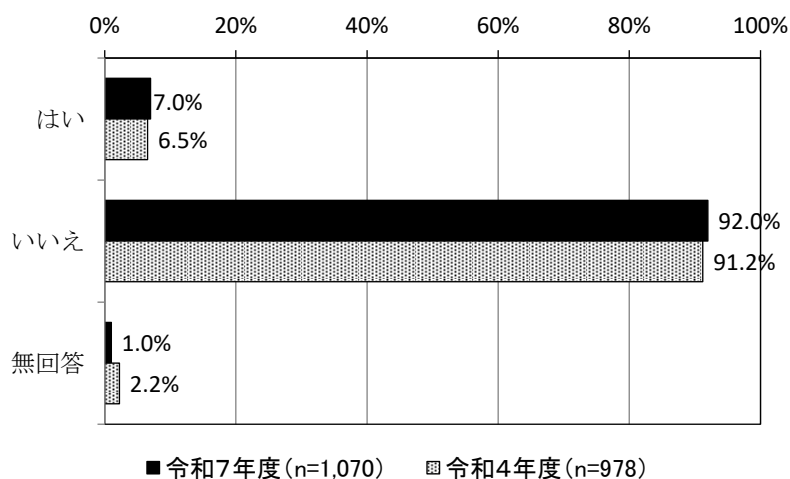
問7 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)



普段の生活においては「介護・介助は必要ない」が90.0%となっている。

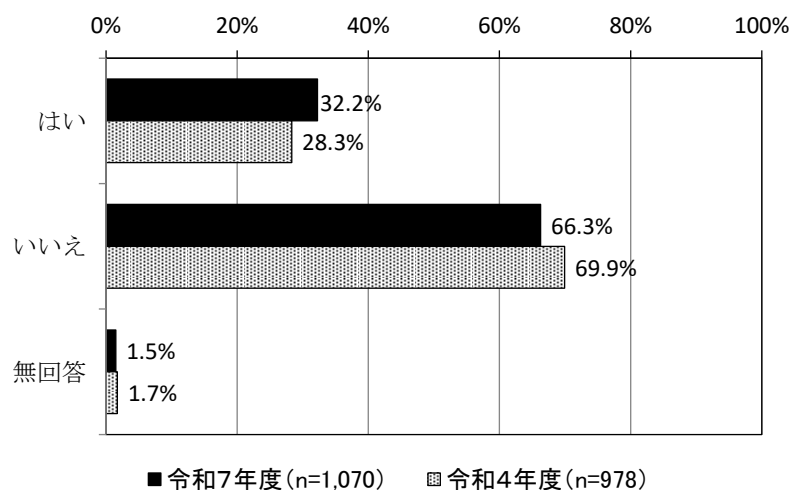
### 3. 認知症について

問8 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がありますか。(○は1つ)



認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人は、全体の7.0%となっている。

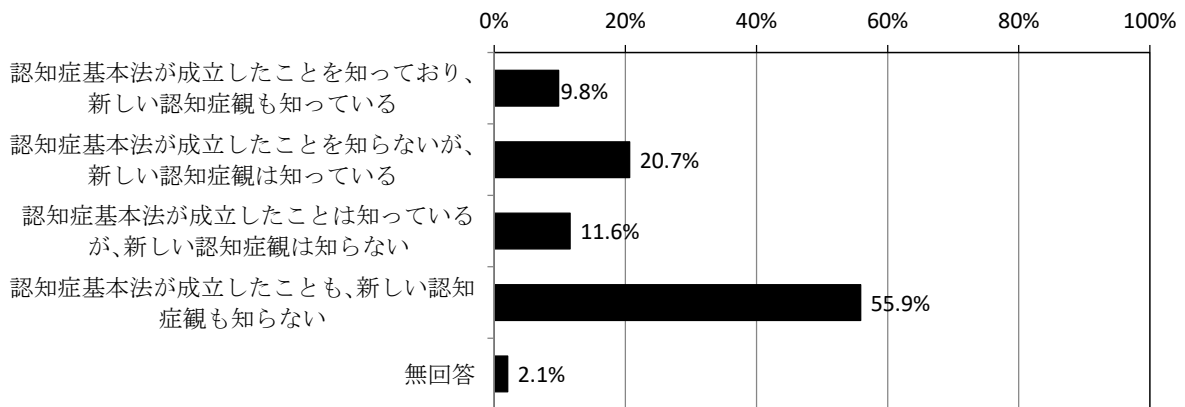
問9 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)



認知症に関する相談窓口を知っている人は32.2%、知らない人は66.3%となっている。

問 10 令和5年6月に共生社会の実現を推進するための認知症基本法（いわゆる認知症基本法）が成立し、国民一人一人が「新しい認知症観」を理解することの重要性が示されています。あなたは、「新しい認知症観」を知っていますか。（○は1つ）

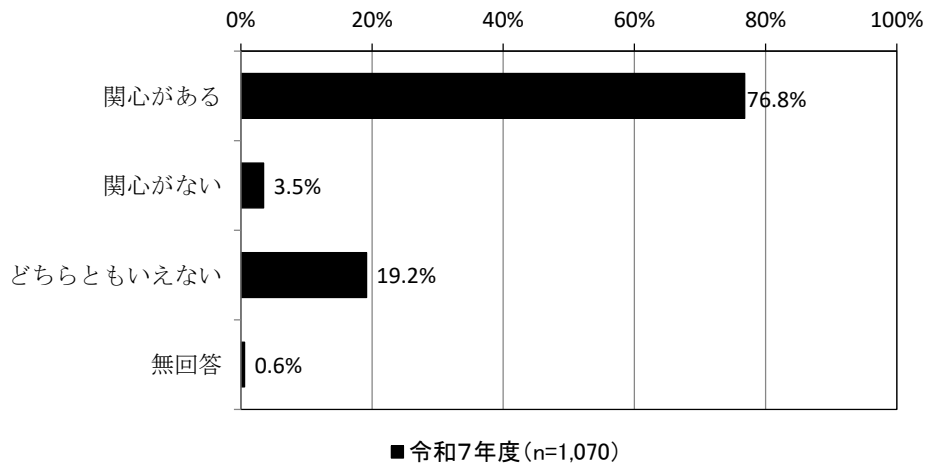
※「新しい認知症観」とは、認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人が個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方を指します。



■ 令和7年度(n=1,070)

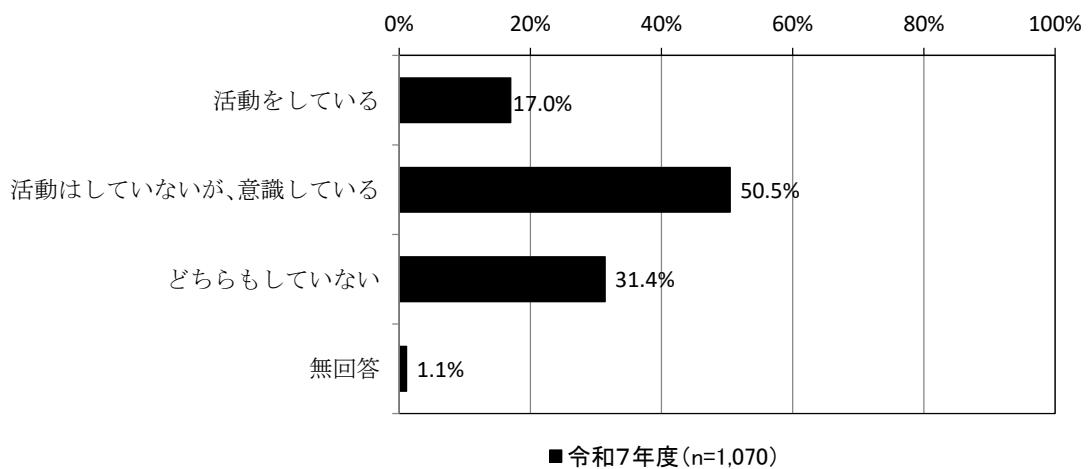
「新しい認知症観」を知っているかについては、「認知症基本法が成立したことも、新しい認知症観も知らない」の割合が最も高く、55.9%となっている。次いで、「認知症基本法が成立したことを知らないが、新しい認知症観は知っている」が20.7%となっている。

問 11 認知機能低下の予防に関心がありますか。(○は1つ)



認知機能低下の予防に関心があるかについては、「関心がある」が76.8%、「関心がない」が3.5%となっている。

問 12 実際に認知機能低下の予防に向けた活動をしていますか。(○は1つ)

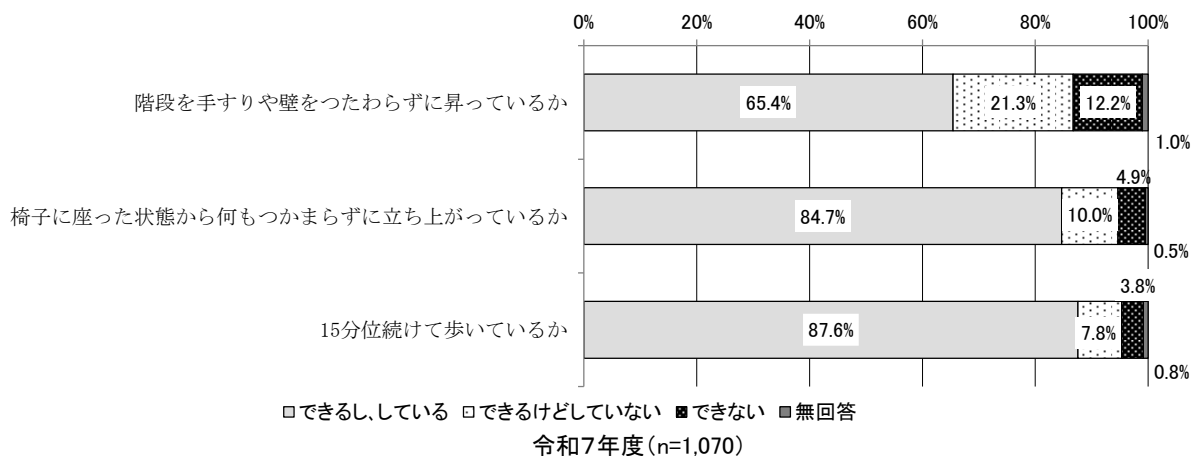


実際に認知機能低下の予防に向けた活動をしているかについては、「活動はしていないが、意識している」の割合が最も高く、50.5%となっている。次いで、「どちらもしていない」が31.4%となっている。

## 4. からだを動かすことについて

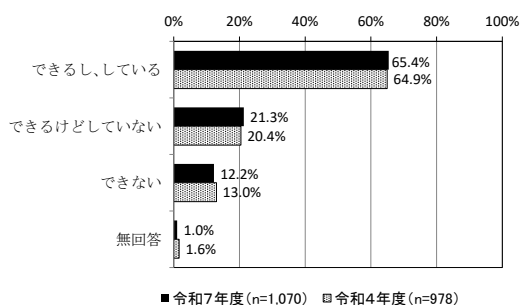
### (1) 階段の昇降や立ち上がり、歩行について

- 問 13 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)  
 問 14 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)  
 問 15 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

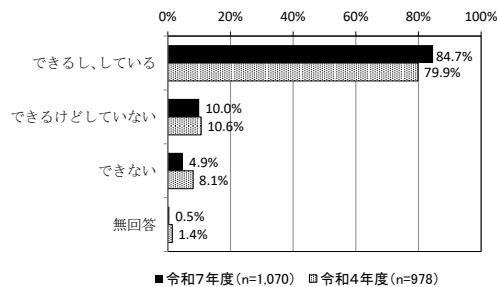


階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか、椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか、15分位続けて歩いているかのいずれの設問においても、「できるし、している」の割合が高く、それぞれ65.4%、84.7%、87.6%となっている。

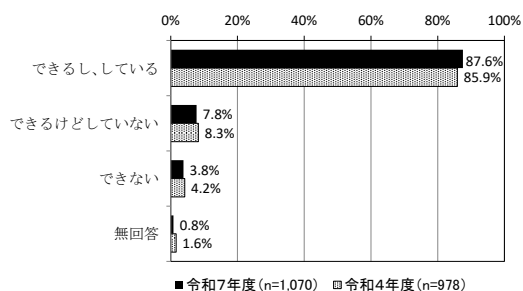
#### (問 13 階段を昇ること)



#### (問 14 椅子からの立ち上がり)

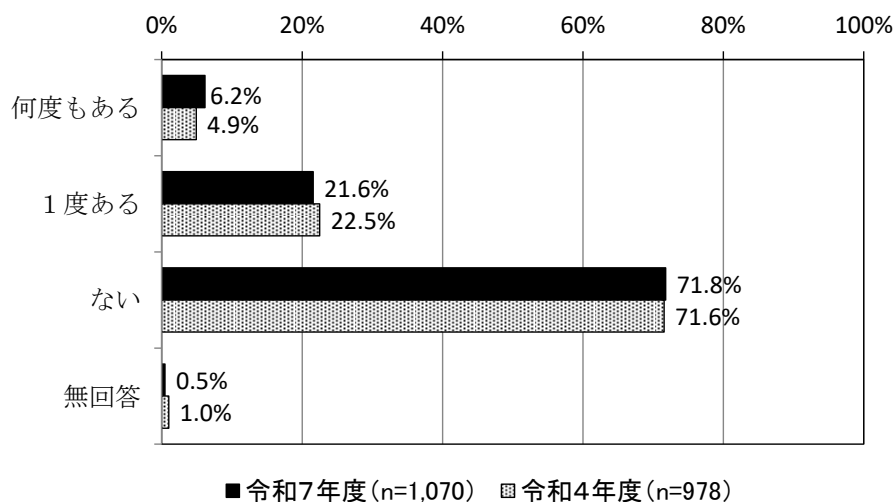


#### (問 15 15分続けての歩行)



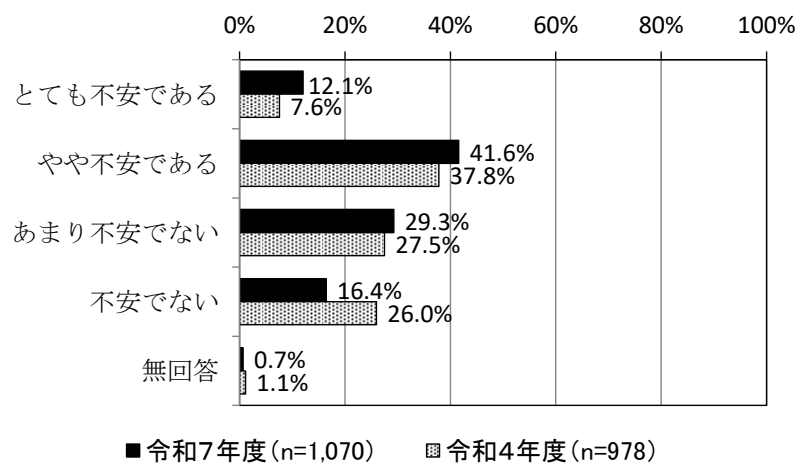
## (2) 転倒について

問 16 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)



過去1年間に転んだ経験は「ない」が71.8%となっている。

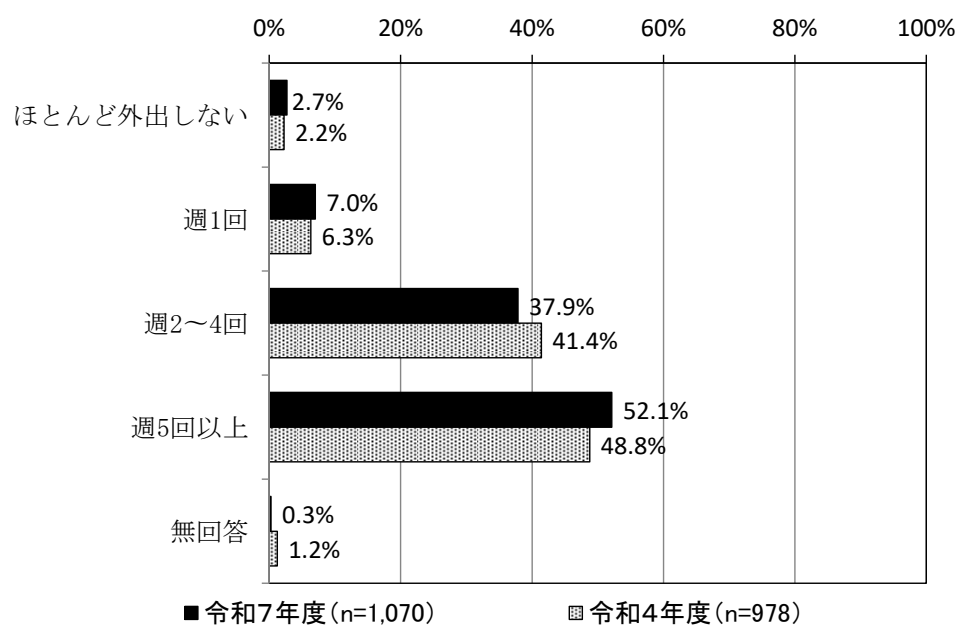
問 17 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)



転倒に対する不安については、「とても不安である」(12.1%)と「やや不安である」(41.6%)の合計が53.7%となっている。他方、「あまり不安でない」(29.3%)と「不安でない」(16.4%)の合計は45.7%となっている。

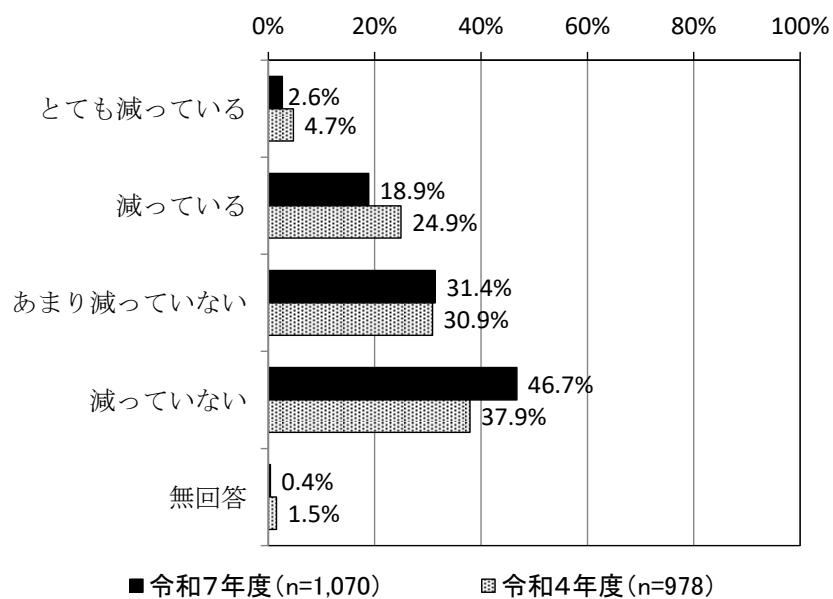
### (3) 外出の状況

問 18 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)



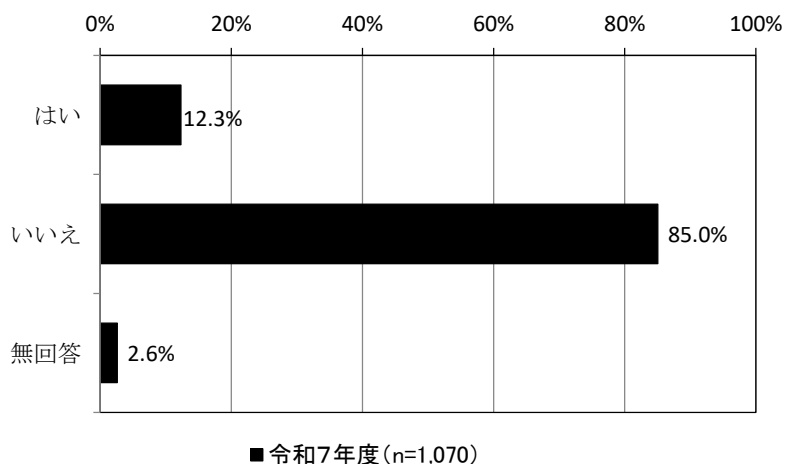
外出の状況については、「週5回以上」が52.1%、次いで「週2~4回」が37.9%となっている。「ほとんど外出しない」は2.7%となっている。

問 19 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)



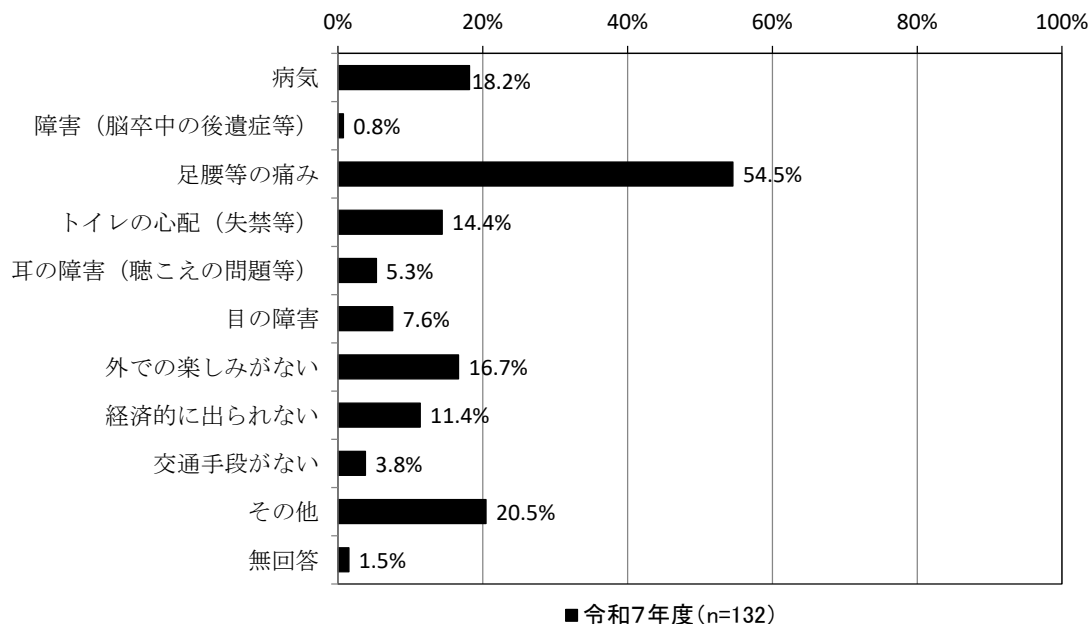
外出回数を昨年と比べると、「減っていない」が46.7%、「あまり減っていない」が31.4%となっている。

問 20 外出を控えていますか。(○は1つ)



外出を控えている人は 12.3%、外出を控えていない人が 85.0%となっている。

問 20-1 問 20 で「1. はい」(外出を控えている) と回答した方にお伺いします。  
外出を控えているのは何故ですか。(あてはまるものすべてに○)



外出を「控えている」と回答した 132 人に外出を控えている理由を尋ねたところ、「足腰等の痛み」の割合が最も高く、54.5%となっている。次いで、「その他」が 20.5%、「病気」が 18.2%となっている。

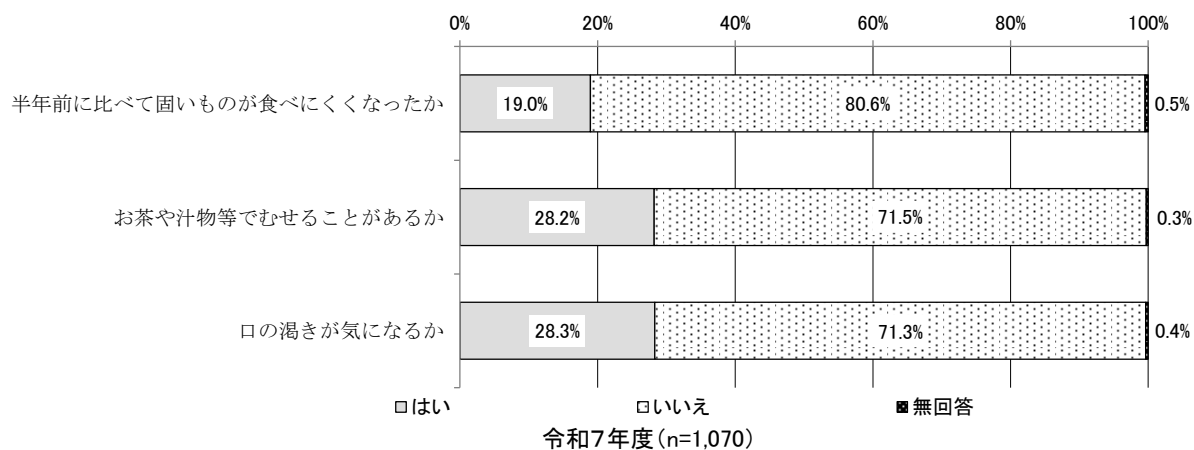
「その他」には、「感染症を防ぐため」「外出が億劫になった」「疲れやすい」などの回答がみられた。

## 5. 食べることについて

問 21 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

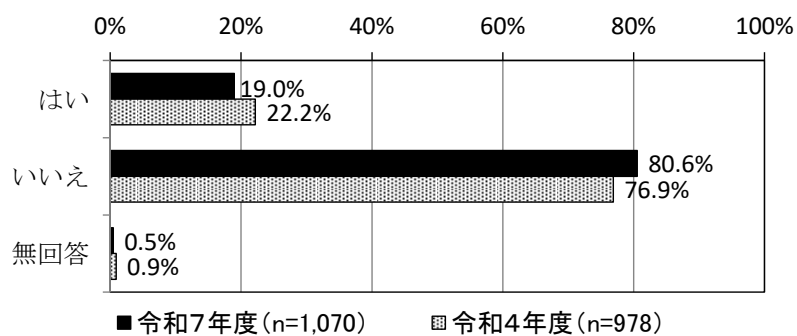
問 22 お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)

問 23 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)

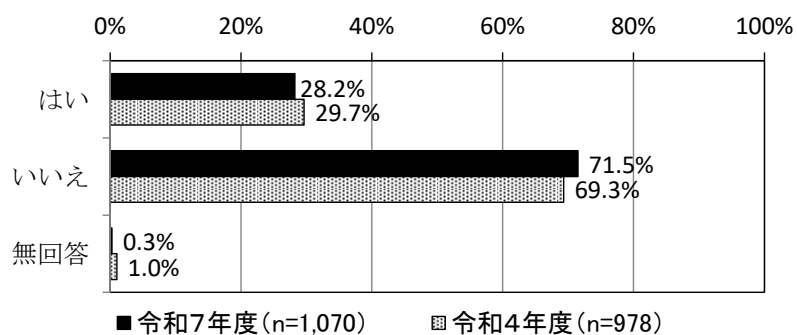


半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、「はい」が19.0%となっている。お茶や汁物等でむせることがあるかについては、「はい」が28.2%となっている。また、口の渇きが気になるかについては、「はい」が28.3%となっている。

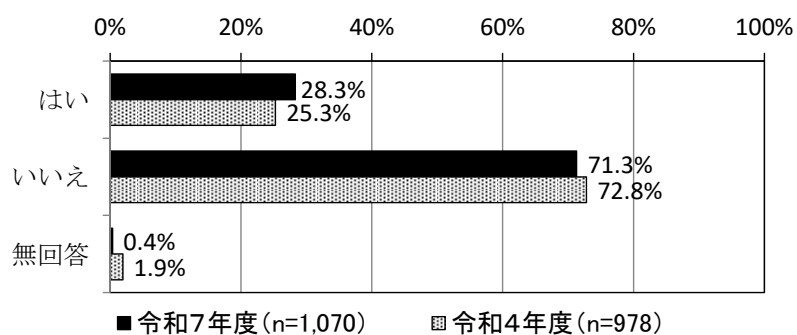
(問 21 固いものが食べにくくなること)



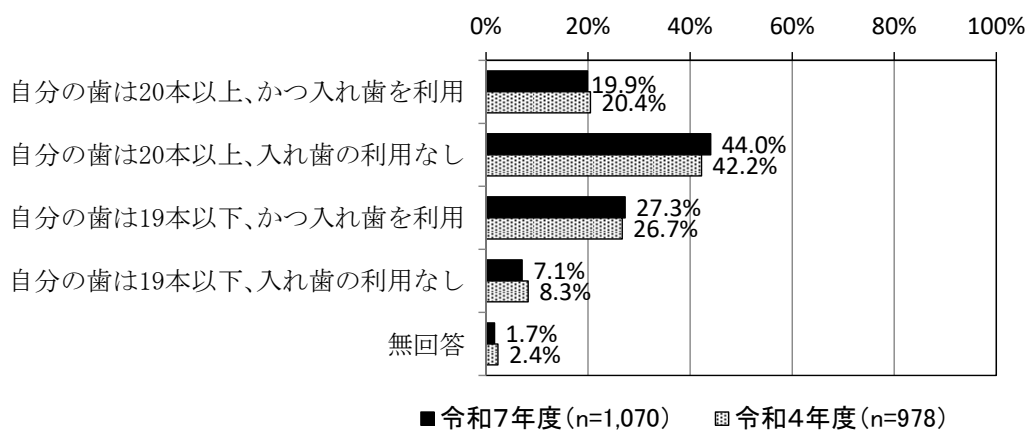
(問 22 お茶や汁物等でむせること)



(問 23 口の渇きが気になること)

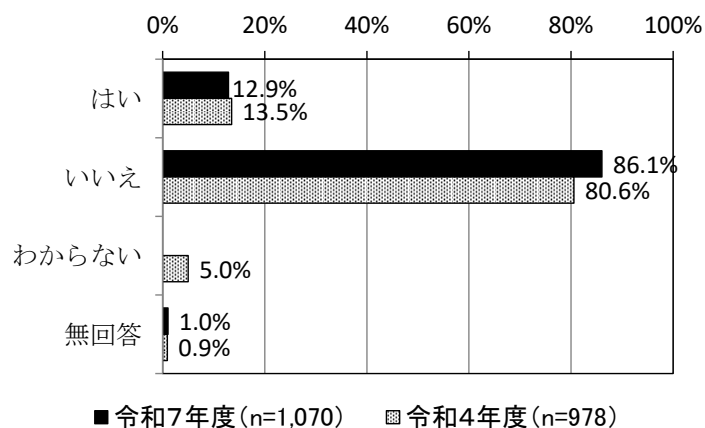


問 24 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です) (○は1つ)



歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯の利用なし」が44.0%、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が27.3%となっている。

問 25 6 か月間で2～3 k g以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

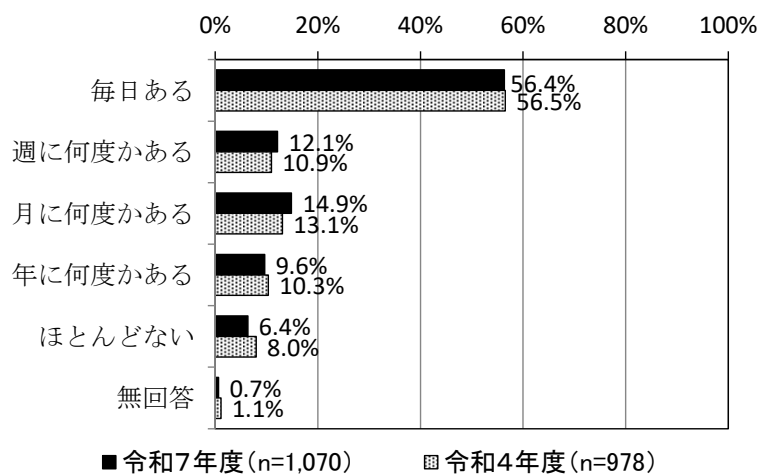


(注1) 令和4年度調査の設問文は「6か月間で2～3 k gの体重減少がありましたか。」だった。

(注2) 令和7年度調査では「わからない」の選択肢を設けなかった。

6か月間で2～3 k g以上の体重減少があったかを尋ねたところ、「はい」が12.9%、「いいえ」が86.1%となっている。

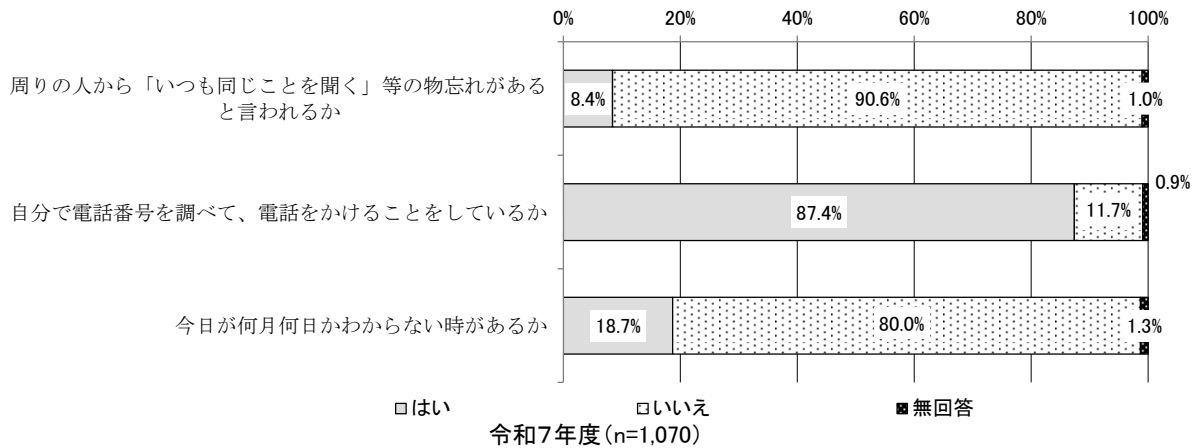
問 26 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(○は1つ)



誰かと食事をとにもする機会については、「毎日ある」が56.4%となっている。

## 6. 毎日の生活について

- 問 27① 周りの人から「いつも同じことを聞く」等の物忘れがあるとされますか (○は1つ)
- 問 27② 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (○は1つ)
- 問 27③ 今日が何月何日かわからない時がありますか (○は1つ)



周りの人から「いつも同じことを聞く」等の物忘れがあるとされますかについては、「はい」が8.4%、「いいえ」が90.6%となっている。

自分で電話番号を調べて電話をかけるかについては、「はい」が87.4%、「いいえ」が11.7%となっている。

今日が何月何日かわからない時があるかについては、「はい」が18.7%、「いいえ」が80.0%となっている。

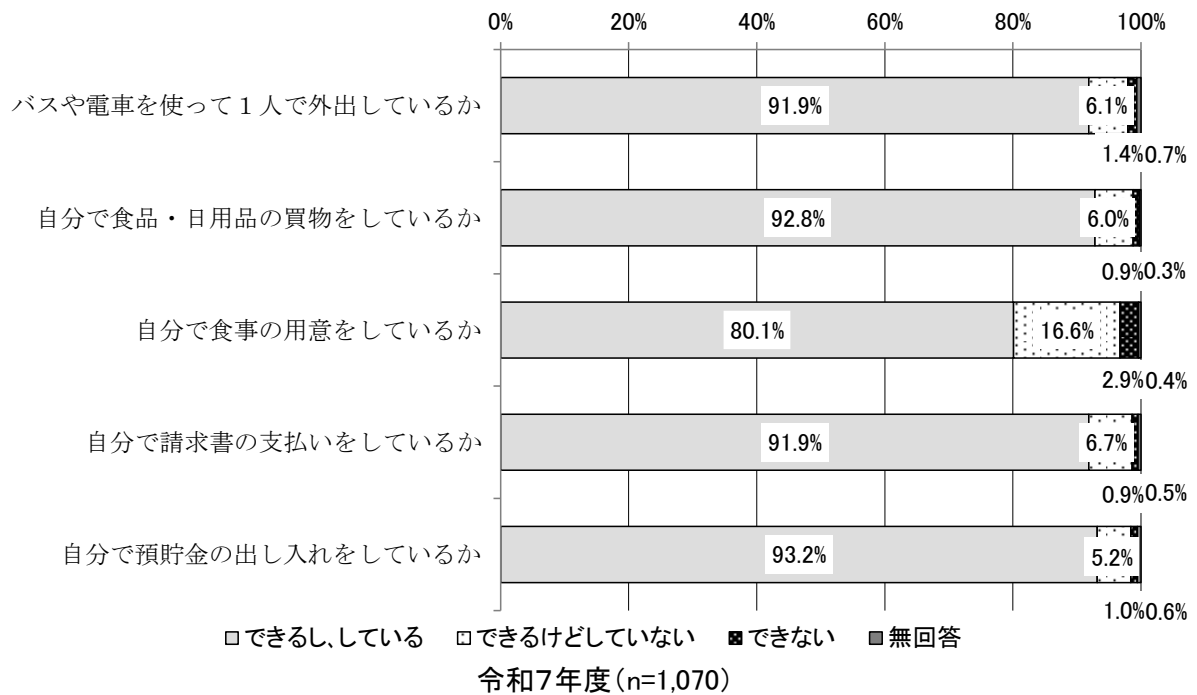
問 27④ バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（○は1つ）

問 27⑤ 自分で食品・日用品の買物をしていますか（○は1つ）

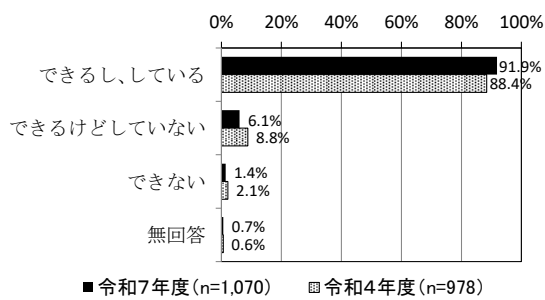
問 27⑥ 自分で食事の用意をしていますか（○は1つ）

問 27⑦ 自分で請求書の支払いをしていますか（○は1つ）

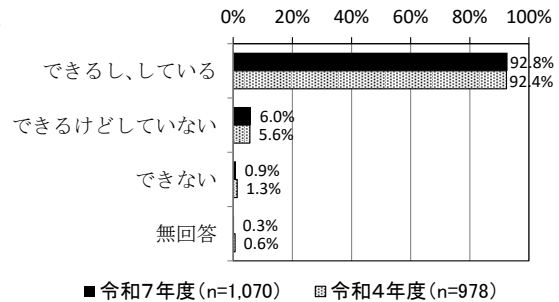
問 27⑧ 自分で預貯金の出し入れをしていますか（○は1つ）



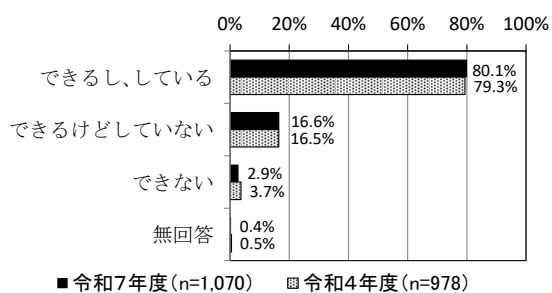
(バスや電車を使って1人で外出)



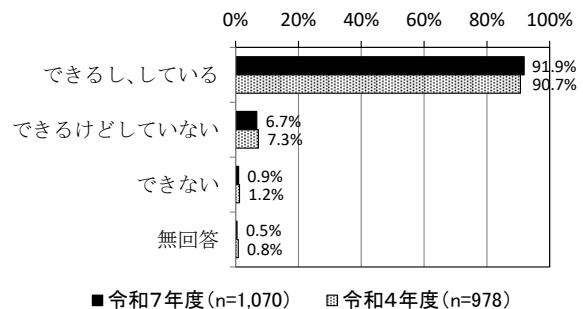
(食品・日用品の買物)



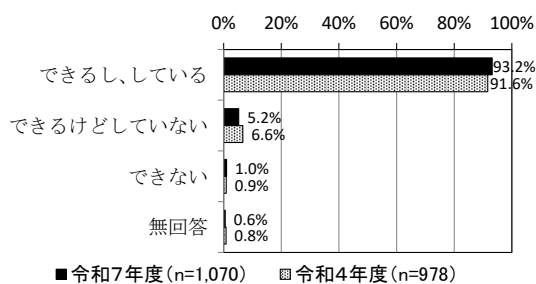
(食事の用意)



(請求書の支払い)



(預貯金の出し入れ)

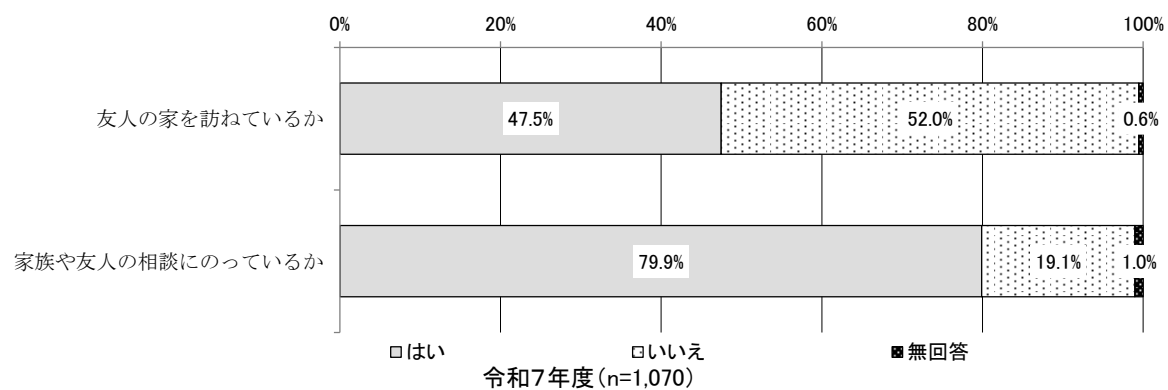


バスや電車を使って1人で外出、食品・日用品の買物、食事の用意、請求書の支払い、預貯金の出し入れのいずれも「できるし、している」の割合が最も高く、それぞれ 91.9%、92.8%、80.1%、91.9%、93.2%となっている。

また、食事の用意については、他の項目より「できるけどしていない」の割合が高く、16.6%となっている。

問 27⑨ 友人の家を訪ねていますか (○は1つ)

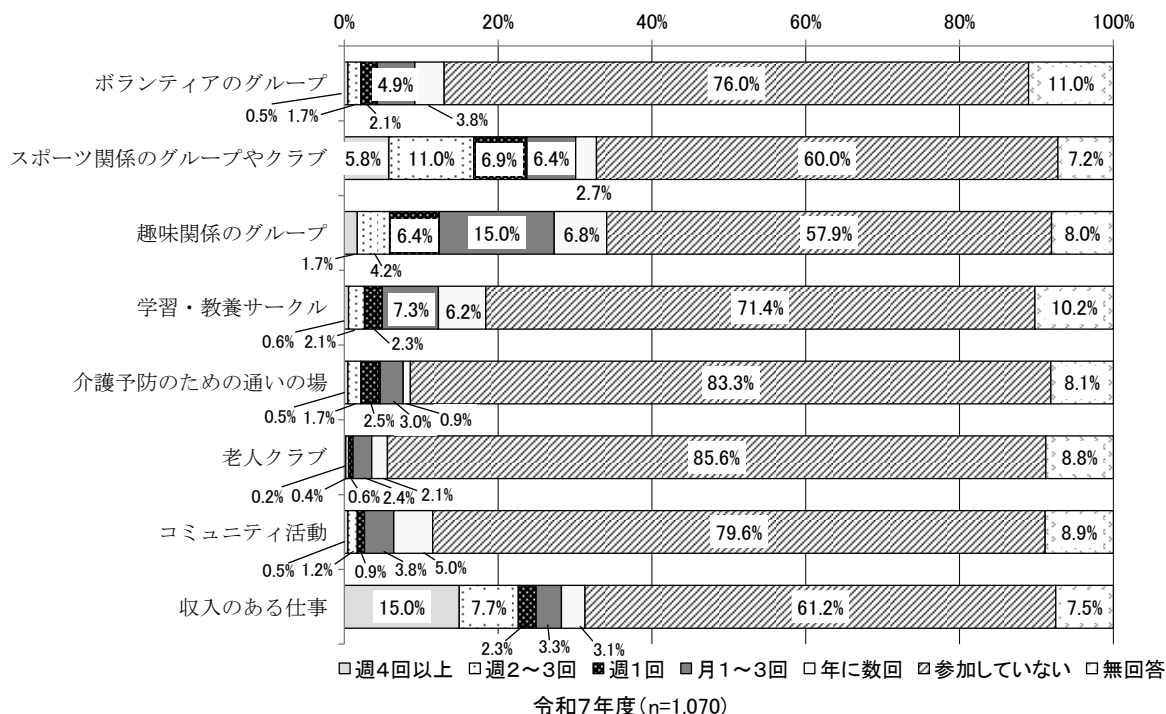
問 27⑩ 家族や友人の相談にのっていますか (○は1つ)



友人の家を尋ねるかについては、「はい」が47.5%、「いいえ」が52.0%となっている。  
家族や友人の相談にのっているかについては、「はい」が79.9%、「いいえ」が19.1%となっている。

## 7. 地域での活動やたすけあいについて

問 28 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(それぞれについて○は1つ)

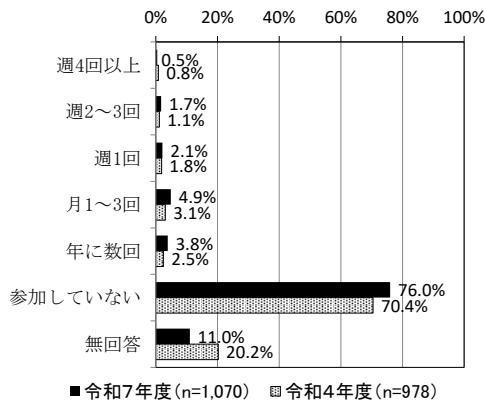


(注)「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の和を「参加している」とした。

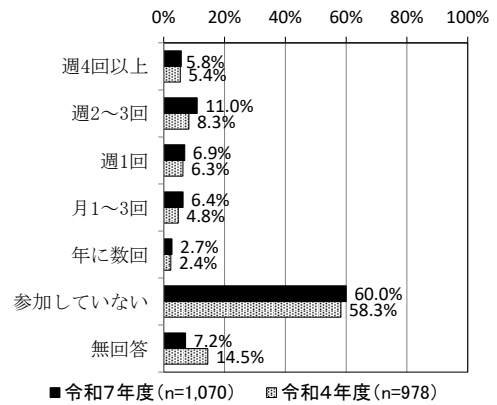
会・グループ等に、年に数回以上参加している割合は、「収入のある仕事」31.4%、「スポーツ関係のグループやクラブ」32.8%、「趣味関係のグループ」34.1%の順に割合が高くなっている。

他方、「コミュニティ活動」は11.4%、「介護予防のための通いの場」は8.6%、「老人クラブ」は5.7%にとどまっている。

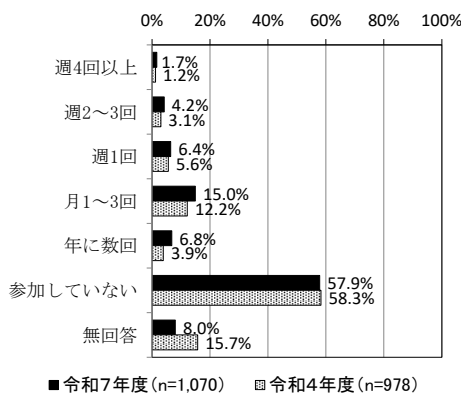
(ボランティア)



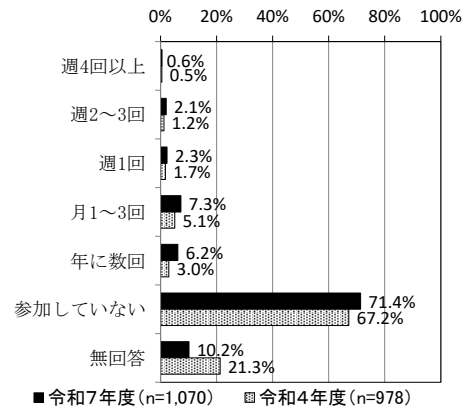
(スポーツ関係)



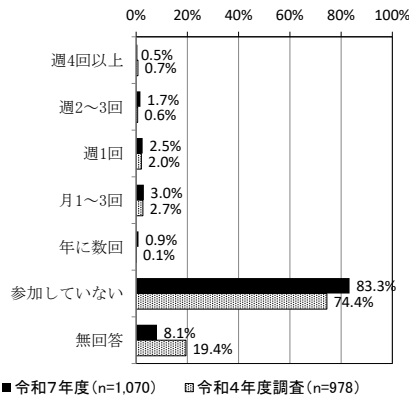
(趣味関係)



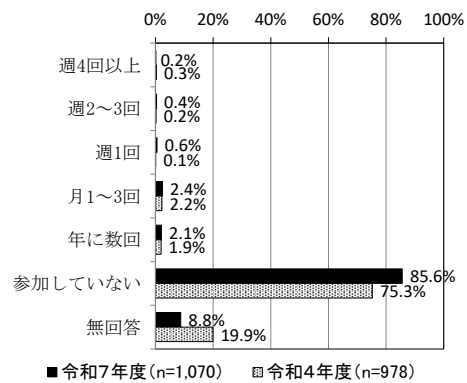
(学習・教養サークル)



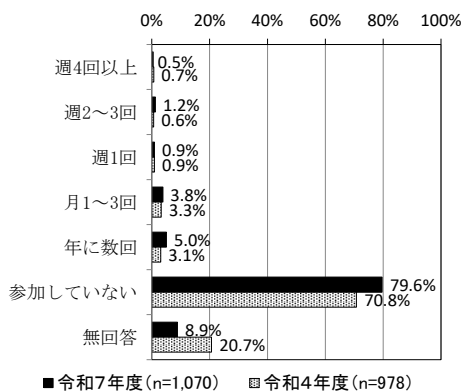
(介護予防のための通いの場)



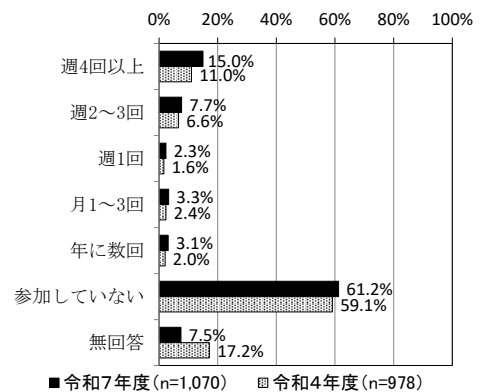
(老人クラブ)



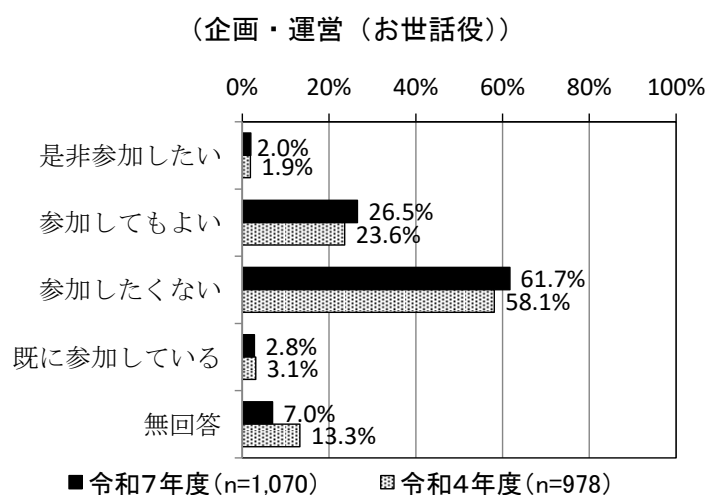
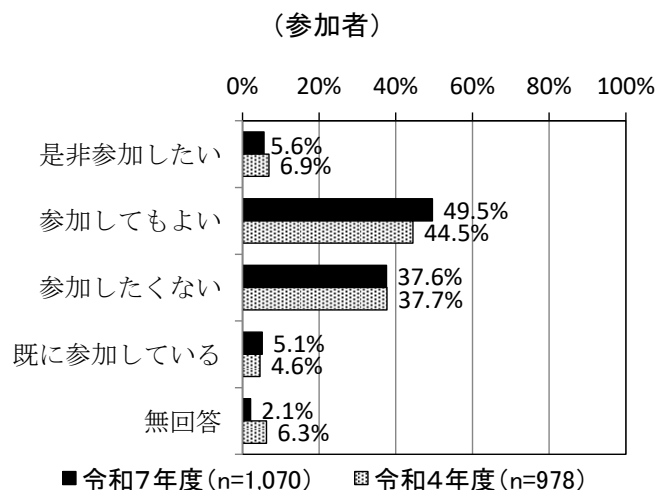
(コミュニティ活動)



(収入のある仕事)



問 29 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者、企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（それぞれについて○は1つ）



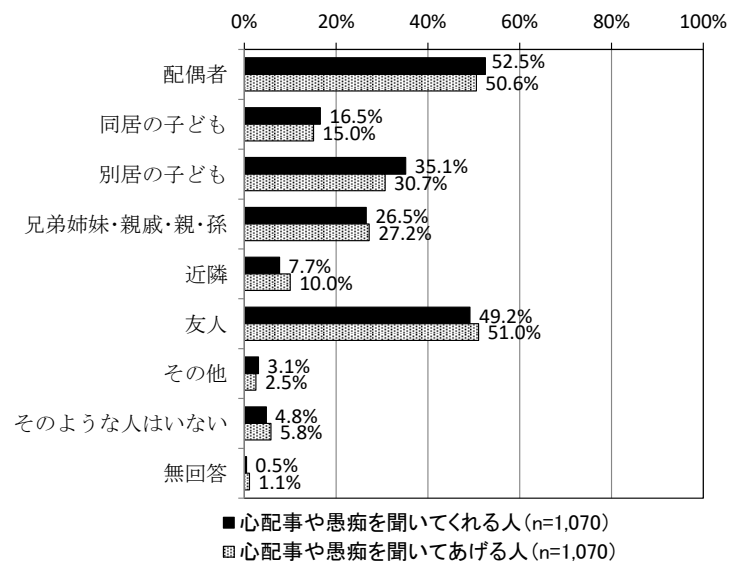
地域住民の有志による、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を通じた、いきいきとした地域づくりについて、「是非参加したい」と「参加してもよい」の合計をみると、参加者としては55.1%、企画・運営（お世話役）としては28.5%となっている。

問 30 あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします。

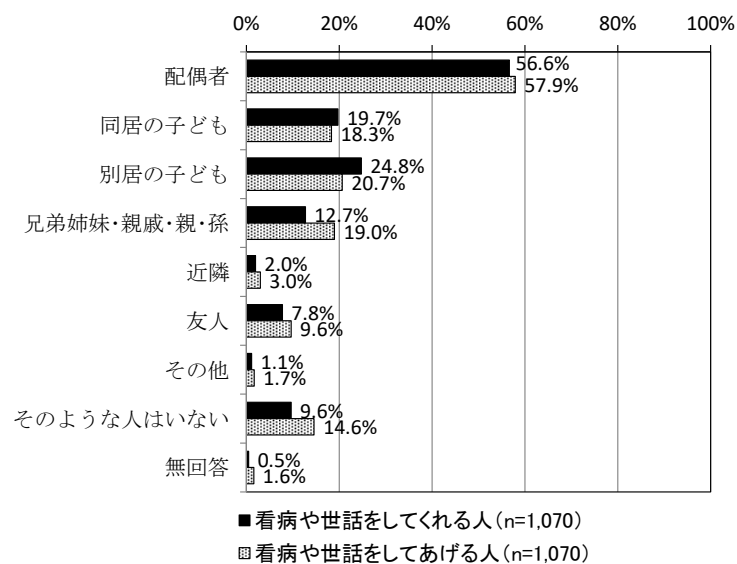
(①から④のそれぞれについてあてはまるものすべてに○)

- ①あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人
- ②反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人
- ③あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
- ④反対に、看病や世話をしてあげる人

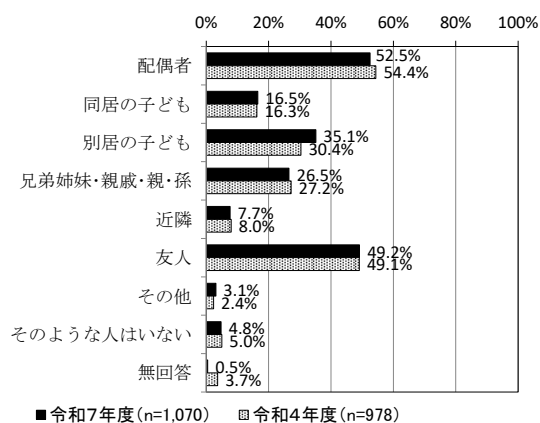
(心配事や愚痴を聞いてくれる人・聞いてあげる人)



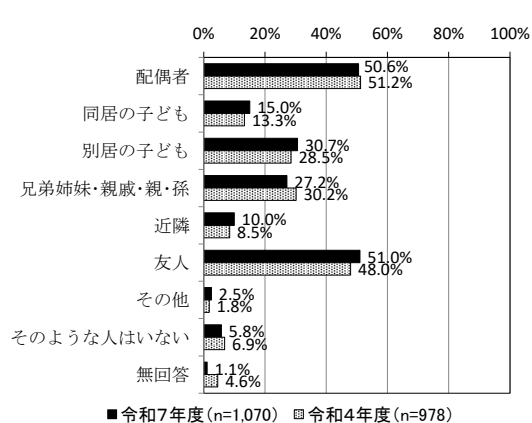
(病気で数日間寝込んだときの看病や世話をしてくれる人・してあげる人)



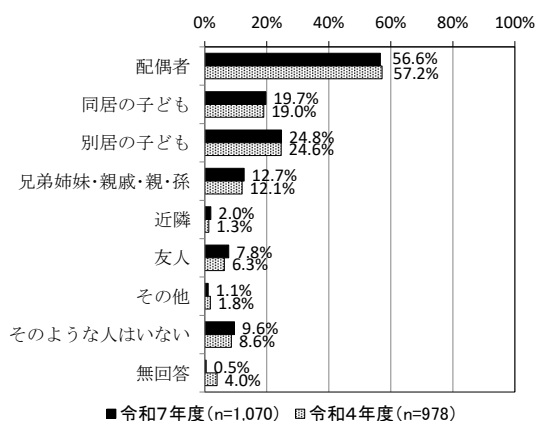
(心配事や愚痴を聞いてくれる人)



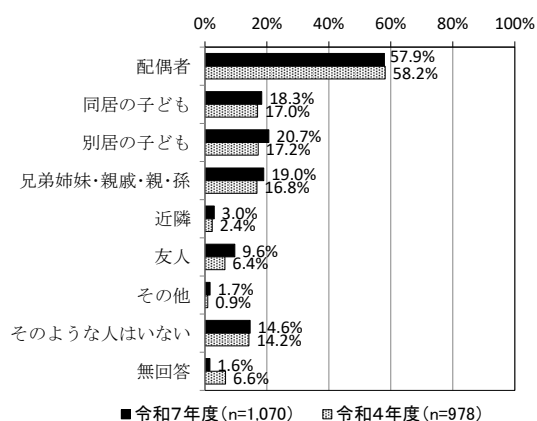
(心配事や愚痴を聞いてあげる人)



(看病や世話をしてくれる人)



(看病や世話をしてあげる人)



心配事や愚痴を聞いてくれる人、聞いてあげる人のいずれも「配偶者」「友人」の割合が高く、「配偶者」はそれぞれ52.5%、50.6%、「友人」はそれぞれ49.2%、51.0%となっている。

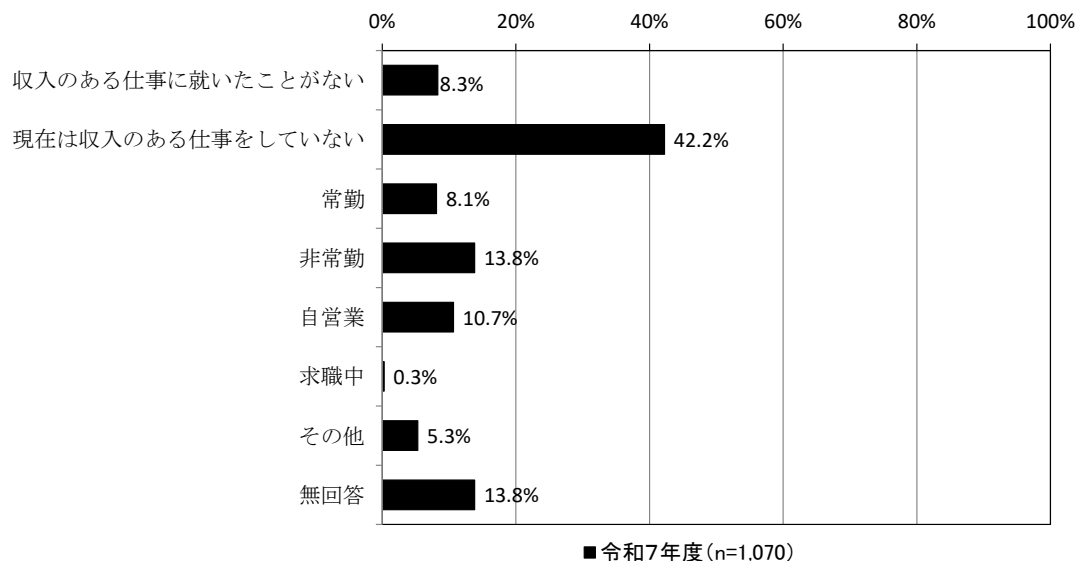
聞いてくれる人の「その他」においては、「同僚」「かかりつけ医」「訪問看護」「サークルの仲間」などの回答がみられた。聞いてあげる人の「その他」においては、「同僚」「職場の人」などの回答がみられた。

病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人、看病や世話をしてあげる人は「配偶者」の割合が高く、それぞれ56.6%、57.9%となっている。

看病や世話をしてくれる人の「その他」においては、「老人ホームのスタッフ」などの回答がみられた。看病や世話をしてあげる人の「その他」においては、「実母」などの回答がみられた。

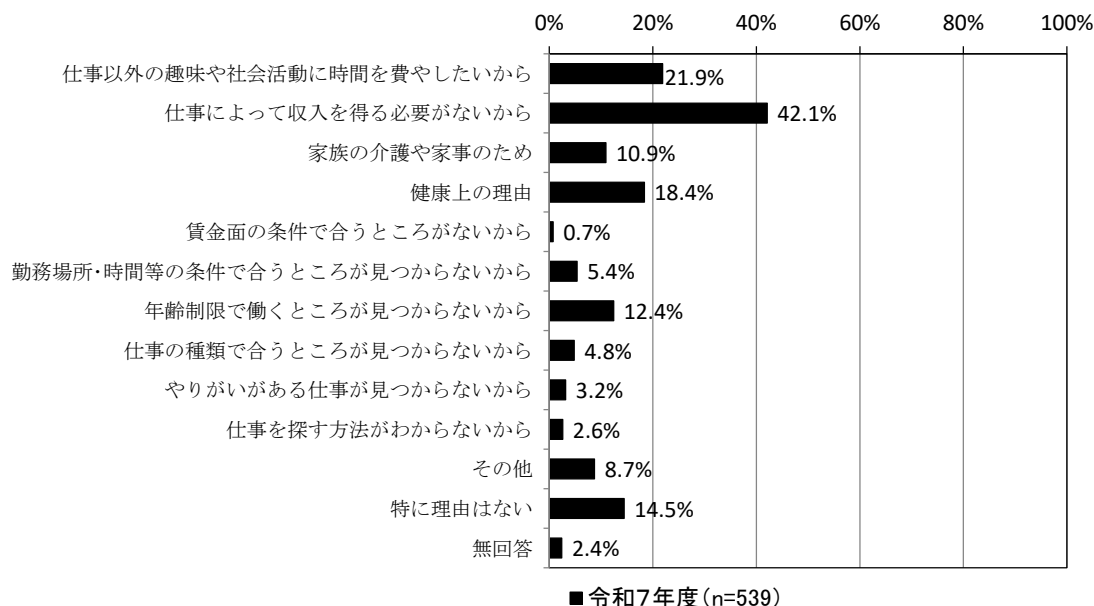
## 8. 就労について

問 31 現在のあなたの就労状態はどれですか。(○は1つ)



現在の就労状態については、「現在は収入のある仕事をしていない」の割合が最も高く、42.2%となっている。次いで、「非常勤」が13.8%となっている。

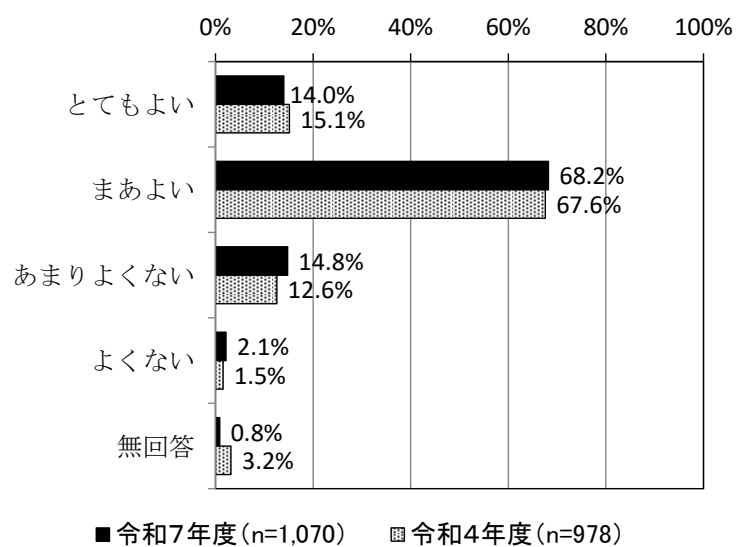
問 31-1 問 31 で「1. 収入のある仕事に就いたことがない」「2. 現在は収入のある仕事をしていない」と回答した方にお伺いします。現在、仕事をしていない理由について、教えてください。(あてはまるものすべてに○)



収入のある仕事に就いたことがない、あるいは現在は収入のある仕事をしていないと回答した539人に、現在仕事をしていない理由について尋ねると、「仕事によって収入を得る必要がないから」の割合が最も高く、42.1%となっている。次いで、「仕事以外の趣味や社会活動に時間を費やしたいから」が21.9%となっている。また、「その他」においては、「長年仕事をしてきたのでもう仕事をしたくない」「高齢のため」などの回答がみられた。

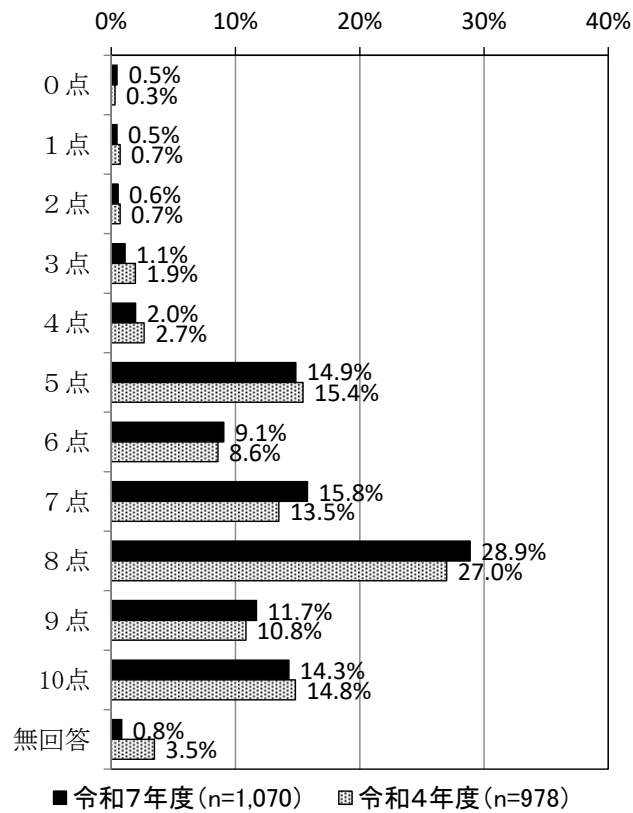
## 9. 健康について

問 32 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)



健康状態は、「とてもよい」と「まあよい」の合計が82.2%を占めている。他方、「あまりよくない」と「よくない」の合計は、16.9%となっている。

問 33 あなたは、現在どの程度幸せですか。（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）（いずれかの数字を1つ選んで○）

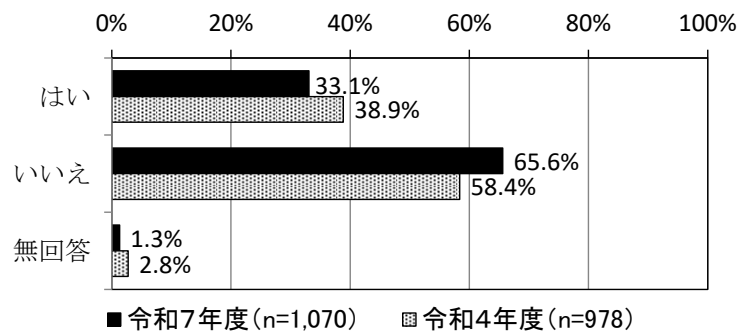


(単位：点)

	件数	平均	標準偏差	中央値	最大値	最小値
令和7年度調査	1,061	7.4	1.9	8.0	10.0	0.0
令和4年度調査	944	7.3	2.0	8.0	10.0	0.0

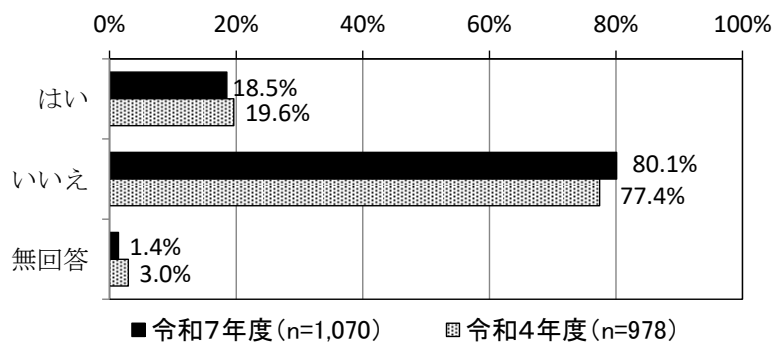
「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、現在どの程度幸せかを尋ねたところ、「8点」の割合が最も高く、28.9%となっている。平均は7.4点となっている。

問 34 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。  
 (○は1つ)



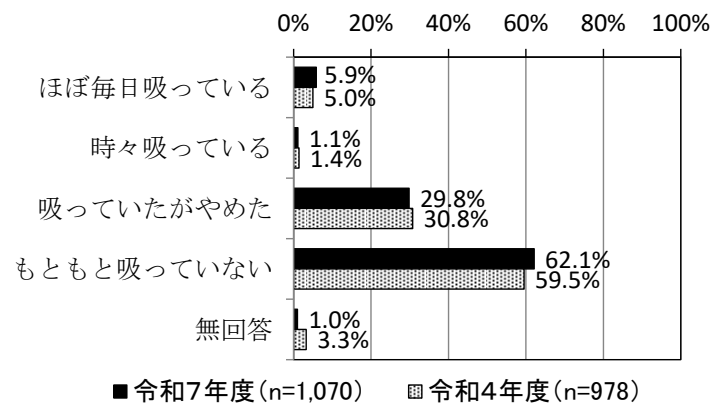
この1か月間で、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについては、「はい」が33.1%、「いいえ」が65.6%となっている。

問 35 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)



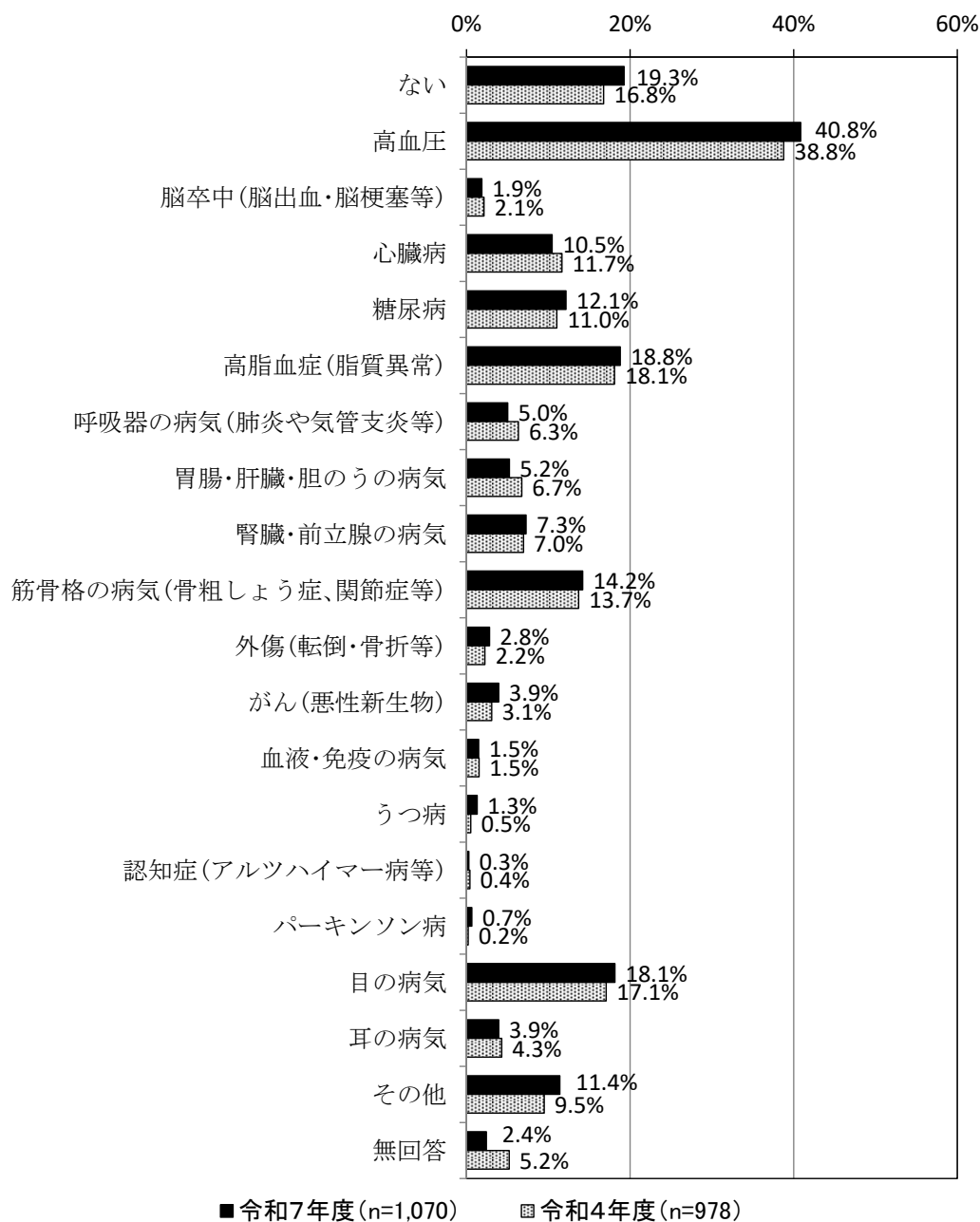
どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかについては、「はい」が18.5%、「いいえ」が80.1%となっている。

問 36 タバコは吸っていますか。(○は1つ)



喫煙の状況については、「もともと吸っていない」の割合が62.1%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が29.8%となっている。

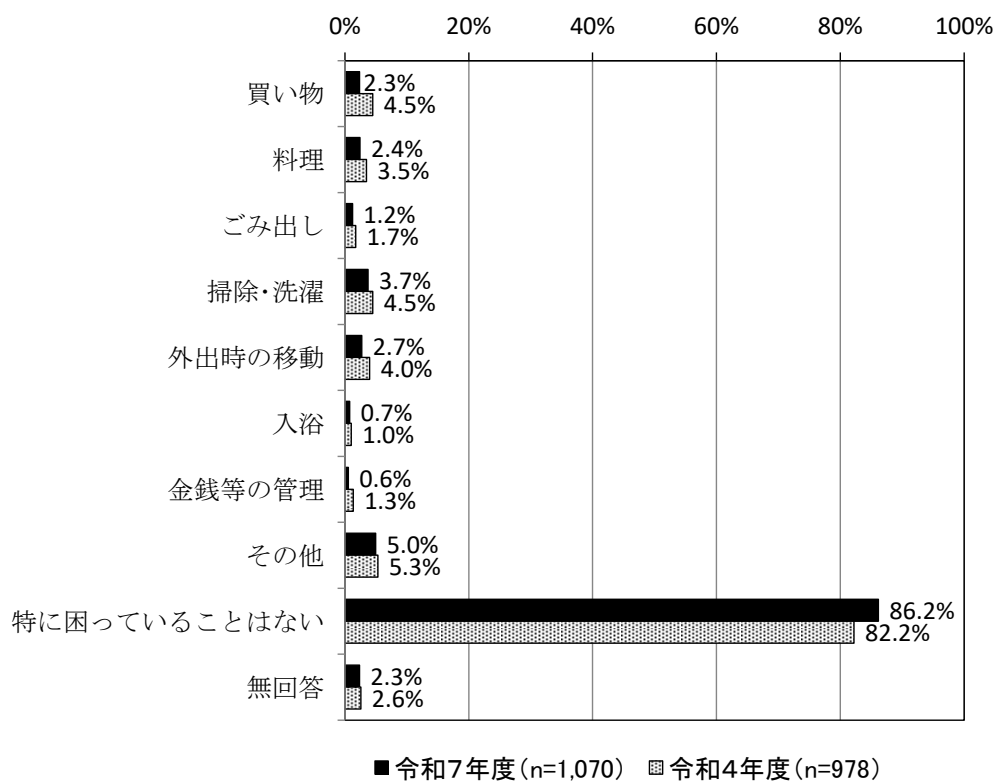
問 37 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)



現在治療中、または後遺症のある病気については「高血圧」が40.8%、次いで「高脂血症(脂質異常)」が18.8%、「目の病気」が18.1%となっている。また、「ない」が19.3%となっている。「その他」においては、「甲状腺関係の病気」「歯に関する病気」などの回答がみられた。

## 10. 現在の暮らしについて

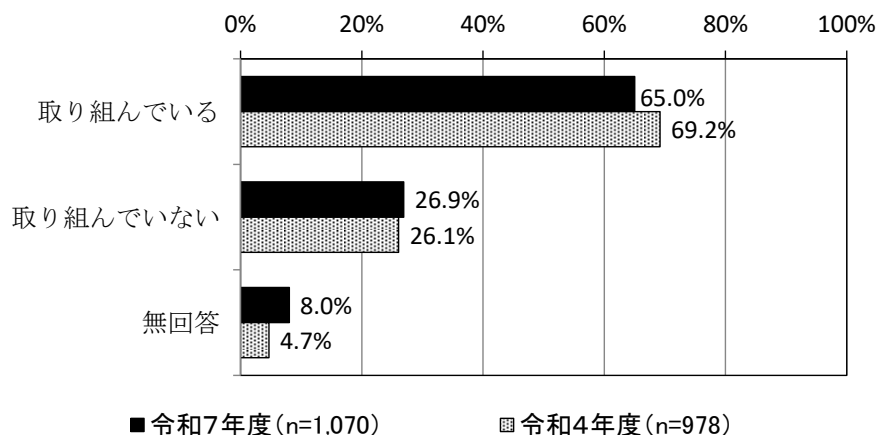
問 38 日常生活の中で困っていること（支援が必要だと思っていること）はありますか。  
（あてはまるものすべてに○）



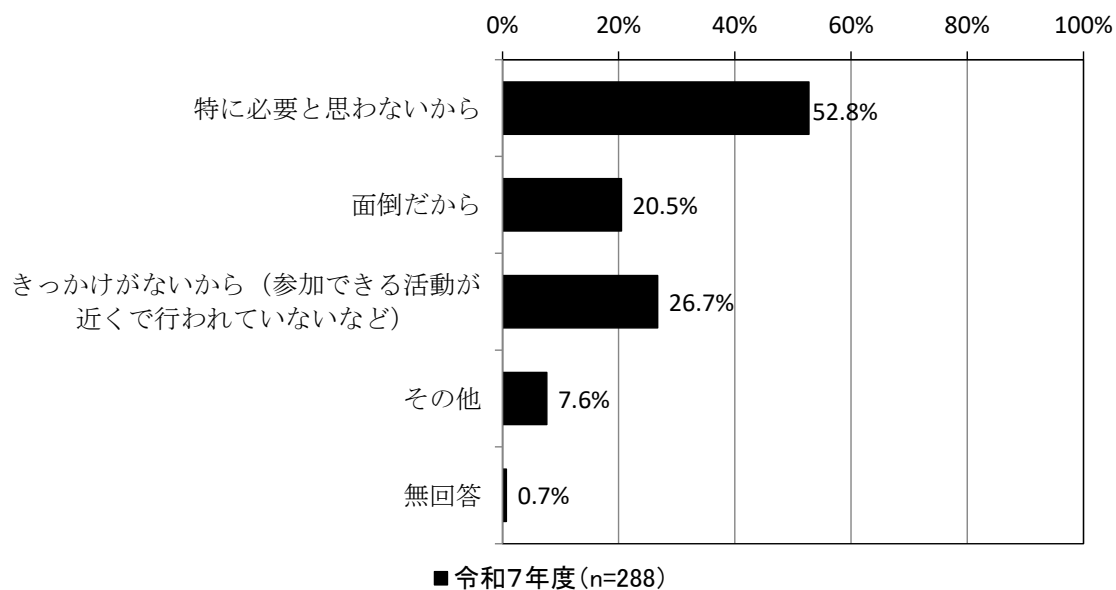
日常生活の中で困っていること（支援が必要だと思っていること）については、「特に困っていることはない」が86.2%となっている。

「その他」においては、「高い所の掃除、重い物の移動など」「庭木の手入れ」などの回答がみられた。

問 39 普段から健康維持や介護予防に取り組んでいますか。(○は1つ)



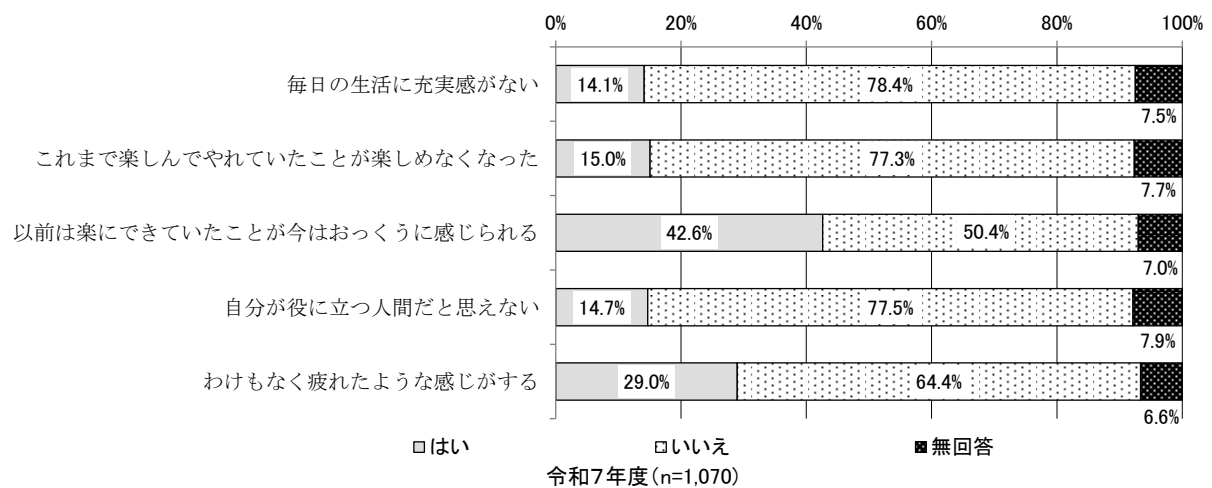
問 39-1 問 39 で「2. 取り組んでいない」と回答した方にお伺いします。その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



健康維持や介護予防に「取り組んでいる」割合は65.0%となっている。取り組んでいないと回答した人(288人)に、その理由を尋ねたところ、「特に必要と思わないから」が52.8%となっている。

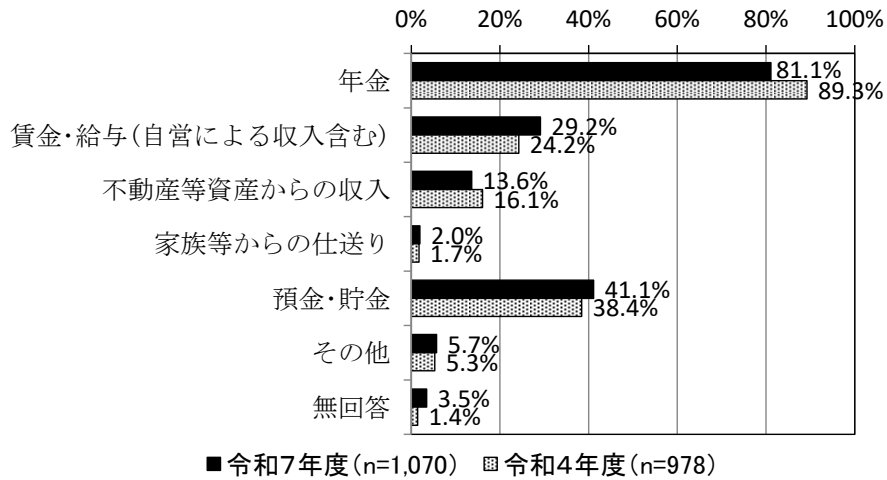
問 40 ここ2週間の様子についてお伺いします。(それぞれについて○は1つ)

- ①毎日の生活に充実感がない
- ②これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった
- ③以前は楽にできていたことが今はおっくうに感じられる
- ④自分が役に立つ人間だと思えない
- ⑤わけもなく疲れたような感じがする



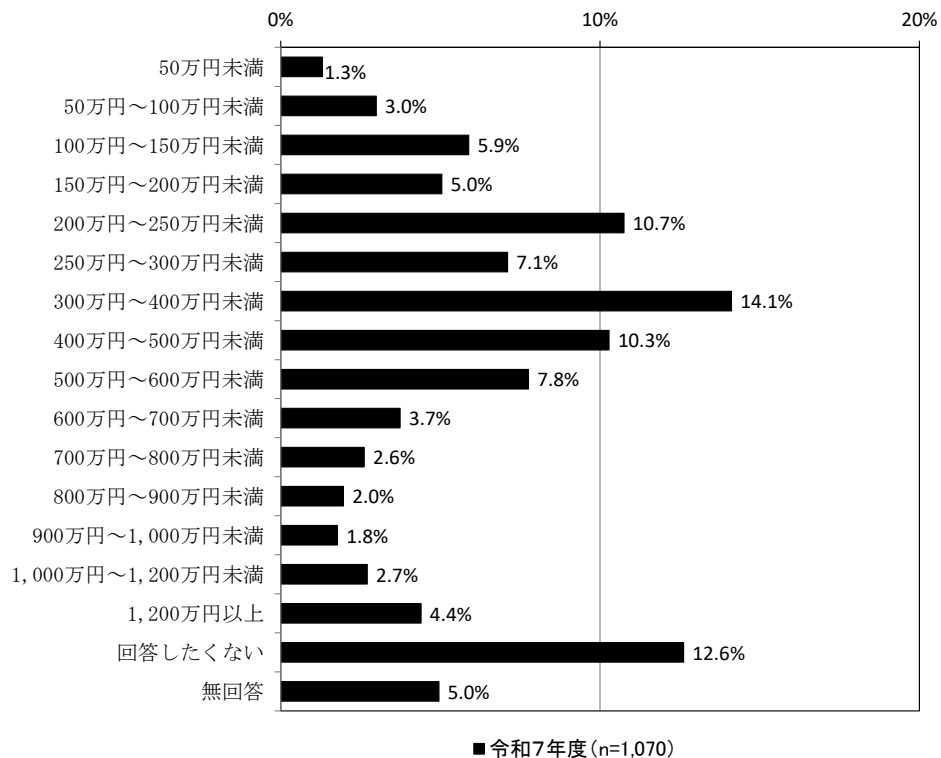
「以前は楽にできていたことが今はおっくうに感じられる」において、「はい」が42.6%となっている。また、「わけもなく疲れたような感じがする」において、「はい」が29.0%となっている。

問 41 生活費等を何から支出していますか。(あてはまるものすべてに○)



生活費等は「年金」から支出している人の割合が最も高く 81.1%、次いで「預金・貯金」が 41.1% となっている。「その他」においては、「配当金」などの回答がみられた。

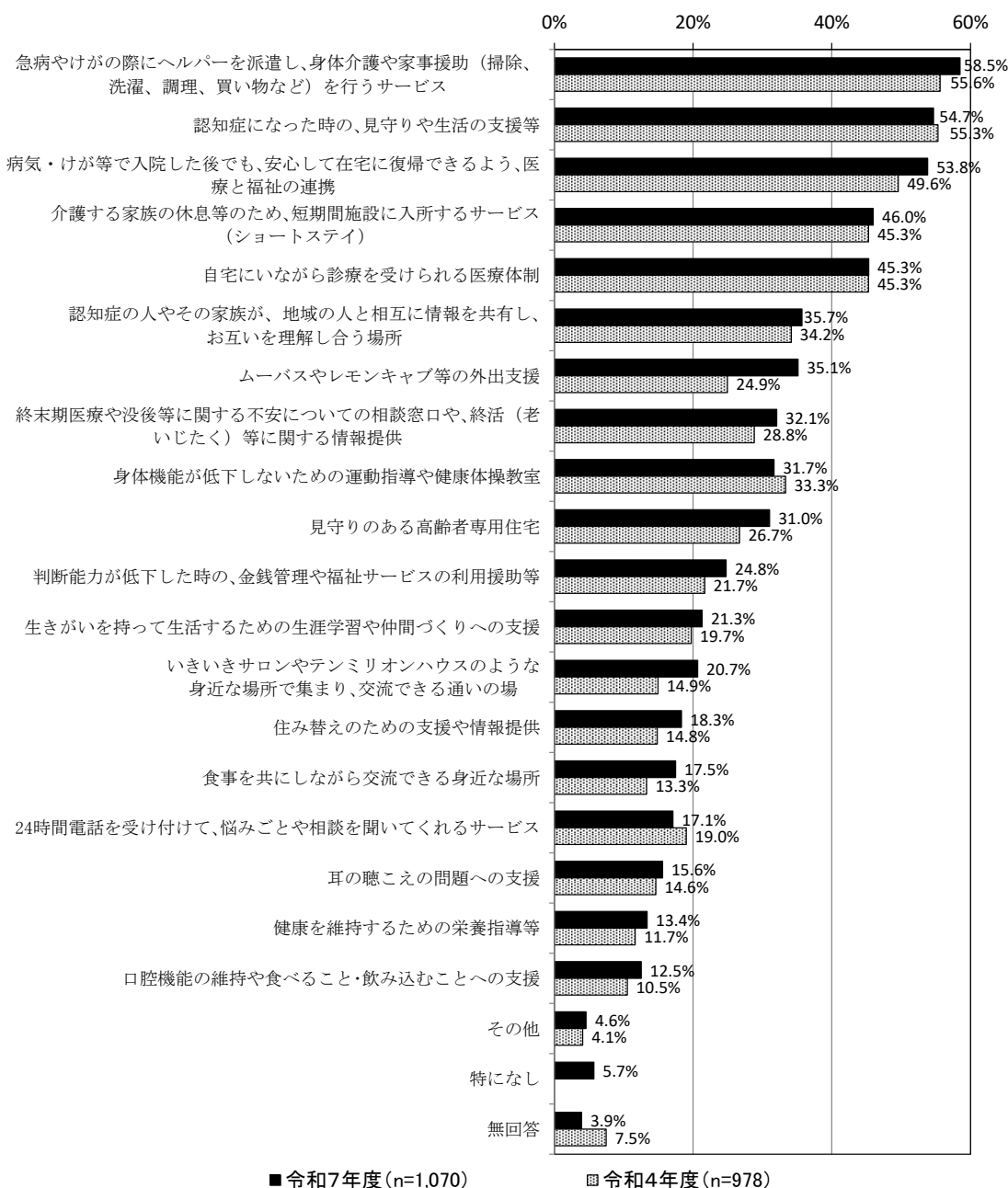
問 42 世帯全体の合計収入額（年金を含み、税引き前の金額）は、令和6年1月～12月の1年間で、次のうちのどれにあてはまりますか。(○は1つ)



世帯全体の合計収入額（年金を含む、税引き前の金額）は、「300万円～400万円未満」が 14.1%となっている。

## 11. 今後の暮らしについて

問 43 今後、住み慣れた地域で暮らし続けるために、高齢者に対する施策や支援として、充実してほしいと思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

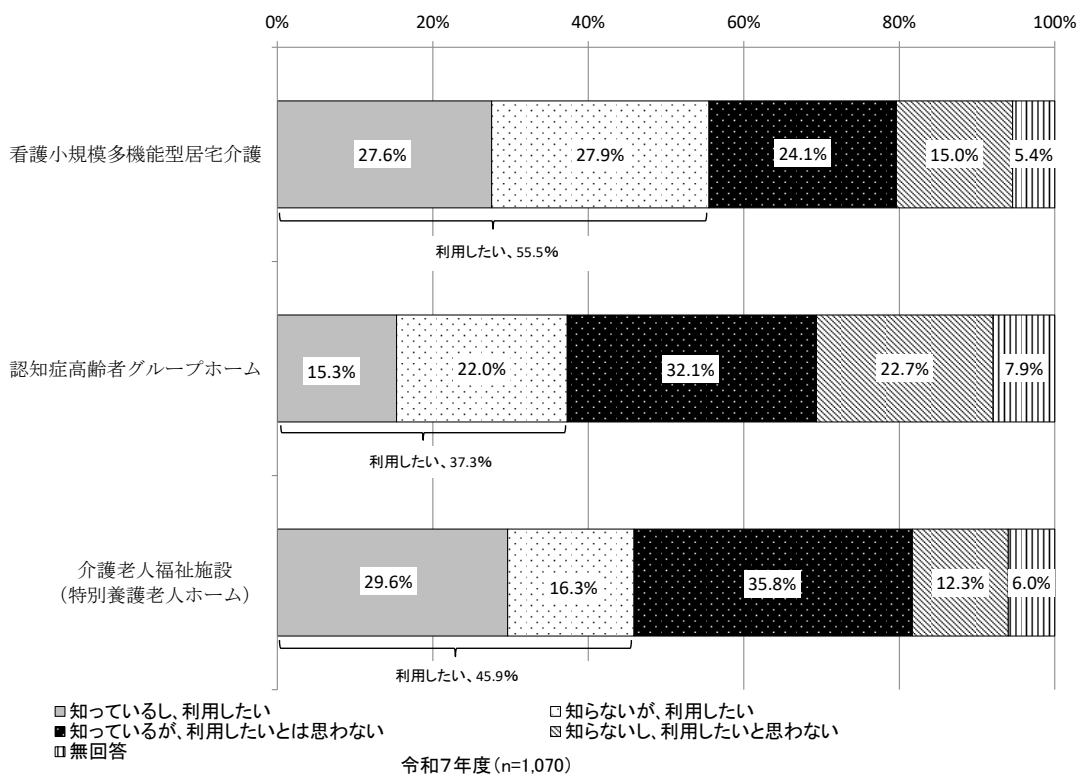


(注) 令和7年度調査では、「特になし」の選択肢を追加した。

「急病やけがの際にヘルパーを派遣し、身体介護や家事援助（掃除、洗濯、調理、買い物など）を行うサービス」の割合が最も高く、58.5%となっている。次いで「認知症になった時の、見守りや生活の支援等」（54.7%）、「病気・けが等で入院した後でも、安心して在宅に復帰できるよう、医療と福祉の連携」（53.8%）、「介護する家族の休息等のため、短期間施設に入所するサービス（ショートステイ）」（46.0%）、「自宅にしながら診療を受けられる医療体制」（45.3%）が続いている。

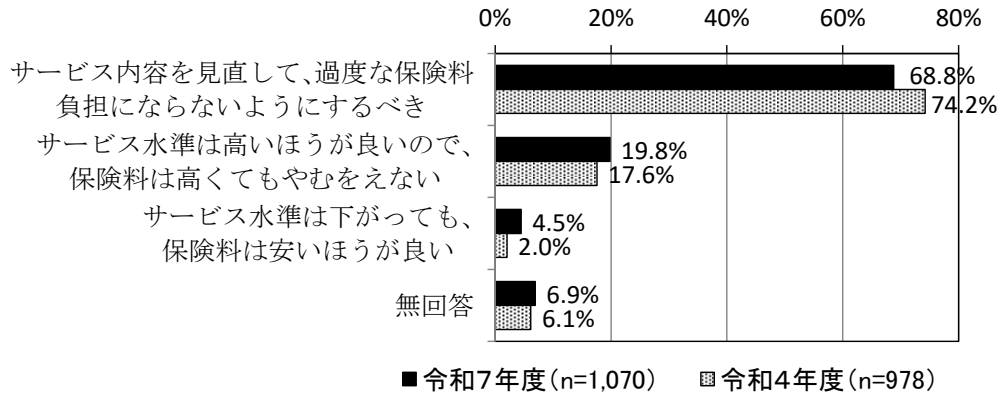
「その他」においては、「吉祥寺近辺には病院がなくなってしまい困っている」「単身者の没後事務への公的支援の実現」などの回答がみられた。

問 44 次のサービスについて知っていますか、また、利用したいと思いますか。(それぞれについて○は1つ)



「知っているし、利用したい」と「知らないが、利用したい」の合計（「利用したい」の割合）をみると、看護小規模多機能型居宅介護が 55.5%、認知症高齢者グループホームが 37.3%、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）が 45.9%となっている。

問 45 介護保険制度はサービスの供給量が増えるほど、保険料も高くなる仕組みになっています。これからのサービス水準と保険料の関係は、どのようなものが望ましいとお考えですか。(もっともお考えに近いもの1つに○)



介護サービスの水準と保険料の関係については、「サービス内容を見直して、過度な保険料負担にならないようにすべき」が68.8%、「サービス水準は高いほうが良いので、保険料は高くてもやむをえない」が19.8%となっている。

問 46 最後に、武蔵野市の高齢者福祉施策や介護保険事業について、ご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

以下では、武蔵野市の高齢者福祉施策や介護保険事業についての主なご意見・ご要望を記載している。

<高齢者福祉施策や介護保険事業に対する満足度>

- ・ 武蔵野市の対応、大変良いと思います。これからも、積極的に対応してください。期待しております。
- ・ これからますますひとり暮らしの高齢者が増えると思います。慣れ親しんだ武蔵野に安心して楽しく住み続けたいと思っています！どうぞ、よろしく願い致します。こういうアンケートをして下さって高齢者として感謝しています。
- ・ 市のこのような行政業務へ感謝です。出来ることはご協力させて下さい。
- ・ 武蔵野市はレベルが高くて充実した施策をとっていると思います。福祉とは担当が違うと思いますが、悪徳商法が一番不安です（強盗等）。
- ・ レスキューヘルパーのサービスは心強く思いました。
- ・ 武蔵野市は高齢者の施策や介護事業が充実していると思います。武蔵野市に住んでいて良かったと思います。
- ・ 祖母、両親、お世話になりました。ありがとうございました。今度いつか、私がお世話になると思います。
- ・ 武蔵野市で最後まで生活したいです。武蔵野市がだいすきです。
- ・ 対応が行き届いていると思います。これからも、全市町村の模範となるような施策を続けていって頂きたいと思います。
- ・ 主人がデイケア・介護サービスを受けており出無精な人がケアの日を心待ちにしています。
- ・ 他県から移りすんだので、武蔵野市は福祉サービスが手厚く感じます。高齢者や子供が生活しやすいと思います。街を歩くと、車イスの人が通っていく。障害のある人もいきいきとしているところに感動しました。
- ・ 武蔵野市の高齢者福祉は充実している様です。以前母がお世話になった施設は少人数でとてもアットホームでした。これから高齢者はふえていくと思うので施設、従業員等のケアを充分にしていきたいと思います。
- ・ 主人が亡くなった後の数年間、心身共に低下し、独居が辛くなった時、自治体の方々に手をさし伸べて頂き、ヘルパー派遣、運動機能向上の為のジムなどを勧めて下さり、普通の生活ができるようになり、将来もこのまま健康を維持し、趣味や生き甲斐を持って自宅で最後まで過したいと思えるようになりました。感謝しております。
- ・ 1年前に地方から引っ越してきました。地方はあまり熱心でなかったけど武蔵野市は、大変行き届いておると思います。すごくありがたいです。老人の施設（遊びに行く施設、行事）が多いので驚いています。
- ・ 色々とお心遣いに感謝します。住み良い武蔵野市のために頑張って下さい。
- ・ 武蔵野市は高齢者への福祉事業が充実していると、よく聞きますが、70代になっても仕事が

できて、今までサービスを利用しないでこられたのは、恵まれていると、今回のアンケートで実感しました。最近、東京都内の病院が赤字で、次々に閉所と言うニュースで、必ず『吉祥寺の南町病院』が取り上げられています。日頃の健康管理を考えると、心細い限りです。これからも健康に気をつけて「介護保険は納めていたけど、あまりお世話になることなかったわね」と言って人生しめくくれたら…私の理想の人生です。

- ・ 過去にはサービス提供側だった者が受ける側に近づいてきて、どのような心持ちでいられるか不安がある。現在のサービス提供者には大変感謝しております。御自身を大切にしながら他者へのやさしさを分けて下さい。
- ・ 母の難病申請や介護の際お世話になりました。いつも行きとどいた対応をしていただいて、「武蔵野市に住んでいて、ほんとうに良かった。」と思いました。
- ・ 亡くなった夫が生前大変お世話になりました。感謝しております、困り事に、丁寧に接して頂いて対処して下さった事で不安はありませんでした。
- ・ これからも高齢者に優しいサービスを提供していただければと思います。
- ・ 以前の自治体とは違い、様々な点で水準が高い武蔵野市行政と感じています。これから、長いおつき合いですので、色々調べてまいります。
- ・ 武蔵野市は高齢者福祉施策の進んでいる地方自治体であると理解しています。これからも期待どおりの高い水準を維持していただけるようお願いいたします。
- ・ 母の介護の時助けられたので、現在の水準を維持してほしい。
- ・ 望みを言えばきりがありませんが、皆様の御努力には頭が下がります。不便な所があれば言える場所や聞いてもらえるのは助かります。利用できるサービスは自分から探して、生活が少しでも楽になれば、生活も楽しくなります。

#### <相談支援について>

- ・ 福祉関係のワンストップの窓口がほしい。老後のすべての手続（生前、死後）を一つの窓口で処理できれば安心できる。年をとってあちこち回るのは「あきらめ」になってしまう。
- ・ 今は不要ですが、いざ自分が要介護になった時に、相談できる所、手続き出来るところ、仕組みの説明が受けられる所がワンストップで済む仕組みであればいいと思います。
- ・ 高齢者で一人者対応の相談窓口がほしいです。
- ・ 詳しいわけではないが、住んでいる住所により、支援センターの担当区域が決まっているため、微妙にサービスの違いがあるように思える。ただ、基本的には市は頑張っているように思う。
- ・ 夫婦どちらかが没したら、どこにどの様に相談したら良いかを知りたい。
- ・ 2年位前から、主人が認知症になり何にも出来ず、薬もないし、なおすことも出来ず、相談する人もいないので、何事もなく、すぎるのをまっています。手続きに時間がかかりもうすこし、かんたんに相談出来る人がほしいです。
- ・ 今、現在は自分の事は自分で出来ますが、これが続く事はないと思うので、その時には、安心して相談にのって頂ければ嬉しいです。
- ・ 老化に悩むケースを複数想定の上、あてはまる人たちが連絡してそのケースごとの具体的相

断のってあげられる体制を構築してほしい。どんなことに不安を抱いているかを個別具体的に把握した上で、提供できる事業をその不安者に提示していただけるとありがたいと思います。

- ・ 少しずつ、情報を伝えてほしい。一人身なので、気を張って生きて行くつもりだが、万一細かい状況になると、とりあえず、相談できる場所や、機会を、簡単に、つかめる様にと願っています。
- ・ 人生の後半になった今考えることは終末期を迎える準備。その事しか頭にありません。公的福祉以外のピンポイントで相談するところを教えてくださいとうございます。
- ・ サービス水準の意味・内容がわからないのでどれにしてよいかわからない。2月に肩のけん板断れつ手術を受けるので1ヶ月は買物や料理もできない。そういう短期で支援していただける方法は、どこに相談したらよいでしょう。
- ・ 地域包括支援センターの土、日の休みをなくしてほしい。
- ・ 今後のこととして、介護が必要になった時に、相談できる窓口があったら良いと思います。
- ・ 孤独死防止のシステム・相談窓口について教えてください。
- ・ 市役所が遠いので事務処理、相談等がしにくい。市役所の支所をもう少し充実させて何事も処理できる様にしてほしい。

#### <介護予防・社会参加について>

- ・ 介護予防の観点から様々なしくみをつくってもらいたいです。また、介護支援専門員やヘルパーさんの処遇改善も含めて、よりよい介護がうけられるようにしてほしいです。
- ・ 元気な高齢者、介護のいらぬ高齢者を育てるために運動の場を増やし、参加しやすいようにピアールをしてほしい。
- ・ 介護予防のための通いの場、健康クラブ等希望しても入れない事が多い。
- ・ 高齢者総合センターでの歌や体操の講座を利用させて頂いていましたが、再開されたら又是非参加したいと、心待ちにしています。
- ・ 土・日も利用できる予防介護サービスの拡充。
- ・ 本当は、「サービス水準は高いほうが良いが、過度な保険料負担にならないようにすべき」と考える。「水準」を「見直す」というより、サービス提供の「システム」とか介護が必要になる前の、というか必要にならないための、よりダイナミックな方策（あるいは、より先手先手で、軽い支援の期間が延びるようにするための）とか、そういう方向で検討してもらいたい。水準が下がると、苦しむのは、介護する家族だから。
- ・ 武蔵野市の高齢者福祉・介護支援レベルは高いという感触は持っています。高齢者の支援は高齢者の福祉のみならず住民全体の福祉、経済活動の効率維持、向上のためにも必要とされますので今後とも力を入れて頂きたいことですが、そのためにも健康寿命と生物学的な寿命との差を縮めるための支援、施策への注力をお願いしたいと思います。これは生産人口の中に居る間には解っていても本人に手の回り難い問題かと云う実感があります（障害がはじめてから予防をスタートした場合十分な効果を得にくいと思う）。
- ・ 元気な時は関心があまり無かった事ですが、段々年齢が増す事によって身体も変化、ヒザ等

負荷が掛って来はじめ不安が出てきました。子供達も当てには出来ないで自分でしっかりしなければとは考えています。いきいきサロン一度も参加した事がないのでどういう事をする所かもっと教えてほしいと思います。

- ・ いきいきサロンで、市の方が出向かれて色々、教えていただきありがたい。
- ・ 近くにいきいきサロンがほしいです。
- ・ テンミリオンハウスがもう少し増えると良いです。現在利用しています。
- ・ コミセンや図書館や公民館等を集えるコーナーを高齢者に限定せず市民に開放出来ないか、隣接する市区町村と協力体制をとったり施設を共有したり出来ないか。
- ・ こども館が少ない。老人施設とこども館を一ヶ所に市内に数ヶ所。又はコミセンで老人学童がふれあえるプログラムを。
- ・ 定年まで都内に通勤して地元で友だちがいません。月2回ヘルパーをさせていただいており、心の支えです。人生の先輩との交流は大切に、このような機会を多くもてる場をふやしてほしいと思っています。
- ・ 高齢の母が市内でひとり暮らしをしています。病気もなく自分のことは自分でできるのでいっしょに外食したり、買い物に行ったりしますが、今、老人会がほとんど活動がないので(コロナ以後)同世代の人達と話すことがなく、さびしいようです。久々にバス旅行があり喜んでいました。みんな高齢の老人会ですが市としても行事など考えてもらえばいいなと思います。同世代で集まるのはとてもよいようです。
- ・ 気軽に行ける趣味関係の教室があるといい。高齢者センターの教室を希望してもなかなか行けない。(落選)
- ・ 吉祥寺ナーシングホームの昼食サービス「わだん苑」を再開してほしい。
- ・ 市では子供が少ないです。先日、ボランティアで行っている、ホームの庭で保育園児が遊んでいました。気軽に若い人や学生～小さい子まで高齢者と自然にふれあえる、場所・施設等ができればと思います。
- ・ 現在は、検診などを利用させて頂いていますが、将来的には、高齢者福祉施策や介護保険事業のサービスも、必要に応じて利用させて頂きたいと思います。余談ですが、図書館をフルに利用させて頂いている者として、中高年向きの読書会などを作りましたら、認知症予防、地域の交流に寄与するのではないのでしょうか。
- ・ 働けるうち働く意欲のあるうちは社会に参加できるようにしてほしい。
- ・ 高齢者でも仕事出来る人が増えているが、その機会が少ないので、そのような仕事を紹介する事業をしてほしい。
- ・ 老人会やグループの集まりは、80歳台でないと入りづらい。少し足が悪いので、70歳台前半だと座りづらいので、立っているのがつらいので、参加しづらい。
- ・ 境南、境、桜堤の人たちは高齢者センターや体育館のスポーツ教室には通いにくいので、プレイスや市民会館でのスポーツ教室をもっと多くしてほしい。
- ・ 少し前から市の体育館のジムに行っています。お年寄りが多く、なかには杖をついたり、車イスの方も運動しています。令和9年春頃から耐震工事のため閉鎖の予定があり、運動ができなくなります。なんとか続けられるような(代替の建物など)支援をしていただけないでしょうか。

- ・ 運動のできる（小ホールでOK）体育館がほしい。武蔵野市は大きな体育館はあるが、地域センターは、集会場はあっても小体育施設がない。もっとふやしてほしい！！子供達が外で遊べない現代の環境を改善のために必要です。
- ・ 武蔵野市の介護予防、認知症予防の取り組みや、仲間づくり地域の人との交流を中心としたプログラムが充実していると感じております。元気な高齢者が増える取り組み、これからも充実させていって頂きたいです。
- ・ 市の各種保健事業について、ほとんど知りませんでした。市の関与がなければ、それぞれが孤立し、老々介護に陥ることも予想され、不安な状況となります。安心な老後を過ごせるよう、各種サービスを、充実させてほしいです。私もこれからは市の事業を通して、社会参加していければと思います。
- ・ いろいろ施策があろうかと思われませんが、ただし、欲を出せばキリがなく際限にないことになることも考えられます。少しでも高齢者の健康寿命を伸ばす施策、または各人ができることを努力も必要かと…これはという決め手は難しいと思われませんが…。

#### <認知症施策について>

- ・ 行政側として、認知症基本法の周知徹底の努力をどのようになさいましたか（?）、高齢者への説明などの文書を、市として改めてなさいましたか（?）、母が訪問診療、訪問歯科、入浴介助などの支援を受け、特養に入居しましたので、いろいろな情報を取り入れていましたが、これの説明は見たことがありませんでした。看取りもできる施設でしたが、点滴だけの状態になった母は、見てもらえず、やむなく退居することになり、残念な思いが残っています。ケアマネさんをはじめとして介護に携わって下さったスタッフの方々は、とても親切で感謝しております。
- ・ 認知症になったり体が不自由になったときすみやかに利用したいものです。
- ・ 認知症相談をしたいと思ったが、相談相手がどんな方か（何かの資格を有するとか、市の職員とか）事前にわかると安心です。専門の相談員、というだけでは少し不安です。
- ・ 先に入所した人優位の施策は、どうかと、思います。少しでも、認知症にならない様に頑張っている、身体能力低下と共に現実年齢と共に認知低下は進むので、いざという時に、受け入れてもらえる施設の充実を（市としての）望みます。
- ・ 認知症の予防対策に力を入れて下さい。ウォーキングや体操に気軽に参加したいと思います。
- ・ 高齢者センターは抽選で外れれば参加出来ませんでした。
- ・ 認知症の予防にも更なる積極的な支援策が望まれる
- ・ 国が推進しているオレンジカフェは実践されている場所は知られていない。ボランティア団体と協力して地域に役立つオレンジカフェを作ってほしい。
- ・ 認知症グループホームなど認知症になっても尊厳を持って生活出来る施設が必要。今自分自身が入りたいとは思わないが、認知症になったら本人より家族は必要になる。

### <独居高齢者の支援について>

- ・ 今は、元気で毎日充実して生活していますが、年齢がもっと重なると介護が必要になると思います。独居ですが、人と関わるのが好きなので、仲間作り、テンミリオンハウス、いきいきサロン e t c をもっと充実してほしいです。一日も長く独りで元気に過ごす努力をしたいと思います。介護が必要になると、ホーム等に入り生活したいと思いますので、そちらも、もっと入りやすい様にしてほしいと思います。
- ・ [身内がいなかった時] 最後の時、一人で墓に入るわけにはいかないので、その前に登録しておく事を、住んでいる自治体に頼りたい。【自分の意志で】①埋葬場所（準備してあれば、そこにを入れる）、②残った財産の整理、所有地等、そういう取り組みがあっても良いと思う。そうすれば、安心してこの地域で最後まで楽しく過ごせると思います。
- ・ いずれひとり暮らしになった時、介護施設には入りたくないが孤独死にはなりたくない。1分1秒でも早く見つけてほしい。例えば何かあった時ブザーを鳴らすとすぐに来てくれるサービス、指輪式とか。
- ・ これから1人住まいの方が多くなり、高齢者に目に向くように、地域と介護保険事業者、協力して、良い年を過ごせますように。
- ・ ひとり暮らしのサポートの強化。
- ・ 身寄りがいないので入院、施設入所等の支払い、又身元保証や死後、本人の生前の希望の納骨先、死後事務等の支援、又、施設入所した際の、通帳、印鑑などの管理先のサポート等をしていただけたらと思います。(現在は主人と2人ですが1人になった際を心配しています)。
- ・ 現在の所、不足する物は特にないが、今後お世話になる事(ひとり暮らしのため)があるので、福祉介護事業が更に充実することを、願っています。(現在の制度でも充分にありがたいと思っていますが(ひとり暮らしのため)複数人数で楽しめること(小動物等接触)含めあればと願っています。
- ・ 一人暮らしの高齢者に向けた、見守りサービス(有料でいいので)を高齢者福祉サービスの施策のひとつに位置づけてほしい!

### <移動支援について>

- ・ 目も悪く足も悪いです。ムーバスは、おりやすいが歩道の高さとおりのところがあり、おりる時につかまる棒が歩道の方にあつたら、棒につかまりおちついてから歩けます。今は皆様が大丈夫ですかと行って手をひっぱり歩道にのせてくれます。
- ・ 桜堤3丁目は病院がありませんので桜堤2丁目まで約1.5kmまで行かなくてはなりません。選挙の時も桜野小学校まで行かなくてはなりません。せめてムーバスでも走ってくれたらいいのと思っています。吉祥駅周辺はムーバスだらけ、不公平です。
- ・ 介護予防にもっと力を入れてほしい。外出支援としてムーバスのパス券や支援があると良い。
- ・ ムーバスをもっと広めて、出かけやすくしてほしい。
- ・ 吉祥寺駅から市役所行きムーバスなどで行きやすくしてほしい。足が悪いと遠すぎます!あと市政センターを利用出来ると助かる!
- ・ なるべく自立して生活ができる支援をしてほしい。外出できる交通を確保してほしい。三鷹、

吉祥寺循環のムーバス減便は本当にひどかったです。

- ・ 運転免許を返納した場合、病院通いに困るので、ムーバスの路線拡大。
- ・ レモンキャブの台数をふやして、多くの人がいつでもつかえるようにしてほしいです。ふつうに車いすの人でなく、タクシーがわりになる台数もつくってほしい。子供用の助成金だけでなく高齢者にも助成金を考えてほしい。
- ・ 通院のための交通機関の改善。

#### <在宅サービスについて>

- ・ 出歩けない老人のために簡単な家事もしくは、話し合いが、気軽に出来る人の派遣。料金も、割安にして、チケットで支払い。
- ・ 家族だけでなく、地域でも老老介護となって来ている。個人に頼った支援は難しくなるので、仕組みとしての方法をつくりあげてほしい。
- ・ 高齢者支援・介護ともに、もう少し自宅生活で完結できるような、訪問サービスを充実させてほしい。
- ・ 自宅で暮らしていくため、身体的ケアに加え、家事についての補助も考えてほしい。
- ・ 過去主人と義母の介護を自宅でしたいました。ケアマネさんの助言等により何とか自宅で介護する事ができました。自分はなるべく健康を保ち自宅で過ごしたいです。居宅介護の充実を求めます。
- ・ ちょっと手伝ってほしい事、階段を物を持って上がれない。信用できる人に用事を頼みたい。組立ができる人。
- ・ 介護保険の内容の見直し。以前要介護でお世話になりましたが窓の結露でびしょびしょになり拭いてほしい旨お願いしましたが大掃除はしませんと断られました。多少の融通があっても良いのでは？と思いました。当時私は車イスで低い所に手が届きませんでした。
- ・ 私が夫の世話を 100%しております。夫は要介護で、私は要支援ですがもう少し介護をしている私の方にヘルパーさんを使ったり、主人の使うトイレ、お風呂場の掃除などしていただけると有難いですが介護保険を支払うだけで何もしてもらえないのは不満です。
- ・ 訪問ヘルパー、介護、看護の充実を臨みます。高齢者が増えていく事は確実ですが、介護施設の閉鎖が取り沙汰されております。現在も就業者の退職を多く耳にしますが増々、閉鎖等増えると、自宅での介護が必要となる心配があります。閉鎖せざるをえない、施設が増えないよう望みます。施設が人員確保に派遣会社に支払う代金が、高額な事に驚くと共に、そのために現場が苦勞している状況（人員不足）を耳にします。派遣会社との取り決めに何か制限など必要なのではないかと感じております。
- ・ 介護保険事業について、体は今のところ、元気だが、お風呂の掃除他の事をすると腰が痛くなり、力も入らないので、風呂掃除だけしてもらえる（介護認定受けてないが）その様なサービスはないのでしょうか。ケアマネジャーを、いちいち通さず、申し込める様な（月1回等）あるなら知らせてほしい。
- ・ 出来る限り在宅で生活を希望しています。今は夫婦二人なので困ることはありませんが家中のちょっとした困りごと（例えば電気がきれたり高い所の物の移動 e t c）等に対応して

くれる所があるといいのと思います。

- ・ 介護者が何より望んでいるのは、介護から少しでも完全に離れる事、そのためにはショートステイをもっと柔軟に取り入れるべき。
- ・ アンケートに同封されていたチラシで24時間支援体制ができているのを知り安心しました。9月は「敬老の日」市報とは別紙で地図と相談窓口がわかるものを配布（施設）希望。コミセン、ムーバス、薬局、市政センター等は目につきピーアールに良いと思います。介護を短期経験した者ですが病人の世話で夜係（排泄着替えオムツ交換体温測定血圧）と昼係（食事作り、買物洗濯連絡通院つき添い与薬もらい、e t cやはり制度でやりくりできるとありがたいと思いました。今後は地域包括支援センターへ相談してみようと思いました。
- ・ 「定期巡回随時対応型訪問介護看護」を充実させてほしい。西東京市や三鷹市では事業が活発に展開されています。
- ・ 施設に入所することなく、できるだけ最後まで自宅で過ごせるサービスを充実してほしいです。
- ・ 出来る限り努力して健康寿命を長く出来る様に希望していますが どうしても介護が必要になってしまった場合は 安心して生活出来る様きめ細かな支援して頂ける事を望みます。
- ・ 私も、近所の友人達も、親の介護をしています。外出もできず、デイサービスの少しの時間を使い自分の病院や銀行など大いそぎで走りまわっています。10～15分おきのトイレの介助など、大変な毎日です。自分の老いのことまで考えられない。ニュースの介護の家族の自殺や殺人もあっておかしくない。
- ・ 現在はパート仕事もあり生活も充実していますが75才～80才過ぎてからのサポートの充実に期待したいです。
- ・ 高齢者支援・介護ともに、もう少し自宅生活で完結できるような、訪問サービスを充実させてほしい。

#### <施設サービスについて>

- ・ 介護施設について利用したいとは思わないが、家族の負担が多くなるような状態になった時は、利用しなくては、と思っています。
- ・ すぐに（必要になった時）入居できる公的施設がほしいです。特別養護老人ホームをふやしてほしい。
- ・ 高齢者施設、料金が多岐にわたりHPに載せにくいかもしれませんが、料金を明確に記載することは義務づけてはいかげんでしょうか、武蔵野市は他の自治体に比べて改革の志が低く、遅れていると思います。前例踏襲主義を払拭し、新たな試みが必要だと思います。
- ・ 今は亡き親の最期の様子の経験からの感想です。デイサービスでの過ごし方で、あまりにも画一的で単純過ぎる内容に驚きました。認知機能の衰えのある方、無い方一緒に面倒見ざるをえない所で無理もない！とは思いますが…？事業所毎に違いが有るのでしょうか？
- ・ 地方在住の親を寄りよせたい人がけっこういます。対して施設が不足しているのもっと作ってほしい。緑町界隈に老人向け複合施設を作ってください。北町の老人ホームは入所困難です。

- ・出来ることなら自宅に住んでいたいと思っていますけど先の事は変わるからそうとも言えないです。だれでも入れるのでしょうか。
- ・未だ利用したことがないので、分かりませんが、選択肢が多い施設を数多く作ってほしいです。
- ・特別養護老人ホームに誰でも、すぐ入所出来るように。
- ・今後身体不自由になったとき、預ってもらえる施設 or その余裕があるかどうか心配ではあります。多分どこもなさそうですが。
- ・自宅での生活が困難になった場合高齢者施設を考慮する場合があると思うが、武蔵野市の民間施設は高額で富裕層でないと手が届かないらしい。市外を探さざるを得ないのが実状であれば、市の実態を知りたい。市が高齢者施設（民間を含め）の設置状態だけでなく実際の申込から利用まで把握しているのであれば知りたい。民間は民間まかせならば、調べて情報がわかるようにしてほしい。（施設主体からの情報だけでは不足だと思う）
- ・金銭的弱者をすくってくれるホームが多くあればなおいいなと思っています。
- ・武蔵野市民が利用できる特別養護老人ホームを近場に作ってほしいです。
- ・10年母を在宅介護をしていたので、ある程度知っていますが、ある程度資金が有ったり同居している家族が居ると、特養に入れる基準が低いので自分は、武蔵野市の市内の特養には入れないのがとても残念です。生まれてからずっと武蔵野市民なので、安心して武蔵野市の特養に入居したいと強く思っています。
- ・低額の老人ホームを増やしてほしい。
- ・デイサービスとか高齢者施設は見たり聞いたりするとチーチーパッパみたいな事しかしてないみたいで利用したくないと思う。
- ・武蔵野市は老人の数に対し特養が大変少なく入居することが大変難しいと聞いています。他の自治体では私立のホームを特養と認定し活用しているところもあるようです。母も長く市内に住んでおりましたが市内特養への入院は不可能であったため残念ながら市外の施設に入居いたしました。多くの方が市内の特養等の施設に入れるようになると良いと思っています。
- ・介護施設…過去の様な老人ホームのイメージを脱却して、楽しめる大人の娯楽施設となれば、利用する気持ちになる方が増えるのではないのでしょうか。60才～気軽に立ち寄って楽しむ事が出来る施設になると80才以上になっても抵抗なく継続利用できるのではと思います。
- ・介護は3人程しましたが唯々一生懸命ただけで複雑な思いは残っておらず今思えば、やはり私自身が健康だったから幸の内に過ぎたのだと楽観した考えです。武蔵野市さんは、よくやられているとの実感です。
- ・介護施設やその中の生活について、情報がなく想像がなかなか出来ないなので、おやつ等の時間等、施設の入居者とおしゃべりのボランティアがあれば参加したいと思います。今は私が忙しいので月1回位ですが、たくさんボランティアが集まれば、老後や介護についての理解も進むと思います。
- ・特別養護老人ホームへの入居基準について点数化をしていると聞いていますが、それならば各自にその点数を知らせても良いのでは？と思います。

### <居住支援について>

- ・ 武蔵野市は本当に住みやすく、(治安よい、多世代交流有) 今後も住み続けたいと家族で思っていたが…家賃の値上げ等、考えると、今後は他市に引越せざるを得ない。
- ・ 高齢者向けの「住」の支援を充実させてほしい(特に賃貸)。現在、高齢者が新しく賃貸住宅・アパートに住もうとしても、「年齢」が理由で(明言しないが)多くの民間の大家さんから拒否される。60才を過ぎても必死に健康を維持して働いているというのに、60才を過ぎたらアパートもなかなか貸して貰えない。それっておかしくないですか? 高齢者に「住」の支援を!  
※それは「孤独死されたら困る」という大家さんの事情もわかるのですが…。
- ・ 高齢者だとアパートの借入が出来ない事が多い。
- ・ 住まいについて。都営、市営と入居申込みをしているが当選しない。貯金が減っていく中で、いつまで今の生活が続けられるか不安です。今の身体維持をするために、通院、運動、食事等気をつけていますが…。都営や市営に入居できれば金銭的な不安が解消され、今の身体を維持して暮らしていけるのですが…。「落選」の通知は悲しいです。

### <医療について>

- ・ 夫が数年前、病いを得て、左足が不自由になりました。退院後リハビリ病院を経て、在宅介護になりましたが、リハビリをより強くする施設がなく、現状維持から下降線をたどっています。デイサービスに通っていますが、リハビリはいまいち! 南病院の1日も早い建設と、それまでの体力をつけるプログラムをぜひ。
- ・ 在宅死を望んでも、持病があり、常時訪問医がいなければ、突然の急変などは警察の検死になるとのこと。重い持病がなくても、医院に通えない人のために、担当医として、訪問して下さい。医師をふやして下さい。
- ・ 高齢者が受診できる1次、2次救急医療体制の整備を希望します。
- ・ 終末期医療として、ホスピス型の住宅を市内に作ってほしい。家族だけに負担がかからないように、保険料でまかなえると良いと思います。
- ・ 吉祥寺南病院の閉院で不安感がいっぱいです。救急病院と長期療養型病院の複合となれば老後安心して暮らせる住みたい市のナンバーワンとなることでしょう。
- ・ 健康維持のための人間ドック等の補助金UP。また、歳を重ねると持病が多くなり医療費が増え医者に掛かることを躊躇することで老後、健康でいられなくなり介護保険事業の負担増になると思います。せめて、持病の薬代を軽減を検討いただけますか。
- ・ フリーで行くことができる救急病院の早急建築
- ・ 介護予防・日常生活への支援も重要ですが、人はいずれは死ぬので、それに向けた長期入所施設や例えば緩和ケア病棟やホスピスなども注力願います。家で介護などには困難が多々ありますので比較的早い体調段階でも長期入所施設への入所ができたほうが良いと考えます。武蔵野市は市内には長期入所施設やホスピスなどがほとんどない印象なので、市外の長期入所施設やホスピスなどへの運営資金支援などを含む連携を強化しスムーズな入所ができる体制を望みます。ただし、ホスピスは費用が高額なようで更に余命6ヶ月宣告以内など条

件があり実際の平均滞在期間は約1ヶ月程度と短いようなので対象施設にはしなくて良いかもしれません。

- ・ 日本医師会への付度を徹底的に排除し、医療制度の抜本的な改革を断行すべきである。

#### <人材確保・育成について>

- ・ 武蔵野市は、色々と充実している事と思っています。母は、もう亡くなりましたが13年間、在宅でケアしていました。沢山の事業所（3つ）から、ヘルパーさんをお願いし常時きていました。コロナ前の良い時代でありました。今は事業所も減り、ヘルパーさんの確保も大変なのでは…良い福祉を続けてくださるよう願います。
- ・ 介護保険料は安い方が良いが、働く方の賃金が安過ぎるように思います。人員確保のためにも、もう少し賃金の値上げを検討していただきたいです。介護保険スタート時より、どんどん値下げされているように思いますが、今後、どんどん高齢者が増えるが、介護をする人員を確保するためにも必要な事と思います。
- ・ 我ら団塊世代の老齢まっ只中のすぐそこにある時代に、訪問介護体制などが切実なシステムとなるが、その要にある介護士の人材確保のための施策・報酬が心もとないこと甚だしい。夜勤を担当する人に対してもっともっと～～報いられる現実対応があってほしい。（一年間看とり訪問介護体制を組んでの体験から、敬服しつつ、そう思う）
- ・ サービス水準の高い低いではなく、介護サービスに従事する方々が精神的面、生活面でゆとりのある環境で働けるように、を第一に考える介護サービスであってほしい。そうでないと介護サービスを受ける側は安心できません。担う人が少ないのであればそれに見合うサービスにするのが理解を得やすいと思います。年をとる＝介護という固定観念をなくすことも大切です。若いころからの無理もしなくてすめば介護も減ると思うので体力に合う働き方を選ぶのも大切。
- ・ 介護職に携わる全ての方々には感謝しております。その方々の待遇がさらに向上することを祈っています。
- ・ 昔、両親の介護をみた経験として、施設等で働く職員の待遇をよくしてあげてほしい。
- ・ 質の良い介護サービスが出来るよう、保険料見直しも含め、介護事業者に適切な利益があり、ヘルパー等の賃金upを実施してほしい。
- ・ 介護職の方には、しっかりとお給料を渡してもらいたい。
- ・ ヘルパーさんの働きやすさも求めます。介護の質を落とさない施策をお願い致します。
- ・ 訪問介護の現場で働いている人を知っているが、報酬を切り下げられて、現場が疲弊していると聞いた。下手をすると、「お金が無くなった」などとなじられるケースもあるとのこと。エアコンの効いた施設で働く介護職員とは全く違うと。全ての人が施設に入れるわけではないのだから、在宅介護の質を高めていくべきと思うが、なぜ報酬が引き下げられるのだろうか？私には理解できない。

<市の施策の広報・PRの必要性>

- ・ 市の福祉事業に関する市民への周知が遅れている。
- ・ いざという時にすぐに対応できる様、周知徹底や告知にも配慮してほしい。
- ・ 介護経験がない家族のために勉強会のようなものを開いてほしい。お互いに気持ちよく過ごすために。
- ・ 市への意見という問いに対して回答がわからないのは、利用する必要を今感じていないからです。ただ、これから困ったとき、どんなサービスが利用できるかわかっていれば、不安なく暮らせると思っています。市報などでくわしく紹介してくださると、有りがたいです。
- ・ 武蔵野市はたくさんの高齢者施策がとられているとっておりますが、その内容を知らない方々も多いと感じますので、公報などによりしっかりと知らせる工夫をしていただきたいと思います。
- ・ 情報（告知）が少し足りないように思います。私は、必要なことはネット検索してアプローチしていますが…。一般的には、80代になるとけっこう億劫かネットを使えない？
- ・ もっと詳細に数多く説明してほしい。市のPRが不足して居る様な気がする。実例を数多く説明してほしい。
- ・ 今後の介護の実情を考えると人手不足介護報酬の引き下げ、ヘルパーの高齢化など不安に思う。武蔵野の介護の情報が高齢者に伝わっていない気がする。市報、いきいき、在支、包活センター等いろいろ目にするが、知らない人も多く、課題として考えてほしい。
- ・ 制度、施設等利用条件の総合説明会を開催。（全員対象で）知らない事が多過ぎる。
- ・ 体力がなくなったら施設を利用したいと考えています。安い所はどこか、みつけるのがむずかしい。なかなか、くらべる事が出来ません。将来は施設に入りたいと考えています。子供の近くでなくても、安い所があればと、思っています。
- ・ 武蔵野市の施策や事業が充実しているのは知っているが具体的にはよく理解していない。事業名も（漢字カタカナ）の羅列が多く分かりにくい。広報も、もっと大きな字で分かり易くしてほしい。例えば同封されていた「武蔵野市の取組み」は読む気もしない。高齢者が読みやすい工夫が必要だと思う。
- ・ 亡夫は老人性うつに続き、圧迫骨折をしたが、地域包括センターに相談に行くと思わなかった…その後介護支援を受けるようになった。市報も配られない月もあったりなので、自分で新しくなった情報などを知るようにしなければと思う。確実に届くといいいのですが（健康だよりや介護保険、その他）いつのまにか古い物になっていたり。
- ・ 現在は健康に暮らしていますが、今後いろいろなサービスを必要とする時に、その内容や利用方法が分かりやすく、無理なく利用できたら、とても安心すると思います。
- ・ 武蔵野市は施策等充実した自治体でそれなりその内容の広報はされていると思うが興味のある方は積極的に調べたりして理解すると思うが大多数の人は知らないことが多いと思う。周知するためのしくみが必要と思う。
- ・ 特にありませんが、同封の「市の取組み」の字が小さくて読めません。高齢者に配慮した字のサイズにしてください。市報もぎっしりすぎて読みづらくなりました。
- ・ 市内の民間の高齢者福祉施設についての正確な情報も知りたい。調べて開示してほしい。

- ・ 今のところ、同居の家族共、すぐに必要な状態ではないですが地方にいる（90代）父母を看っていて、介護の大変さは痛感しています。これからは、私達の世代が対象となること。健康への日頃からの小さな取り組みが大切だと思っています。子供の世代（20～40代）に負担はあまりかけたくないので、市や都が国の取り組み、情報もわかりやすく、発信してほしいです。
- ・ 元気な老人ですが高齢者福祉のことはまったく知りません。どのような時に、どこへ相談に行ったらよいか教えて下さい。元気で100才を目ざしています。やさしい体操・体を動かせる誰でも参加できる場所を作して下さい。体のうごかせる間はリーダーでひっぱって行ってもいいです。
- ・ 高齢者福祉施策や介護保険事業などのサービスの情報が私のところまで届いていないと感じる。対象者には個人的に情報を届けてほしいです。
- ・ 武蔵野市の高齢者に対する事業についての一覧性のあるハンドブックを作成して高齢者に配布数年に一度内容を更新して頂けると有難い。
- ・ 事業内容についての詳細な説明会を開催してほしい。
- ・ いざ、色々なことが出てきて困った状況になった場合、困らないように、あらかじめ、そういうことに関して学んだり、準備しておくべきことを相談できる場所等、色々なことについて、アナウンスしていただければ、助かります。情報提供をお願いします。
- ・ わからない事だらけで、どの様に情報を見聞きできるのかがとても心配事の様な気になります。
- ・ 今は、夫婦で何事もこなし、不自由のない生活をしていますが、パーキンソン病という病気をかかえ、将来が心配です。武蔵野市の福祉施策などをこれからはくわしく知り、利用できるものは利用していきたいと思っている。
- ・ どういう事業を行っているか、CMをお願いします。
- ・ 自分が介護が必要になった時の申請の手順とかを知りたい。
- ・ 適時、関連情報を関係者に流して下さい。
- ・ 制度等についての概要を要約したような冊子を編集して配布願いたい。
- ・ 現在も充分良いと思いますが、今後ますます手厚く、充実させて下さい。又、より周知できるようにお願いします。
- ・ 終活に向けて、具体的な老人ホームや種々の業者の情報や紹介を行なってほしい。民間事業者でのトラブルの話もあるので、安心出来る事業者を選ぶのが不安。行政が情報提供してくれると安心出来る。種々の手続きを別々な業者で行うのは大変なので、行政が一括して手続きを行ってくれると安心出来る。

#### <保険料について>

- ・ 保険料と言う税金は無くすべき。保険ならば見舞金等が出て良いのに、利用料まで取るとは、利用しない人に何も無い。助け合いだと言うのであれば税で行うべき。
- ・ サービス水準は高い方が良いが、保険料は安い方が良い。介護保険制度はとてありがたいので高水準のものを続けてほしい。しかし物価高がこれからも続くと思うので介護保険をこれ以上高くしないでほしい。それが行政の仕事かと思えます。
- ・ 保険料負担が高すぎて大変困っている。サービスを全く受けていない場合の負担を軽減する方策を考えてほしい。税金をもっと投入すべきだ。
- ・ 介護利用していない人への援助保険料負担の軽減などあるとよい。
- ・ 生活実態＝（申告）に合わせた介護保険料の請求。住民基本台帳による世帯分離は必ずしも生活実態になっているとは言えない。
- ・ 主婦一本の人間にとって少ない年金から介護保険等差し引かれる額が大きく自分のふがいなさを感じています。夫が生存している時はまだよいのですが、一人になると…です。若い時から自身での積み立てが本当に必要と通感です。要望や意見ではなく実感を述べました。
- ・ 保険料が高いと思います。みなさんの意見。
- ・ 介護利用者にとって過度な料金負担にならないよう望みます。
- ・ 介護保険料が高い。

#### <低所得者等への支援について>

- ・ 武蔵野市は本当に住みやすく、（治安よい、多世代交流有）今後も住み続けたいと家族で思っていたが…家賃の値上げ等、考えると、今後は他市に引越せざるを得ない。
- ・ 「少子化対策」とテレビでも、市報でも、取り上げていますが、この物価高で、老人対策はあまり取り上げられなくなりました。老人は、老人で昔、若い頃、老人に税金で年金を出していました。年金制度の悪さを実感しています。また、いくら少子化を訴えても、どんな対策をしても、今の日本では人口は増えません。
- ・ 夫婦共、高齢者のため、先に不安を感じています。と同時に低所得者のために、十分な介護サービスが受けられるかが心配です。
- ・ ほぼ基礎年金ほどで貯蓄を使いながらの生活。施設料支払いができるか心配。そのためできるだけ自宅で静かに生活できるよう体力低下しないようにしている。子供には迷惑かけられない。物価高は身にしみます。でも食べねばなりません。
- ・ 経済的に余裕がないので、できる限り自宅で自立した生活が、送れるように努力していきたいです。
- ・ 私達2人とも障害者でお互い助け合いながらの暮らしです。もう少し楽しい暮らしをしたい。介護費用が値上りしたら生きていけない。助けて下さい。
- ・ 経済力の差が、サービスの差に比例するのは、悲しい！一律にサービス提供されるのが良いのでは…（出来る限り平等に！！）
- ・ どんなサービスでも先立つものがなければ利用は難しいです。

<その他>

- ・ 私事ですが、私は舌ガンを患い、舌の半分を再建手術しましたが、食事や会話に障害が残りました。私のような希少ガン患者にも、ご理解をいただけるような介護サービスを受けられると、とても安心です。
- ・ まだ高齢者として生活していないので65歳を一律に高齢者にするのはどうかと思う。せめて70歳以上ではないかと思います。
- ・ 自助、共助、公助を基本として福祉、介護事業を行い将来の財政負担をみた長期方針で事業を適切に行ってほしい。
- ・ 母の時に助けていただきましたが、高齢者という大枠に入れられますが、中身は細分化されていてよく理解していないとより良いヘルプが受けられなかったりしました。また、自分の人格を高齢者、要介護者…とかで決められてしまい、長生きする事が申し訳ない気持ちになる様な事が有りました。漢字が多く難しい書類も多いと感じます。
- ・ 歩く道、特に車道と並行の歩道が狭くすれちがうのに片側に避けなければいけないし、面の凹凸、斜め（車道に向って↓）に気をつけるのに常に下を向いていなければならない。
- ・ 町の道路や店舗 e t c バリアフリーが、ほとんど見られず、高齢者にやさしい町とは、とても言えないと思っています。
- ・ 今は自分で自分の生活を処理できるが、要支援・要介護の状態になったら気持が相当変化すると思うので、このアンケートの答え方もかなり変わってくると思う。
- ・ 市役所に電話をすることがありました。職員のみなさんは市民からの問い合わせにうんざりしているのかもしれませんが、私にとっては電話することさえ少し勇気の要ることです。分からないからおたずねしているのです。もう少しゆっくりと話して下さると助かります。早口の方が多いです。
- ・ 自分で歩行が出来なくなった場合の、排便・排尿をサポートできる装置の開発で、人手不足の問題を解決してほしい。
- ・ 23区とのサービスの差がないようにしてほしい。
- ・ 夫が今年に亡くなり残念です。我が家は先祖代々同じ場所に住み、10人以上で住んでいました。今私一人になり家を守っています。もう少しガンバリ皆に良くしてあげたいと思います。
- ・ 高齢者にも住みやすい武蔵野市であってほしいと思います。
- ・ 子供に障害があり親がいなくなった後に心配（子供が一人になってしまう。親族も遠くあてに出来ない。）。
- ・ 神奈川県横須賀市の単身者死後対応策や、コロナ禍の時の医療機関受診時の高齢者の送迎対応（三鷹市、小金井市）により公共交通機関を控えるための対策などを参考にきめ細かな支援を望みます。
- ・ この様なアンケートは、とても素晴らしいと思いますがその結果報告を切望します。
- ・ 今後も高齢者福祉施策および介護保険事業の水準を維持してほしい。
- ・ 市町村の高齢者福祉施策や介護保険事業に対する国家からの補助金を倍増することを国に要請してほしい。
- ・ 高齢者福祉事業はお金がかかりますがこれからも充実強化に努めてもらいたい。

- ・ 歩道でスピードを出す自転車をとりしましてほしい。すくなくとも駅周辺は自転車禁止にしないと高齢者は外出して歩くのがほぼ不可能。
- ・ 今のところ、要介護認定はまだまだかなと思うくらい元気なので、実感として高齢者福祉等のことを考えることはありません。今後、当市も更に少子高齢化は進む一方で、高齢者福祉にかかる費用は増える一方だと思います。利用者負担を増やすなどして、予算を子供達のために回してほしいと強く願います。
- ・ 全国的に決まっている事なのであるが、同居の子が居る場合は介護サービスが制限される。今、社会問題になっている、「9060、8050」の場合は介護を受けられず同じ保険料を払っているのに差別になっている。今後増えるケースなので、見直しをお願いしたい。「ひきこもり」「精神病等のニート」等。
- ・ 生活困窮者が少なく、財政も豊かな当市において、住民税非課税所帯ばかりが優遇される高齢者施策は改めてほしい。
- ・ <市政について>歩道を自転車での危険走行に接する事が多く、ヒヤッとしてムツとする事がよくある。自転車走行のマナーが悪過ぎる。
- ・ 今の水準を維持し、できればさらに向上へ向けて努力していただきたい。
- ・ 高齢者へ電動自転車購入の際の補助金を出してほしい。老人は皆電動自転車がほしいのですが、高くて買えない。
- ・ 母が施設に入所していました。骨折で入院した際床ずれが出来てしまい、施設に帰ってから水分補給や患部を太陽にあてたりと細かなケアをして頂き、時間はかかりましたがキレイに治りとても感謝しております。
- ・ 昔から、銭湯は保健衛生の上からも必要不可欠の施設と言われてきました。しかし現在はその公衆浴場はどんどん減少しています。民営への配慮も必要なのかもしれませんが、市としてもなにか打つ手を考える必要があるものと（思います）。
- ・ 現在は二人とも自立協力で生活ができているが、どちらかの病気や死などの問題がおき、子ども等の同居問題が起きてバランスがくずれると不安が起り得ると考えている。戦後生まれのベビーブーム第1世代の高齢化でこれから増々老人問題が厳しくなるかと思うと不安です。医療の問題、介護の問題、税など経済不担の問題を思うと厳しい現実がのしかかります。福祉の武蔵野のアドバルールを汚さず、老後が幸せにすごせる施策をお願いします。
- ・ デジタル化を徹底して効率化を図り、保険料UP、給付水準の引下げを回避してほしい。
- ・ 高齢者が安心して生活出来る福祉サービスをやって頂きたい。
- ・ 高齢者の要介護認定の基準が不明確で、対象者やその家族に不公平が生じている。それを実際の実体に則した型になるように、不公平が出ないように改善してほしい。
- ・ 市と言うより国に、でも市にも、介護保険制度を廃止にして、平成11年前にもどして、40才以上から負担、特に、中小企業、7割からの人、には負担が重い。自己財力がない。介護付有料老人ホームに入居するには、安くても月35万円以上必要です。入居出来るのは、3割程です。病気で治療を受けても70才代、80才代の方、退院後も介護を受けず自力で生活しています。平成11年前に戻し、少しでも多く、食事に、たんぱく質、ビタミンを（果物）取れるようになればと。
- ・ 今はまだ自立した生活を送れているが、病気もあり今後の暮らしに不安があります。今後頂

ける年金にも限りがあるので、行政でフォローして頂くシステムがあれば、安心できるのですが…。

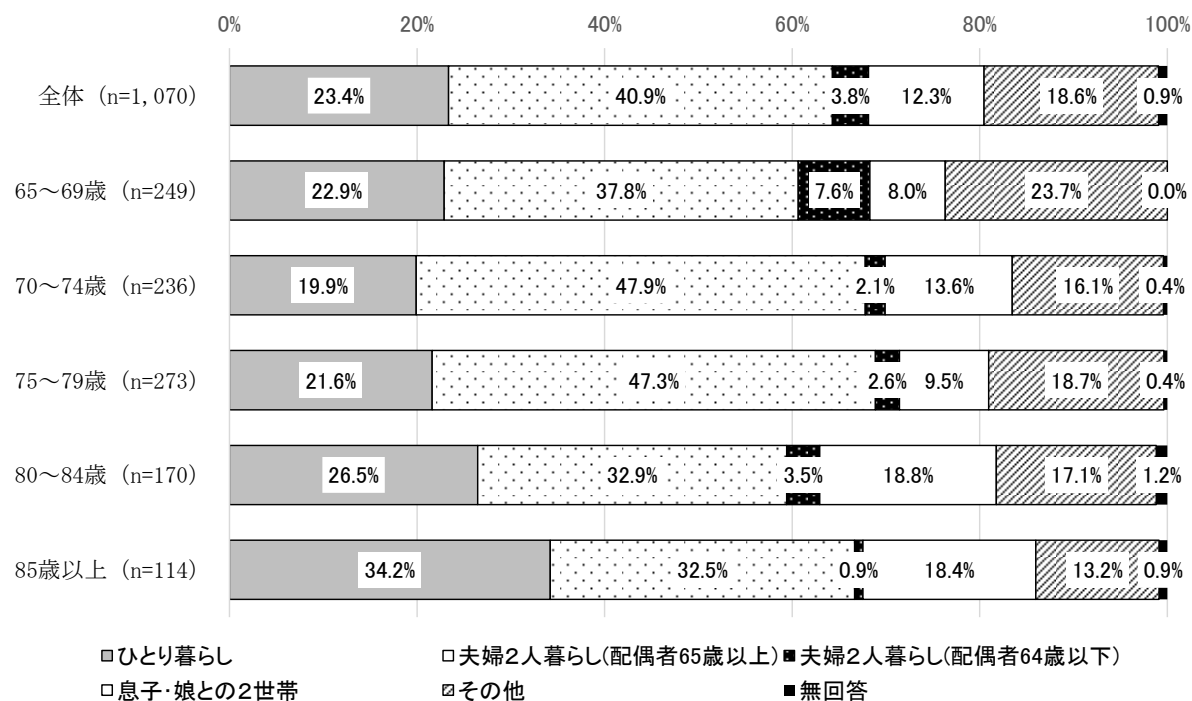
- ・ 介護保険が適正に使われているかチェックしてほしい。ケアマネジャーは、使えるだけ使わせるのではなく、必要不可欠なものだけにする。介護用品の定価額も見直すべきでは。
- ・ 高齢者になると前は祝い金、などありましたが今は引かれるだけです。スマホ・Webはむしろかしいので70才、75才、80才etc。お祝い金が楽しくうれしいです。
- ・ 武蔵野市の福祉（高齢者）は、他の所に比べ、大変充実していると聞いていますが、知人等、体験者が少なく情報が入ってきませんでしたので、参考になりました。要望として老人福祉の充実と共に精神疾患、引き込み等施策にも援助して頂きたく思っています。
- ・ 今は夫婦とも元気で生活できているが高齢な私共はいつどうなるかわからないので不安になる。
- ・ 順番待ちにならずに、必要な時にすぐに入れる、利用できる体制にしてほしい。介護保険を利用しなかった人に対して、何か還元されるものがあれば良いと思う。
- ・ 今は健康で、週3日アルバイトをしているので考えた事はないです。今後はヘルパー事業に感心を持って考えて行きたいです。（アルバイトは健康のために行っています）
- ・ 近い将来介護が必要になってくる世代としては武蔵野市の状況がどう変わっていくのか、心配であり、しかし、期待もしております。
- ・ 現在健康状態は良好なのでさほど心配はしてないが年齢による死後の埋葬方法相談（迷惑等はかけたくない）聞いてみたいと考えています。
- ・ 武蔵野市をはじめ高齢者福祉施策や介護サービスは充実していると思う。しかし今後高齢者層の増加に対応する資金増加、人材の充実に必要な予算をどう充足するかが問題となるはず。秘策は思いつかない。北欧諸国のように消費税を大幅に増やす以外に方法はないであろう。他に実現可能の方法がなければ不本意の意見があっても国全体としては合意を醸成して方向付けをする以外に方法はないと思う。
- ・ このアンケート結果を、どのような形で市政の施策資料として使うのか、それをどの様に武蔵野市民に公開してゆくのか、なんだか不透明な印象を持ちました。
- ・ 団塊の世代が後期高齢者となって本格的に介護ニーズが膨らむ時代となった。戦前生まれの方とは違うニーズがあるのではないかと？ 昔あった当事者会議をやってみてはいかがだろうか？かなりうるさくて(笑) にぎやかな会議になりそう。面白そう。もちろん、今回のアンケートで実態把握し、ニーズ調査するのは理解できる。無作為抽出で、思い込みではない、声の大きい人だけではないデータを取ることは大事だと思う。
- ・ 状況的に良い水準値を保っている。故に更に向上してほしい。
- ・ 父母の介護の時にはお世話になりましたが、その時とは介護事業内容が変わったようなので自分の時のために 武蔵野市の高齢者政策を今一度よく調べなくてはと思いました。
- ・ 武蔵野市の福祉のレベルは高いと思っているが税金が高いと感じている。少子化なので子供の支援はとても大事だと思うがそのために高齢者への負担が増すのはどうかと思う。
- ・ 私は2025年の3月まで、フルタイムで働いていました。4月に繰り下げで年金の手続きをとったのに、11月にやっともらえることになりました。機会雇用均等法の前に仕事をしていたので、また育児ブランクもあるので、年金は大したことはないですね。収入が一切ない間に、

物価はあがるし、税金や国民保険や介護保険等、去年の収入でかかり、大変です。2世帯住宅の下に住んでいる介護1の母の世話も少ししているので、母の介護士さんを通して、だんだん介護保険制度を知るようになっていく途中です。だからか、自分が当事者の年寄りという感覚は全くありませんでした。

- ・ 現在は元気ですが、常に先に不安あります。
- ・ 現在は夫婦で不自由なく元気で過ごせている事に感謝の日々ですが、いつ何があるかわかりません。吉祥寺に生まれて結婚後他に住みながら戻ってこられたご縁は大切にしたいです。介護だけではなく、武蔵野市が益々住みやすい地になりますよう期待しています。

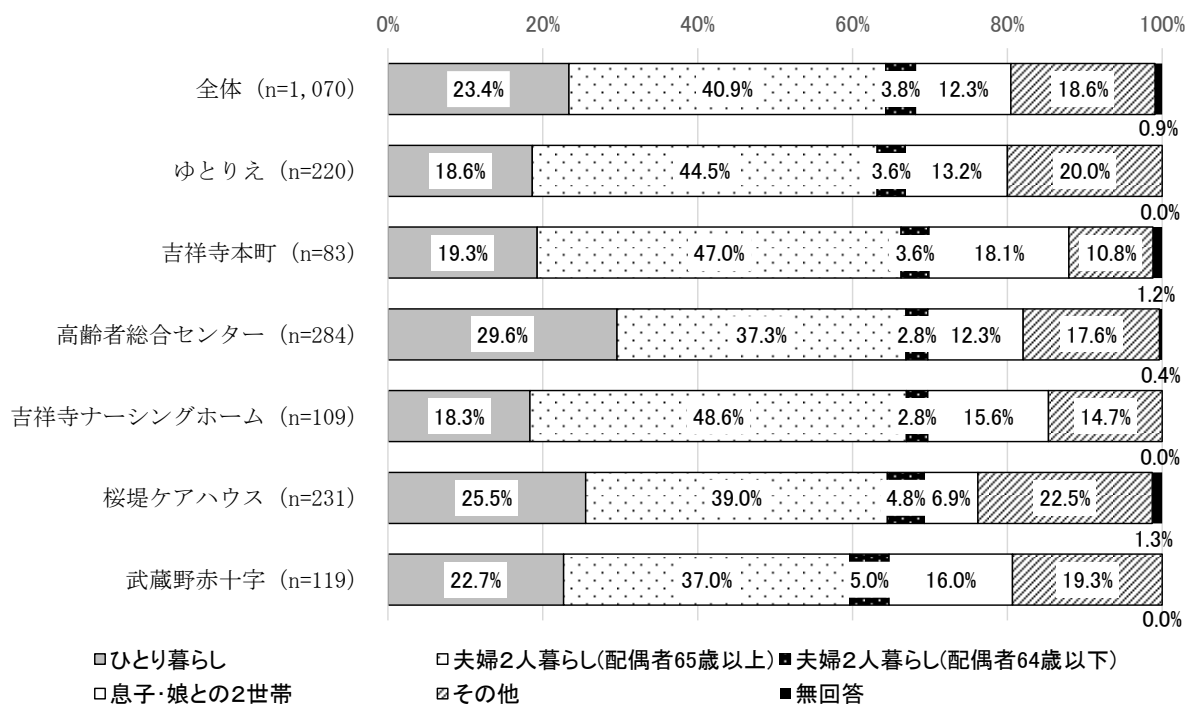
## 第2節 調査結果（家族構成別の集計）

### 1. 年齢別 家族構成



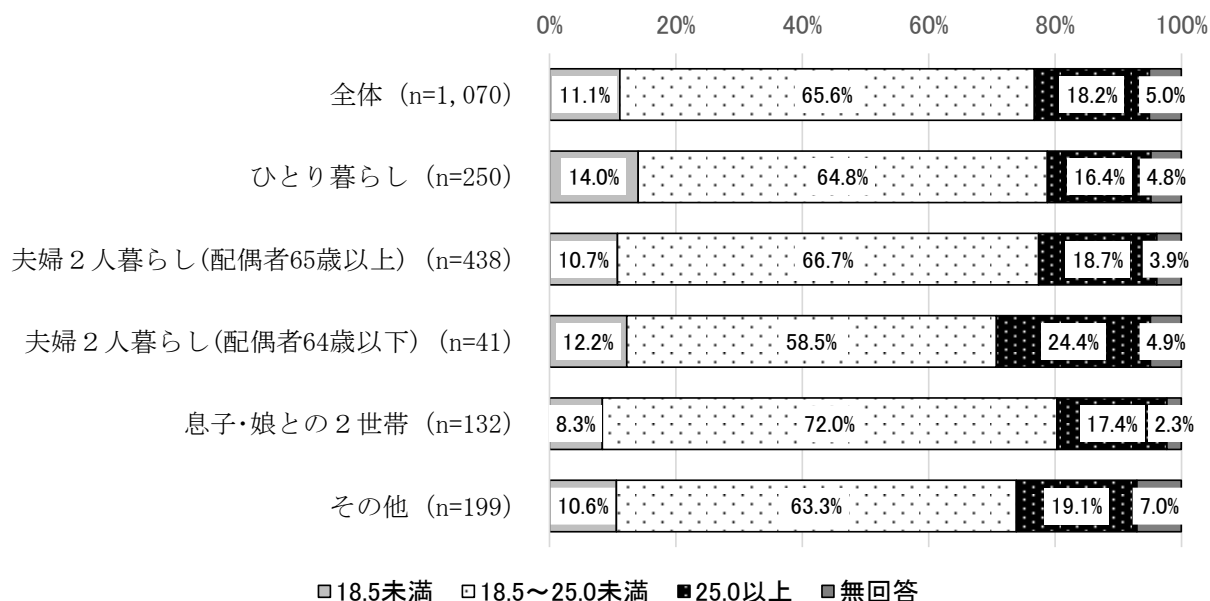
年齢別に家族構成をみると、「ひとり暮らし」の割合は「80～84歳」で26.5%、「85歳以上」で34.2%となっている。

## 2. 在宅介護・地域包括支援センターの圏域別 家族構成

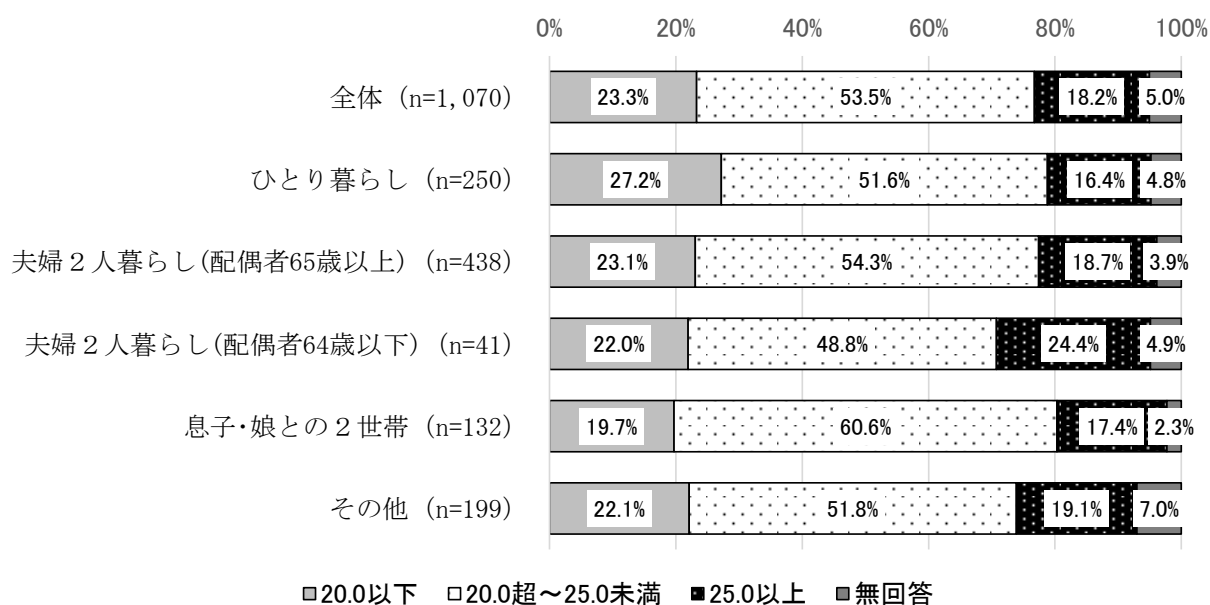


在宅介護・地域包括支援センターの圏域別に家族構成をみると、「高齢者総合センター」の圏域で「ひと暮らし」が29.6%となっている。

### 3. 家族構成別 BMI の状況



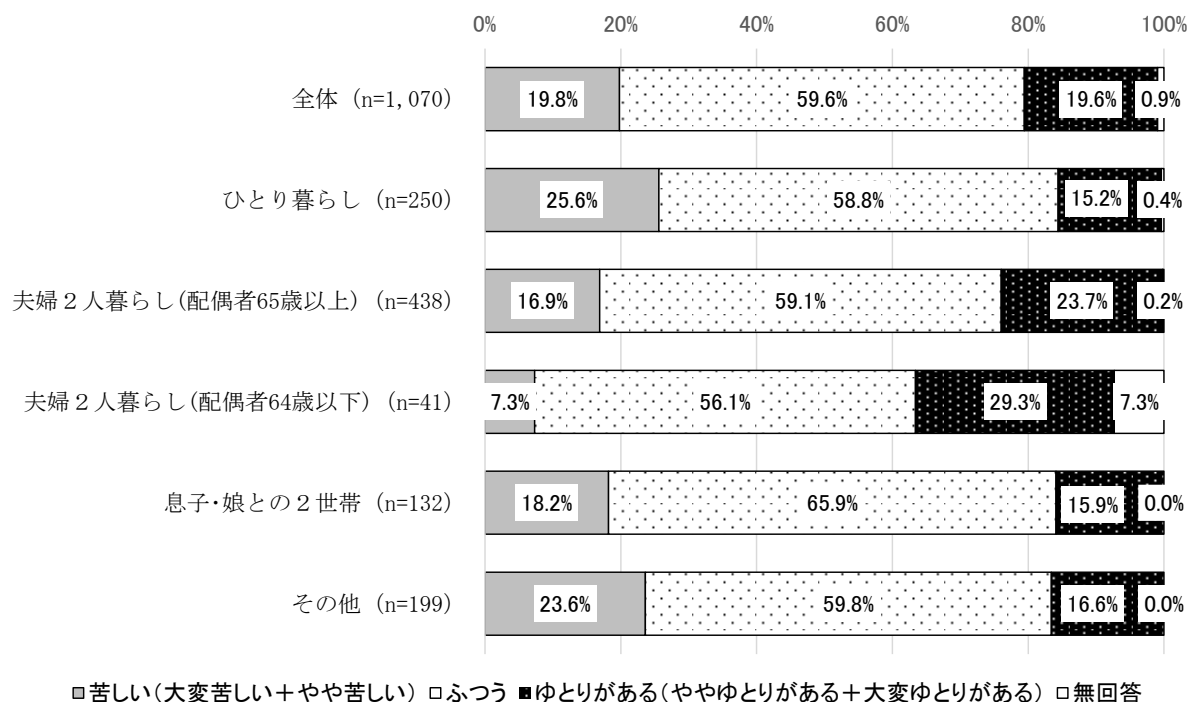
家族構成別にBMIをみると、「ひとり暮らし」において「18.5未満」が14.0%となっている。



家族構成別にBMIをみると、「ひとり暮らし」において「20.0以下」が27.2%となっている。

#### 4. 家族構成別 現在の暮らしの経済的状況

＜家族構成別 現在の暮らしの経済的状況＞

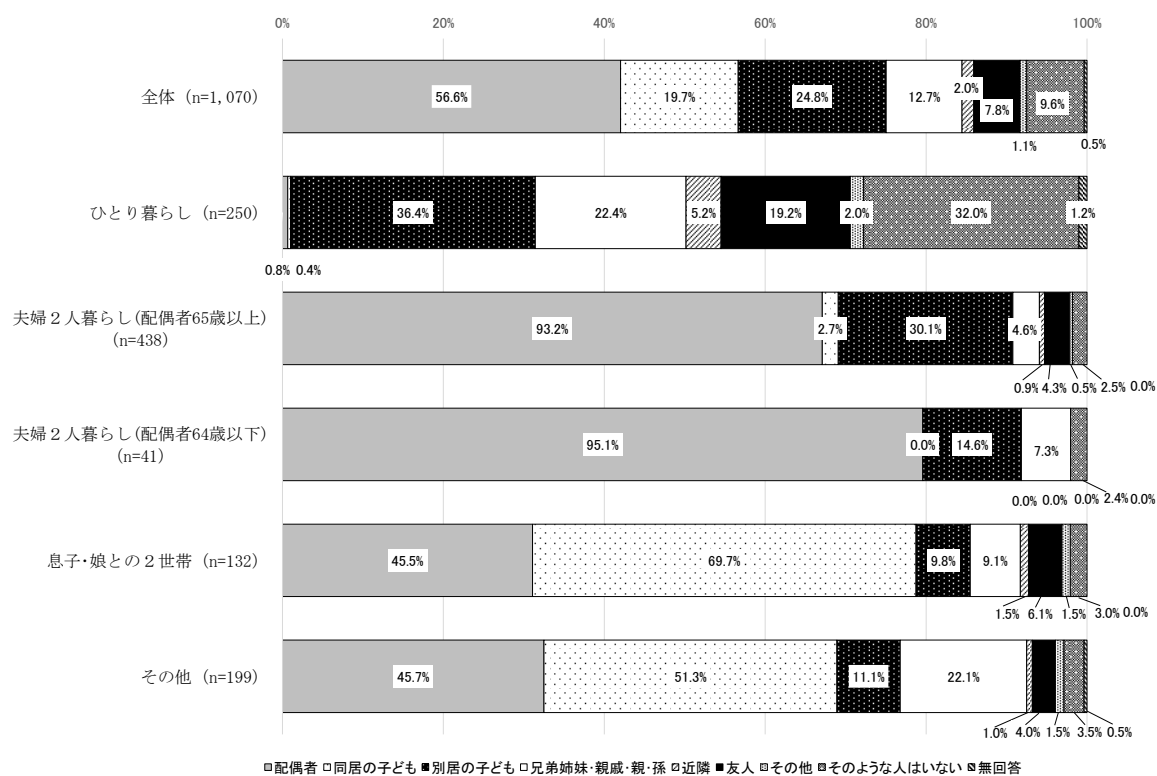


(注) 問6「現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)」の選択肢を用いて、「大変苦しい」と「やや苦しい」を「苦しい」、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」を「ゆとりがある」とした。

家族構成別に現在の暮らしの経済的状況を見ると、「ひとり暮らし」において「苦しい」が25.6%となっている。

## 5. 家族構成別 たすけあいの状況

### <家族構成別 看病や世話をしてくれる人>

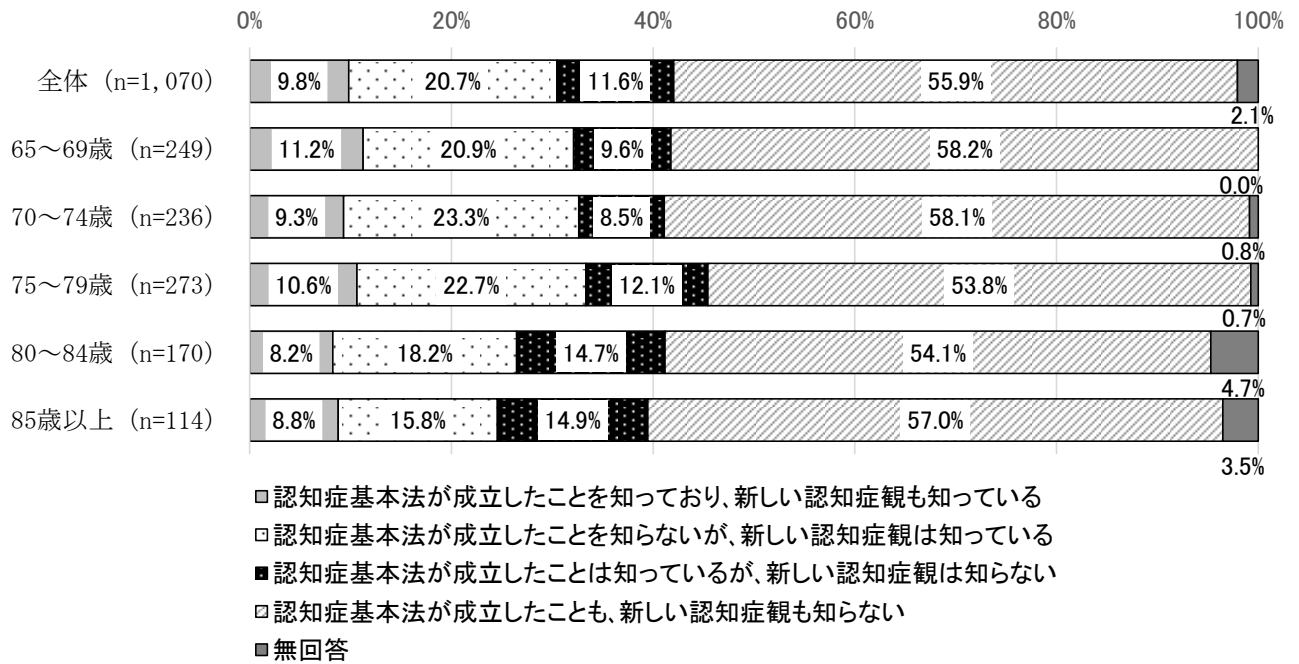


家族構成別に病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人をみると、「ひとり暮らし」では「別居の子ども」が36.4%、「そのような人はいない」が32.0%となっている。

### 第3節 調査結果（認知症に関する集計）

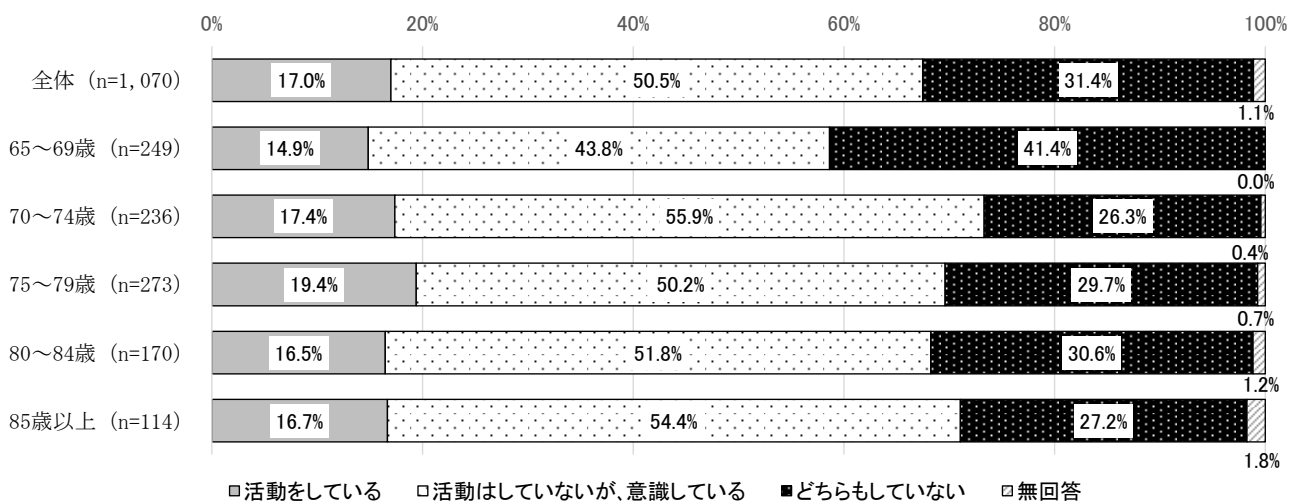
#### 1. 年齢別 認知症基本法の成立及び「新しい認知症観」の認知度、認知機能低下の予防に向けた活動

年齢別 認知症基本法の成立及び「新しい認知症観」の認知度



年齢別に認知症基本法の成立及び「新しい認知症観」の認知度をみると、「80歳以上」と比較して「79歳以下」では「新しい認知症観」の認知度の割合が高い傾向がみられた。

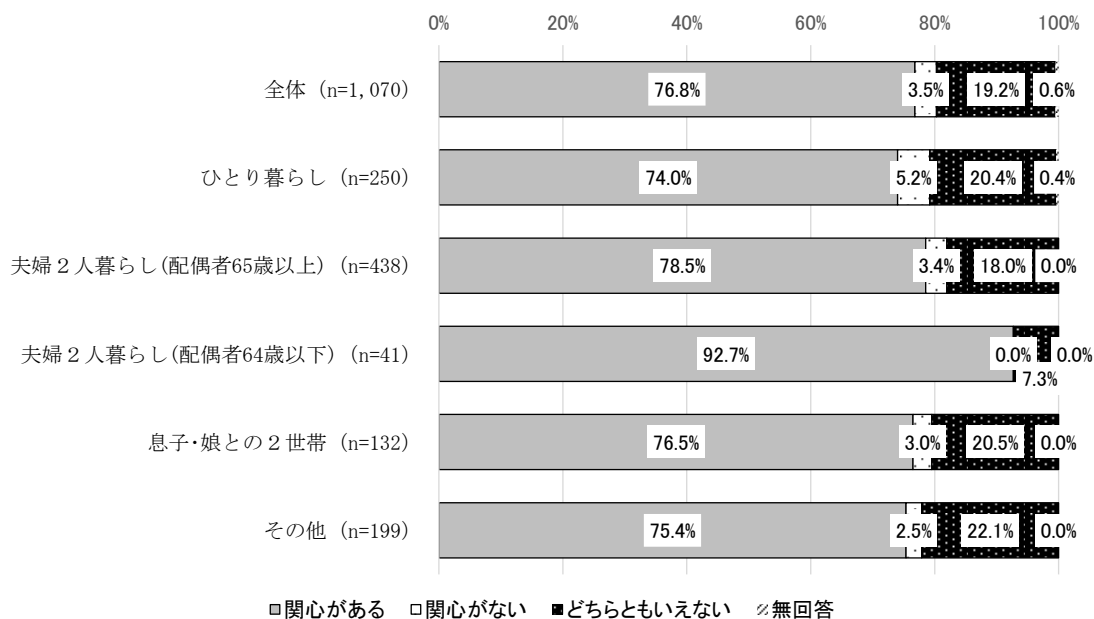
<年齢別 認知機能低下の予防に向けた活動>



年齢別に実際に認知機能低下の予防に向けた活動をしているかをみると、「65～69歳」では、他の年齢階級と比べて、「活動をしている」及び「活動はしていないが、意識している」の合計の割合が低い傾向がみられた。

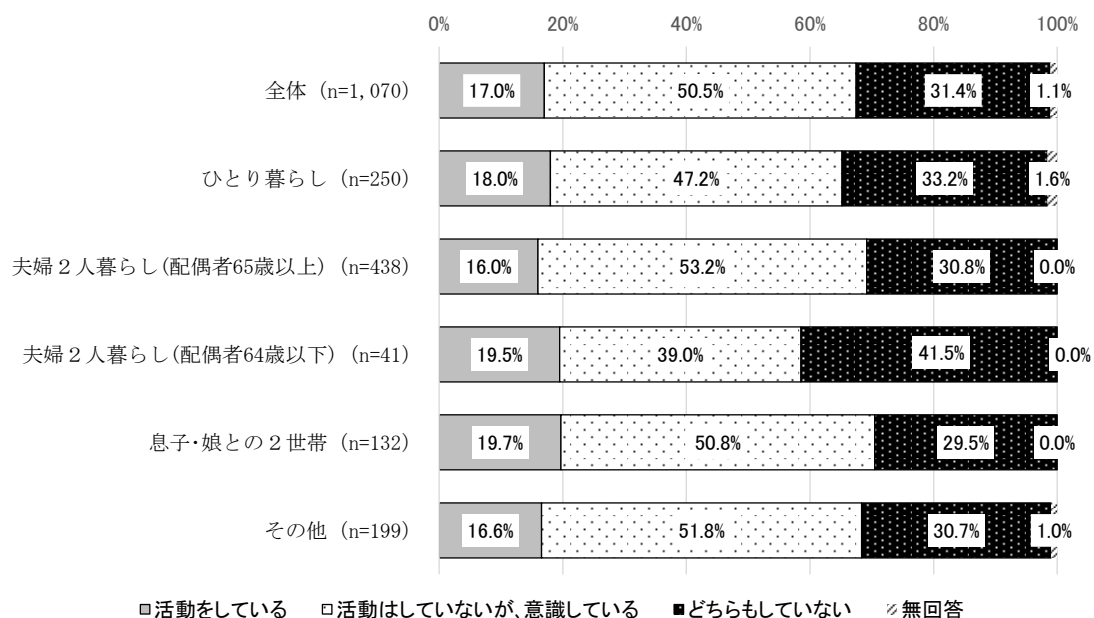
## 2. 家族構成別 認知機能低下の予防への関心、認知機能低下の予防に向けた活動状況

### <家族構成別 認知機能低下の予防への関心>



家族構成別に認知機能低下の予防への関心をみると、「関心がある」の割合は、「ひとり暮らし」で74.0%となっている。

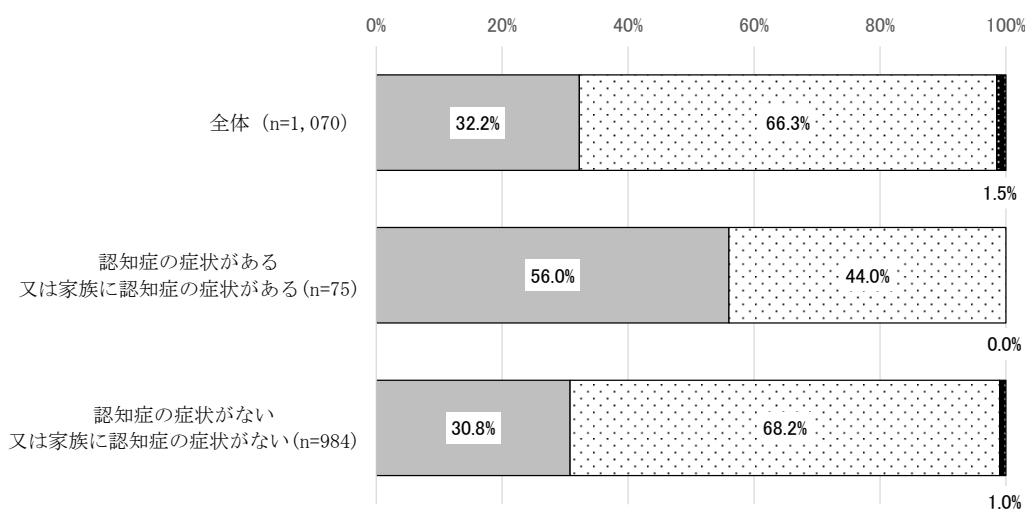
### <家族構成別 認知機能低下の予防に向けた活動状況>



家族構成別に認知機能低下の予防に向けた活動状況をみると、「活動はしていないが、意識している」の割合は、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」で53.2%となっている。

### 3. 認知症の有無（本人又は家族）別 認知症に関する相談窓口の認知

#### <認知症の有無（本人又は家族）別 認知症に関する相談窓口の認知>

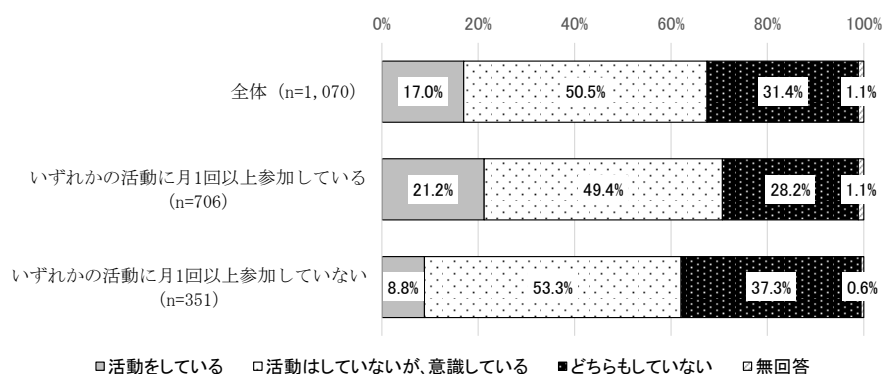


□はい(認知症に関する相談窓口を知っている) □いいえ(認知症に関する相談窓口を知らない) ■無回答

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状があると回答した75人のうち、認知症に関する相談窓口を知らないのは44.0%となっている。

### 4. 社会参加の有無別 認知機能低下の予防に向けた活動の状況

#### <社会参加（いずれかの活動に月1回以上参加）の有無別 認知機能低下の予防に向けた活動状況>



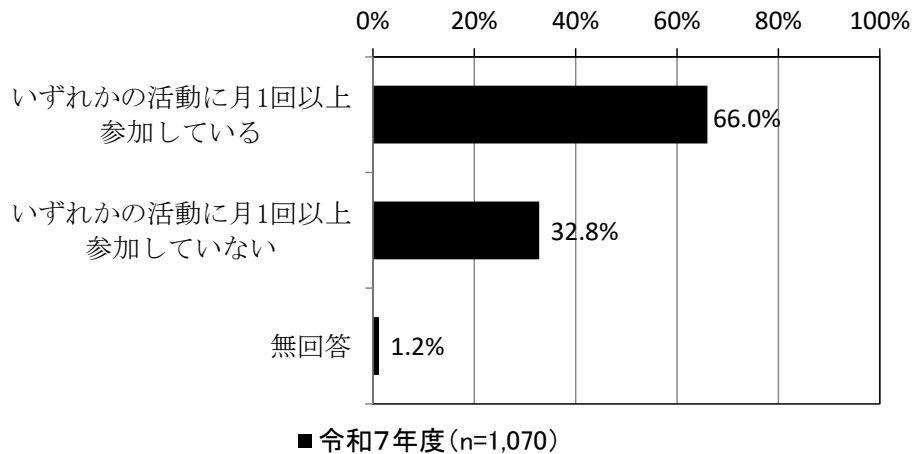
社会参加（いずれかの活動に月1回以上参加）の有無別に実際に認知機能低下の予防に向けた活動をしているかをみると、「いずれかの活動に月1回以上参加している」では「いずれかの活動に月1回以上参加していない」よりも、認知機能低下の予防に向けた活動をしている割合が高い傾向がみられた。実際に認知機能低下の予防に向けた活動をしている人の割合は、「いずれかの活動に月1回以上参加している」で21.2%、「いずれかの活動に月1回以上参加していない」で8.8%となっている。

## 第4節 調査結果（社会参加に関する集計）

### 1. 集計の前提

本節では、問28「以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。（それぞれについて○は1つ）」の回答を用い、いずれかの活動に月1回以上参加しているかどうかをもって、社会参加の有無を定義した。

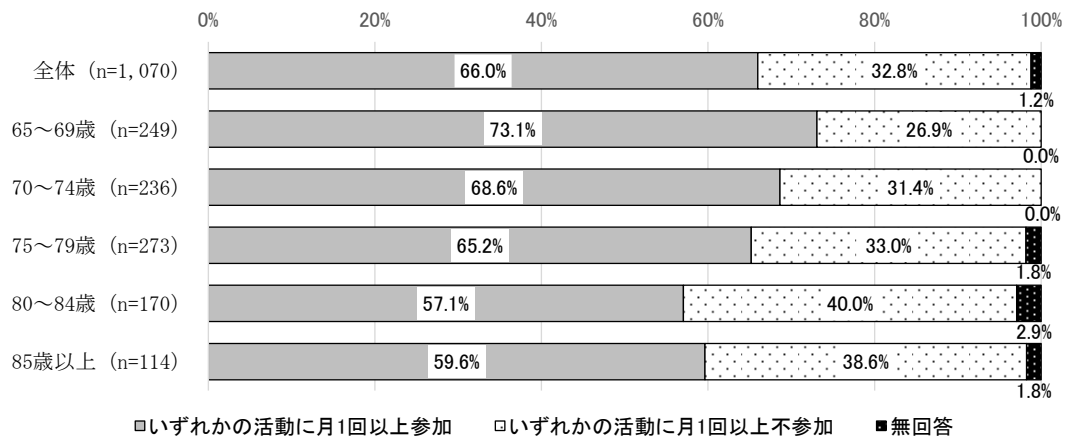
＜いずれかの活動に月1回以上参加している割合＞



いずれかの活動に月1回以上参加している割合は66.0%、月1回以上参加していない割合は32.8%となっている。

### 2. 年齢別 社会参加の有無

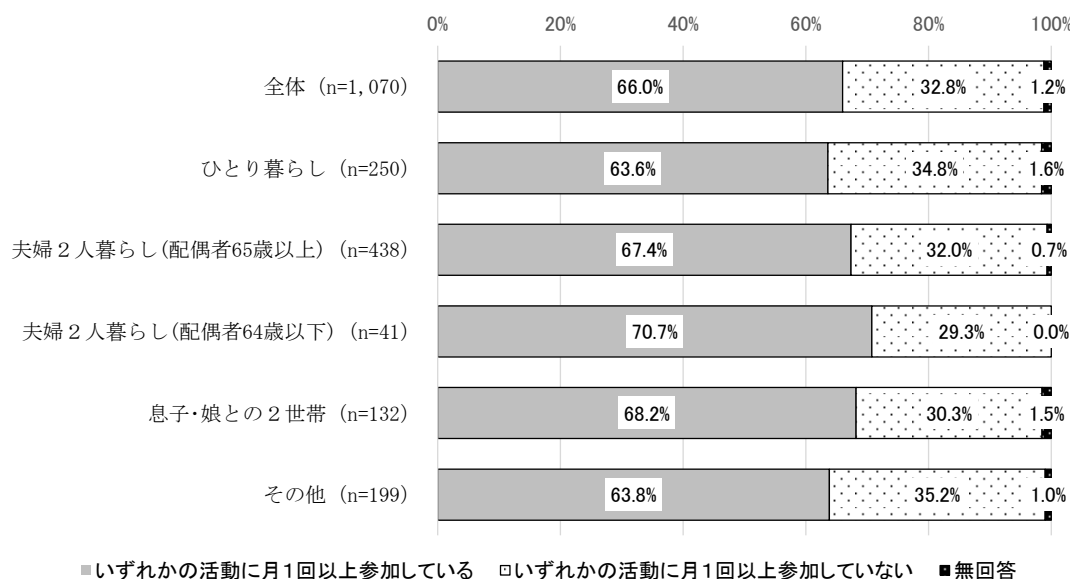
＜年齢別 社会参加（いずれかの活動に月1回以上参加）の有無＞



年齢別にいずれかの活動に月1回以上参加している割合をみると、年齢が低いほど、いずれかの活動に月1回以上参加している割合が高い傾向がみられた。いずれかの活動に月1回以上参加している割合は、「65～69歳」では73.1%と最も高く、「80～84歳」では57.1%と最も低かった。

### 3. 家族構成別 社会参加の有無

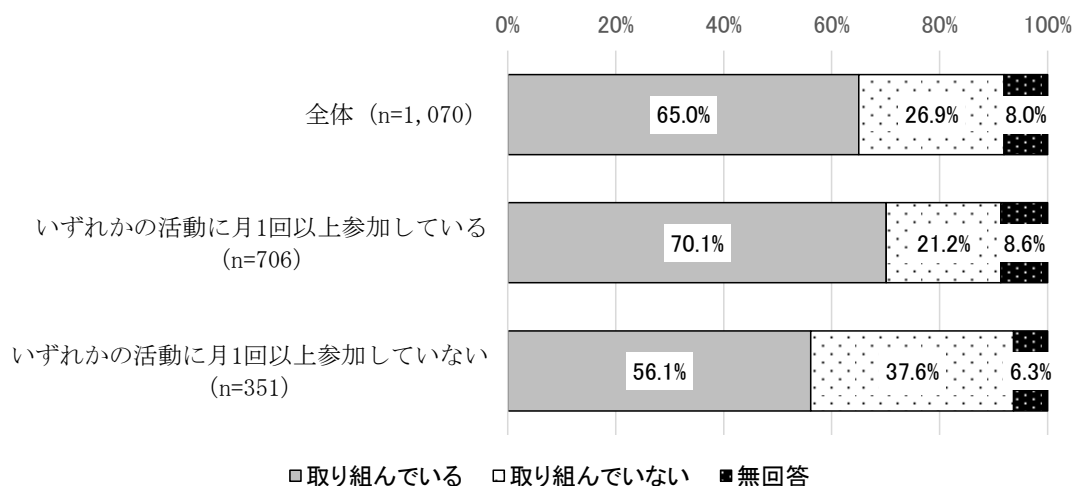
＜家族構成別 社会参加（いずれかの活動に月1回以上参加）の有無＞



家族構成別にいずれかの活動に月1回以上参加している割合をみると、「ひとり暮らし」で63.6%となっている。

### 4. 健康維持や介護予防の取組との関係

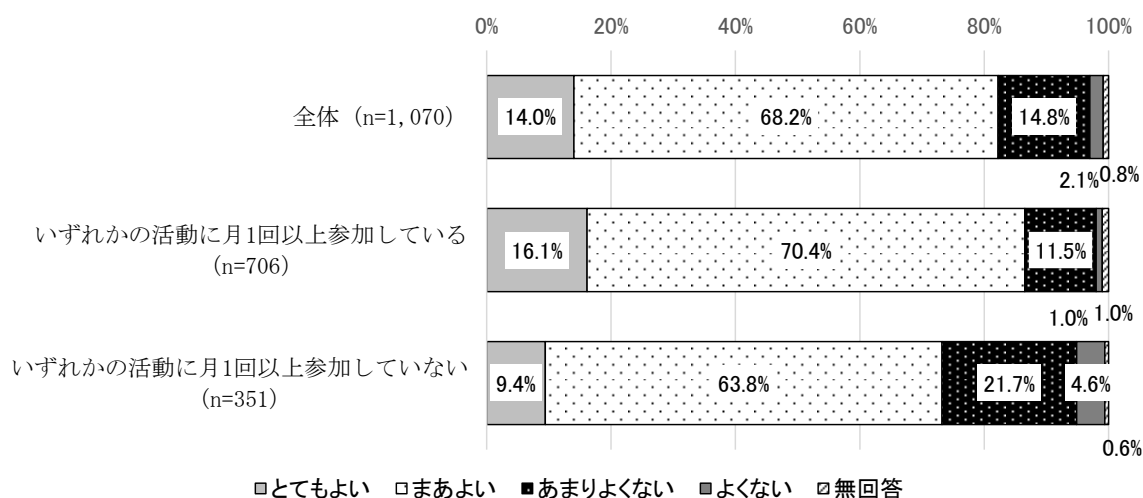
＜社会参加（いずれかの活動に月1回以上参加）の有無別 健康維持や介護予防の取組の有無＞



社会参加（いずれかの活動に月1回以上参加している）と健康維持や介護予防の取組の有無の関係をみると、「いずれかの活動に月1回以上参加している」では「いずれかの活動に月1回以上参加していない」よりも、健康維持や介護予防に取り組んでいる割合が高い傾向がみられた。普段から健康維持や介護予防に「取り組んでいる」の割合は、「いずれかの活動に月1回以上参加している」で70.1%、「いずれかの活動に月1回以上参加していない」で56.1%となっている。

## 5. 主観的健康状態・幸福度との関係

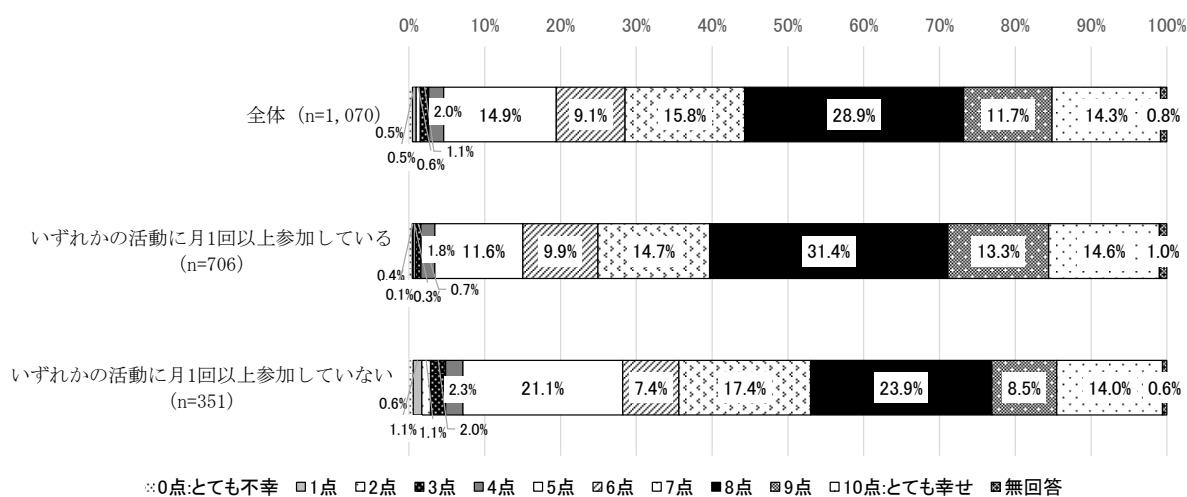
### ＜社会参加（いずれかの活動に月1回以上参加）の有無別 主観的健康状態＞



社会参加（いずれかの活動に月1回以上参加）と主観的健康状態の関係をみると、「いずれかの活動に月1回以上参加している」では「いずれかの活動に月1回以上参加していない」よりも、主観的健康状態が「とてもよい」と「まあよい」が高い傾向がみられた。

主観的健康状態が「とてもよい」の割合は、「いずれかの活動に月1回以上参加している」で16.1%、「いずれかの活動に月1回以上参加していない」で9.4%となっている。

### ＜社会参加（いずれかの活動に月1回以上参加）の有無別 主観的幸福度＞



社会参加（いずれかの活動に月1回以上参加している）と主観的幸福度の関係をみると、「いずれかの活動に月1回以上参加している」では「いずれかの活動に月1回以上参加していない」よりも、主観的幸福度が高い傾向がみられた。

## 第5節 調査結果（フレイル等に関する集計）

### 1. 集計の前提

本調査では、本市における一般高齢者のフレイル<sup>2</sup>に係る現状を把握するため、高齢者の生活機能を評価し、要介護状態となるリスクを予測することを目的に開発された「基本チェックリスト」25項目<sup>3</sup>を調査票に盛り込んだ。

フレイルかどうかの判定については、Satake et al. (2016)<sup>4</sup>により提案された「基本チェックリスト」25項目中8項目以上に該当した場合をフレイルと判定する方法を採用した。

また、エビデンスを踏まえた介護予防マニュアル改訂委員会「介護予防マニュアル第4版」（令和4年3月）<sup>5</sup>において、7つの生活機能ごとに示されている判定基準に基づき、それぞれの機能について「リスクあり」と判定されるかどうかを評価した。

各指標の判定基準は以下のとおりである。

#### <フレイル>

- 基本チェックリスト25項目のうち8項目以上に該当で「フレイル」と判定。

#### <『介護予防マニュアル第4版』における7つの機能>

- 生活機能全般：基本チェックリストNo.1～20のうち10項目以上に該当でリスクありと判定。
- 運動機能：No.6～10の5項目のうち3項目以上に該当でリスクありと判定。
- 栄養状態：No.11～12の2項目すべてに該当でリスクありと判定。
- 口腔機能：No.13～15の3項目のうち2項目に該当でリスクありと判定。
- 閉じこもり：No.16に該当でリスクありと判定。
- 認知症：No.18～20の3項目のうちいずれか1項目に該当でリスクありと判定。
- うつ：No.21～25の5項目のうち2項目に該当でリスクありと判定。

なお、フレイル及び各機能の判定にあたっては、判定に用いる設問の回答が欠損している場合には、欠損数に応じて「判定不能」とする基準を設けて集計を行った。具体的には、各機能の判定に必要な設問数が一定数以上欠損している場合や、判定基準に該当しない場合には「判定不能」として扱い、集計対象から除外した。

---

<sup>2</sup> 『フレイル診療ガイド2018年版』（日本老年医学会／国立長寿医療研究センター、2018）によると、「『加齢に伴う予備能力低下のため、ストレスに対する回復力が低下した状態』を表す“frailty”の日本語訳として日本老年医学会が提唱した用語である。フレイルは、要介護状態に至る前段階として位置づけられるが、身体的脆弱性のみならず精神心理的脆弱性が社会的脆弱性などの多面的な問題を抱えやすく、自立障害や死亡を含む健康障害を招きやすいハイリスク状態を意味する。」と定義されている。

<sup>3</sup> エビデンスを踏まえた介護予防マニュアル改訂委員会「介護予防マニュアル第4版」（令和4年3月）  
（<https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/001238550.pdf>）（最終検索日：2026年3月30日）

<sup>4</sup> Satake S, et al. “Validity of the Kihon Checklist for assessing frailty status.” *Geriatr Gerontol Int.* 2016;16(6):709-715

<sup>5</sup> エビデンスを踏まえた介護予防マニュアル改訂委員会「介護予防マニュアル第4版」（令和4年3月）  
（<https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/001238550.pdf>）（最終検索日：2026年3月30日）

＜例：基本チェックリスト 25 項目のうち 8 項目以上に該当で「フレイル」と判定の場合＞

欠損の数	フレイルあり	フレイルなし	判定不能
1	8 点以上	6 点以下	7 点
2	8 点以上	5 点以下	6-7 点
3	8 点以上	4 点以下	5-7 点
4	8 点以上	3 点以下	4-7 点
5	8 点以上	2 点以下	3-7 点
6	8 点以上	1 点以下	2-7 点
7	8 点以上	0 点	1-7 点
8 個以上	8 点以上	-	-

(注) 欠損が 8 個以上の場合「8 点以上」の場合を除き「判定不能」として集計

＜基本チェックリスト＞

No.	質問項目	回答 (いずれかに○を お付け下さい)	
		0.はい	1.いいえ
1	バスや電車で 1 人で外出していますか	0.はい	1.いいえ
2	日用品の買物をしていますか	0.はい	1.いいえ
3	預貯金の出し入れをしていますか	0.はい	1.いいえ
4	友人の家を訪ねていますか	0.はい	1.いいえ
5	家族や友人の相談にのっていますか	0.はい	1.いいえ
6	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	0.はい	1.いいえ
7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	0.はい	1.いいえ
8	15 分位続けて歩いていますか	0.はい	1.いいえ
9	この 1 年間に転んだことがありますか	1.はい	0.いいえ
10	転倒に対する不安は大きいですか	1.はい	0.いいえ
11	6 ヶ月間で 2～3kg 以上の体重減少がありましたか	1.はい	0.いいえ
12	身長 cm 体重 kg (BMI= ) (注)		
13	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1.はい	0.いいえ
14	お茶や汁物等でむせることがありますか	1.はい	0.いいえ
15	口の渇きが気になりますか	1.はい	0.いいえ
16	週に 1 回以上は外出していますか	0.はい	1.いいえ
17	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1.はい	0.いいえ
18	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると云われますか	1.はい	0.いいえ
19	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	0.はい	1.いいえ
20	今日が何月何日かわからない時がありますか	1.はい	0.いいえ
21	(ここ 2 週間)毎日の生活に充実感がない	1.はい	0.いいえ
22	(ここ 2 週間)これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	1.はい	0.いいえ
23	(ここ 2 週間)以前は案にできていたことが今ではおっくうに感じられる	1.はい	0.いいえ
24	(ここ 2 週間)自分が役に立つ人間だと思えない	1.はい	0.いいえ
25	(ここ 2 週間)わけもなく疲れたような感じがする	1.はい	0.いいえ

(注) BMI=体重 (kg) ÷身長 (m) ÷身長 (m) が 18.5 未満の場合に該当とする。

出典：エビデンスを踏まえた介護予防マニュアル改訂委員会「介護予防マニュアル第 4 版」(令和 4 年 3 月)より一部改変

基本チェックリスト (上表) は「はい」「いいえ」の 2 択で構成されており、ここでの「該当」は、回答が「1. はい」または「1. いいえ」に該当することを指す (No. 12 を除く)。

本調査では、基本チェックリストの各項目について、高齢者の介護予防・日常生活アンケート調査の設問のうち、内容が同等と判断できるものを対応させ、不足する項目は新たに設問を追加した。そのため、設問文や選択肢の表現に一部相違のある項目がある。基本チェックリスト 25 項目とアンケート調査項目との対応関係は、次の表に示す<sup>6</sup>。

<sup>6</sup> アンケート調査項目の選択肢と基本チェックリストの選択肢との対応付けについては、『高齢者の社会参加とフレイルの関連：JAGES2016-2019 縦断研究』(竹内、井手、林、阿部、中込、近藤、2023) を参考に判定基準を設定した。

**<基本チェックリスト 25 項目とアンケート設問の対応一覧>**

基本チェックリスト		アンケート設問	
1	バスや電車で1人で外出していますか	問 27④	バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (※1)
2	日用品の買い物をしていますか	問 27⑤	自分で食品・日用品の買い物をしていますか(※1)
3	預貯金の出し入れをしていますか	問 27⑧	自分で預貯金の出し入れをしていますか (※1)
4	友人の家を訪ねていますか	問 27⑨	—
5	家族や友人の相談にのっていますか	問 27⑩	—
6	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	問 13	— (※1)
7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	問 14	— (※1)
8	15分位続けて歩いていますか	問 15	— (※1)
9	この1年間に転んだことがありますか	問 16	過去1年間に転んだ経験がありますか (※2)
10	転倒に対する不安は大きいですか	問 17	— (※3)
11	6ヵ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	問 25	—
12	身長 cm 体重 kg (BMI=) (注) (注) BMI = 体重 (kg) ÷ 身長 (m) ÷ 身長 (m) が 18.5 未満の場合に該当とする。	問2 (3)	—
13	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	問 21	—
14	お茶や汁物等でむせることがありますか	問 22	—
15	口の渇きが気になりますか	問 23	—
16	週に1回以上は外出していますか	問 18	— (※4)
17	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	問 19	— (※5)
18	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると 言われますか	問 27①	—
19	自分で電話番号を調べて、電話をかけることを していますか	問 27②	—
20	今日が何月何日かわからない時がありますか	問 27③	—
21	(ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない	問 40①	—
22	(ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが 楽しめなくなった	問 40②	—
23	(ここ2週間) 以前は楽にできていたことが今は おっくうに感じられる	問 40③	—
24	(ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない	問 40④	—
25	(ここ2週間) わけもなく疲れたような感じが する	問 40⑤	—

※1 選択肢は「1.できるし、している」「2.できるけどしていない」「3.できない」である。1は「はい」、2および3は「いいえ」として判定した。

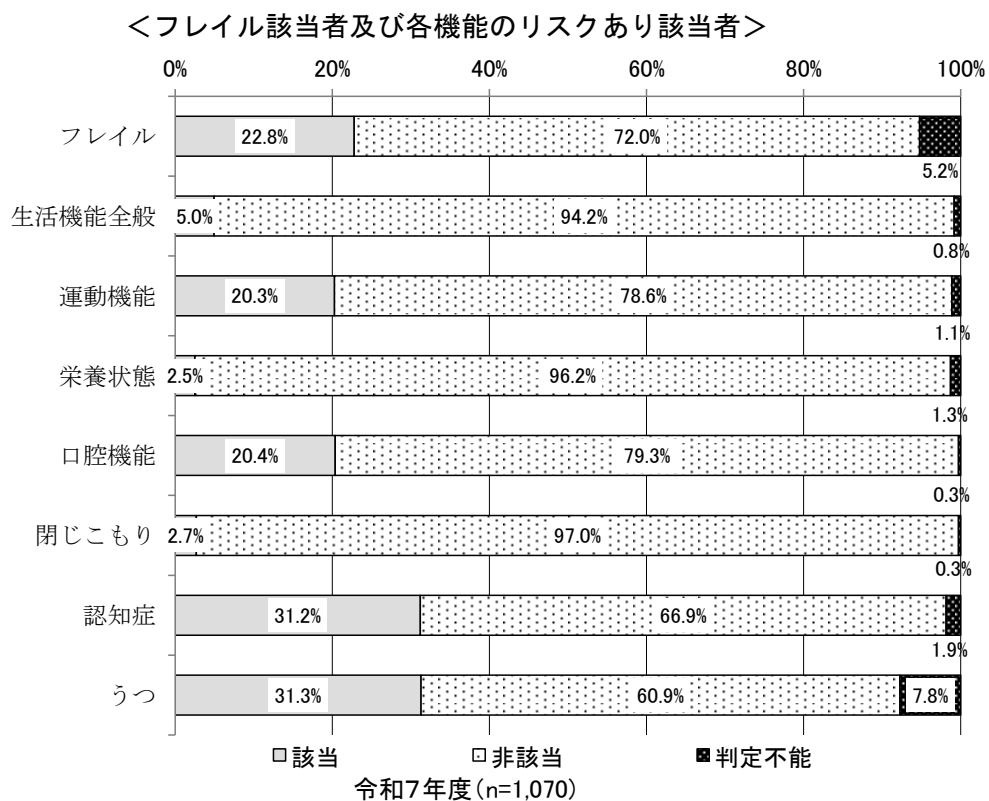
※2 選択肢は「1. 何度もある」「2. 1度ある」「3. ない」である。1と2は「はい」、3は「いいえ」として判定した。

※3 選択肢は「1. とても不安である」「2. やや不安である」「3. あまり不安でない」「4. 不安でない」である。1と2は「はい」、3と4は「いいえ」として判定した。

※4 選択肢は「1. ほとんど外出しない」「2. 週1回」「3. 週2～4回」「4. 週5回以上」である。1は「いいえ」、2と3と4は「はい」として判定した。

※5 選択肢は「1. とても減っている」「2. 減っている」「3. あまり減っていない」「4. 減っていない」である。1と2は「はい」、3と4は「いいえ」として判定した。

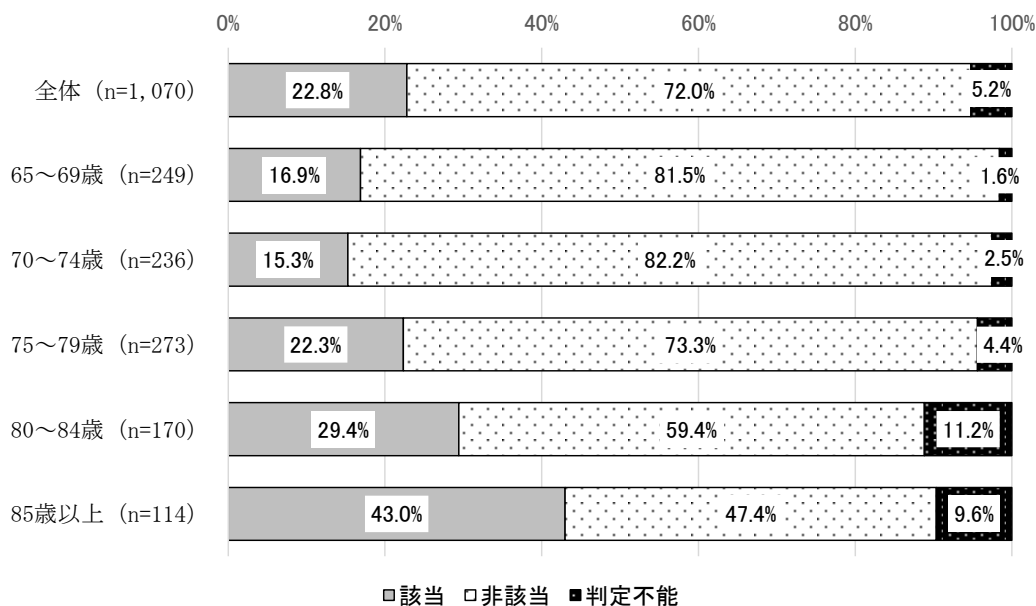
## 2. フレイル該当者及び各機能のリスクあり該当者



フレイルについては、回答のあった1,070人のうち、22.8%がフレイル該当者と判定された。その他、生活機能全般は5.0%、運動機能は20.3%、栄養状態は2.5%、口腔機能は20.4%、閉じこもりは2.7%、認知症は31.2%、うつは31.3%が「リスクあり」と判定された。

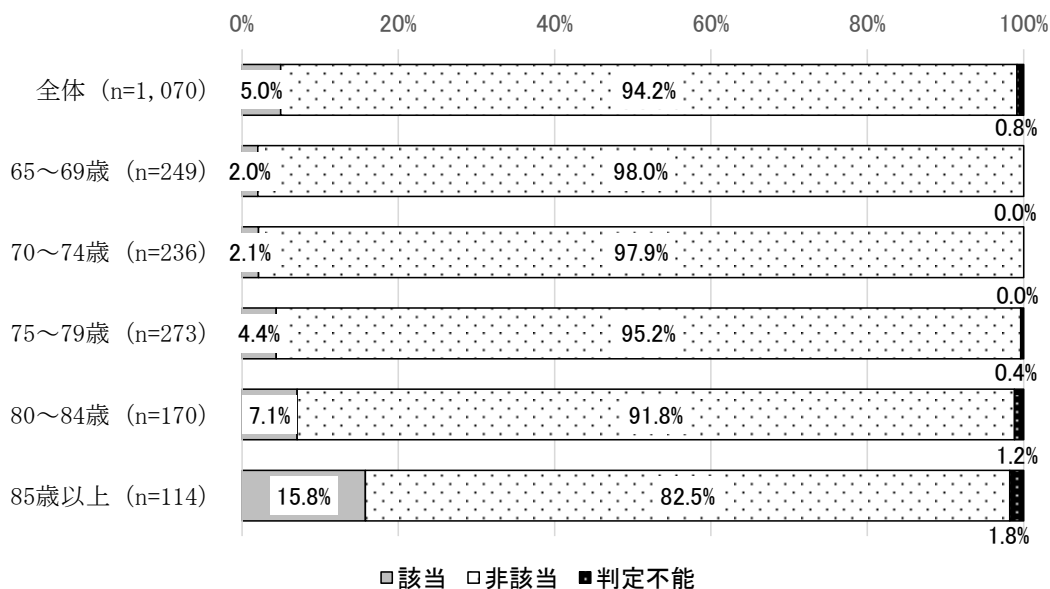
### 3. 年齢別 フレイル該当者及び各機能のリスクあり該当者

＜年齢別 フレイル該当性＞



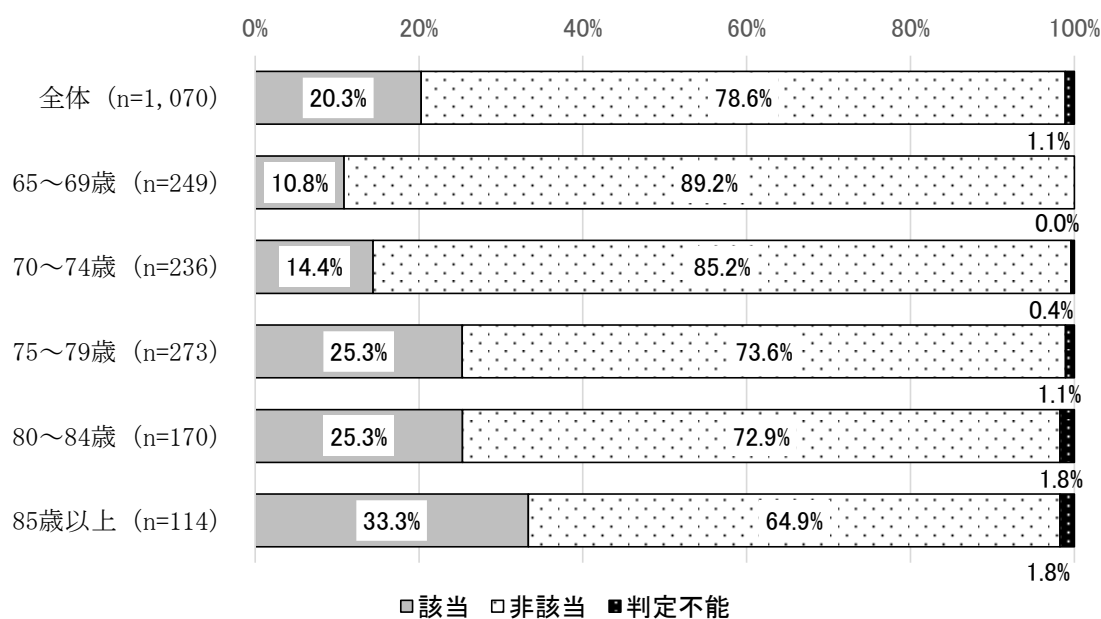
年齢とフレイルの関係をみると、年齢が高いほどフレイルの「リスクあり」と判定された人の割合が高い傾向がみられた。フレイルの「リスクあり」と判定された人の割合は、「85歳以上」で43.0%、「80～84歳」で29.4%となっている。

＜年齢別 生活機能全般のリスク該当性＞



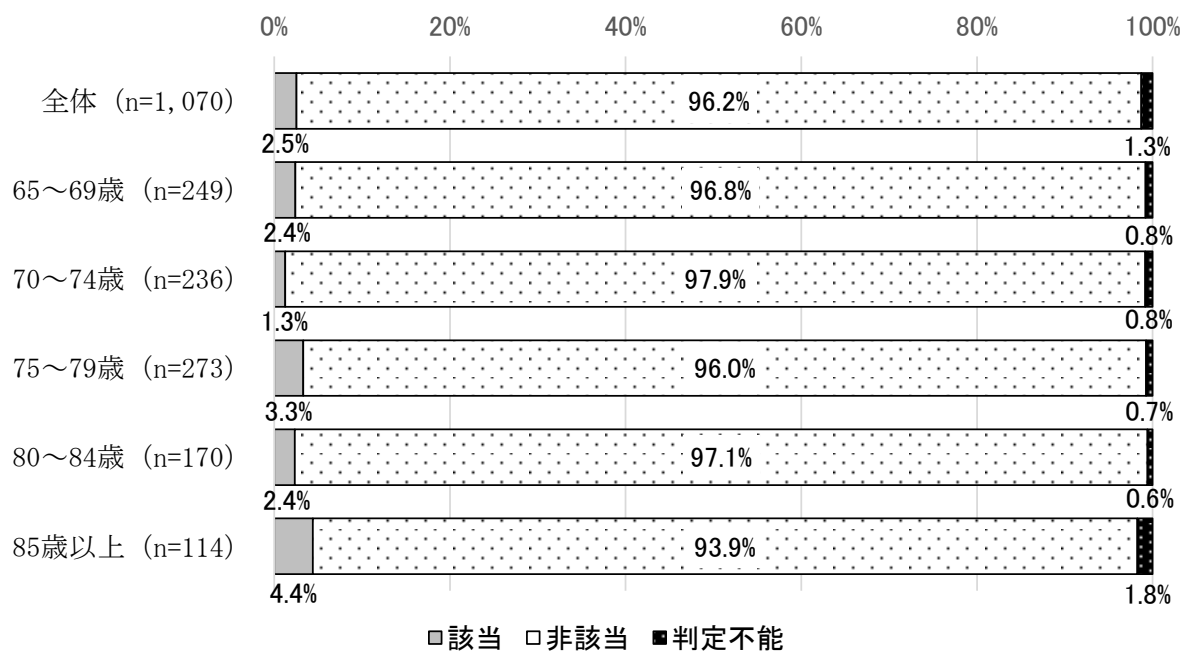
年齢と生活機能全般のリスクの関係をみると、年齢が高いほど生活機能全般の「リスクあり」と判定された人の割合が高い傾向がみられた。生活機能全般の「リスクあり」と判定された人の割合は、「85歳以上」で15.8%、「80～84歳」で7.1%となっている。

### <年齢別 運動機能のリスク該当性>



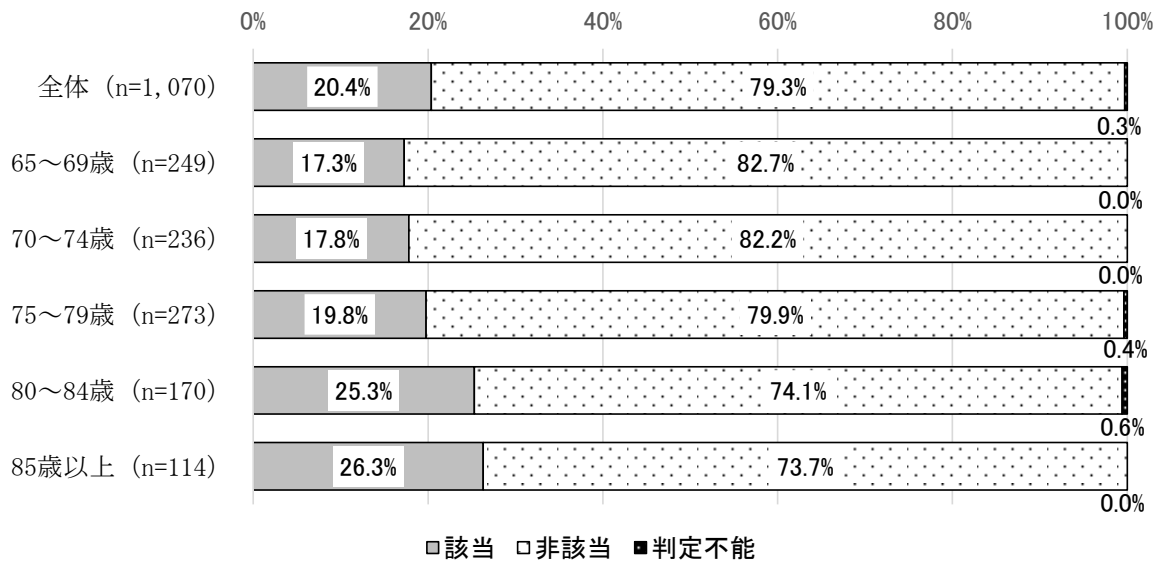
年齢と運動機能のリスクの関係を見ると、年齢が高いほど運動機能の「リスクあり」と判定された人の割合が高い傾向がみられた。運動機能の「リスクあり」と判定された人の割合は、「85歳以上」で33.3%、「80～84歳」で25.3%となっている。

### <年齢別 栄養状態のリスク該当性>



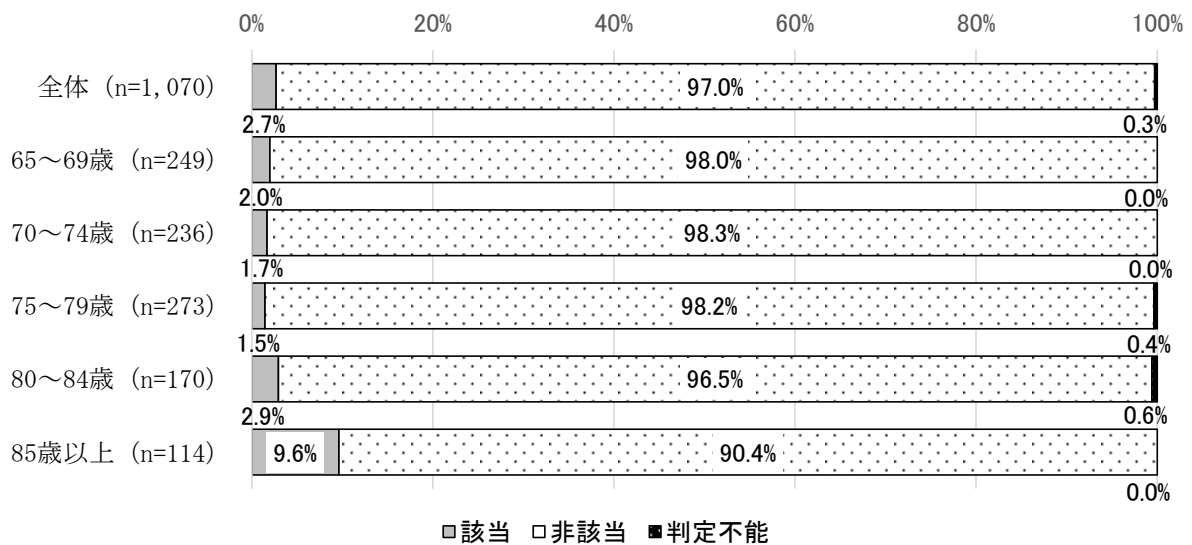
年齢と栄養状態のリスクの関係を見ると、栄養状態の「リスクあり」と判定された人の割合は、「85歳以上」で4.4%となっている。

<年齢別 口腔機能のリスク該当性>



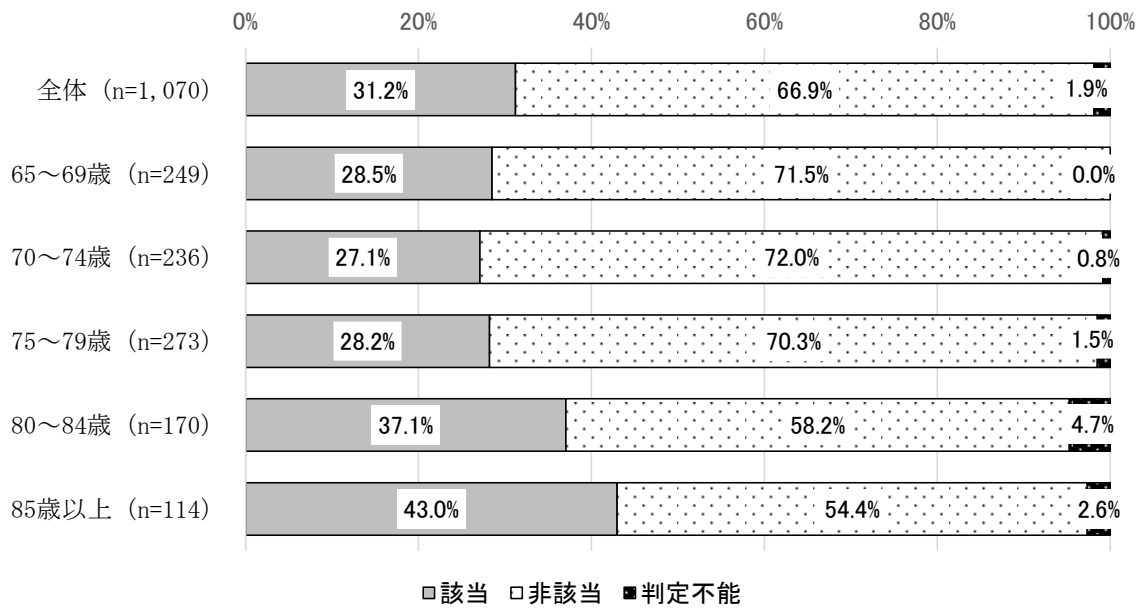
年齢と口腔機能のリスクの関係を見ると、年齢が高いほど口腔機能の「リスクあり」と判定された人の割合が高い傾向がみられた。口腔機能の「リスクあり」と判定された人の割合は、「85歳以上」で26.3%、「80～84歳」で25.3%となっている。

<年齢別 閉じこもりのリスク該当性>



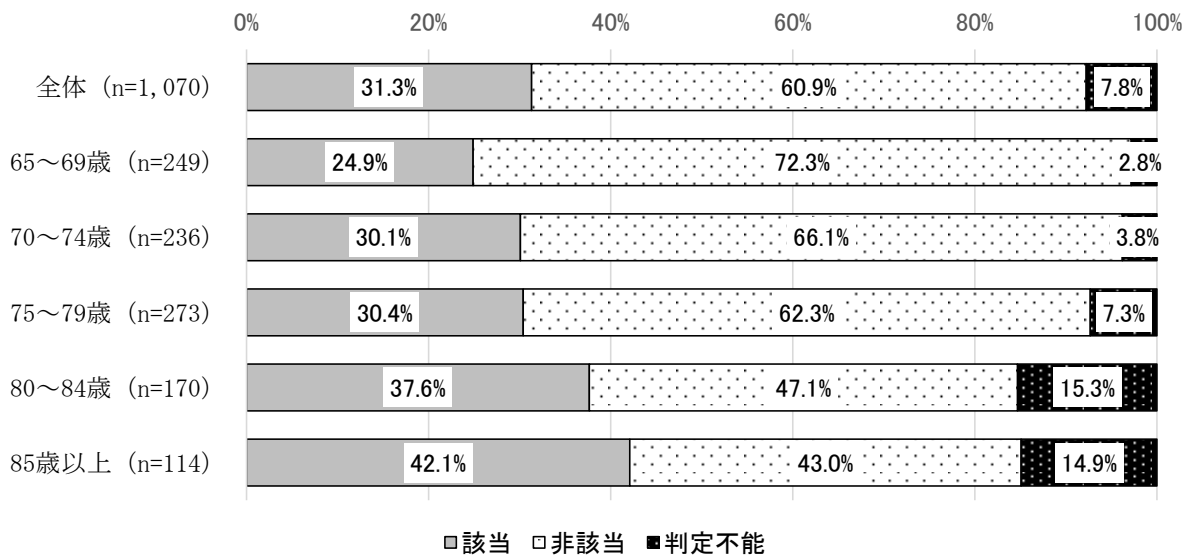
年齢と閉じこもりのリスクの関係を見ると、年齢が高いほど閉じこもりの「リスクあり」と判定された人の割合が高い傾向がみられた。閉じこもりの「リスクあり」と判定された人の割合は、「85歳以上」で9.6%、「80～84歳」で2.9%となっている。

<年齢別 認知症のリスク該当性>



年齢と認知症のリスクの関係を見ると、年齢が高いほど認知症の「リスクあり」と判定された人の割合が高い傾向がみられた。認知症の「リスクあり」と判定された人の割合は、「85歳以上」で43.0%、「80～84歳」で37.1%となっている。

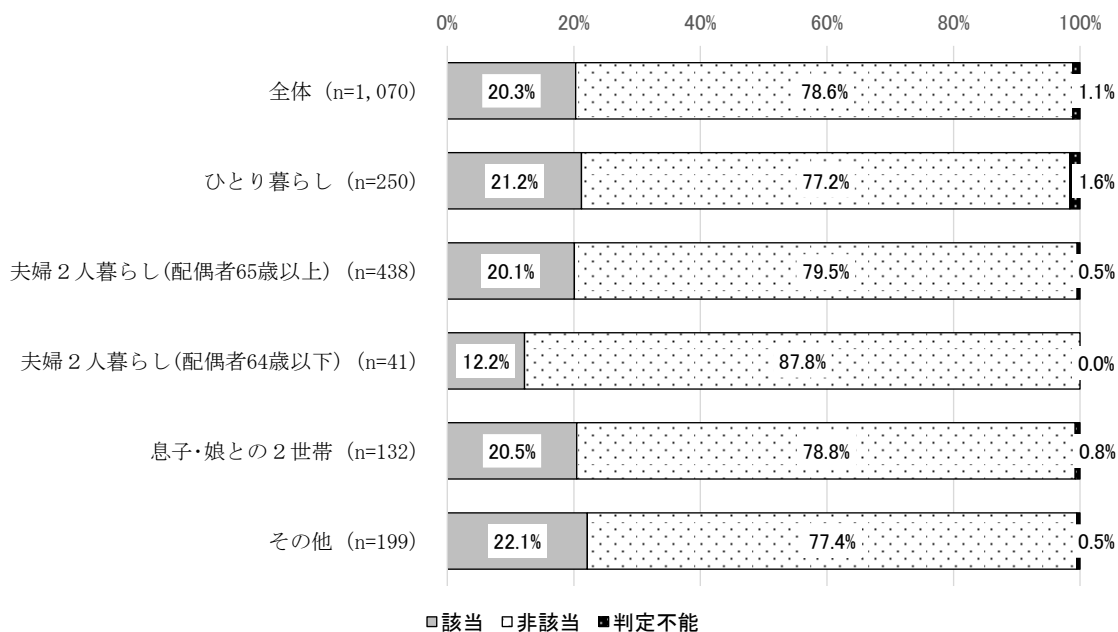
<年齢別 うつのリスク該当性>



年齢とうつのリスクの関係を見ると、年齢が高いほどうつの「リスクあり」と判定された人の割合が高い傾向がみられた。うつの「リスクあり」と判定された人の割合は、「85歳以上」で42.1%、「80～84歳」で37.6%となっている。

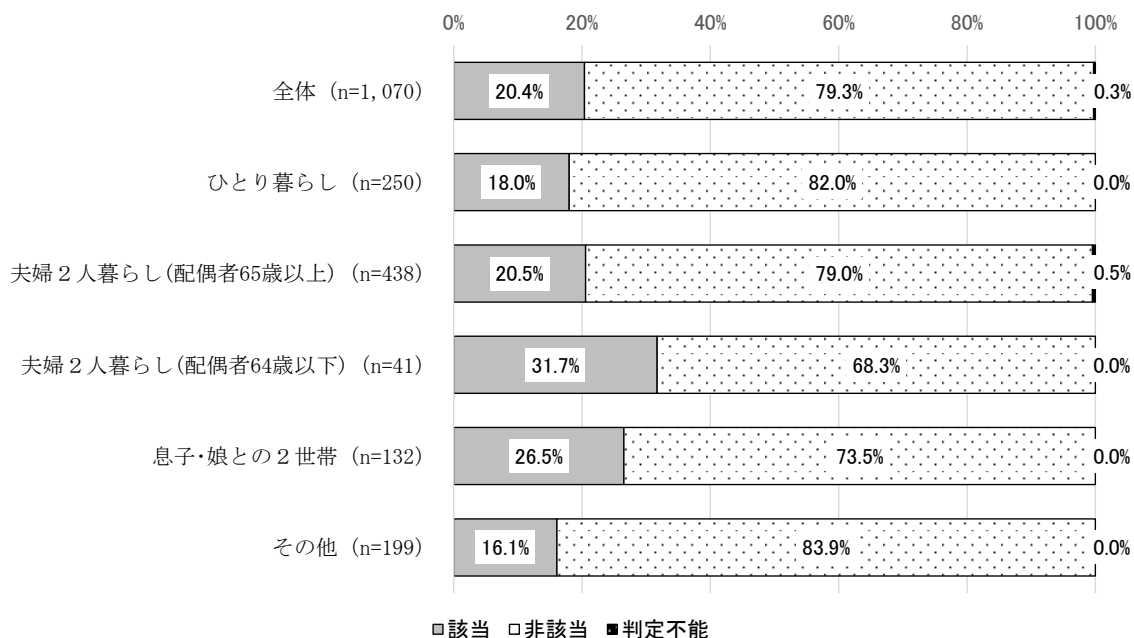
#### 4. 家族構成別 各機能のリスクあり該当者

＜家族構成別 運動機能のリスク該当性＞



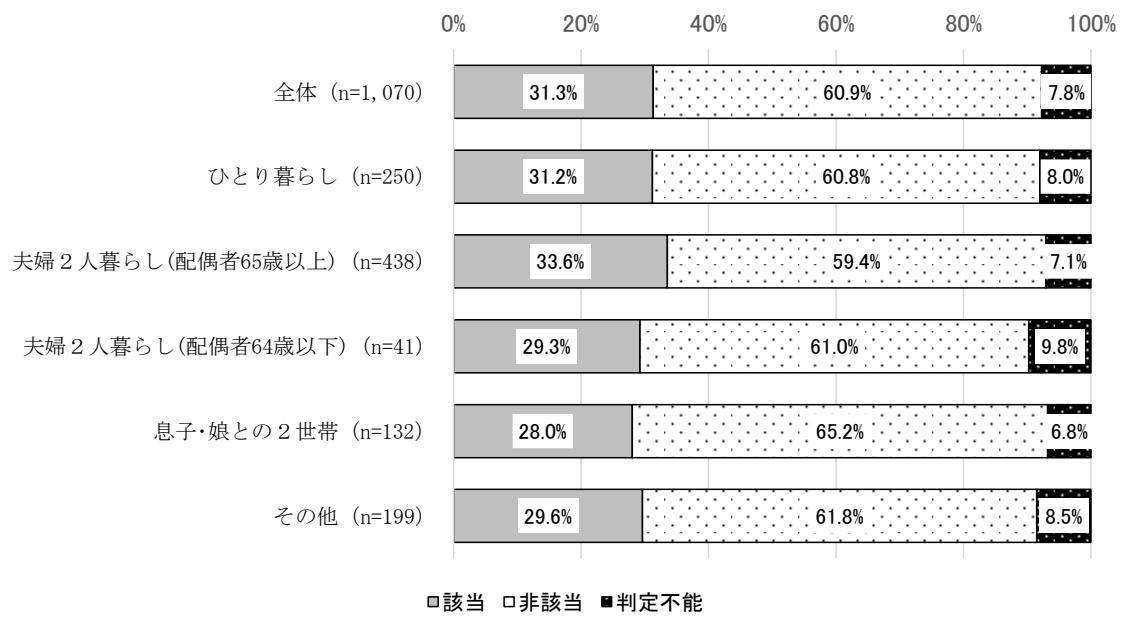
家族構成別に運動機能のリスクの関係を見ると、運動機能のリスクに該当する割合は「その他」の割合が最も高く 22.1%、次いで「ひとり暮らし」が 21.2%となっている。

＜家族構成別 口腔機能のリスク該当性＞



家族構成別に口腔機能のリスクの関係を見ると、口腔機能のリスクに該当する割合は、「ひとり暮らし」で 18.0%となっている。

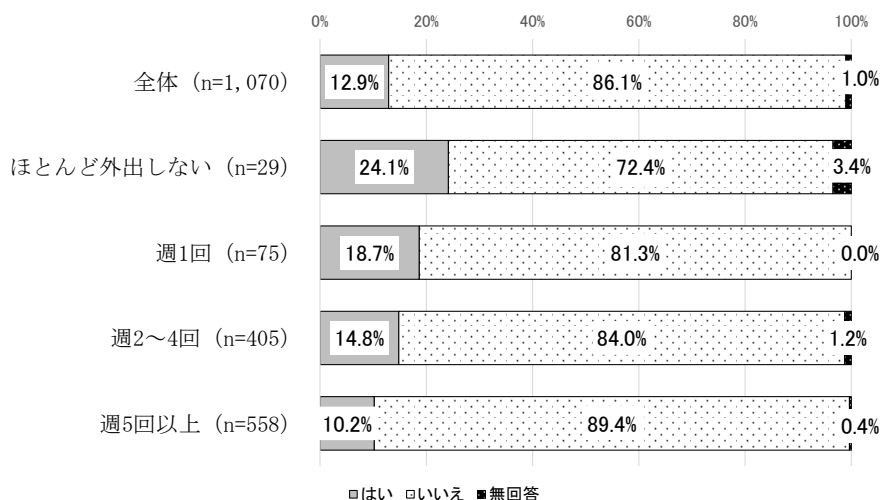
<家族構成別 うつのリスク該当性>



家族構成別にうつのリスクの関係をみると、うつのリスクに該当する割合は、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」で33.6%、「ひとり暮らし」で31.2%となっている。

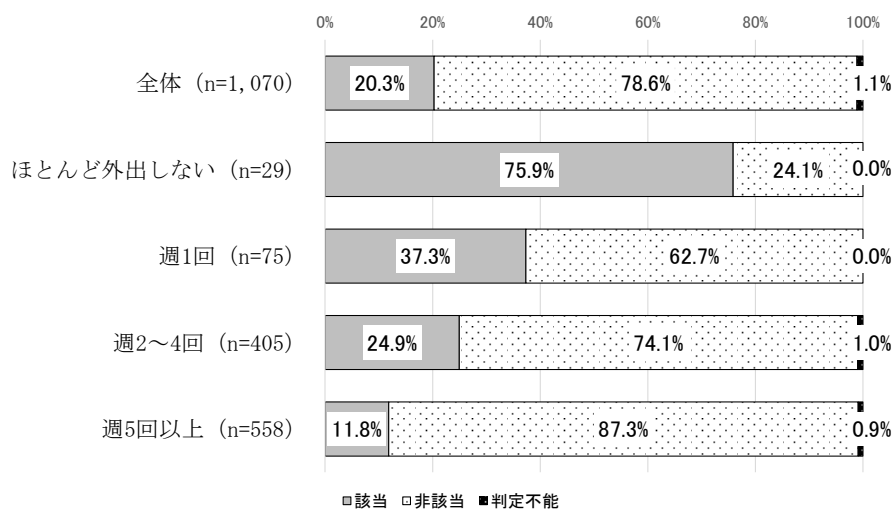
## 5. 外出頻度との関係

### <外出の頻度別 6か月間で2～3kg以上の体重減少>



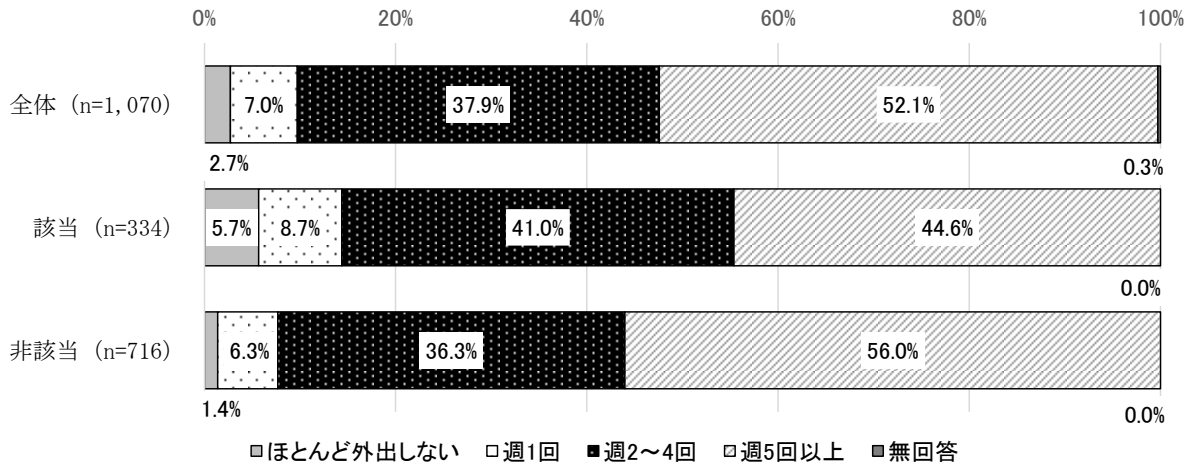
外出の頻度と体重減少の関係を見ると、外出の頻度が低いほど、6か月間で2～3kg以上の体重減少があった人の割合が高い傾向がみられた。6か月間で2～3kg以上の体重減少があった人の割合は、「ほとんど外出しない」で24.1%、「週1回」で18.7%となっている。

### <外出の頻度別 運動機能のリスク該当性>



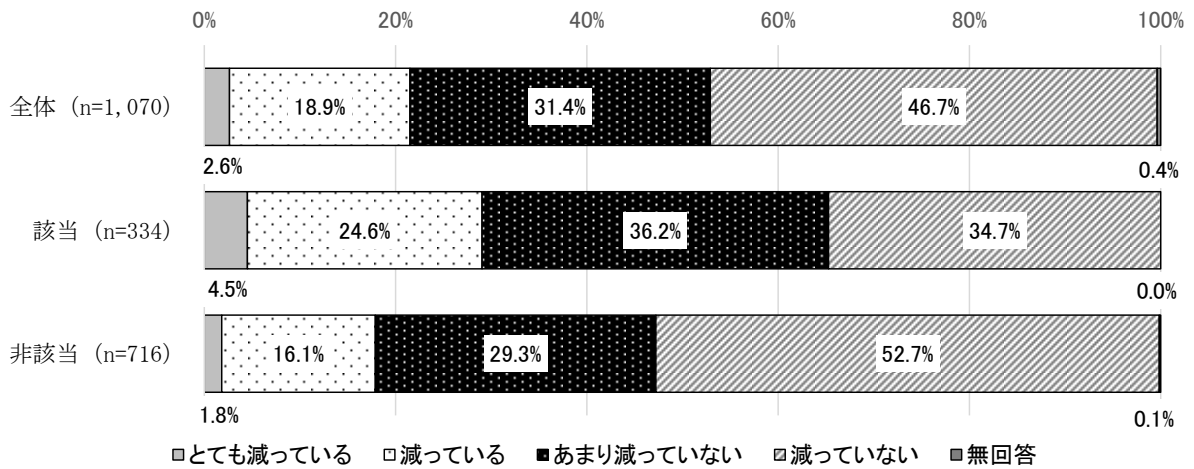
外出の頻度と運動機能の関係を見ると、外出の頻度が低いほど、運動機能の「リスクあり」と判定された人の割合が高い傾向がみられた。運動機能の「リスクあり」と判定された人の割合は、「ほとんど外出しない」では75.9%、「週1回」では37.3%となっている。

＜認知症のリスク該当有無別 外出の頻度＞



認知症のリスクと外出の頻度の関係を見ると、認知症の「リスクあり」と判定された人では外出の頻度が低い傾向がみられた。「ほとんど外出しない」の割合は、認知症の「リスクあり」と判定された人では5.7%、「リスクなし」と判定された人では1.4%となっている。

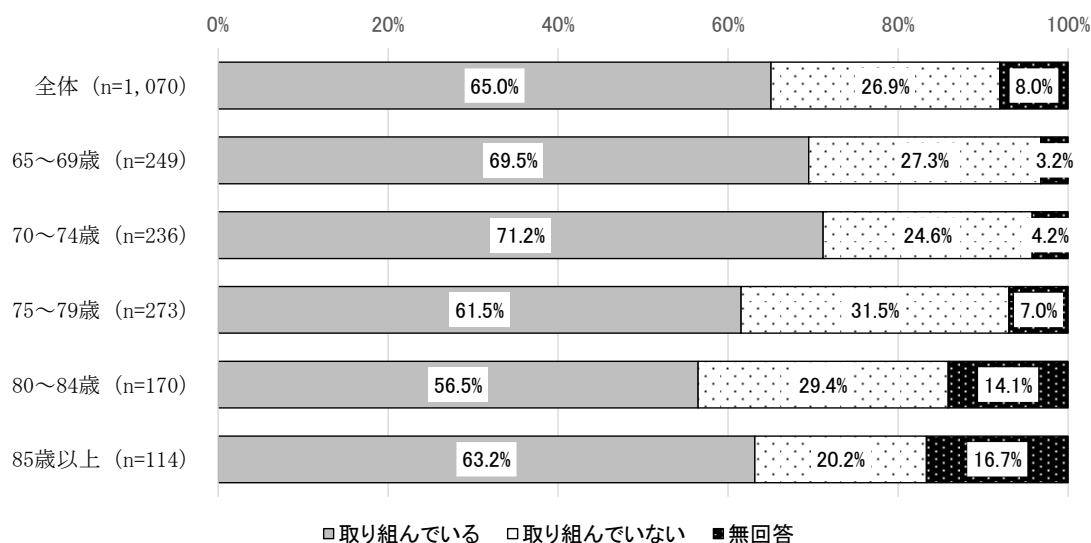
＜認知症のリスク該当有無別 昨年比の外出回数の減少＞



認知症のリスクと昨年比の外出回数との関係を見ると、認知症の「リスクあり」と判定された人では昨年比の外出回数が減っている傾向がみられた。外出回数を昨年と比べると、「とても減っている」の割合は、認知症の「リスクあり」と判定された人では4.5%、「リスクあり」と判定されなかった人では1.8%となっている。「減っている」の割合は、認知症の「リスクあり」と判定された人では24.6%、「リスクなし」と判定された人では16.1%となっている。

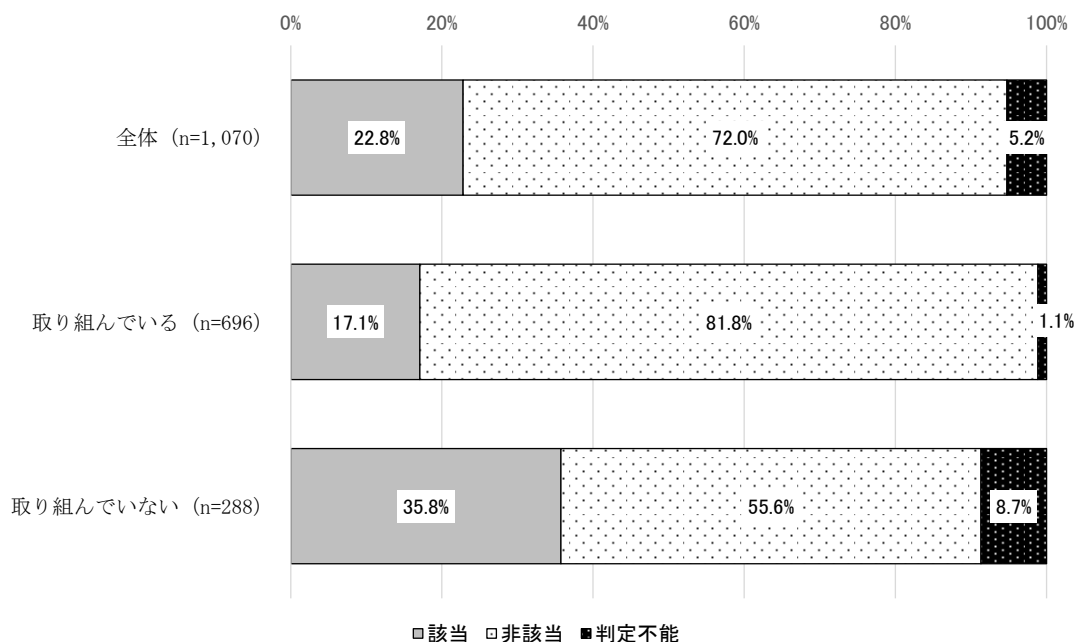
## 6. 健康維持や介護予防の取組との関係

＜年齢別 健康維持や介護予防の取組の有無＞



年齢と健康維持や介護予防の取組の関係をみると、普段から健康維持や介護予防に「取り組んでいる」の割合は、「80～84歳」が最も低く、56.5%となっている。次いで、「75～79歳」が61.5%となっている。

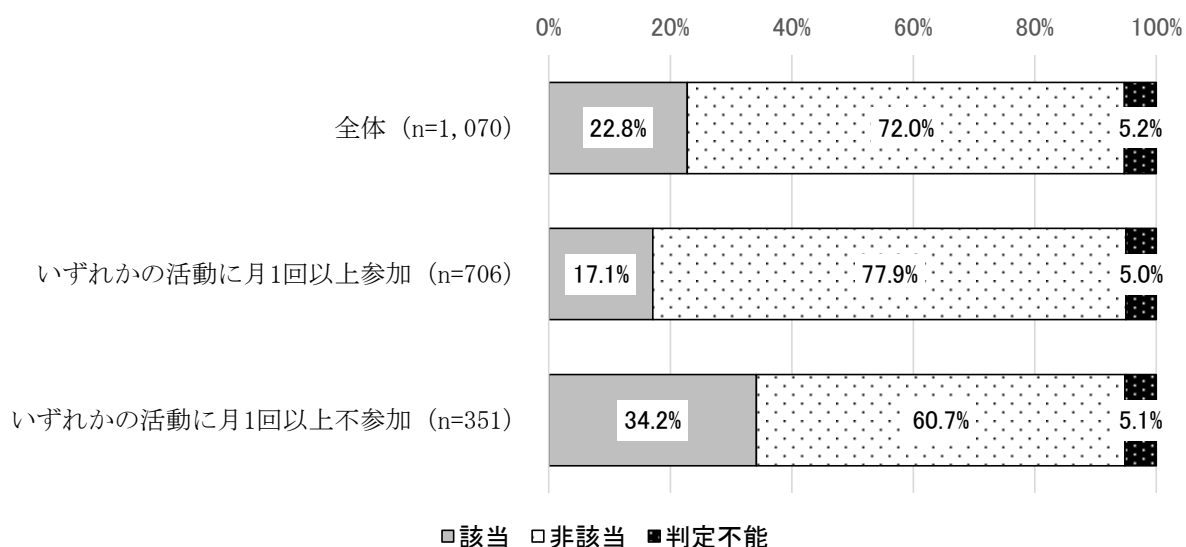
＜健康維持や介護予防の取組の有無別 フレイル該当性＞



健康維持や介護予防の取組とフレイルの関係を見ると、フレイルの「リスクあり」と判定された人の割合は、普段から健康維持や介護予防に「取り組んでいる」では17.1%となっている。「取り組んでいない」では35.8%となっている。

## 7. 社会参加との関係

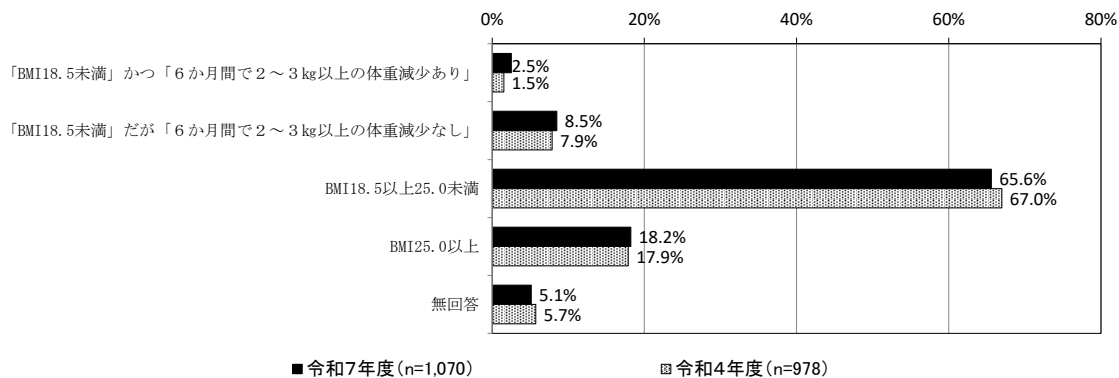
＜社会参加（いずれかの活動に月1回以上参加）の有無別 フレイル該当性＞



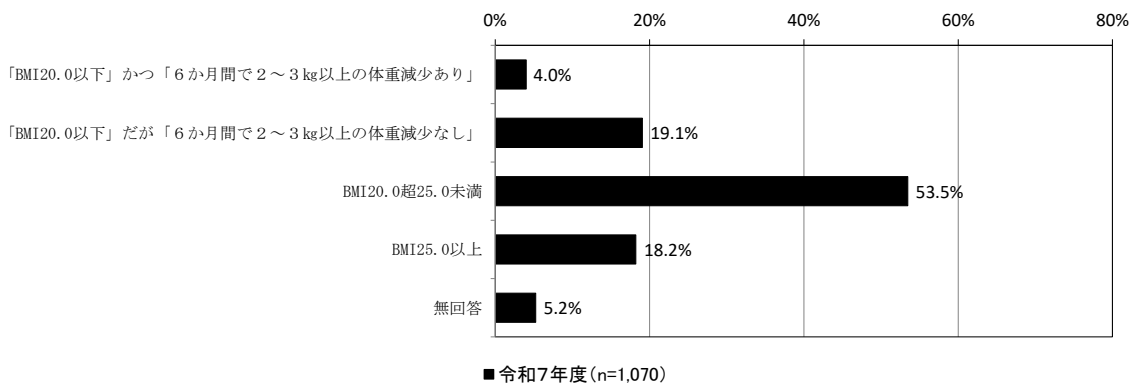
社会参加（いずれかの活動に月1回以上参加）とフレイルの関係を見ると、フレイルの「リスクあり」と判定された人の割合は、「いずれかの活動に月1回以上参加している」では17.1%となっている。「いずれかの活動に月1回以上参加していない」では34.2%となっている。

## 8. BMI、栄養状態との関係

### < BMI と体重減少 >

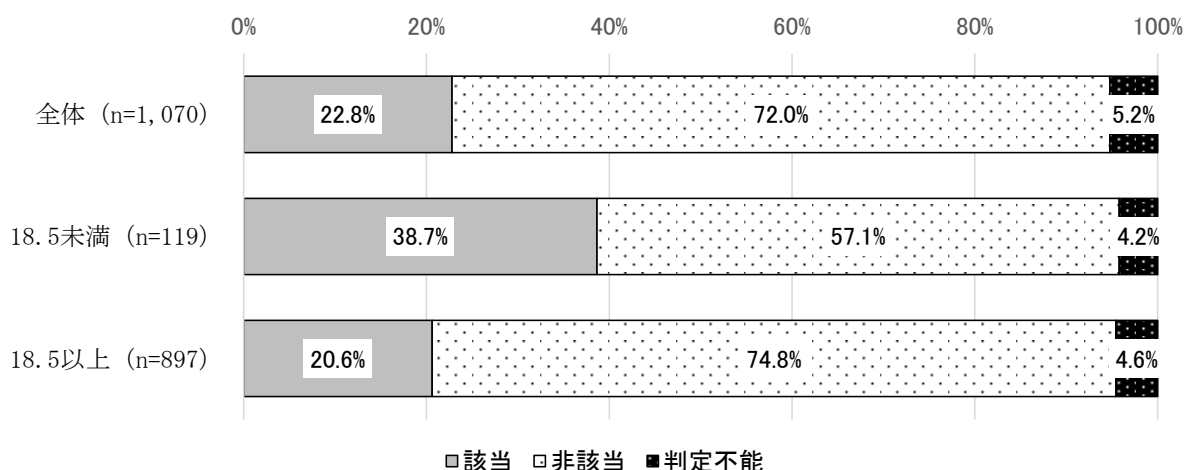


「BMI 18.5 未満」かつ「6か月間で2～3kg以上の体重減少あり」（低栄養）は2.5%となっている。



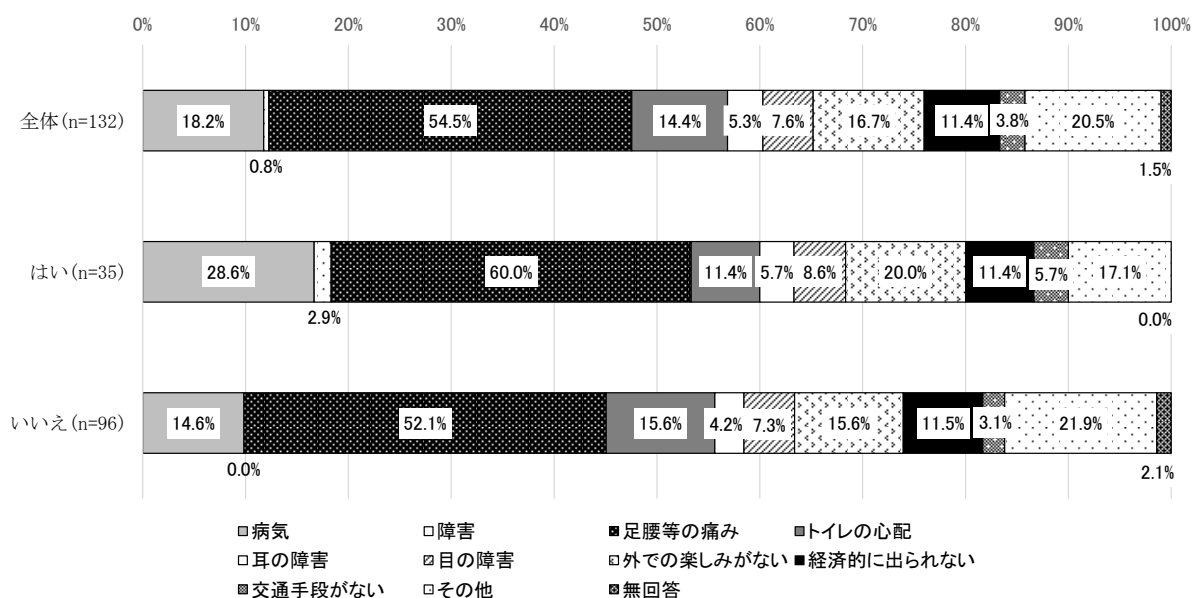
「BMI 20.0 以下」かつ「6か月間で2～3kg以上の体重減少あり」（低栄養）は4.0%となっている。

### < BMI 区分別 フレイル該当性 >



BMI とフレイルの関係を見ると、フレイルの「リスクあり」と判定された人の割合は、BMI 18.5 未満（やせ）で高い傾向がみられた。フレイルの「リスクあり」と判定された人の割合は、「BMI 18.5 未満（やせ）」で 38.7%、「BMI 18.5 以上」で 20.6%となっている。

### < 6 か月間で 2～3 kg 以上の体重減少の有無別 外出を控えている理由 >



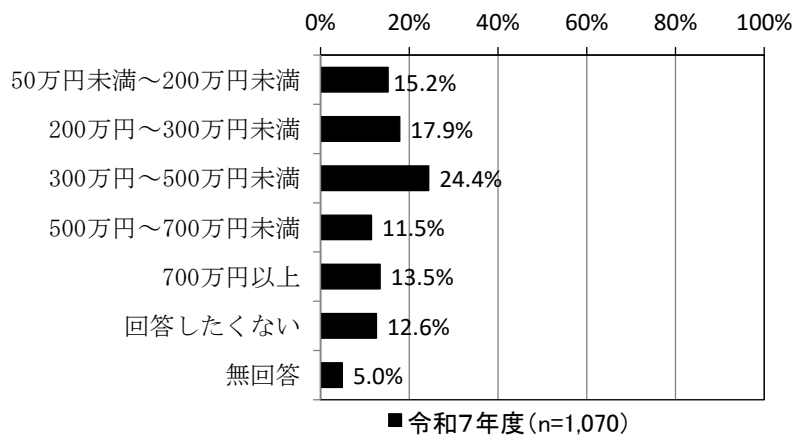
6 か月間で 2～3 kg 以上の体重減少と外出を控えている理由の関係を見ると、病気が理由で外出を控えている割合は、6 か月間で 2～3 kg 以上の体重減少があった人では 28.6%、なかった人では 14.6%となっている。

## 第6節 調査結果（世帯全体の合計収入額と健康維持・認知機能低下予防の活動に関する集計）

### 1. 集計の前提

本節では、問42「世帯全体の合計収入額（年金を含む、税引き前の金額）は、令和6年1月～12月の1年間で、次のうちどれにあてはまりますか。」の回答を以下の5カテゴリに再分類し、集計に用いた。

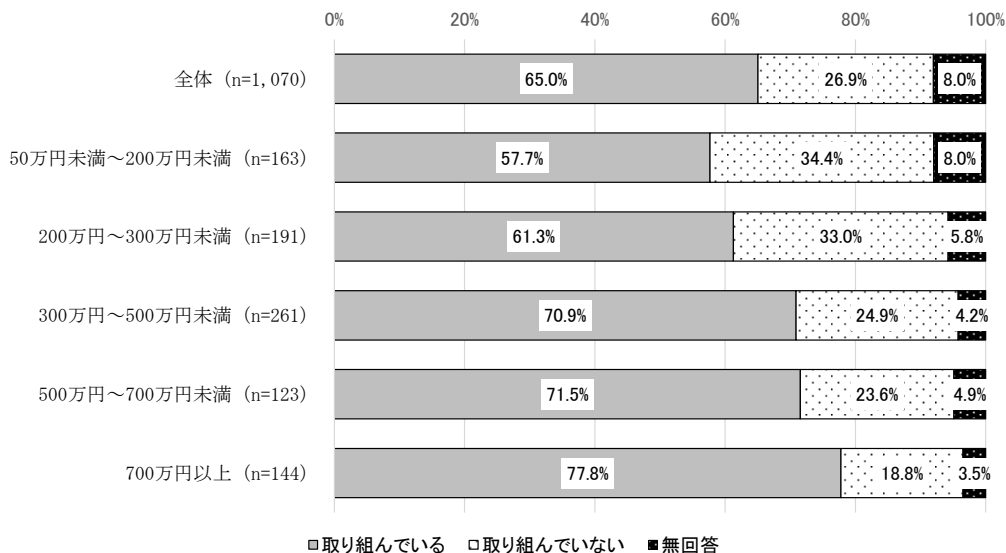
＜世帯全体の合計収入額（5カテゴリ）＞



「300万円～500万円未満」が24.4%、「200～300万円未満」が17.9%だった。

### 2. 世帯全体の合計収入額と健康維持や介護予防の取組との関係

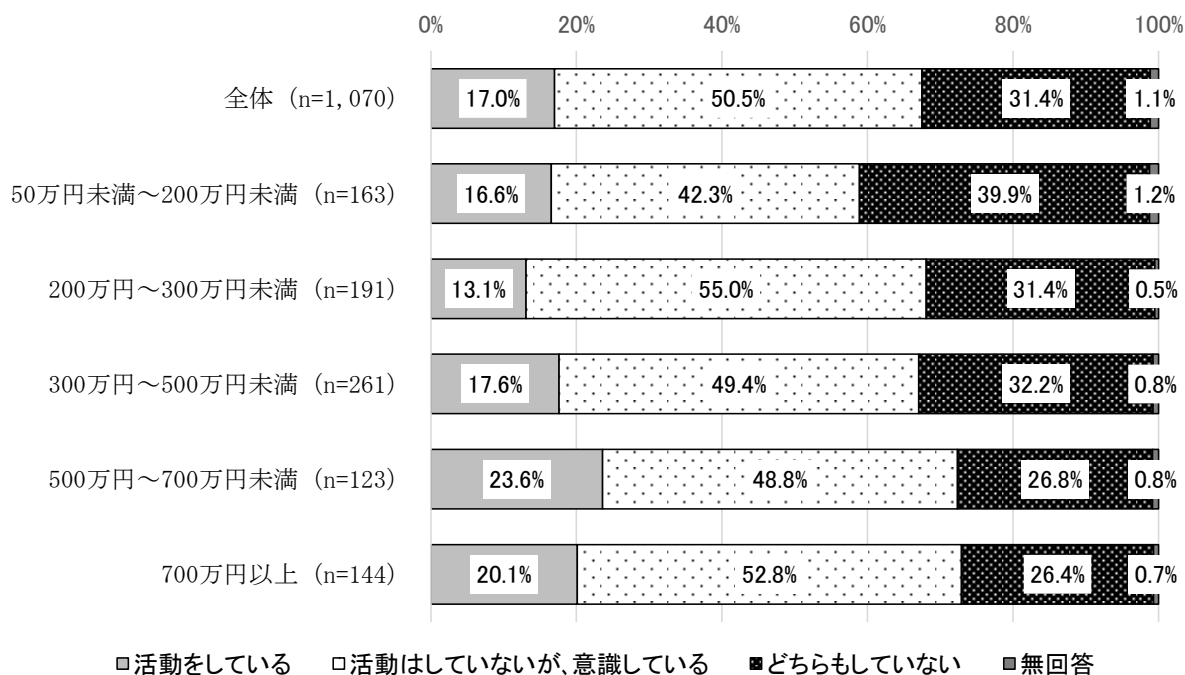
＜世帯全体の合計収入額別 健康維持や介護予防の取組の有無＞



世帯全体の合計収入額と健康維持や介護予防の取組の関係を見ると、普段から健康維持や介護予防に取り組んでいる割合は、世帯全体の合計収入額が高いほど増加する傾向がみられた。普段から健康維持や介護予防に「取り組んでいる」の割合は、「700万円以上」で77.8%、「500万円～700万円未満」で71.5%となっている。

### 3. 世帯全体の合計収入額別と認知機能低下の予防に向けた活動との関係

＜世帯収入別 認知機能低下の予防に向けた活動の有無＞



世帯全体の合計収入額と認知機能低下の予防に向けた活動の関係をみると、世帯全体の収入が高い層では認知機能低下の予防に向けた活動をしている割合が高い傾向がみられた。認知機能低下の予防に向けた活動に「取り組んでいる」の割合は、「700万円以上」で20.1%、「500万円～700万円未満」で23.6%となっている。

## **第2章 要介護高齢者・家族等介護者実態調査 (在宅介護実態調査)**



## 第1節 調査・分析手法の概要

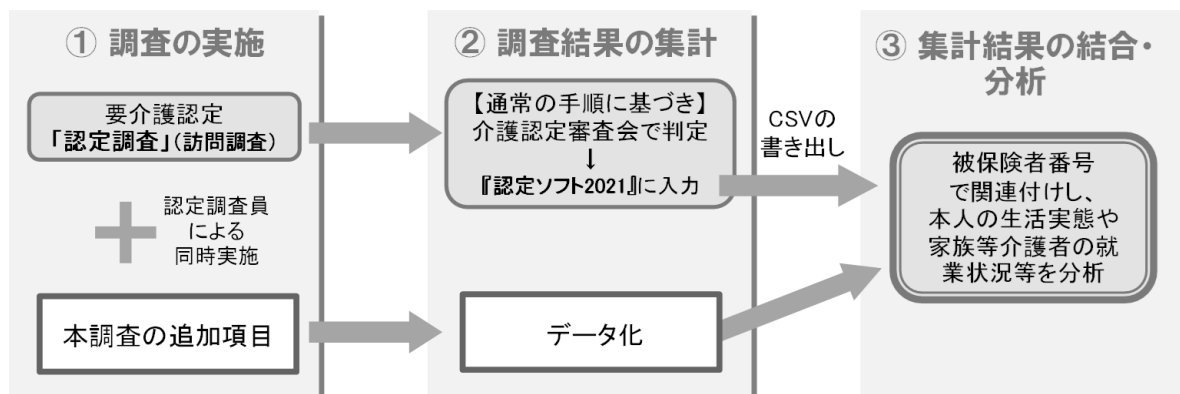
対象者が要介護認定の訪問調査を受ける際に、認定調査員が、主として認定調査の概況調査の内容を質問しながら、本調査の調査票に関連内容を転記する方法で調査を行った。回答票はマークシート方式とし、主な介護者が認定調査に同席している場合は、主な介護者からも聞き取りを行った。

また、調査時に、本人の同意書を提出してもらい、要介護認定データと関連付けた分析を行った。

### <調査の方法・手順>

STEP 1	認定調査の訪問時に、本調査を同時に実施し、回答票（紙ベースのマークシート）に記入する。
STEP 2	回答票をデータ化する。
STEP 3	認定調査終了後は、通常の認定事務のプロセスで処理を行い審査会の二次判定を経て、認定結果を認定ソフト 2021 から CSV ファイルで出力する。
STEP 4	アンケート調査の結果と認定結果を「被保険者番号」で関連付けて、両データを合わせた詳細な分析を行う。

### <調査の実施から分析までのフロー>



## 【用語の定義】

本集計・分析では、介護保険サービスの利用時間・回数・日数、および利用の組み合わせ等に着目した集計・分析を行うため、介護保険サービスを大きく、「訪問系」、「通所系」、「短期系」の3つに分類して集計している。なお、介護保険サービスの中には介護予防・日常生活支援総合事業を通じて提供される「介護予防・生活支援サービス」も含まれる。

それぞれ、用語の定義は以下の通りである。

### <サービス利用の分析に用いた用語の定義>

用語		定義
未利用		「住宅改修」、「福祉用具貸与・購入」のみを利用している方については、未利用として集計しています。
訪問系		訪問介護・訪問型サービス、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計しています。
通所系		通所介護・通所型サービス、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護を「通所系」として集計しています。
短期系		短期入所生活介護、短期入所療養介護を「短期系」として集計しています。
その他	看護多機能	看護小規模多機能型居宅介護を「看護多機能」として集計しています。
	小規模多機能	小規模多機能型居宅介護を「小規模多機能」として集計しています。
	定期巡回	定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「定期巡回」として集計しています。

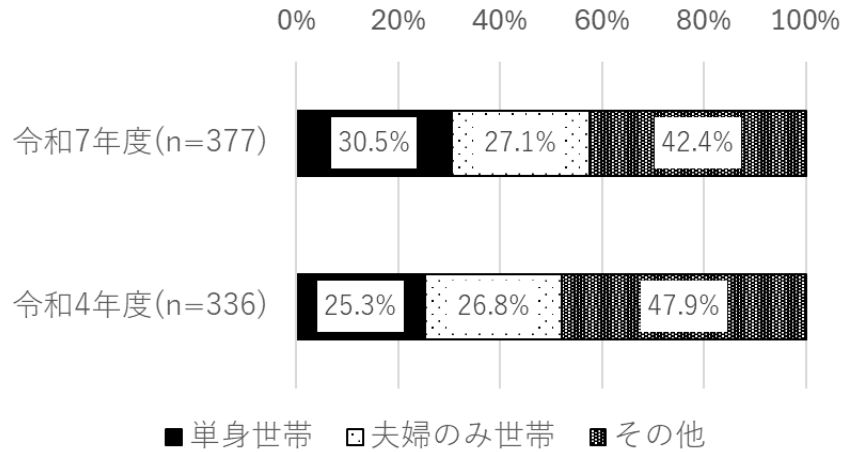
### <サービス利用の組み合わせの分析に用いた用語の定義>

用語	定義
未利用	上表に同じ
訪問系のみ	上表の「訪問系」もしくは「定期巡回」のみの利用を集計しています。
訪問系を含む組み合わせ	上表の「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「通所系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「短期系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「通所系」＋「短期系」、「看護多機能」、「小規模多機能」の利用を集計しています。
通所系・短期系のみ	上表の「通所系」、「短期系」、「通所系」＋「短期系」の利用を集計しています。

## 第2節 調査結果

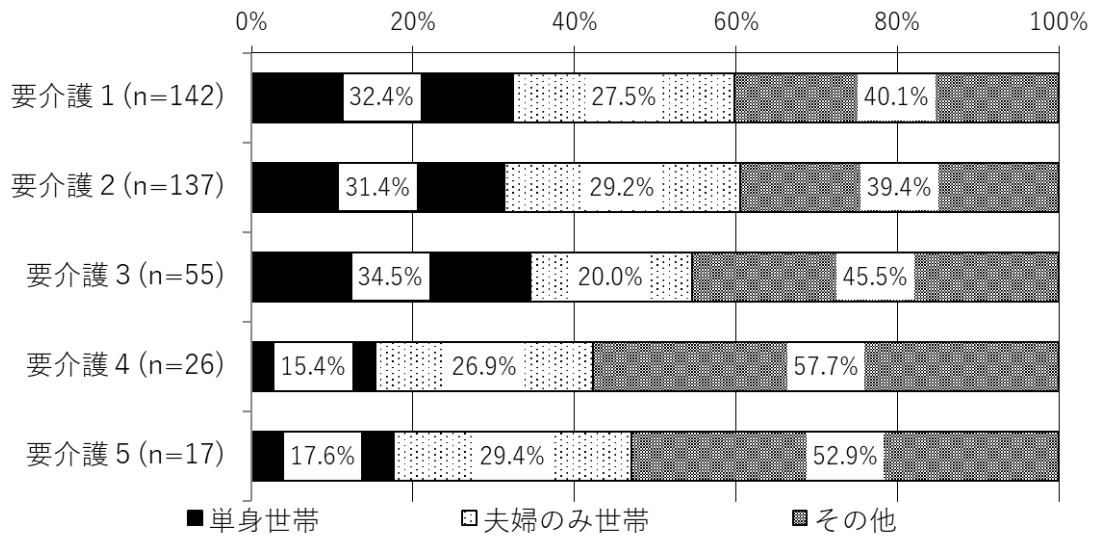
### 1. 本人の属性

A票-問1 世帯類型について、ご回答ください。(1つを選択)。



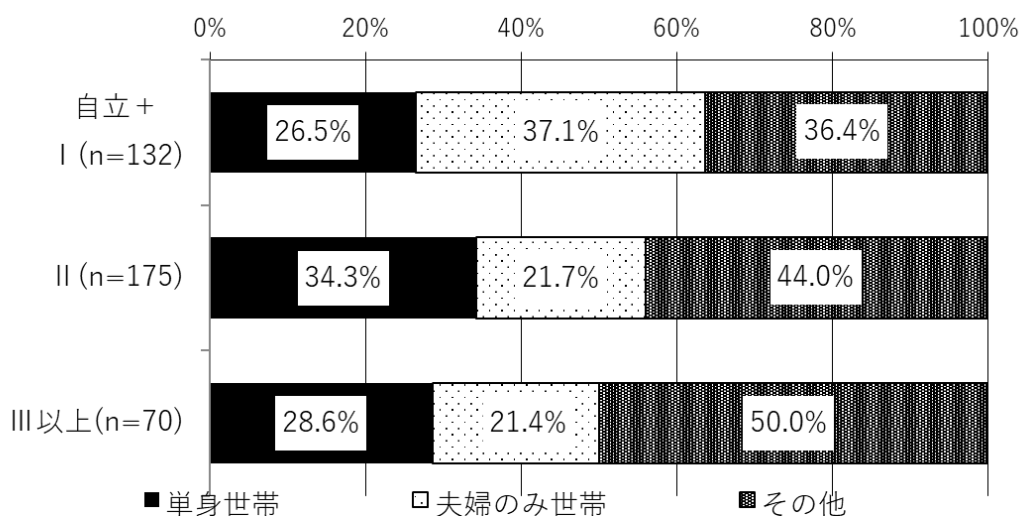
世帯類型は「その他」が42.4%、「夫婦のみ世帯」が27.1%となっている。

#### <要介護度別・世帯類型>



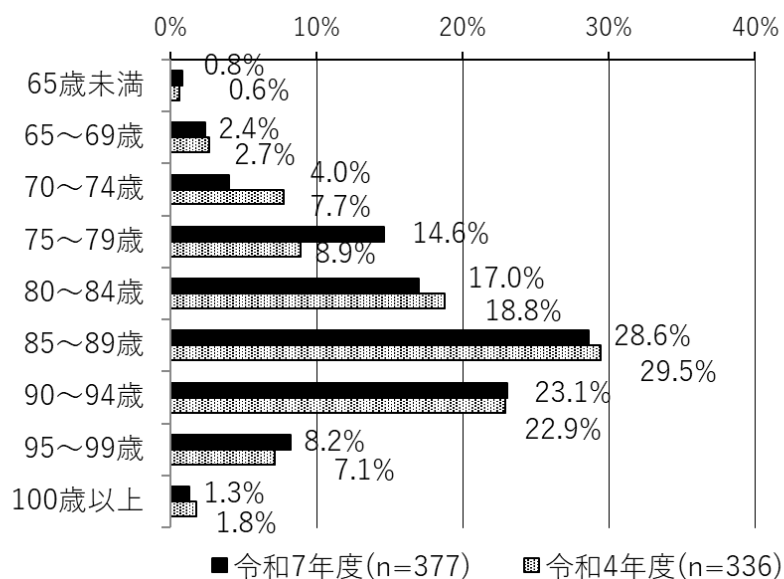
要介護度別の世帯類型は、要介護1～3と比較して、要介護4～5では「その他」世帯の割合が高い。「単身世帯」の割合は、要介護4が15.4%と最も低く、要介護5では17.6%となっている。

<認知症自立度別・世帯類型>



認知症自立度別の世帯類型は、「Ⅲ以上」では、「夫婦のみ世帯」の割合が最も低く、また「その他」の割合が最も高い。

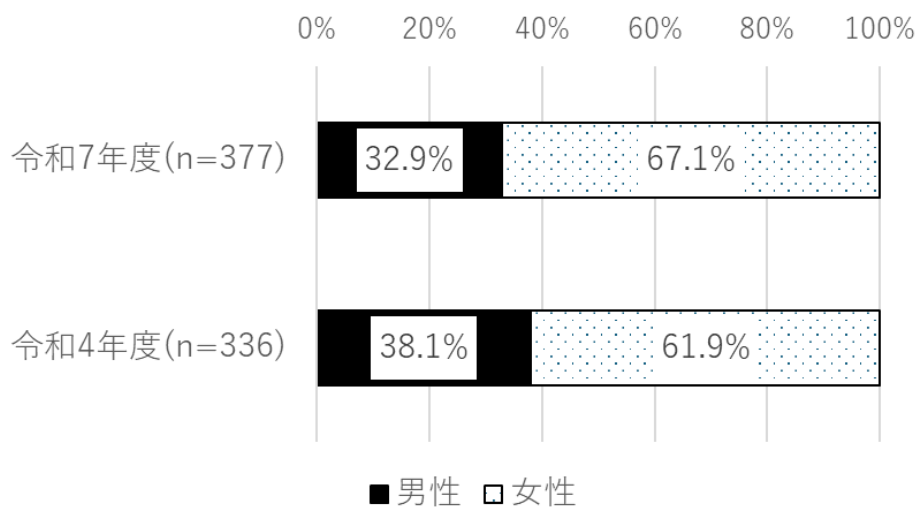
認定-① 年齢



在宅で生活している要介護者のうち、32.6%が「90歳以上」となっている。

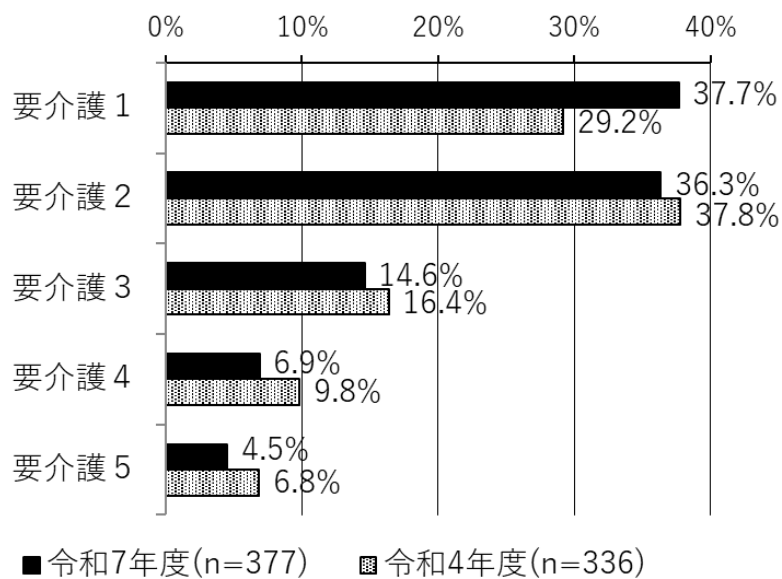
年齢は「85～89歳」が28.6%、「90～94歳」が23.1%、「80～84歳」が17.0%となっている。

認定-② 性別



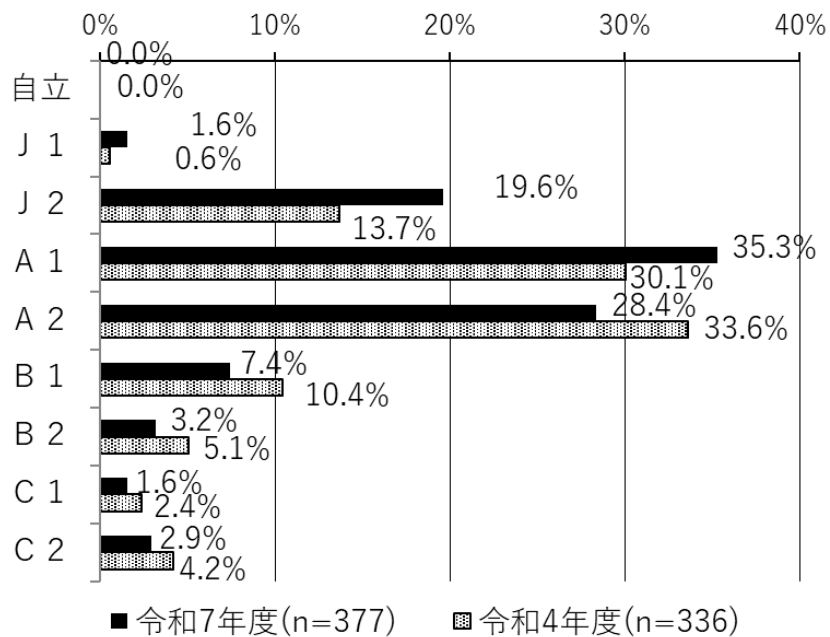
性別は「男性」が 32.9%、「女性」が 67.1%となっている。

認定-③ 二次判定結果



二次判定結果は、「要介護1」が 37.7%と最も多く、次いで「要介護2」が 36.3%となっている。

認定-④ 障害高齢者の日常生活自立度



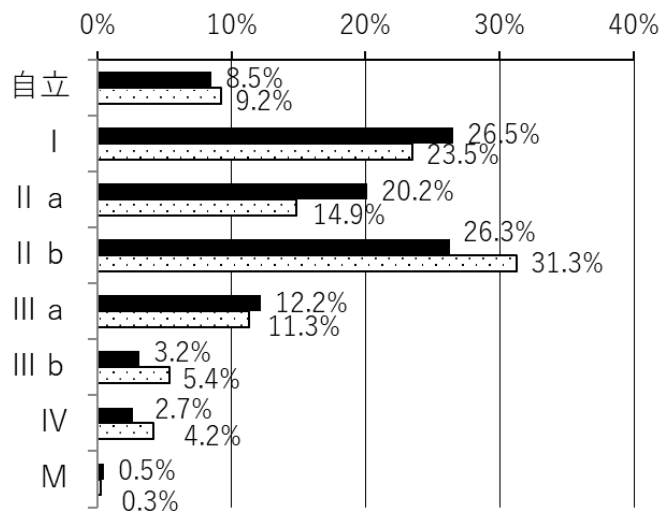
障害高齢者の日常生活自立度は、「A 1」が 35.3%と最も多く、次いで「A 2」が 28.4%となっている。

(参考) 障害高齢者の日常生活自立度

生活自立	ランク J	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する 1. 交通機関等を利用して外出する 2. 隣近所へなら外出する
準寝たきり	ランク A	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない 1. 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する 2. 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている
寝たきり	ランク B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ 1. 車いすに移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う 2. 介助により車いすに移乗する
	ランク C	1 日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する 1. 自力で寝返りをうつ 2. 自力では寝返りもうてない

(出典) 要介護認定 認定調査員テキスト 2009 改訂版, P. 155

認定-⑤ 認知症高齢者の日常生活自立度



■ 令和7年度(n=377) □ 令和4年度(n=336)

認知症高齢者の日常生活自立度は、「I」が26.5%と最も多く、次いで「II b」が26.3%となっている。

(参考) 認知症高齢者の日常生活自立度

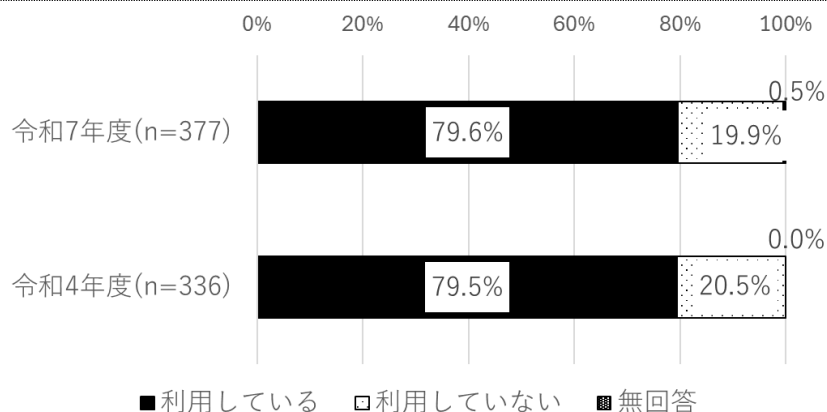
ランク	判断基準	見られる症状・行動の例
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。	
II	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。	
II a	家庭外で上記IIの状態がみられる。	たびたび道に迷うとか、買物や事務、金銭管理などそれまでできたことにミスが目立つ等
II b	家庭内でも上記IIの状態が見られる。	服薬管理ができない、電話の応対や訪問者との対応など一人で留守番ができない等
III	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。	
III a	日中を中心として上記IIIの状態が見られる。	着替え、食事、排便、排尿が上手にできない、時間がかかる。 やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声をあげる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等
III b	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。	ランクIII aに同じ
IV	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	ランクIIIに同じ
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等

(出典) 要介護認定 認定調査員テキスト 2009 改訂版, P. 157

## 2. 支援・サービスの利用状況・利用意向

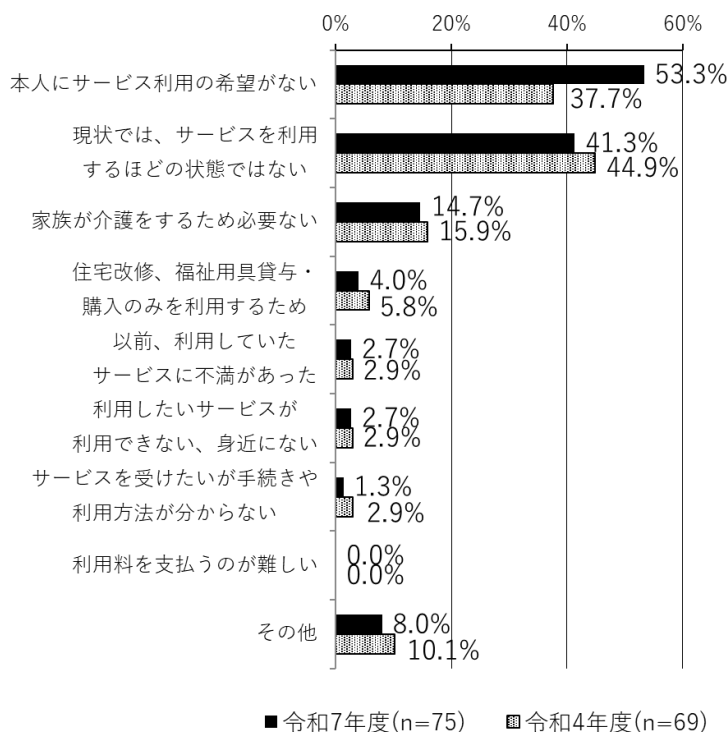
### (1) 介護保険サービス

A票-問 17 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用していますか。(1つを選択)



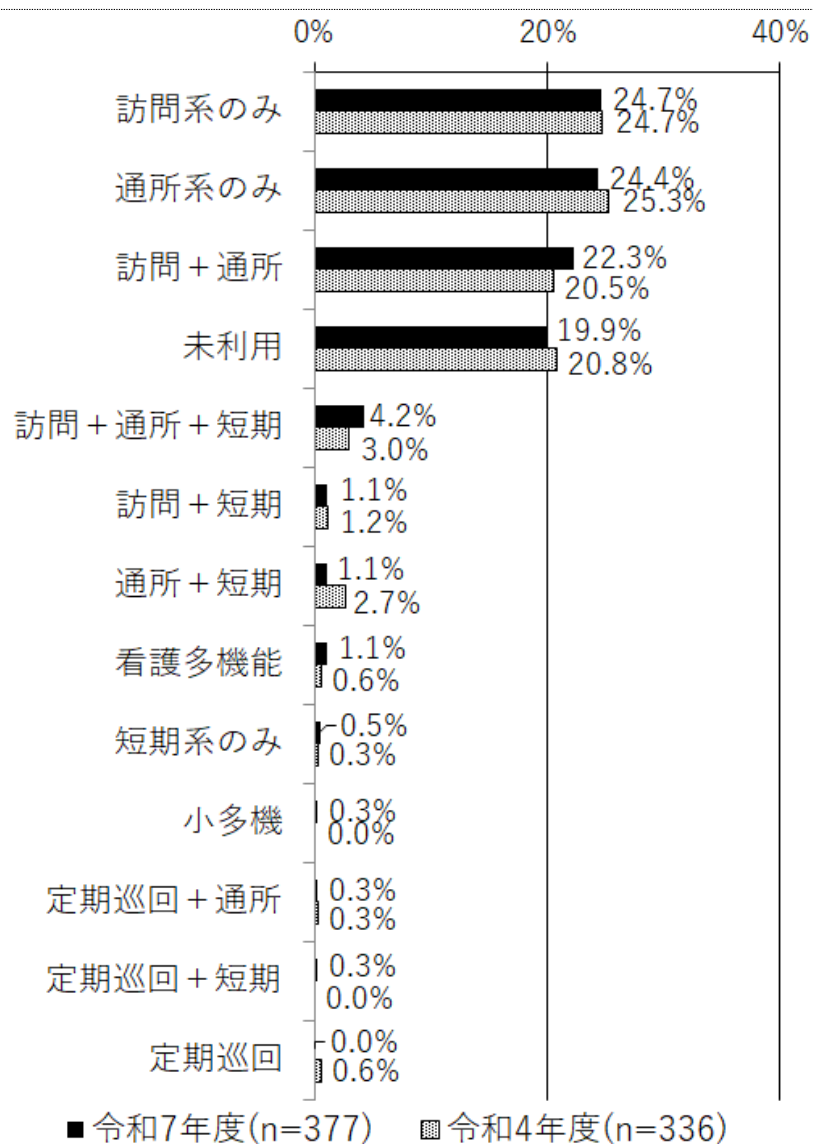
介護保険サービス(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外を除く)の利用状況は、「利用している」が79.6%、「利用していない」が19.9%となっている。

A票-問 18 問 17で「利用していない」と回答した方にお伺いします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数選択可)



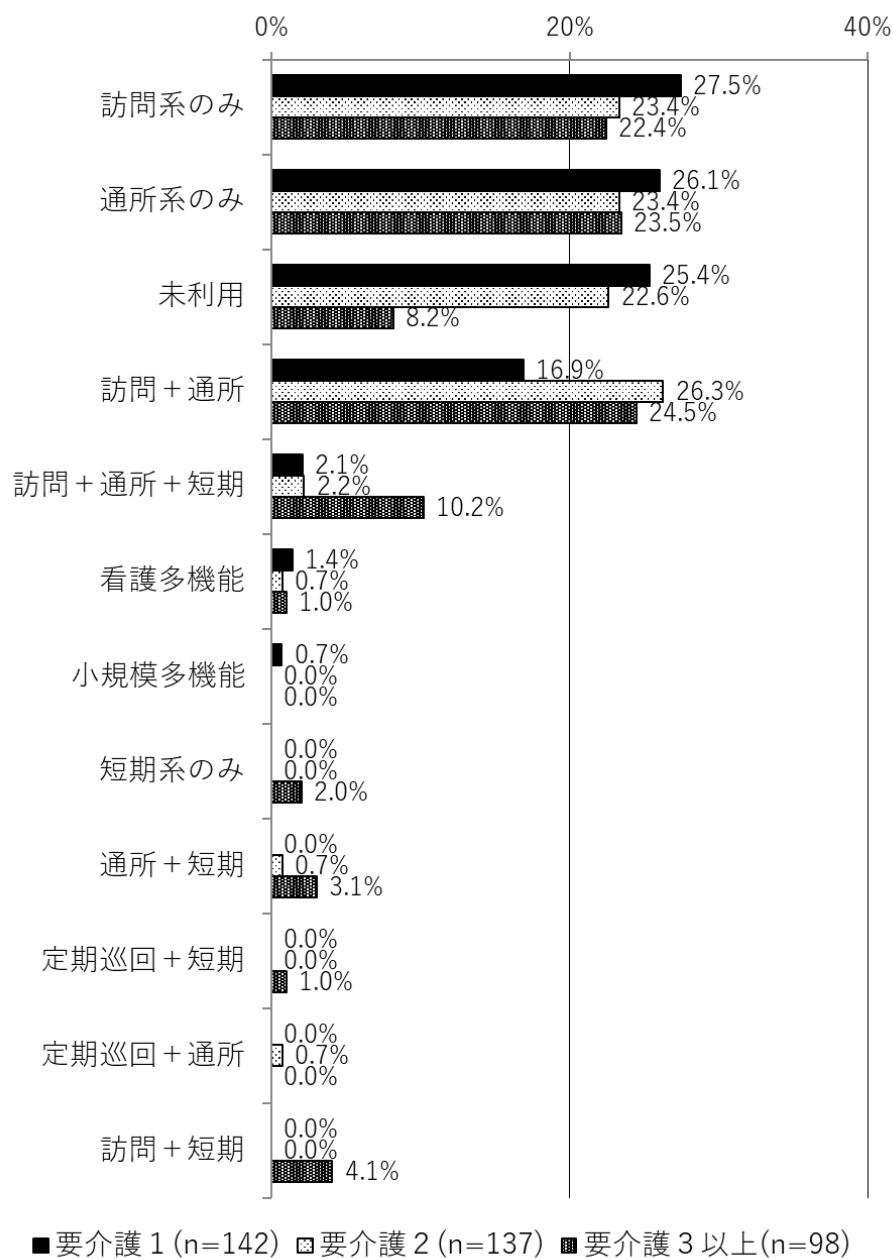
介護保険サービス未利用の理由は、「本人にサービス利用の希望がない」が53.3%、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が41.3%、「家族が介護するため必要ない」が14.7%となっている。

認定-⑥ サービス利用の組み合わせ



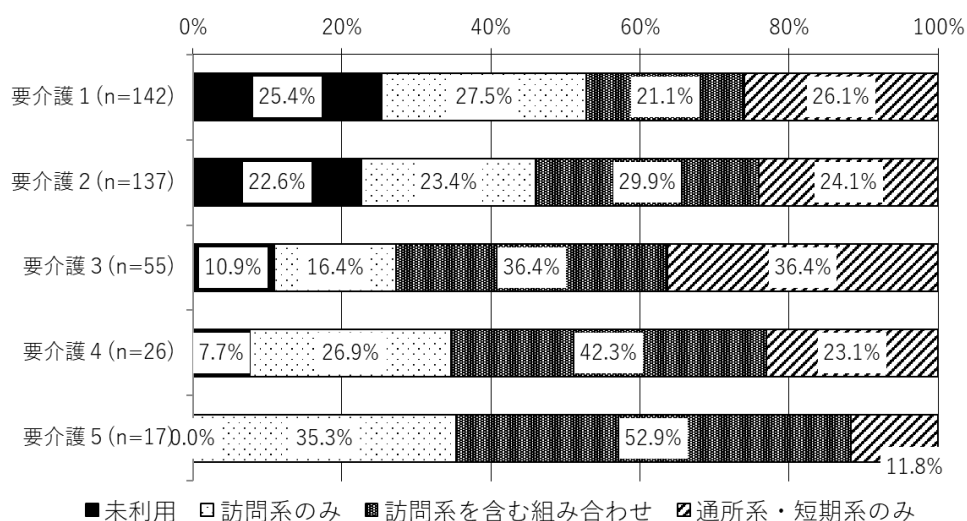
サービス利用の組み合わせは、「訪問系のみ」が 24.7%と最も多く、次いで「通所系のみ」が 24.4%、「訪問+通所」が 22.3%となっている。

<サービス利用の組み合わせ別・要介護度>



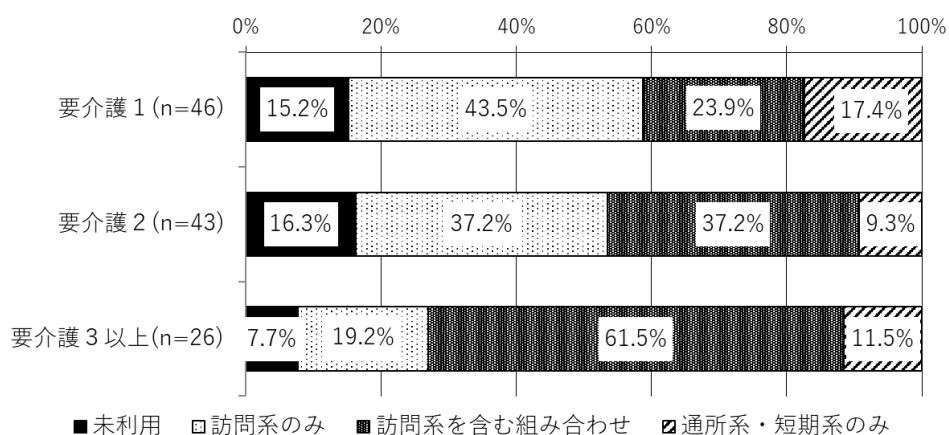
サービス利用の組み合わせ別の要介護度は、「要介護1」・「要介護2」と「要介護3以上」を比較すると、「要介護3以上」では、「訪問+通所+短期」「短期系のみ」「通所+短期」「訪問+短期」の割合が高くなっている。

<要介護度別・サービス利用の組み合わせ>

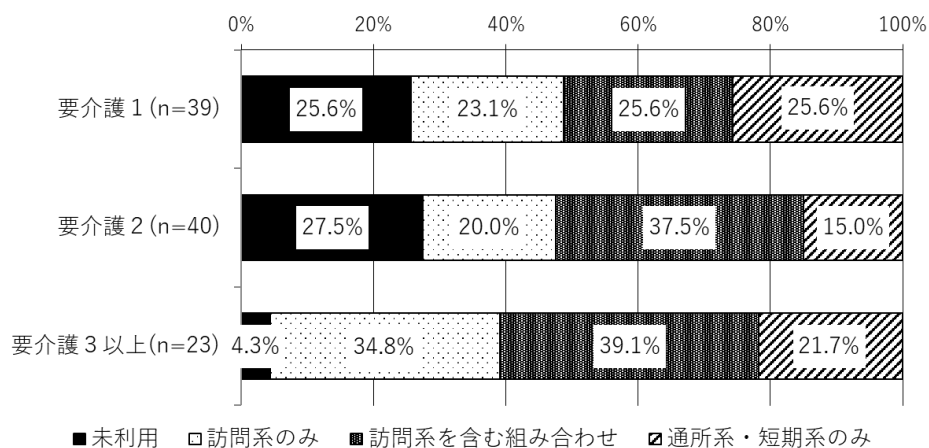


「要介護3」では「訪問系を含む組み合わせ」と「通所系・短期系のみ」の割合が36.4%と最も高い。「要介護4」、「要介護5」では、「訪問系を含む組み合わせ」の割合が最も高く、それぞれ42.3%、52.9%と最も高くなっている。

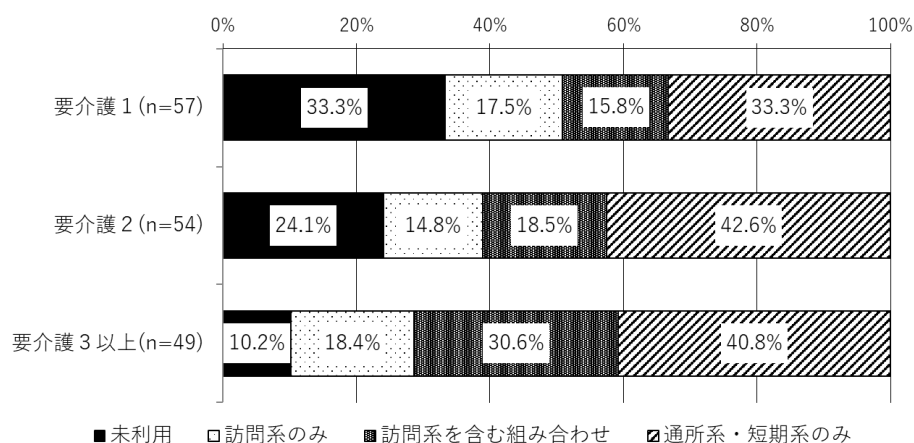
<要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）>



<要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）>

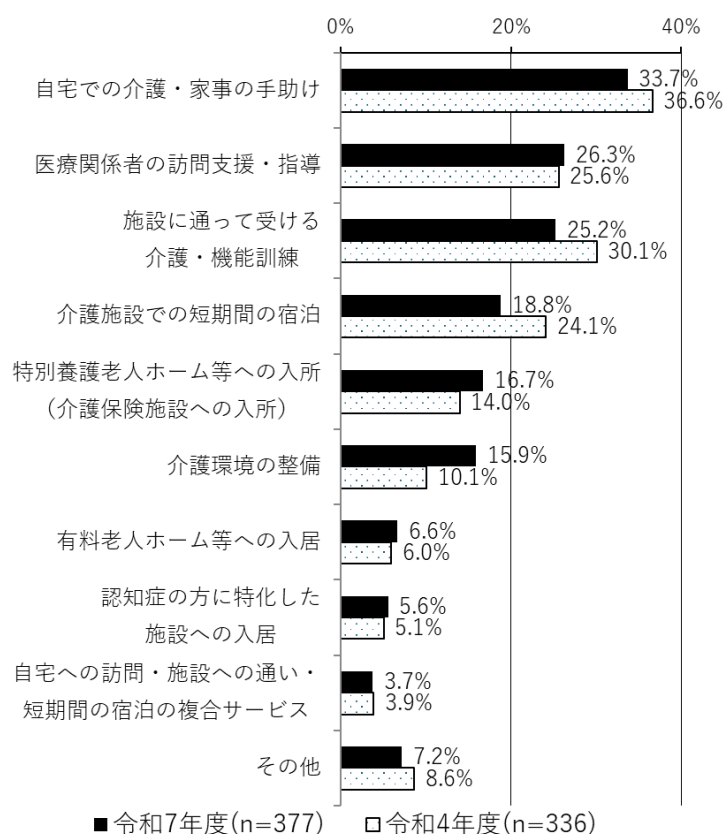


< 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他の世帯） >



世帯類型別に、要介護度別のサービス利用の組み合わせをみると、いずれの世帯類型においても「要介護度3以上」の「訪問系を含む組み合わせ」利用の割合が最も高い。

A票-問20 今後利用したいサービス、利用回数を増やしたい介護サービスはどのようなものですか。（複数選択可）。



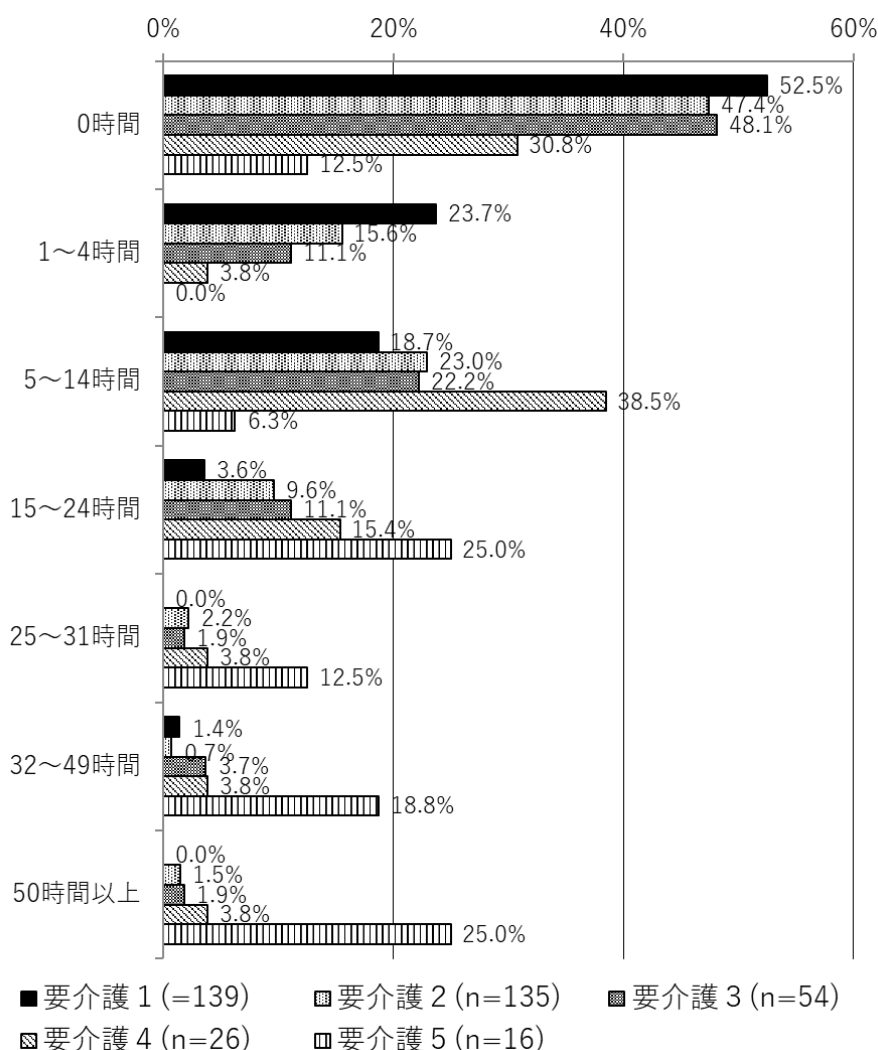
今後利用したいサービス、利用回数を増やしたい介護サービスは、「自宅での介護・家事の手助け」が33.7%と最も多く、次いで「医療関係者の訪問支援・指導」が26.3%、「施設に通って受ける介護・機能訓練」が25.2%となっている。

なお、「その他」についての具体的な内容は、以下の通りである。

- ・ 訪問マッサージ
- ・ 定期受診や服薬ではなく、突発的な受診、服薬が続く場合、介護者（家族）が対応できないので困る。一時的な通院介助や服薬介助。（例：毎朝、薬を服用すればよかったのに、急な病気やアクシデントで一時的に薬が増え、昼と夜も服薬が必要になり、対応できない。）

認定-⑦ サービスの利用時間

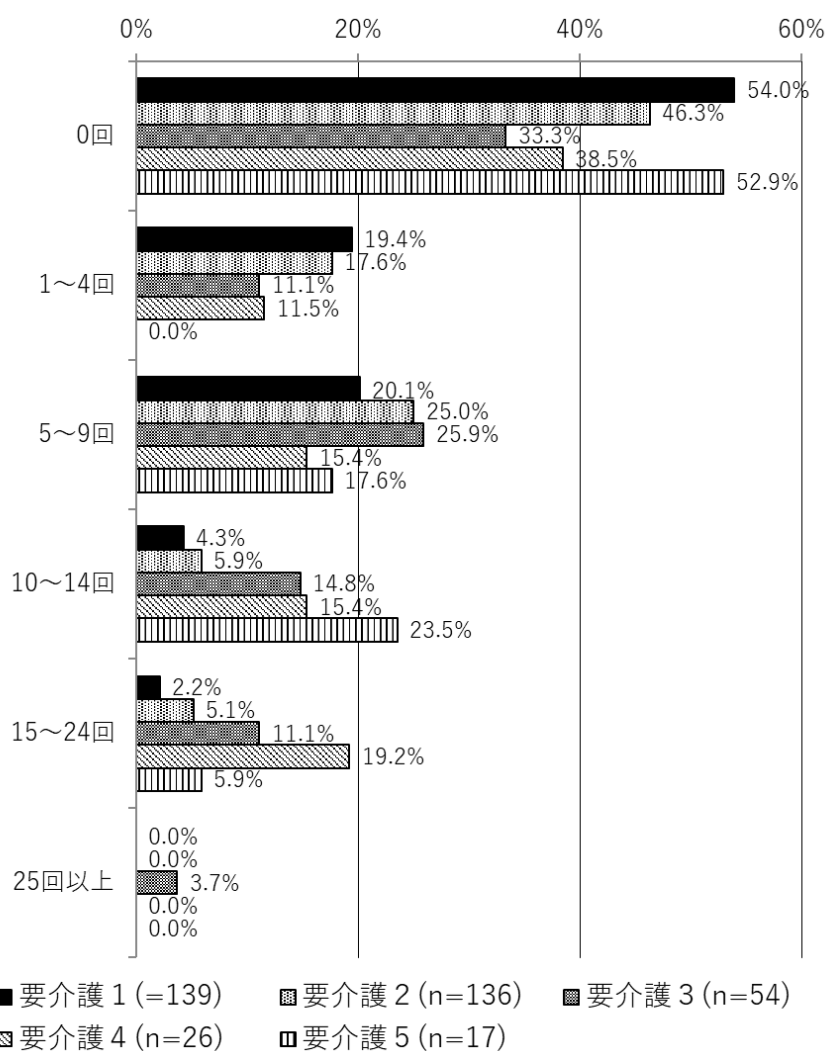
<訪問系サービス利用時間/月別・要介護度>



(注) 看護多機能、小規模多機能、定期巡回の利用者で回数が不明の7件は集計対象から除外した。

訪問系サービスの利用時間は、0時間を除くと、「要介護1」では「1～4時間」、「要介護2」～「要介護4」では「5～14時間」、「要介護5」では「15～24時間」と「50時間以上」が最も多い。

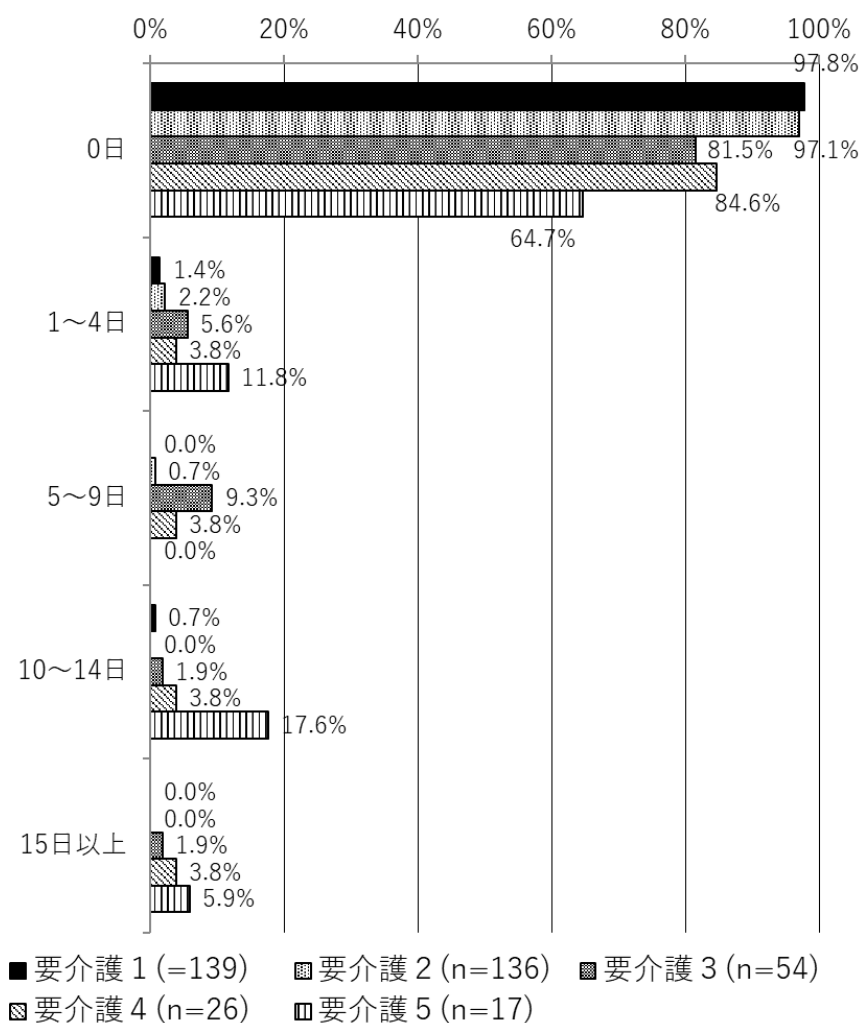
<通所系サービス利用回数/月別・要介護度>



(注) 看護多機能、小規模多機能、定期巡回の利用者で回数が不明の5件は集計対象から除外した。

通所系サービスの利用回数は、0回を除くと「要介護1」～「要介護3」では、「5～9回」が最も多く、「要介護4」では「15～24回」、「要介護5」では「10～14回」が最も多い。

<短期系サービス利用日数/月別・要介護度>

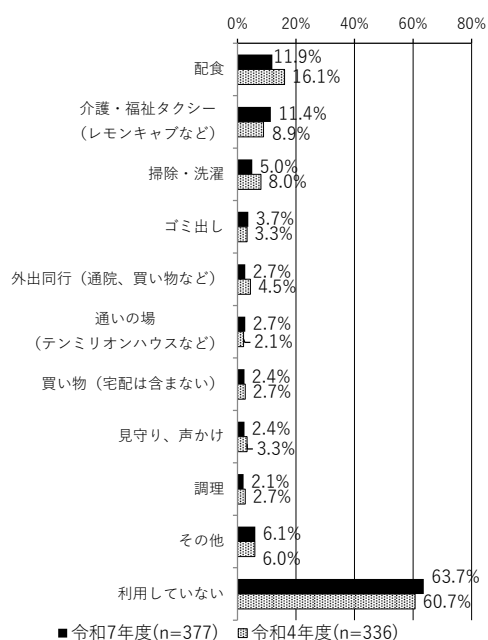


(注) 看護多機能、小規模多機能、定期巡回の利用者で回数が不明の5件は集計対象から除外した。

短期系サービスの利用日数は、0日を除くと、「要介護3」では「5～9日」が最も多く、「要介護5」では「10～14日」が最も多い。

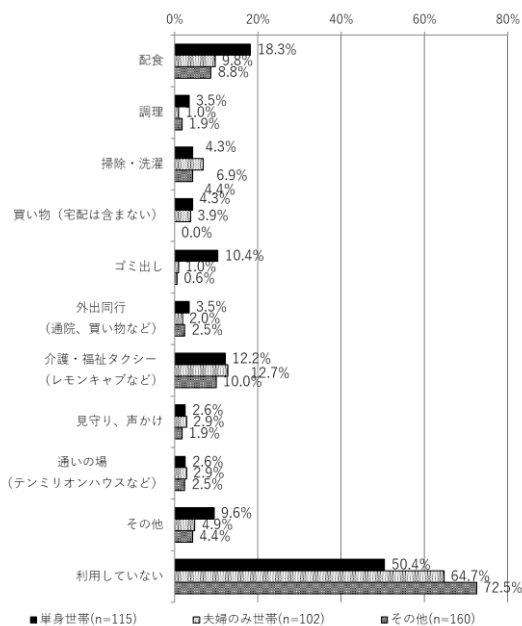
## (2) 介護保険サービス以外の支援・サービス

A票-問 11 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(複数選択可)



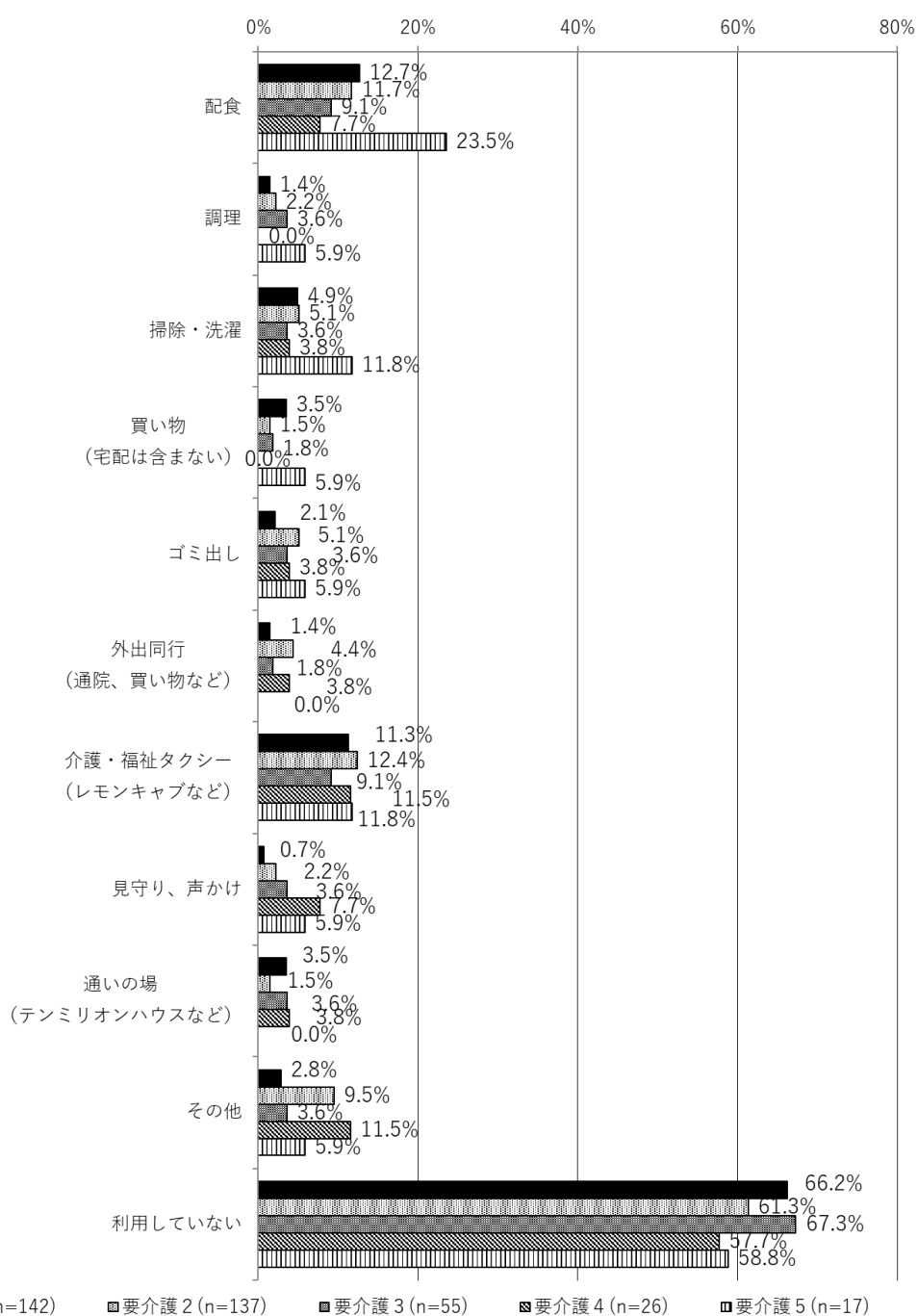
現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、「配食」が11.9%と最も多く、次いで「介護・福祉タクシー(レモンキャブなど)」が11.4%となっている。

### <保険外の支援・サービスの利用状況別・世帯類型>



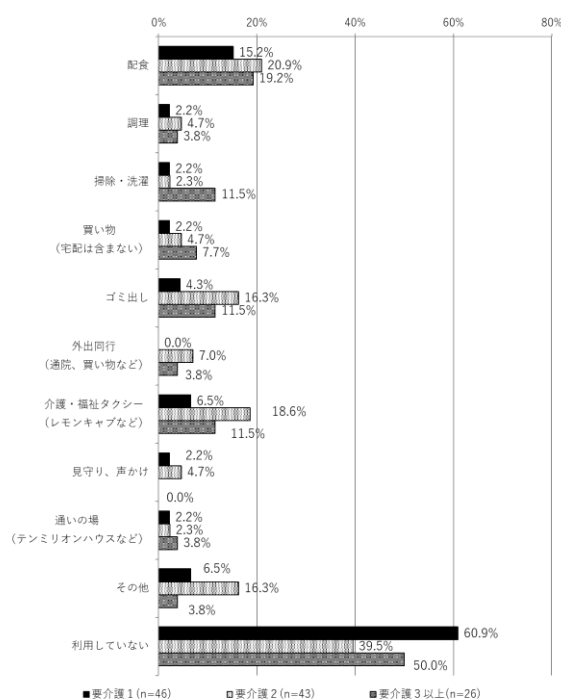
保険外の支援・サービスの利用状況について、「利用していない」は「単身世帯」で50.4%、「夫婦のみ世帯」で64.7%、「その他の世帯」では72.5%となっている。「単身世帯」では、「配食」の利用割合が18.3%と高い。

<保険外の支援・サービスの利用状況別・要介護度>



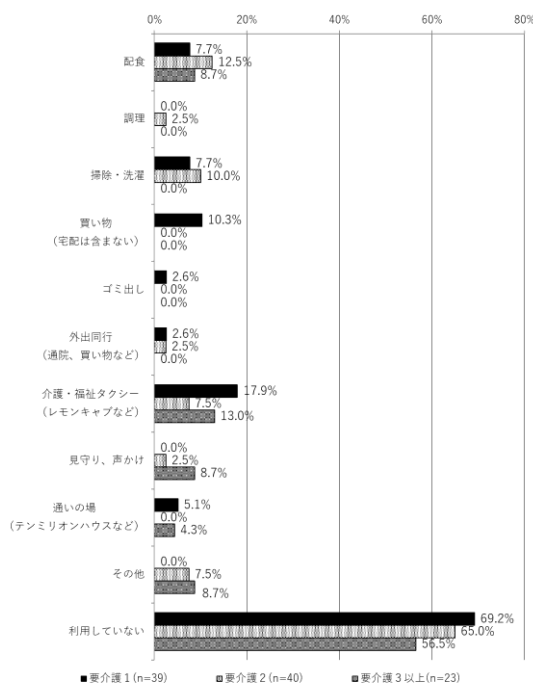
保険外の支援・サービスの利用状況は、「要介護1」～「要介護3」では「配食」と「介護・福祉タクシー（レモンキャブなど）」、「要介護4」では「介護・福祉タクシー（レモンキャブなど）」と「その他」、「要介護5」では「配食」の割合が高い。

<保険外の支援・サービスの利用状況別（単身世帯）・要介護度>



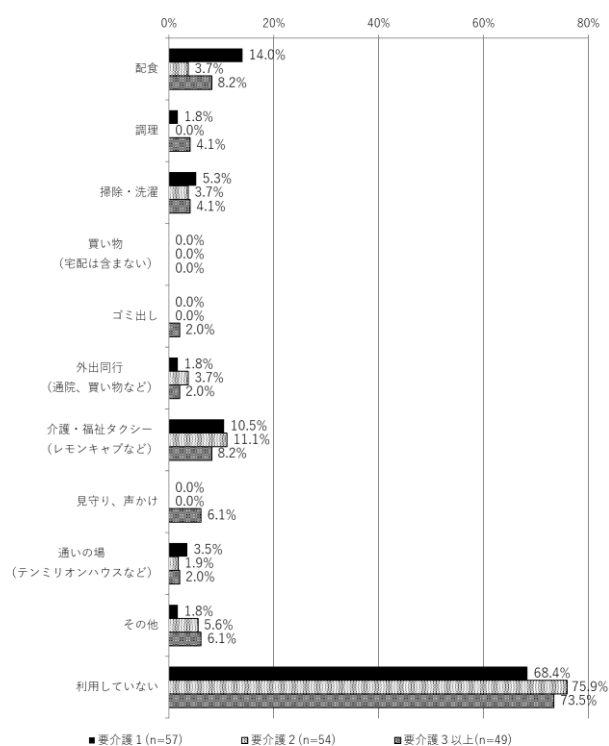
単身世帯での保険外の支援・サービスの利用状況は、「要介護3以上」で「配食」が19.2%と最も多く、次いで「掃除・洗濯」「ゴミ出し」「介護・福祉タクシー（レモンキャブなど）」が11.5%となっている。

<保険外の支援・サービスの利用状況別（夫婦のみ世帯）・要介護度>



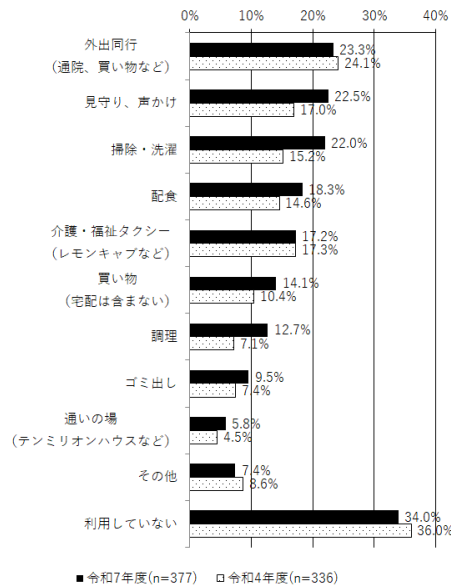
夫婦のみ世帯での保険外の支援・サービスの利用状況は、「要介護3以上」で「介護・福祉タクシー（レモンキャブなど）」が13.0%と最も多く、次いで「配食」「見守り、声かけ」「その他」が8.7%となっている。

<保険外の支援・サービスの利用状況別（その他の世帯）・要介護度>



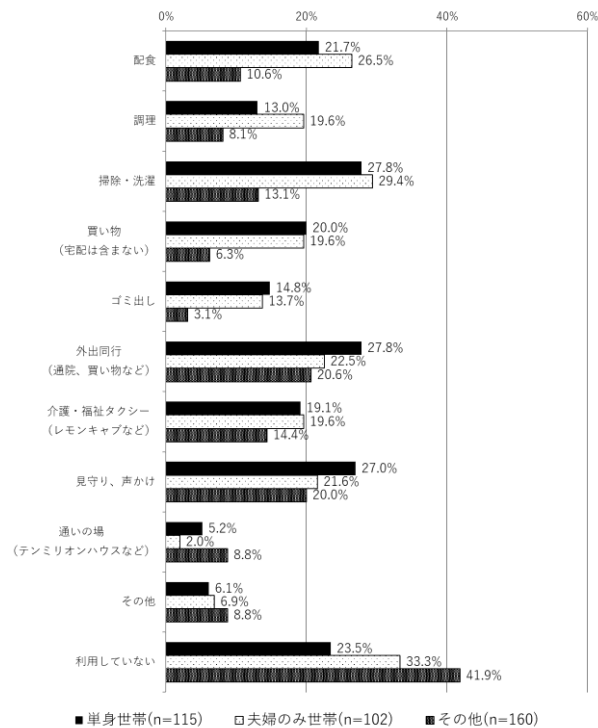
その他の世帯での保険外の支援・サービスの利用状況は、「要介護3以上」で「配食」「介護・福祉タクシー（レモンキャブなど）」が 8.2%と最も多く、次いで「見守り、声かけ」「その他」が 6.1%となっている。

A票-問12 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（複数選択可）



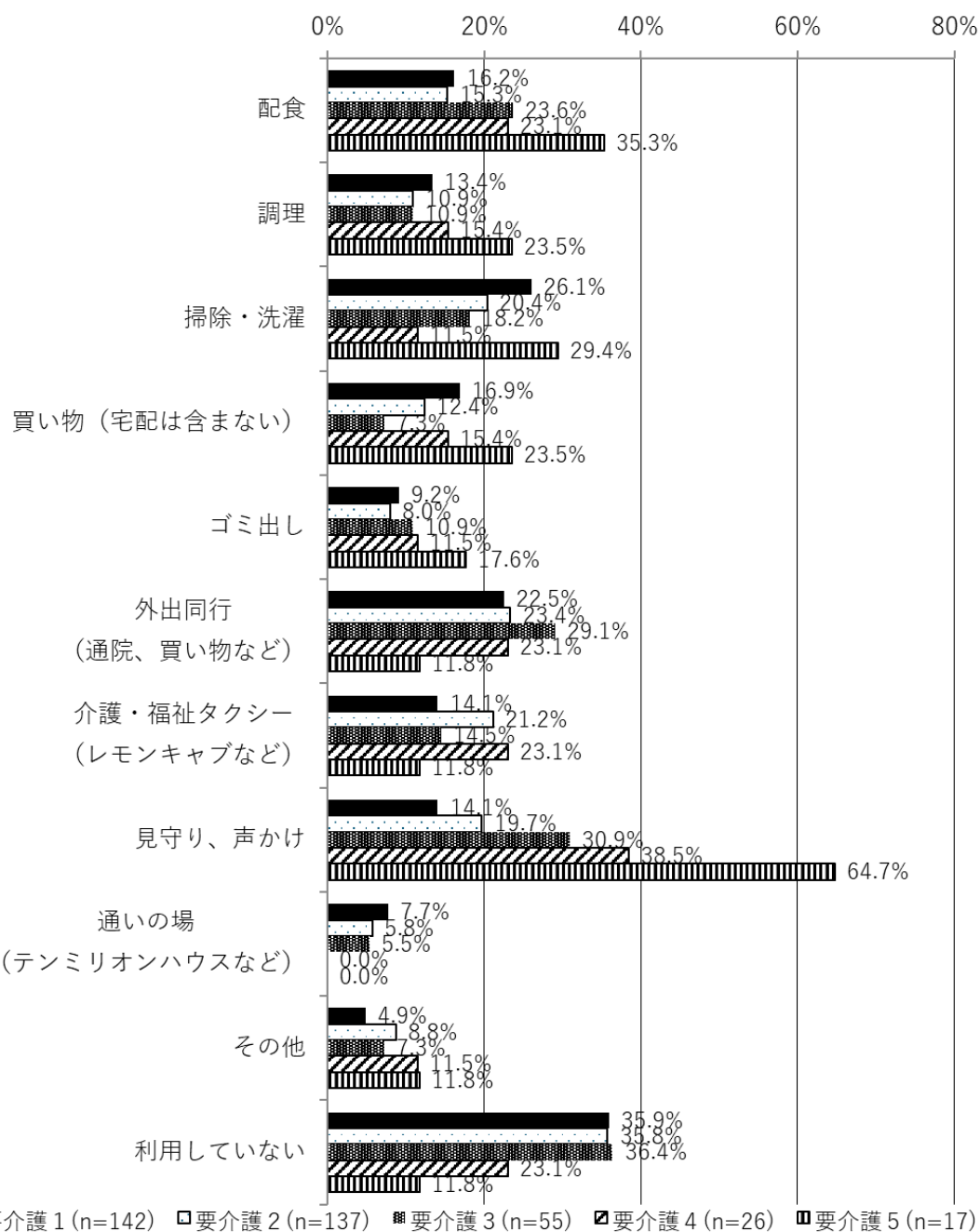
今後の在宅生活の継続に向けて必要と感じる支援・サービスは、「外出同行」が23.3%と最も多く、次いで「見守り、声かけ」が22.5%となっている。

<今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス別・世帯類型>



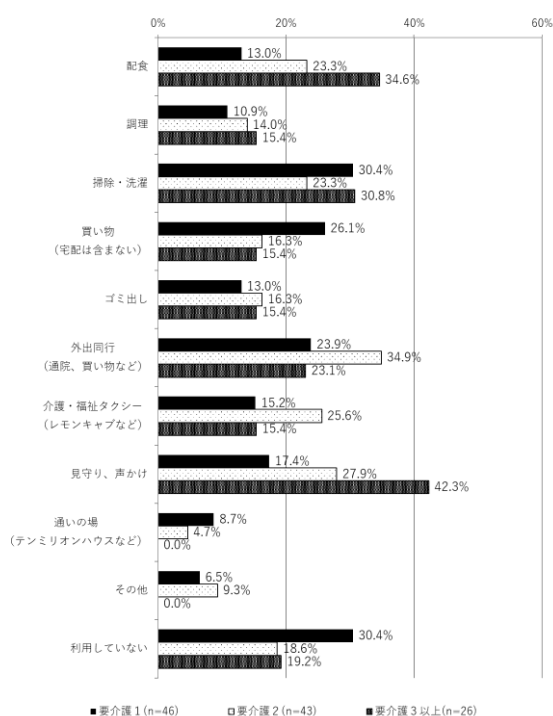
今後の在宅生活の継続に向けて必要と感じる支援・サービスは、「単身世帯」では「掃除・洗濯」「外出同行」が27.8%、「夫婦のみ世帯」では「掃除・洗濯」が29.4%、「配食」が26.5%、「その他の世帯」では「外出同行」が20.6%、「見守り・声かけ」が20.0%となっている。

<今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス別・要介護度>



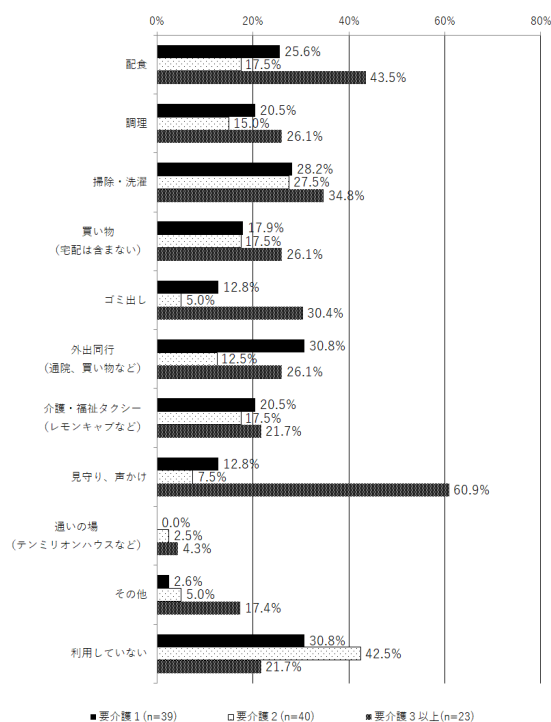
今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「要介護1」では「掃除・洗濯」、「要介護2」では「外出同行」、「要介護3」～「要介護5」では「見守り、声かけ」が多い。

<今後の生活の継続に必要と感じる支援・サービス別（単身世帯）・要介護度>



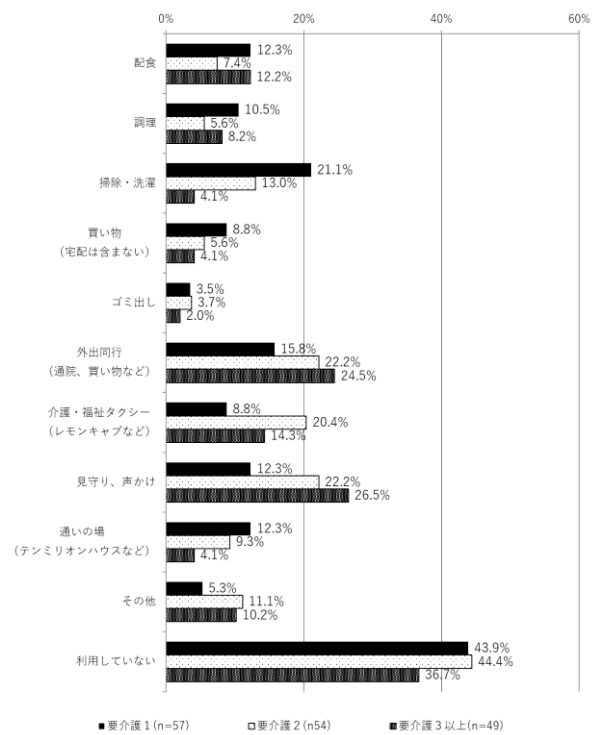
単身世帯での今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「要介護3以上」では「見守り、声かけ」が42.3%と最も多く、次いで「配食」が34.6%となっている。

<今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス別（夫婦のみ世帯）・要介護度>



夫婦のみ世帯での今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「要介護3以上」では「見守り、声かけ」が60.9%と最も多く、次いで「配食」が43.5%となっている。

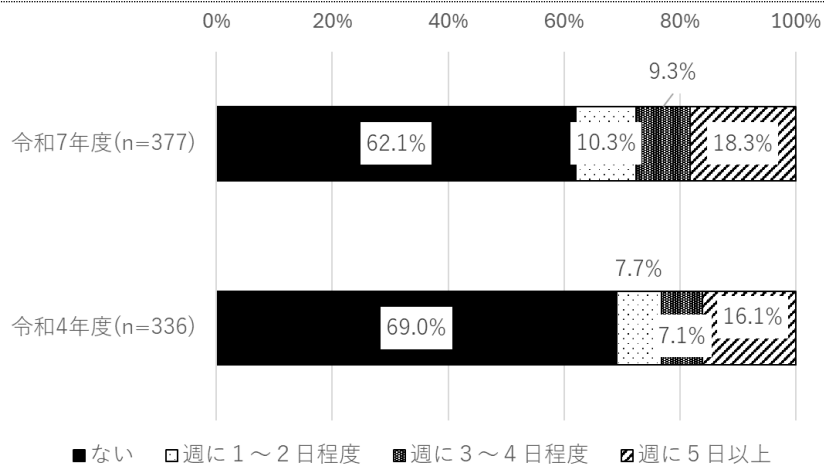
<在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス別（その他の世帯）・要介護度>



その他の世帯での、要介護度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「要介護3以上」では「見守り、声かけ」が26.5%と最も多く、次いで「外出同行」が24.5%となっている。

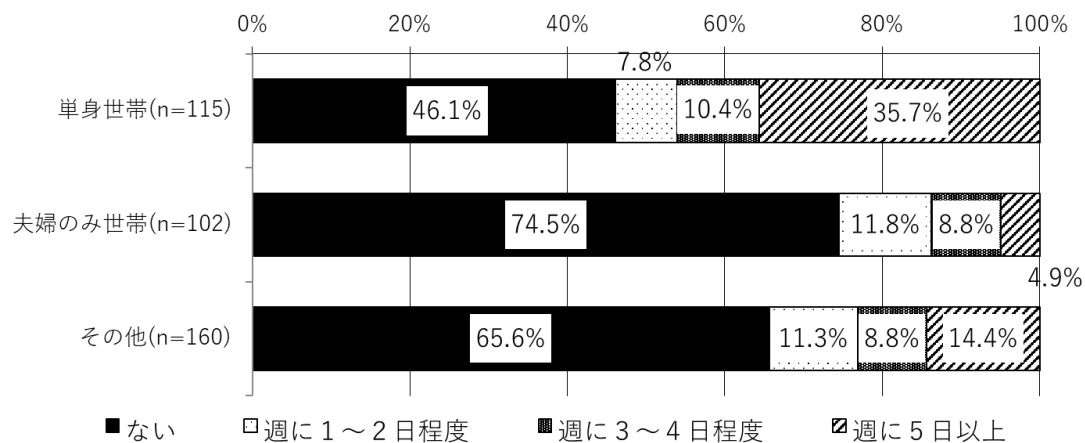
### 3. 在宅生活の状況

A票-問10 日中・夕方の時間帯（9～19時頃まで）において、介護や見守りが必要にもかかわらず、4時間以上介護や見守りをしてくれる人（ヘルパー等も含む）がそばにいない日が、週に何日程度ありますか。（1つを選択）



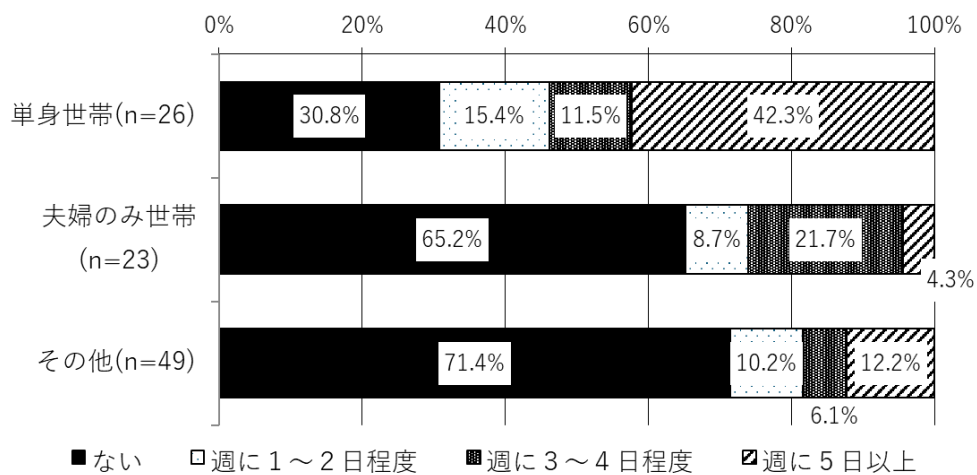
日中独居の有無は、「週に1日以上日中独居である（週に1～2日程度・週に3～4日程度・週に5日以上の合計）」割合が37.9%となっている。

#### <世帯類型別・日中独居の有無>



世帯類型別の日中独居の有無について、「週に1日以上日中独居である（週に1～2日程度・週に3～4日程度・週に5日以上の合計）」割合は、「単身世帯」が53.9%、「夫婦のみ世帯」が25.5%、「その他の世帯」が34.5%となっている。

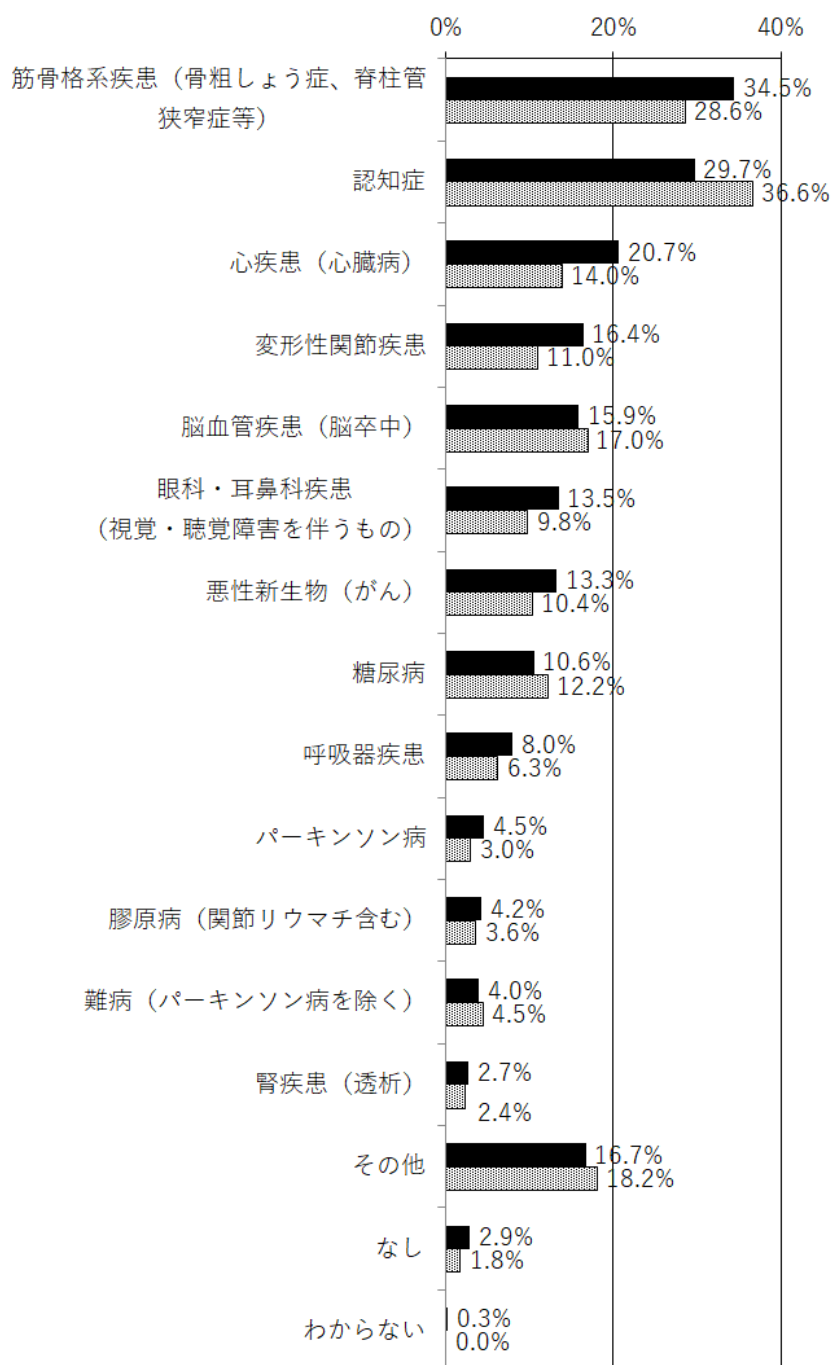
<世帯類型別・日中独居の有無（要介護3以上）>



要介護3以上における世帯類型別の日中独居の有無について、「週に1日以上日中独居である（週に1～2日程度・週に3～4日程度・週に5以上の合計）」割合は、「単身世帯」が69.2%、「夫婦のみ世帯」が34.7%、「その他の世帯」が28.5%である。

#### 4. 傷病状況など

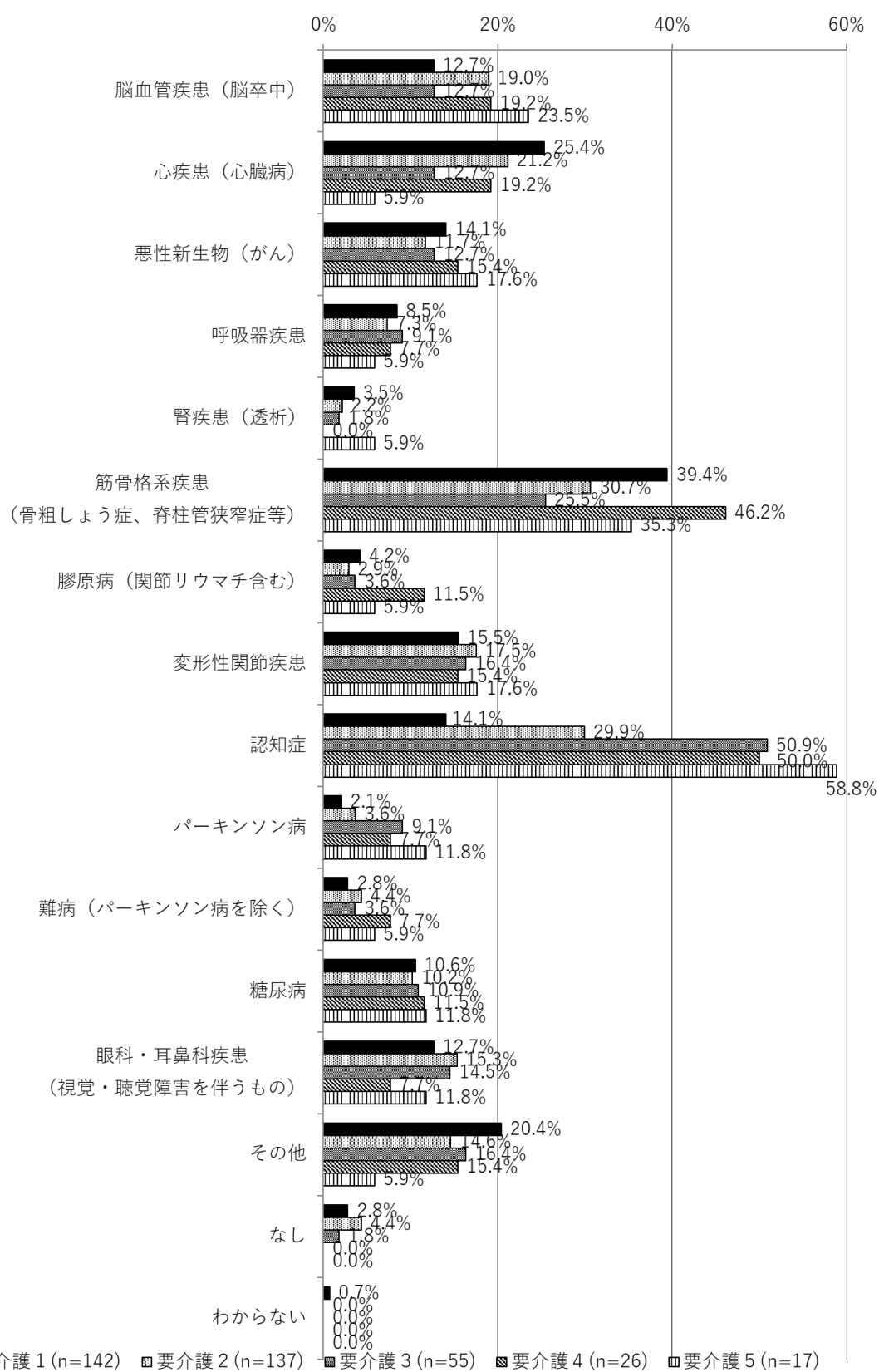
A票-問9 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。（複数選択可）



■ 令和7年度(n=377) ■ 令和4年度(n=336)

認定調査対象者が現在抱えている傷病は、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が34.5%と最も多く、次いで「認知症」が29.7%、「心疾患（心臓病）」が20.7%となっている。

<認定調査対象者が現在抱えている傷病別・要介護度>



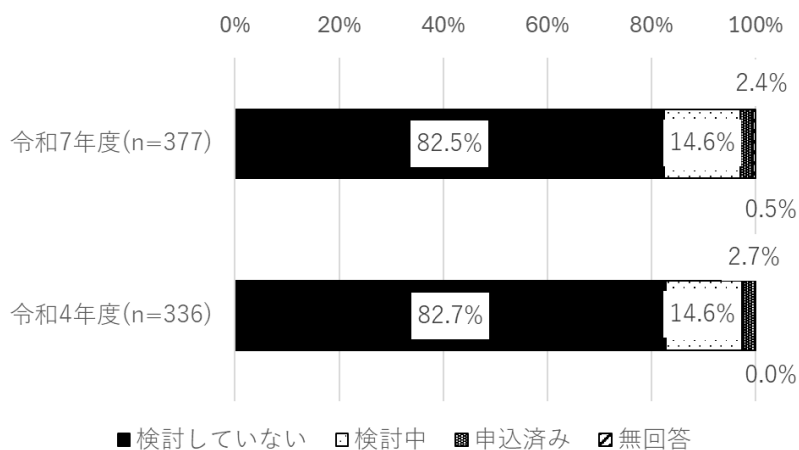
認定調査対象者が現在抱えている傷病は、「要介護5」では、「認知症」が58.8%と最も多く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が35.3%、「脳血管疾患」が23.5%となっている。

## 5. 施設等への入所・入居の検討状況

### (1) 施設等検討の状況

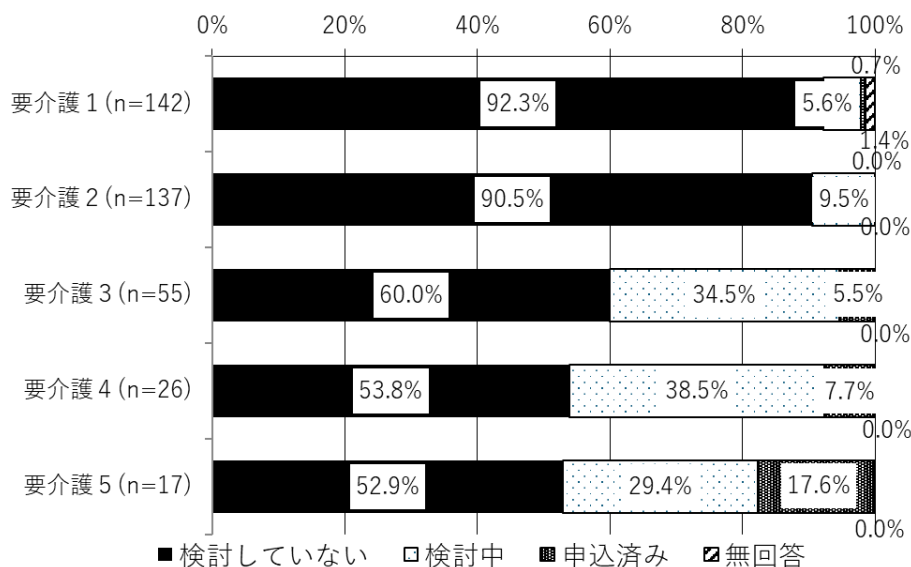
A票-問 13 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(1つを選択)

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。



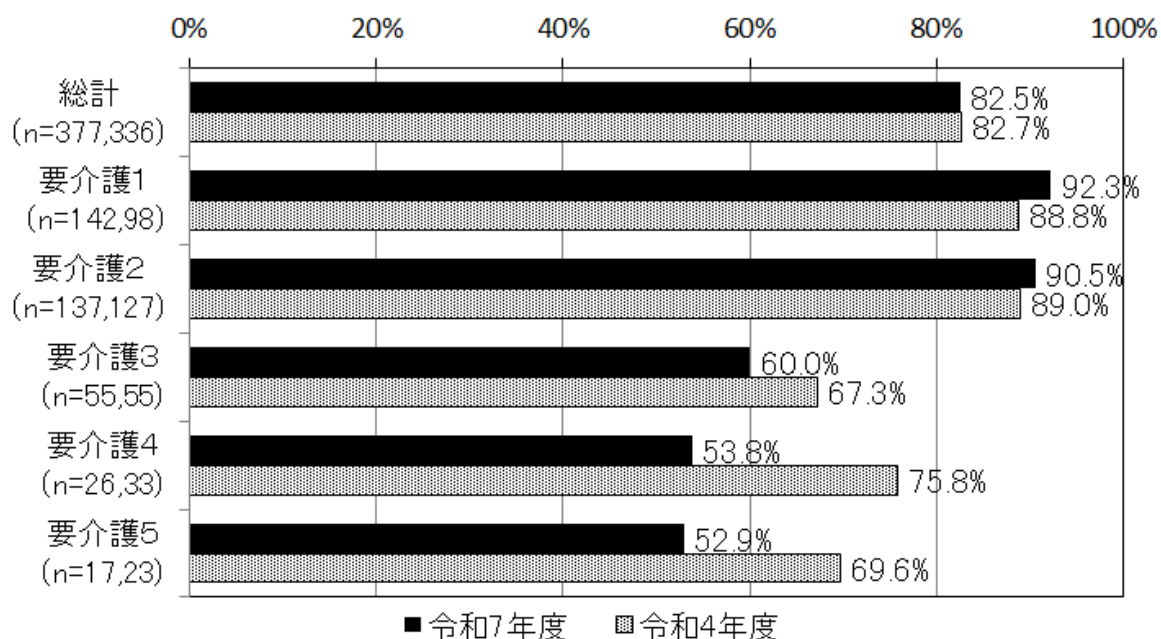
施設等への入所・入居の検討状況は、「検討中」が14.6%、「申込済み」が2.4%となっている。

### <要介護度別・施設等への入所・入居の検討状況>



施設等を「検討中」と「申込済み」の割合の合計は、「要介護1」が6.3%、「要介護2」が9.5%、「要介護3」が40.0%、「要介護4」が46.2%、「要介護5」が47.1%である。

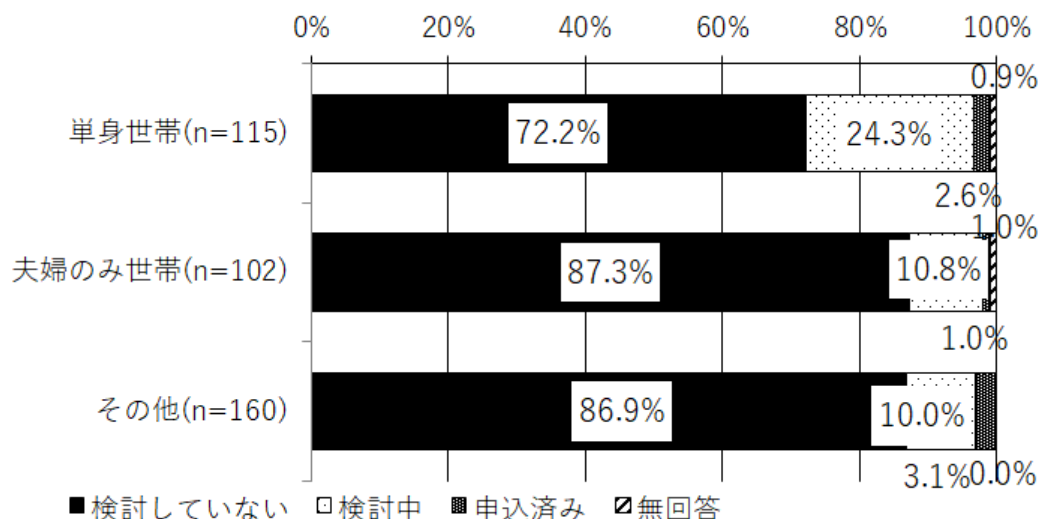
<要介護度別・施設等への入所・入居を「検討していない」割合>



施設等を「検討していない」の割合を、令和4年度調査と比較すると、令和7年度調査が82.5%、令和4年度調査が82.7%となっている。

※ n数は、「(n=令和7年度のn数, 令和4年度のn数)」である。

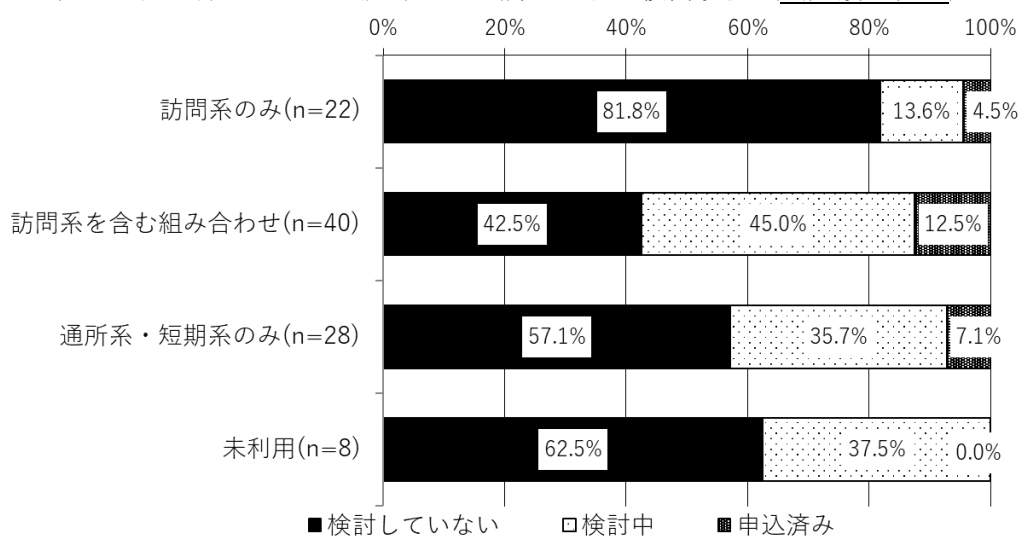
<世帯類型別・施設等への入所・入居の検討状況>



世帯類型別の施設等への入所・入居の検討状況について、施設等を「検討中」と「申込済み」の割合の合計は、「単身世帯」が26.9%、「夫婦のみ世帯」が11.8%、「その他の世帯」が13.1%である。

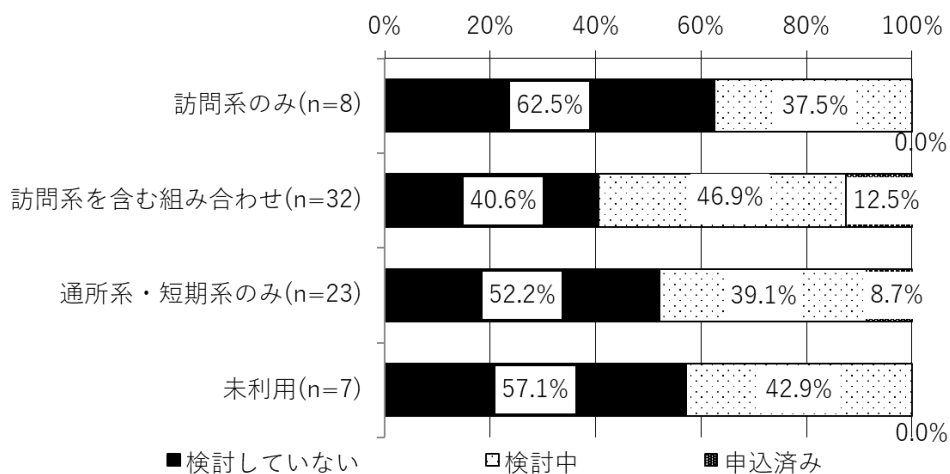
## (2) サービス利用の組み合わせと施設等への入所・入居の検討状況

< サービス利用の組み合わせ別・施設等への入所・入居の検討状況（要介護3以上） >



サービス利用の組み合わせ別の施設等への入所・入居の検討状況（要介護3以上）について、施設等を「検討中」と「申込済み」の割合の合計は、「訪問系のみ」が18.1%、「訪問系を含む組み合わせ」が57.5%、「通所系・短期系のみ」が42.8%、「未利用」が37.5%となっている。

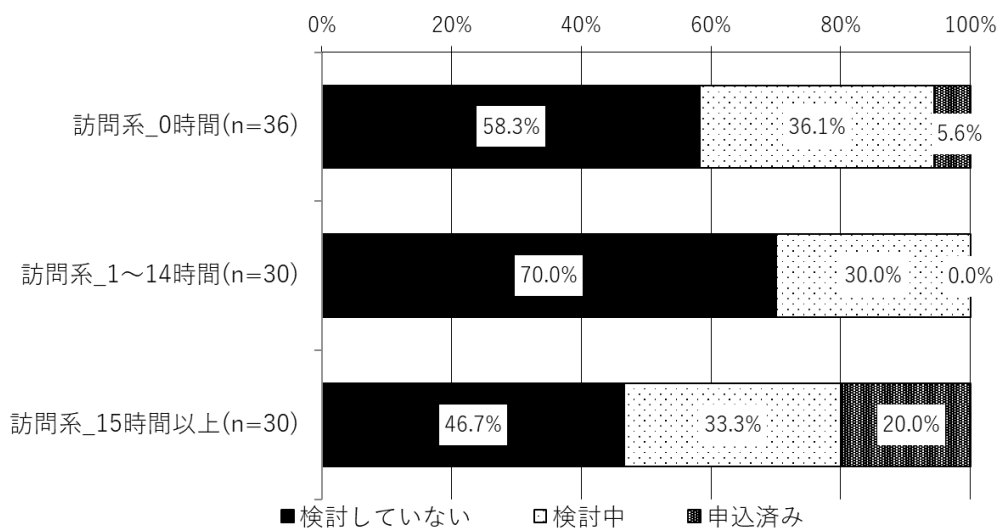
< サービス利用の組み合わせ別・施設等への入所・入居の状況（認知症自立度Ⅲ以上） >



サービス利用の組み合わせ別の施設等への入所・入居の検討状況（認知症自立度Ⅲ以上）について、施設等を「検討中」と「申込済み」の割合の合計は、「訪問系のみ」が37.5%、「訪問系を含む組み合わせ」が59.4%、「通所系・短期系のみ」が47.8%、「未利用」が42.9%となっている。

### (3) サービス利用の回数と施設等への入所・入居の検討状況

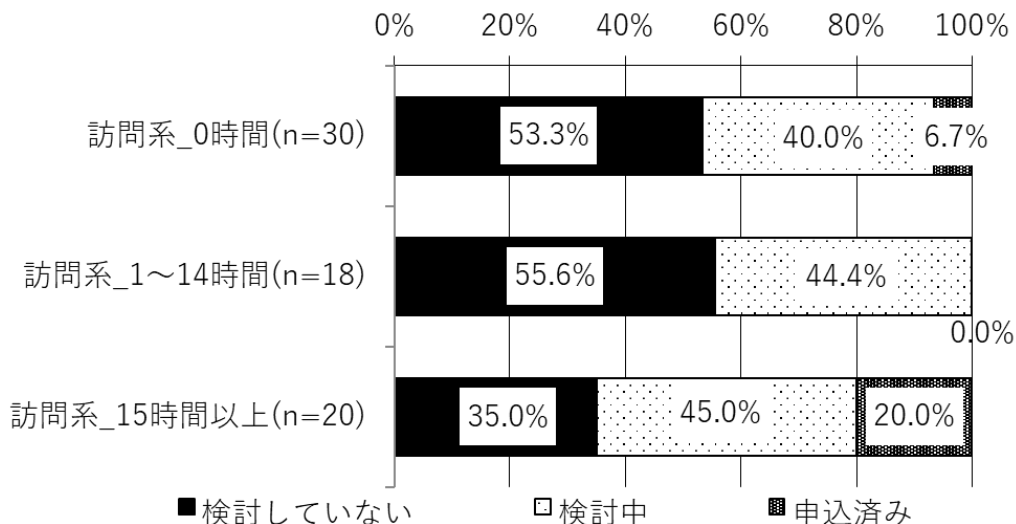
<訪問系サービスの利用時間別・施設等への入所・入居の検討状況（要介護3以上）>



(注) 看護多機能、小規模多機能、定期巡回の利用者で回数が不明の2件は集計対象から除外した。

訪問系サービスの利用時間別の施設等検討の状況について、施設等を「検討中」と「申込済み」の割合の合計は、「訪問系0時間」が41.7%、「訪問系1～14時間」が30.0%、「訪問系15時間以上」が53.3%となっている。

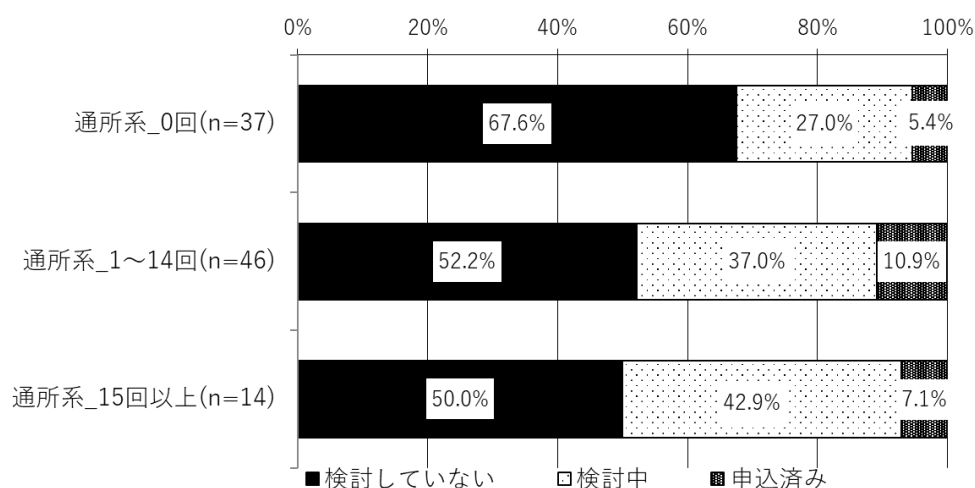
<訪問系サービスの利用時間別・施設等への入所・入居の検討状況（認知症自立度Ⅲ以上）>



(注) 看護多機能、小規模多機能、定期巡回の利用者で回数が不明の2件は集計対象から除外した。

訪問系サービスの利用時間別の施設等への入所・入居の検討状況について、認知症自立度Ⅲ以上の施設等を「検討中」と「申請済み」の割合の合計は、「訪問系0時間」で46.7%、「訪問系1～14時間」で44.4%、「訪問系15時間以上」で65.0%となっている。

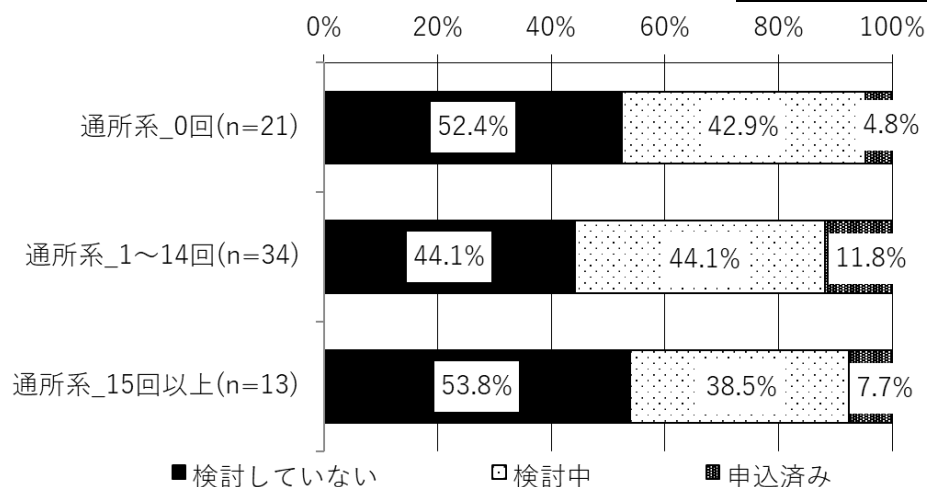
<通所系サービスの利用回数別・施設等への入所・入居の検討状況（要介護3以上）>



(注) 看護多機能、小規模多機能、定期巡回の利用者で回数が不明の1件は集計対象から除外した。

通所系サービスの利用回数別の施設等への入所・入居の検討状況について、要介護3以上の施設等を「検討中」と「申込済み」の割合の合計は、「通所系0回」で32.4%、「通所系1~14回」で47.9%、「通所系15回以上」で50.0%となっている。

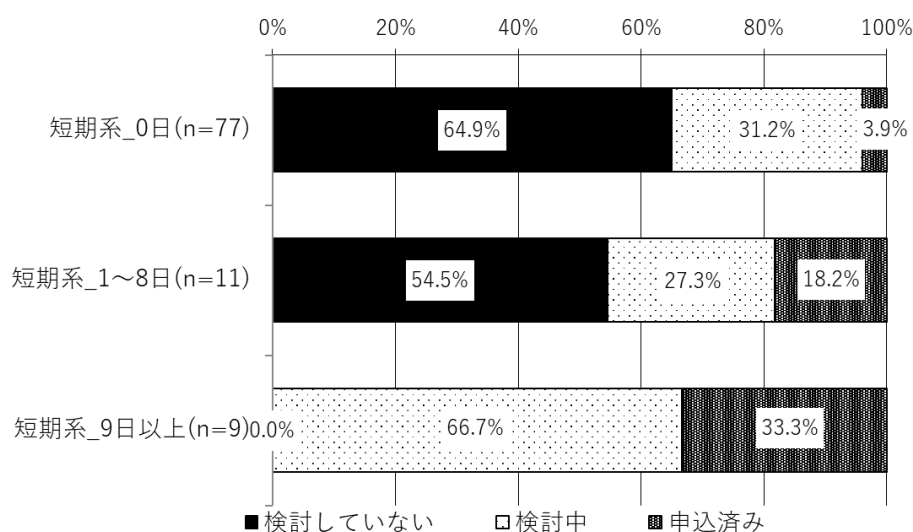
<通所系サービスの利用回数別・施設等への入所・入居の検討状況（認知症自立度Ⅲ以上）>



(注) 看護多機能、小規模多機能、定期巡回の利用者で回数が不明の2件は集計対象から除外した。

通所系サービスの利用回数別の施設等への入所・入居の検討状況について、認知症自立度Ⅲ以上の施設等を「検討中」と「申込済み」の割合の合計は、「通所系0回」で47.7%、「通所系1~14回」で55.9%、「通所系15回以上」で46.2%だった。

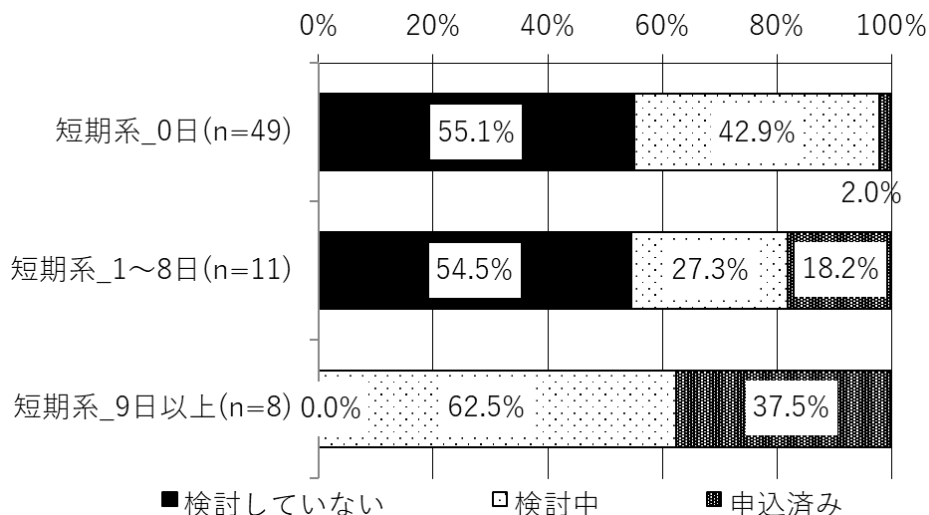
<短期系サービスの利用日数別・施設等への入所・入居の検討状況（要介護3以上）>



(注) 看護多機能、小規模多機能、定期巡回の利用者で回数が不明の1件は集計対象から除外した。

短期系サービスの利用日数別の施設等への入所・入居の検討状況について、要介護3以上の施設等を「検討中」と「申込済み」の割合の合計は、「短期系0日」で35.1%、「短期系1～8日」で45.5%、「短期系9日以上」で100.0%となっている。

<短期系サービスの利用日数別・施設等への入所・入居の検討状況（認知症自立度Ⅲ以上）>

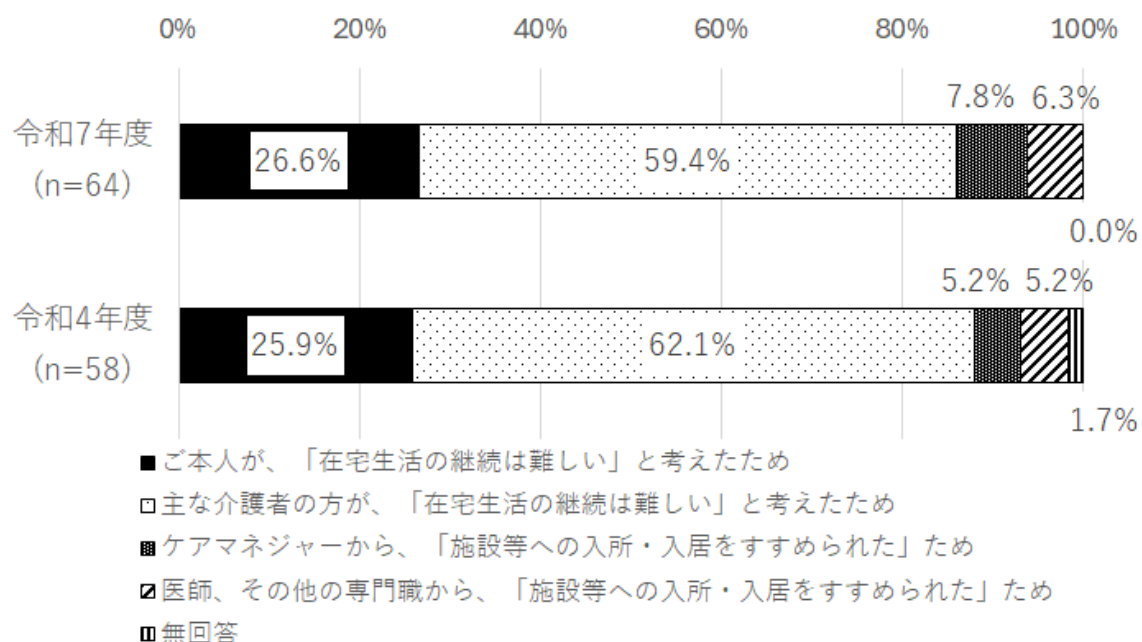


(注) 看護多機能、小規模多機能、定期巡回の利用者で回数が不明の2件は集計対象から除外した。

短期系サービスの利用日数別の施設等への入所・入居の検討状況について、認知症自立度Ⅲ以上の施設等を「検討中」と「申込済み」の割合の合計は、「短期系0日」で44.9%、「短期系1～8日」で45.5%、「短期系9日以上」で100.0%となっている。

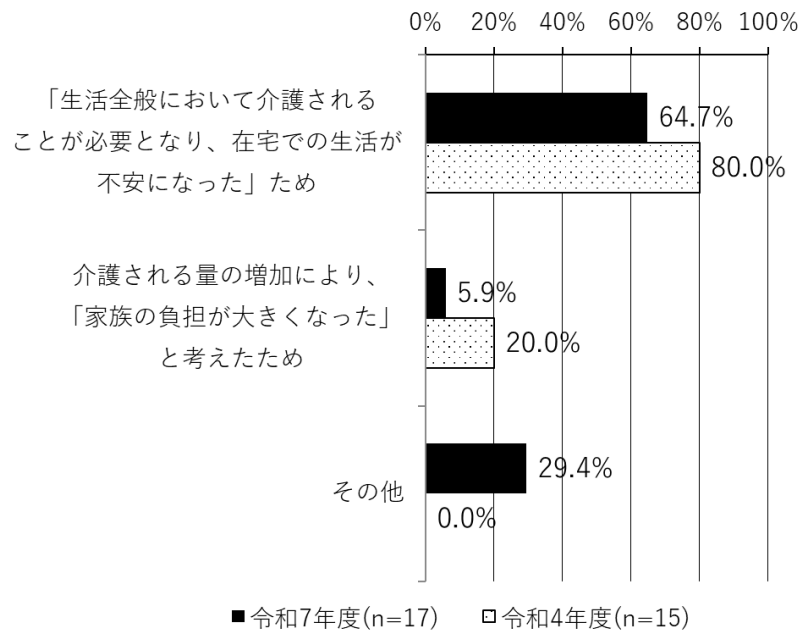
#### (4) 施設等検討の理由など

A票-問 14 問 13 において「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居申し込みをしている」と回答した方にお伺いします。入所・入居を検討された、一番大きなきっかけをご回答ください。(1つを選択)。



施設等への「入所・入居を検討している」及び「すでに入所・入居申し込みをしている」方(64名)が、入所・入居を検討した一番大きなきっかけは、「主な介護者の方が、『在宅生活の継続は難しい』と考えたため」が59.4%、「ご本人が、『在宅生活の継続は難しい』と考えたため」が26.6%、「ケアマネジャーから、『施設等への入所・入居をすすめられた』ため」が7.8%、「医師、その他の専門職から、『施設等への入所・入居をすすめられた』ため」が6.3%となっている。

A票-問 15 問 14 で「ご本人が、『在宅生活の継続は難しい』と考えたため」を選択された方にお伺いします。ご本人が、『在宅生活の継続は難しい』と考えるようになった、最も大きな理由をご回答ください。（1つを選択）。

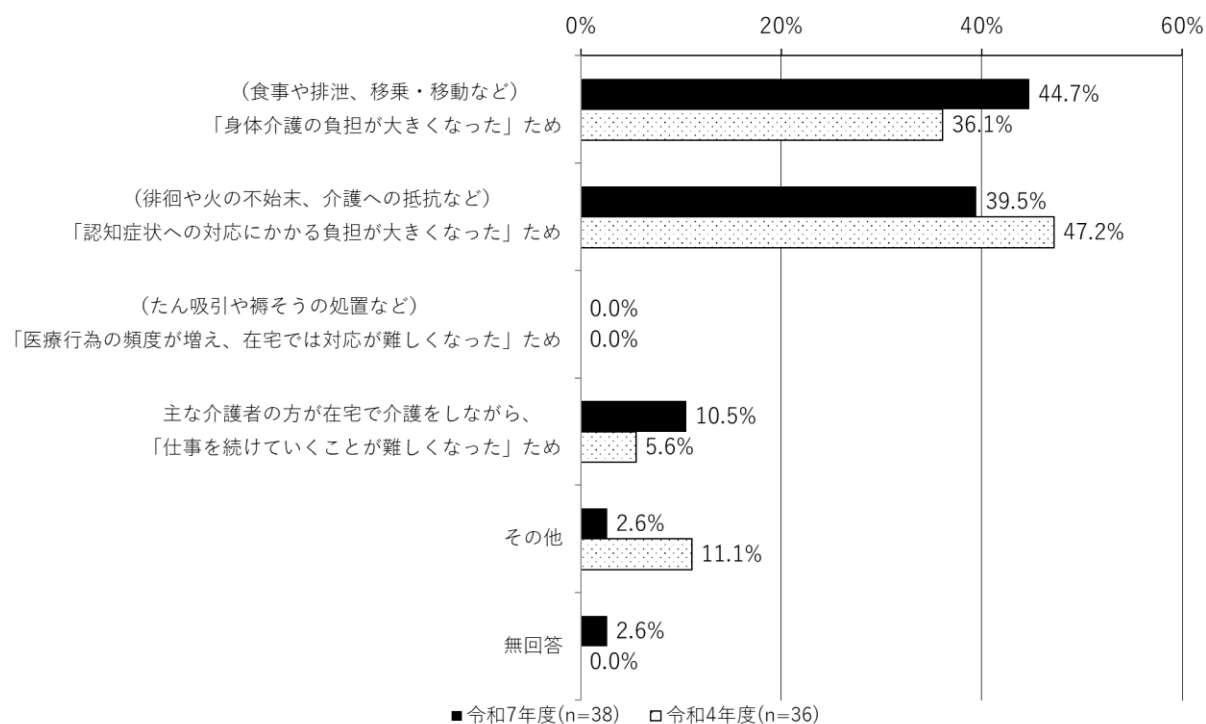


「ご本人が『在宅生活の継続は難しい』と考えたため」を選択した方（17名）が、在宅生活の継続は難しいと判断した最も大きな理由は、『生活全般において介護されることが必要となり、在宅での生活が不安になった』ため」が64.7%となっている。

なお、「その他」についての具体的な内容は、以下の通りである。

- ・ 緊急時の時を考えて
- ・ 将来的に介護が必要となった際に身寄りが近隣にいないことが不安なため

A票-問 16 問 14 で「主な介護者の方が、『在宅生活の継続は難しい』と考えたため」を選択された方にお伺いします。主な介護者の方が、「在宅生活の継続は難しい」と考えるようになった、最も大きな理由をご回答ください。（1つを選択）。



「主な介護者の方が『在宅生活の継続は難しい』と考えたため」を選択した方（38名）が、在宅生活の継続は難しいと判断した最も大きな理由は、「(食事や排泄、移乗・移動など)「身体介護の負担が大きくなった」ため」が44.7%となっている。

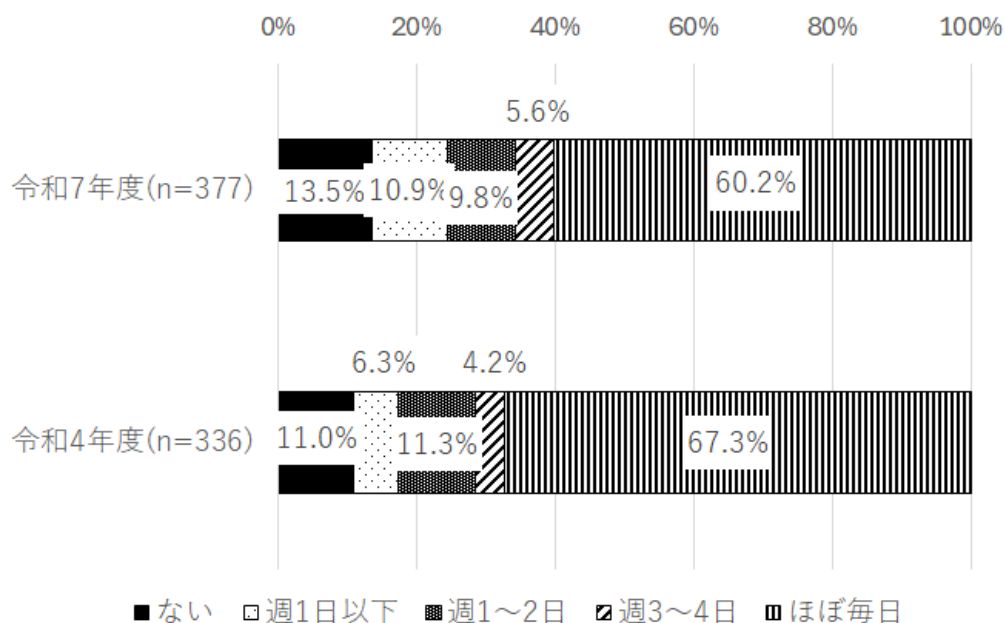
なお、「その他」についての具体的な内容は、以下の通りである。

- ・ 介護者も年を重ねていく。自分（介護者）は出来ると思って介護をしてきたが、膝が痛みだすなど身体の変化が出てきている。無理ができなくなる前に入所の検討をと思った。
- ・ 今すぐに施設入所に向けて動くという訳ではない。両親の2人暮らし。父親が身体介護、認知症への対応が必要になったら2人の生活が維持できない。2人の介護となると介護負担も大きくなる。そうなる少し前に毎年度の施設入所を子供達で話し合っている。

## 6. 主な介護者の状況

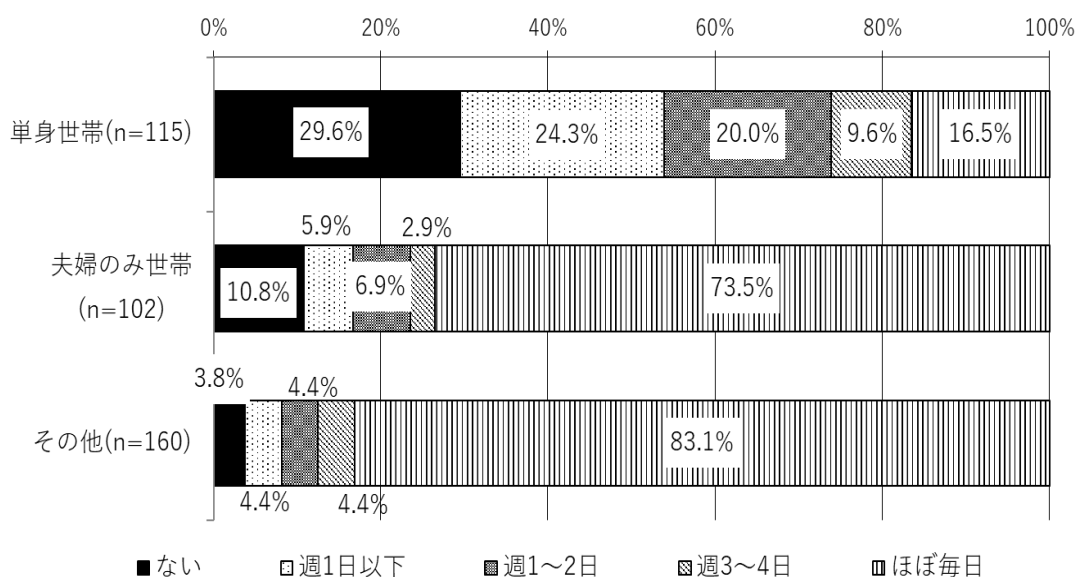
### (1) 家族や親族による介護の頻度

A票-問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（1つを選択）



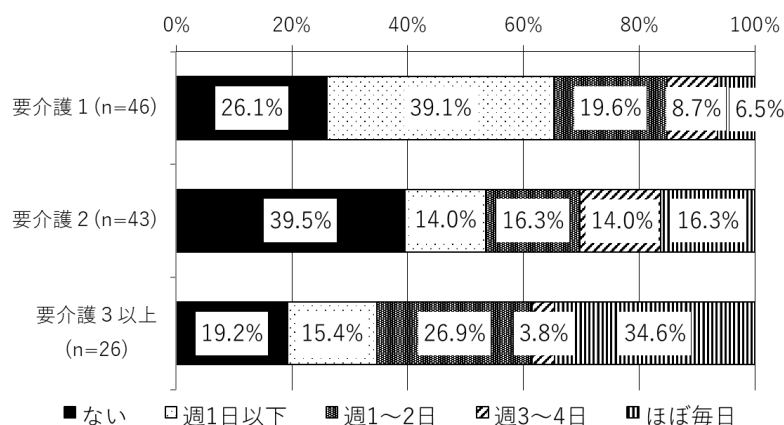
家族や親族による介護の頻度は、「ほぼ毎日」が60.2%と最も多く、次いで「ない」が13.5%、「週1日以下」が10.9%となっている。家族や親族からの介護を受けている方の割合は86.5%となっている。

#### <世帯類型別・家族等による介護の頻度>



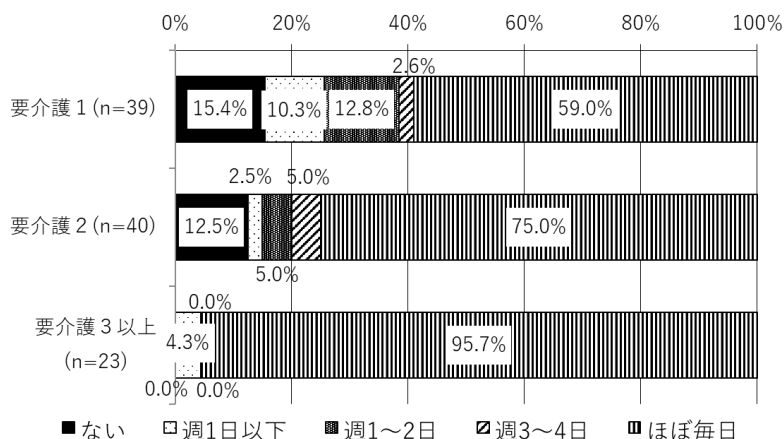
家族や親族による介護の頻度について、「ほぼ毎日」の割合は、「単身世帯」が16.5%、「夫婦のみ世帯」が73.5%、「その他の世帯」が83.1%となっている。

<要介護度別・家族等による介護の頻度（単身世帯）>



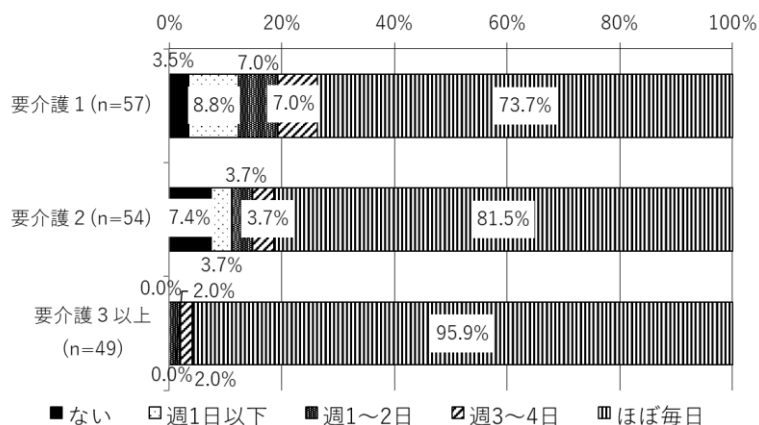
単身世帯での家族や親族による介護の頻度について、「ほぼ毎日」の割合は「要介護1」が6.5%、「要介護2」が16.3%、「要介護3以上」が34.6%となっている。

<要介護度別・家族等による介護の頻度（夫婦のみ世帯）>



夫婦のみ世帯での家族や親族による介護の頻度について、「ほぼ毎日」の割合は「要介護1」が59.0%、「要介護2」が75.0%、「要介護3以上」が95.7%である。

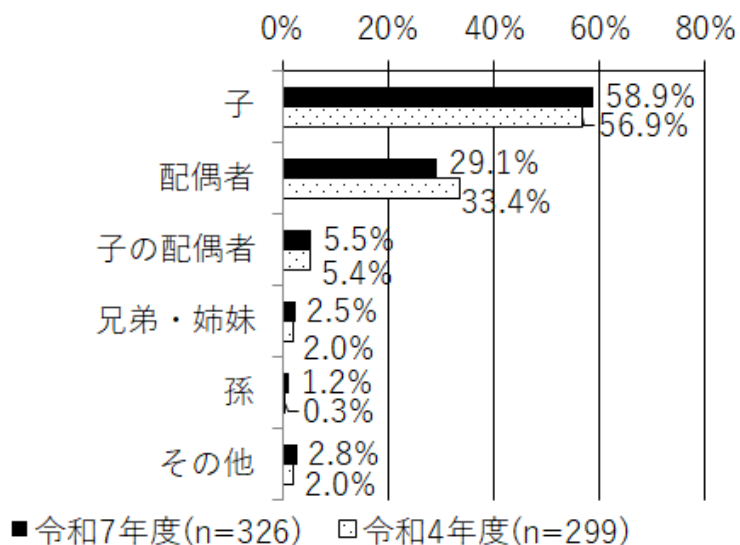
<要介護度別・家族等による介護の頻度（その他の世帯）>



その他の世帯での家族や親族による介護の頻度について、「ほぼ毎日」の割合は「要介護1」が73.7%、「要介護2」が81.5%、「要介護3以上」が95.9%である。

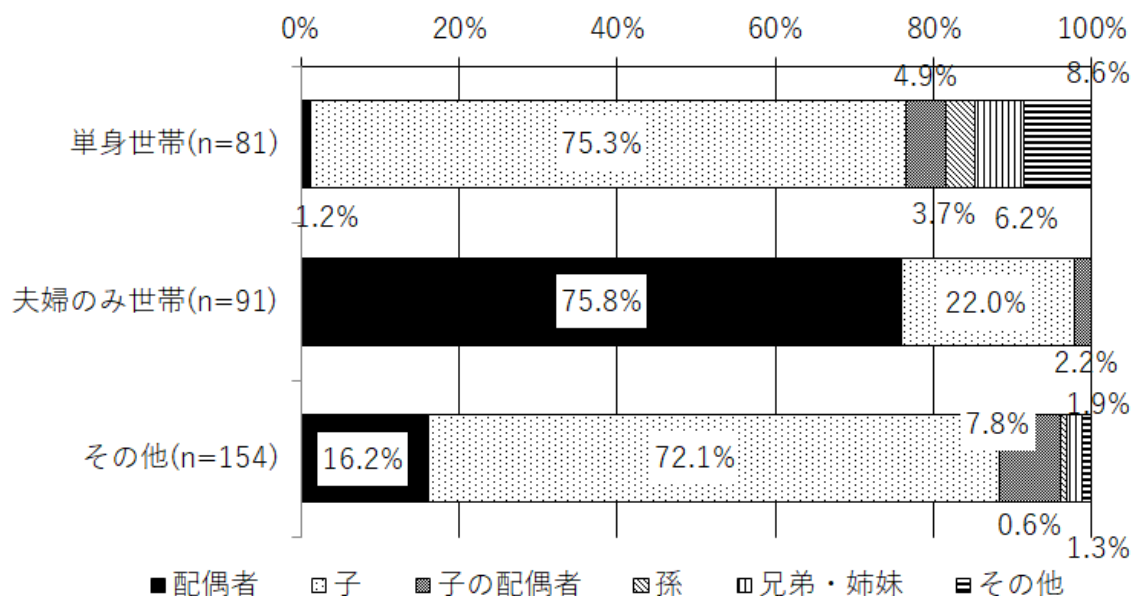
## (2) 主な介護者の属性

A票-問3 主な介護者の方は、どなたですか。(1つを選択)。



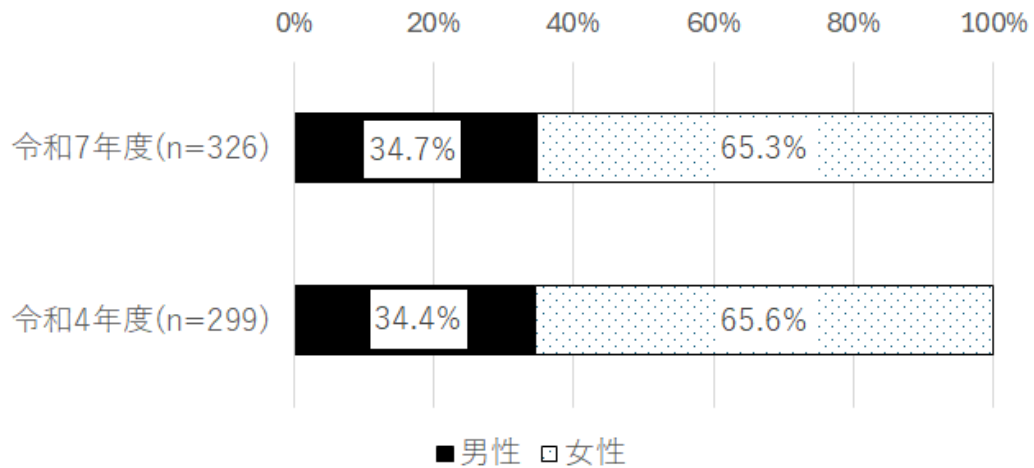
家族や親族からの介護を受けている方(326名)に主な介護者について尋ねたところ、本人と主な介護者の関係は、「子」が58.9%と最も多く、次いで「配偶者」が29.1%となっている。

<世帯類型別・要介護高齢者と主な介護者との関係>



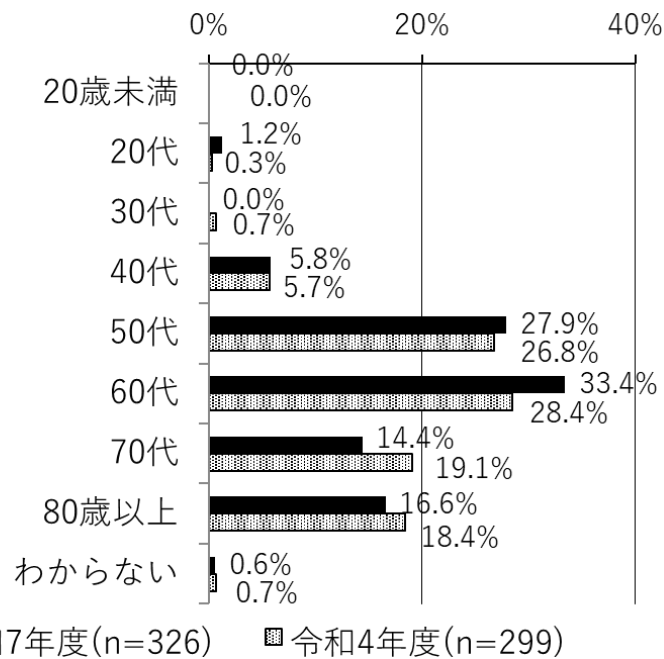
本人と主な介護者の関係は、「単身世帯」は「子」が75.3%、「夫婦のみ世帯」は「配偶者」が75.8%、「その他」は「子」が72.1%となっている。

A票-問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(1つを選択)。



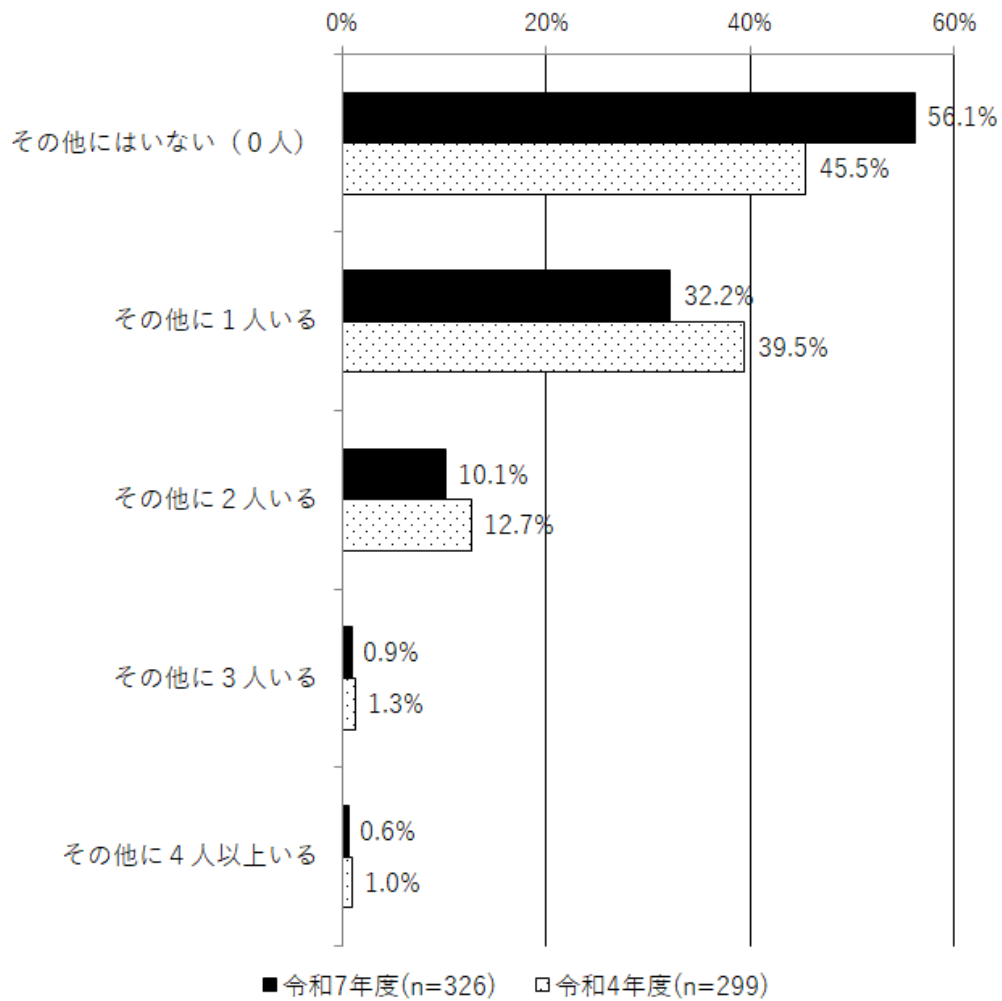
主な介護者の性別は、「男性」が34.7%、「女性」が65.3%となっている。

A票-問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)。



主な介護者の年齢は、「60代」が33.4%と最も多く、次いで「50代」が27.9%、「80歳以上」が16.6%でとなっている。主な介護者のうち、「70代以上」の割合は31.0%となっている。

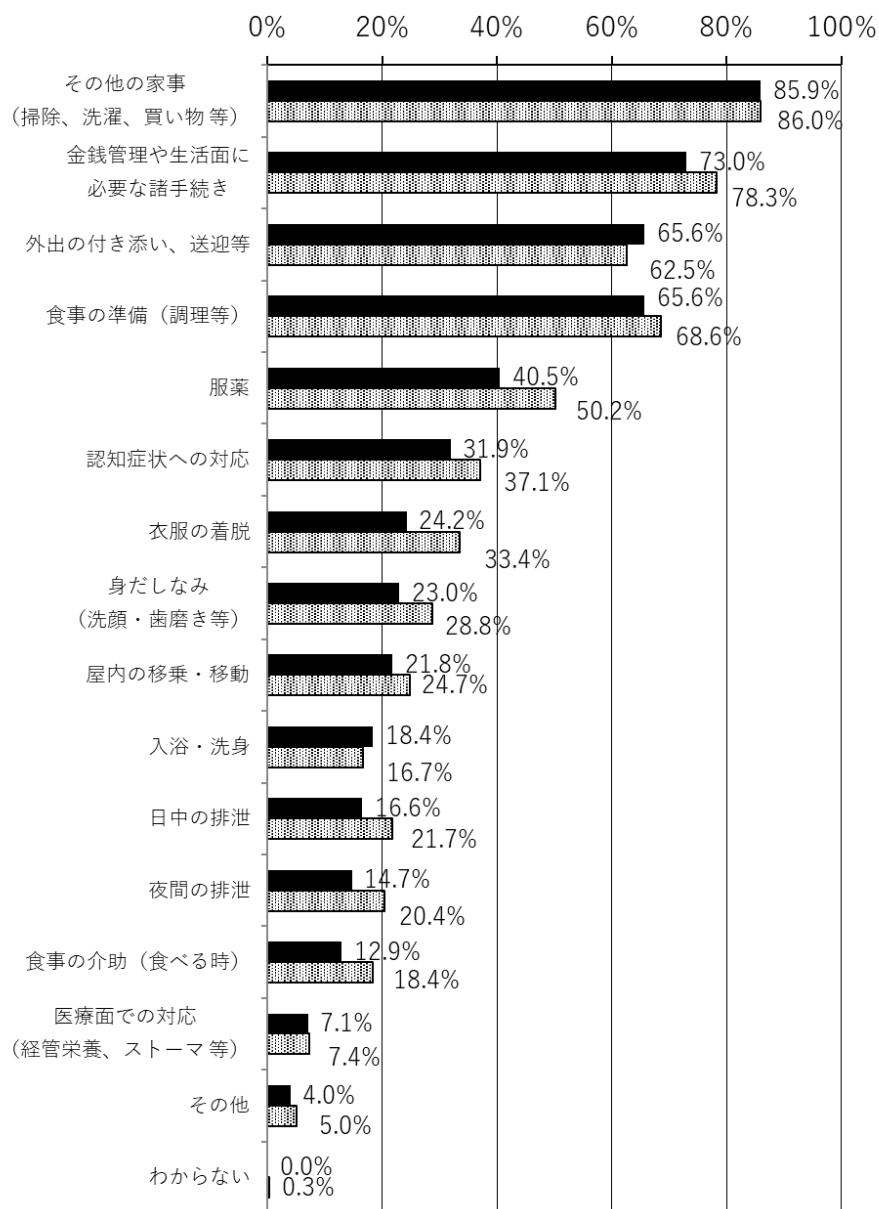
A票-問6 主な介護者の方がケアをする、その他（認定調査対象者以外）の家族・親族の人数について、ご回答ください（1つを選択）。



主な介護者がケアをする、その他の家族・親族の人数は、「その他にはいない(0人)」が56.1%、「その他に1人いる」が32.2%となっている。

### (3) 主な介護者が行っている介護の状況

A票-問7 現在、主な介護者の方が行っているご本人（認定調査対象者）の介護等について、ご回答ください。（複数選択可）

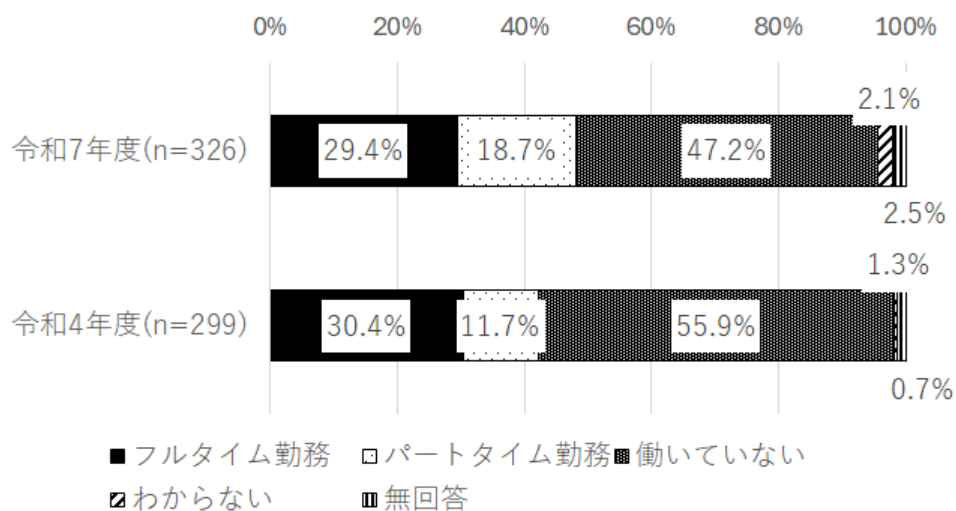


■ 令和7年度(n=326) ■ 令和4年度(n=299)

主な介護者が行っている介護は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が85.9%と最も多く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が73.0%、「外出の付き添い、送迎等」「食事の準備（調理等）」が65.6%となっている。

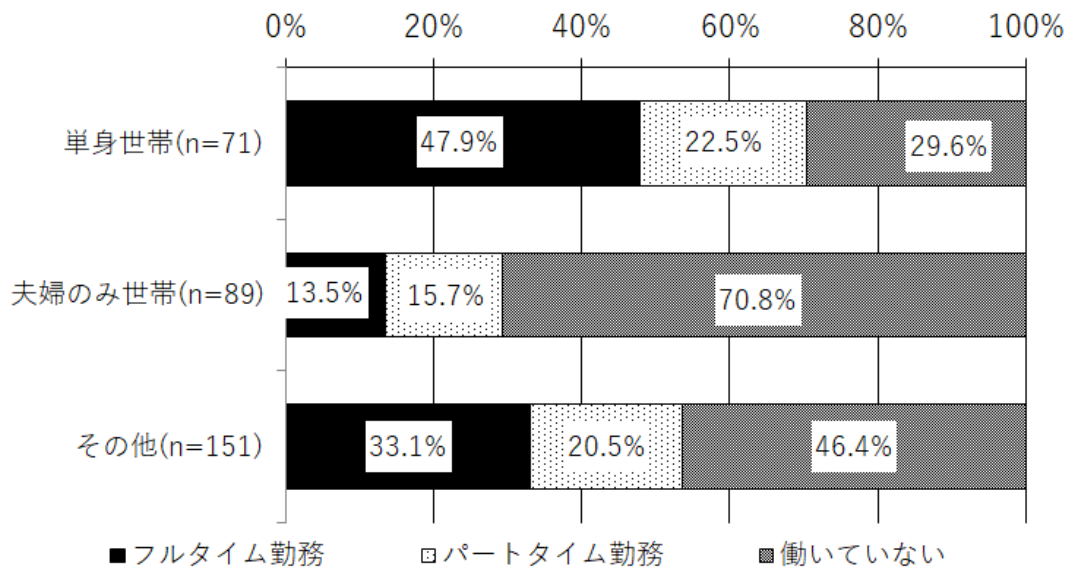
(4) 主な介護者の就労状況、介護と仕事の両立状況

B票-問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つを選択)



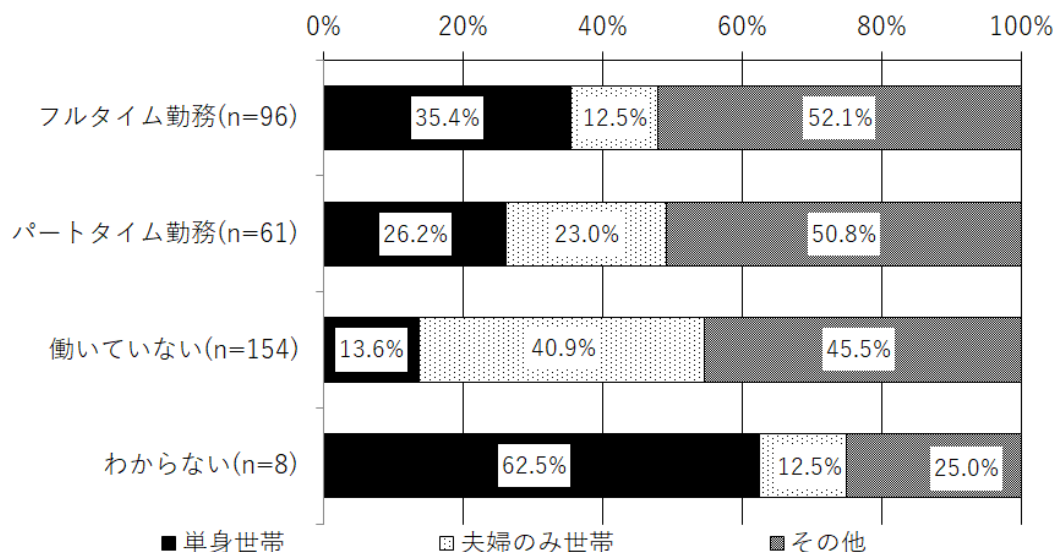
主な介護者の就労状況は、「働いていない」が47.2%、「フルタイム勤務」が29.4%、「パートタイム勤務」が18.7%となっている。

<世帯類型別・主な介護者の就労状況 ※「わからない」と「無回答」を除く>



世帯類型別の主な介護者の就労状況については、単身世帯では「フルタイム勤務」が47.9%と最も多い。夫婦のみ世帯、その他の世帯では「働いていない」が最も多く、それぞれ70.8%、46.4%となっている。

<主な介護者の就労状況別・世帯類型>

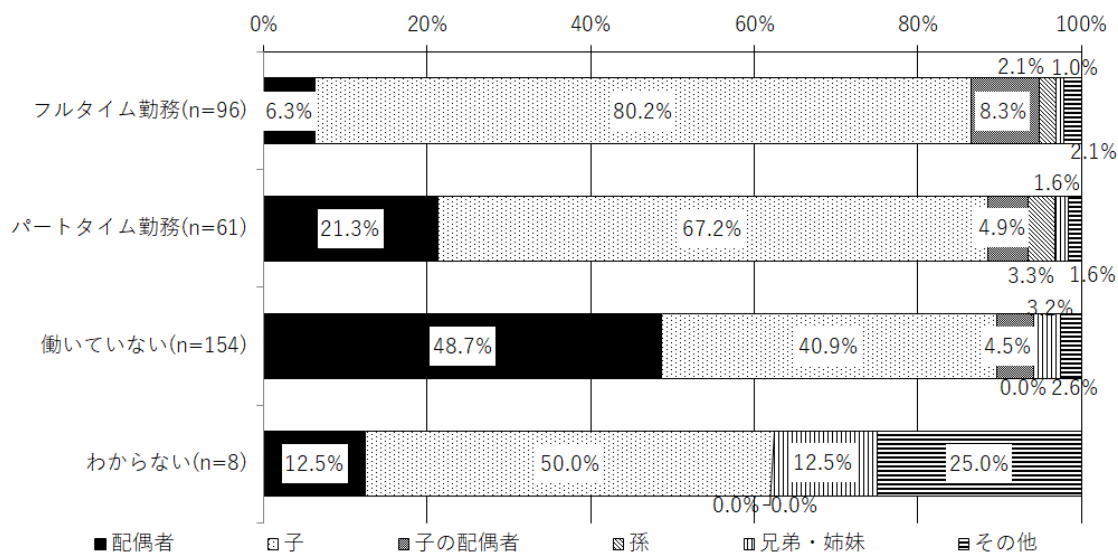


(注) 主な介護者の就労状況に関する無回答は表示していない。

主な介護者の就労状況別の世帯類型について、「フルタイム勤務」では、「単身世帯」が35.4%、「夫婦のみ世帯」が12.5%、「その他の世帯」が52.1%となっている。

また、「働いていない」では、「単身世帯」が13.6%、「夫婦のみ世帯」が40.9%、「その他の世帯」が45.5%となっている。

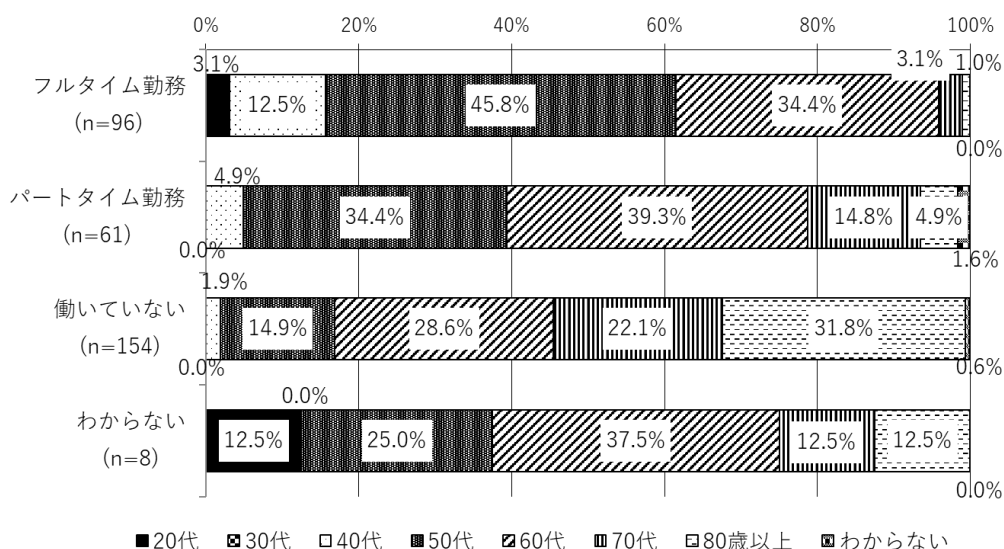
<主な介護者の就労状況別・主な介護者と本人の関係>



(注) 主な介護者の就労状況に関する無回答は表示していない。

主な介護者の就労状況別の主な介護者と本人の関係について、「フルタイム勤務」では「子」が80.2%、「パートタイム勤務」では「子」が67.2%、「働いていない」では「配偶者」が48.7%となっている。

<主な介護者の就労状況別・主な介護者の年齢>

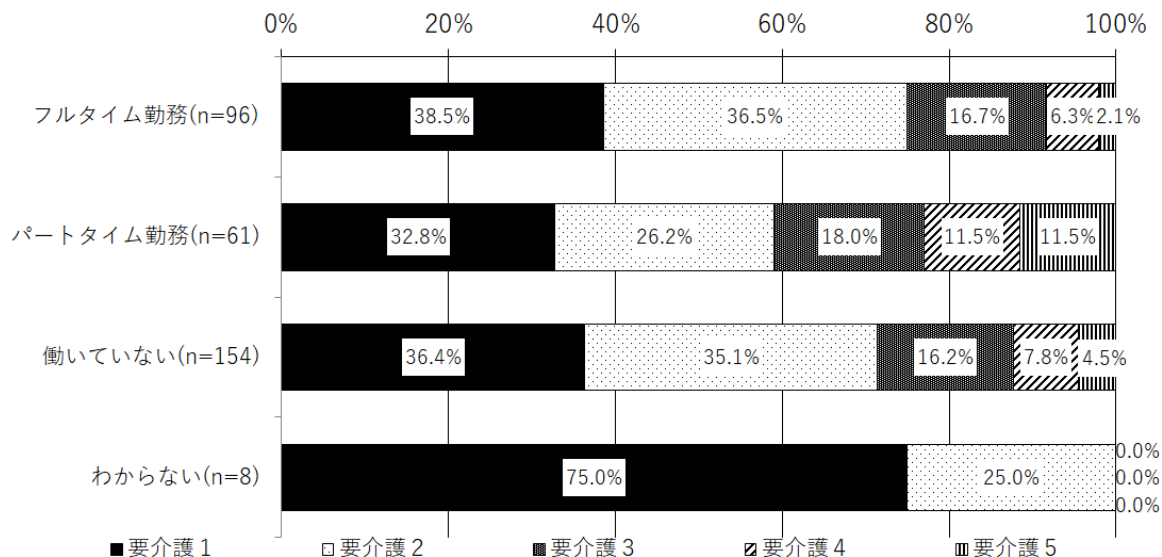


(注1) 主な介護者の就労状況に関する無回答は表示していない。

(注2) 「30代」は「0件」のため、表示していない。

主な介護者の就労状況別での主な介護者の年齢について、「フルタイム勤務」では「50代」が45.8%、「60代」が34.4%となっている。「パートタイム勤務」では「50代」が34.4%、「60代」が39.3%となっている。

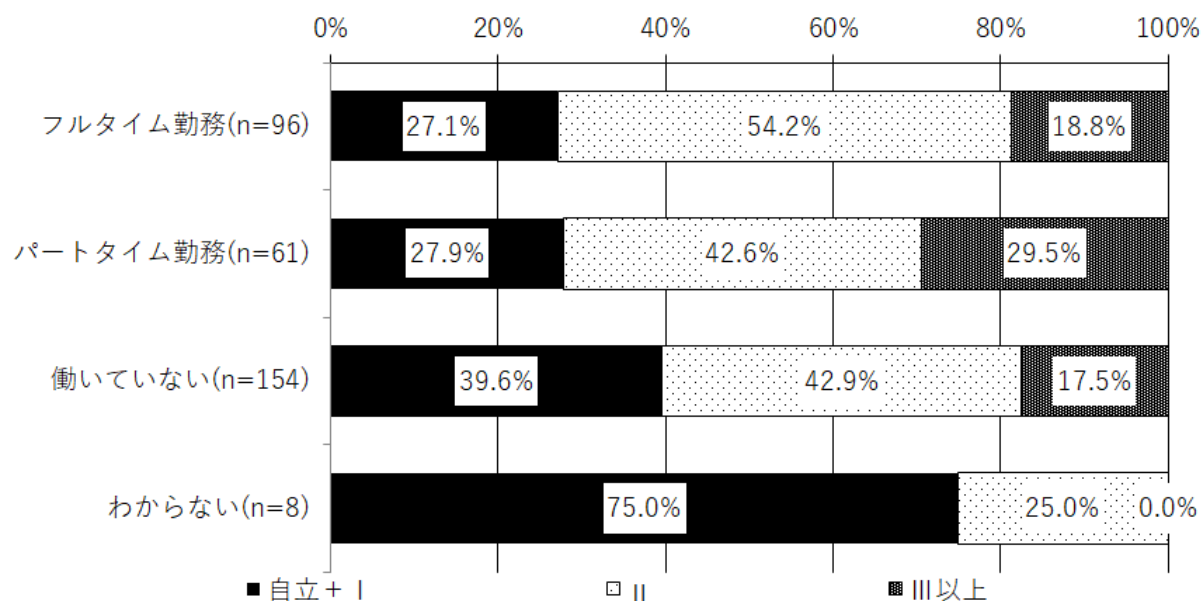
<主な介護者の就労状況別・本人の要介護度>



(注) 主な介護者の就労状況に関する無回答は表示していない。

主な介護者の就労状況別での本人の要介護度について、「フルタイム勤務」、「パートタイム勤務」、「働いていない」では「要介護1」の割合が高く、それぞれ38.5%、32.8%、36.4%となっている。

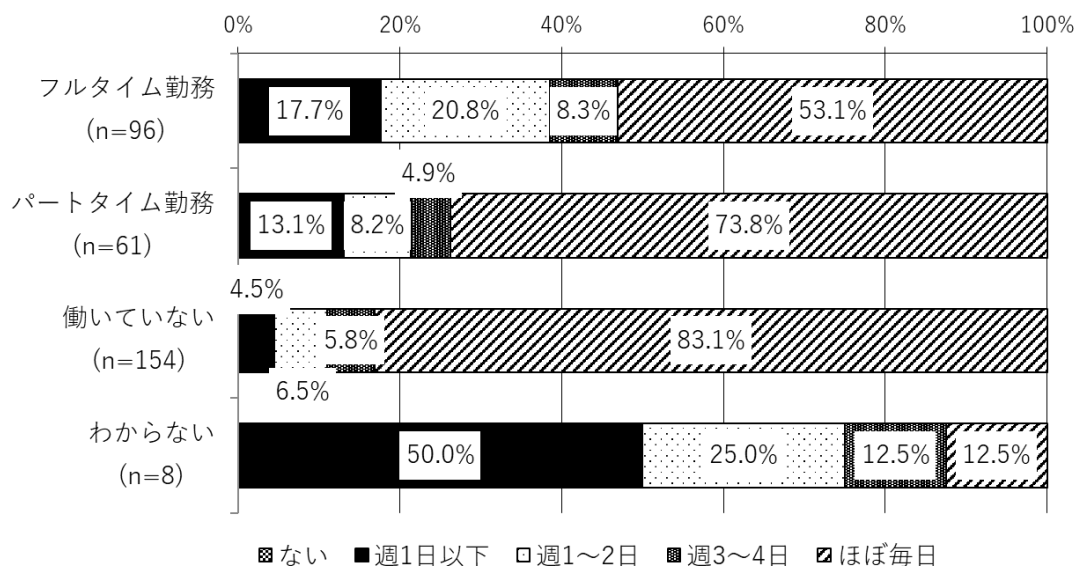
<主な介護者の就労状況別・本人の認知症自立度>



(注) 主な介護者の就労状況に関する無回答は表示していない。

主な介護者の就労状況別での本人の認知症自立度について、「認知症自立度Ⅲ以上」は、「フルタイム勤務」では18.8%、「パートタイム勤務」では29.5%、「働いていない」では17.5%となっている。

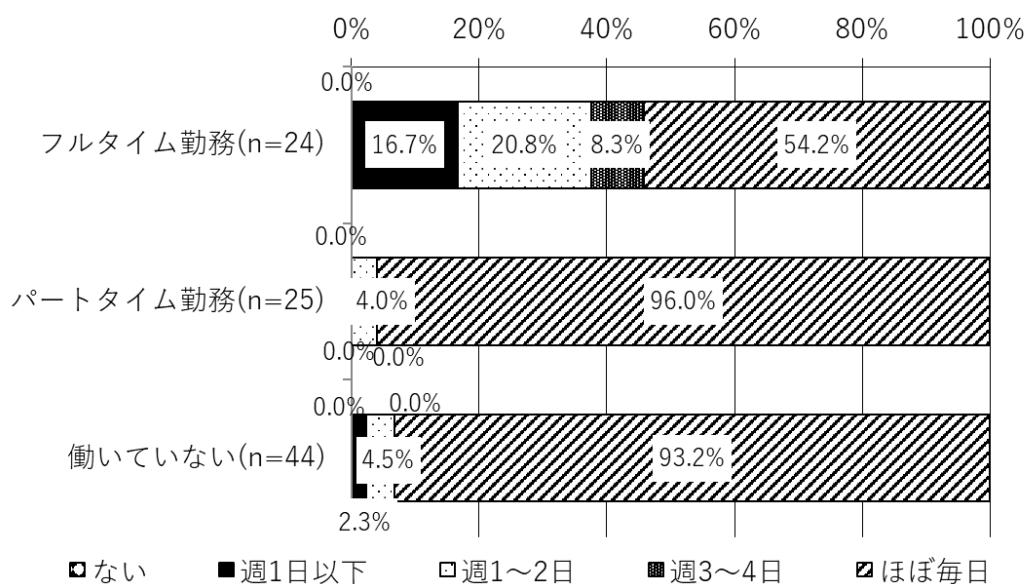
<主な介護者の就労状況別・家族等による介護の頻度>



(注) 主な介護者の就労状況に関する無回答は表示していない。

主な介護者の就労状況別での家族等による介護の頻度について、「ほぼ毎日」は、「フルタイム勤務」では53.1%、「パートタイム勤務」では73.8%、「働いていない」では83.1%となっている。

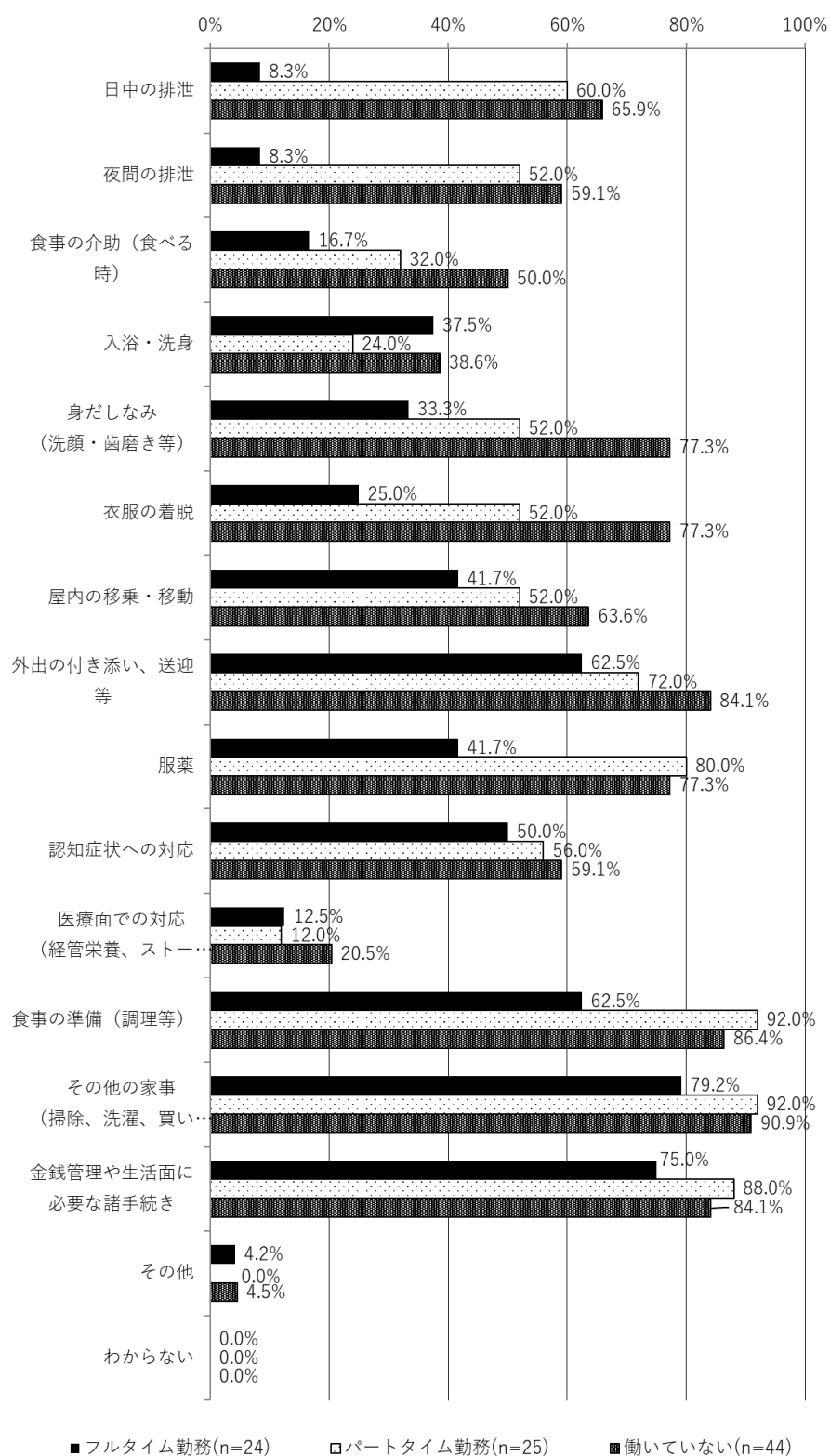
<主な介護者の就労状況別・家族等による介護の頻度（要介護3以上）>



(注) 主な介護者の就労状況に関する「わからない」「無回答」は0件のため、表示していない。

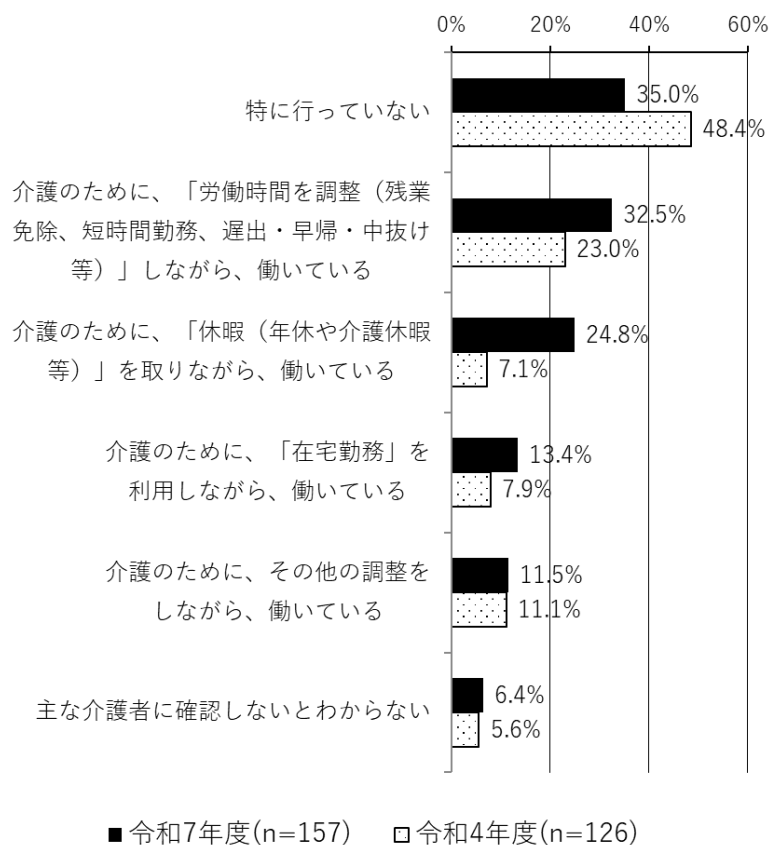
本人が要介護3以上における家族等による介護の頻度について、「ほぼ毎日」は、「フルタイム勤務」で54.2%、「パートタイム勤務」で96.0%、「働いていない」で93.2%となっている。

<主な介護者が行っている介護別・主な介護者の就労状況（要介護3以上）>



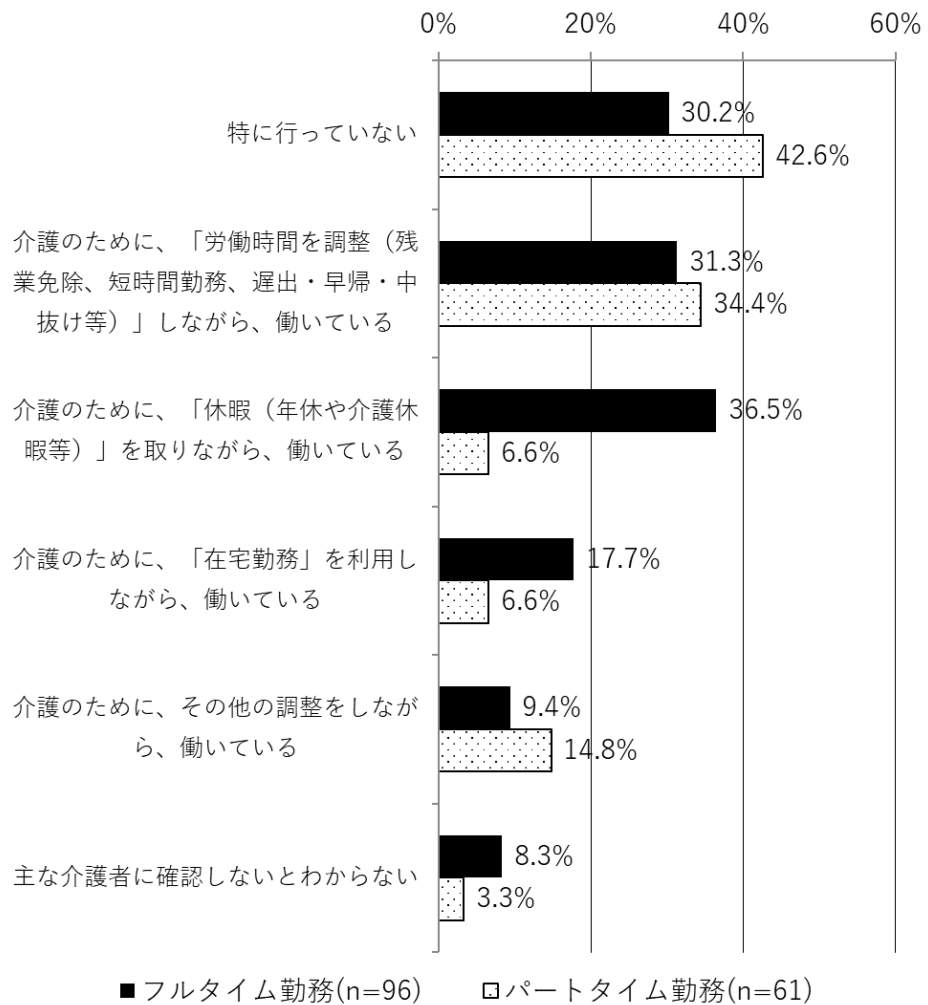
本人が要介護3以上における主な介護者が行っている介護は、「フルタイム勤務」は、「働いていない」と比較してすべての項目で割合が低い。

B票-問2 問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていいますか。(複数選択可)



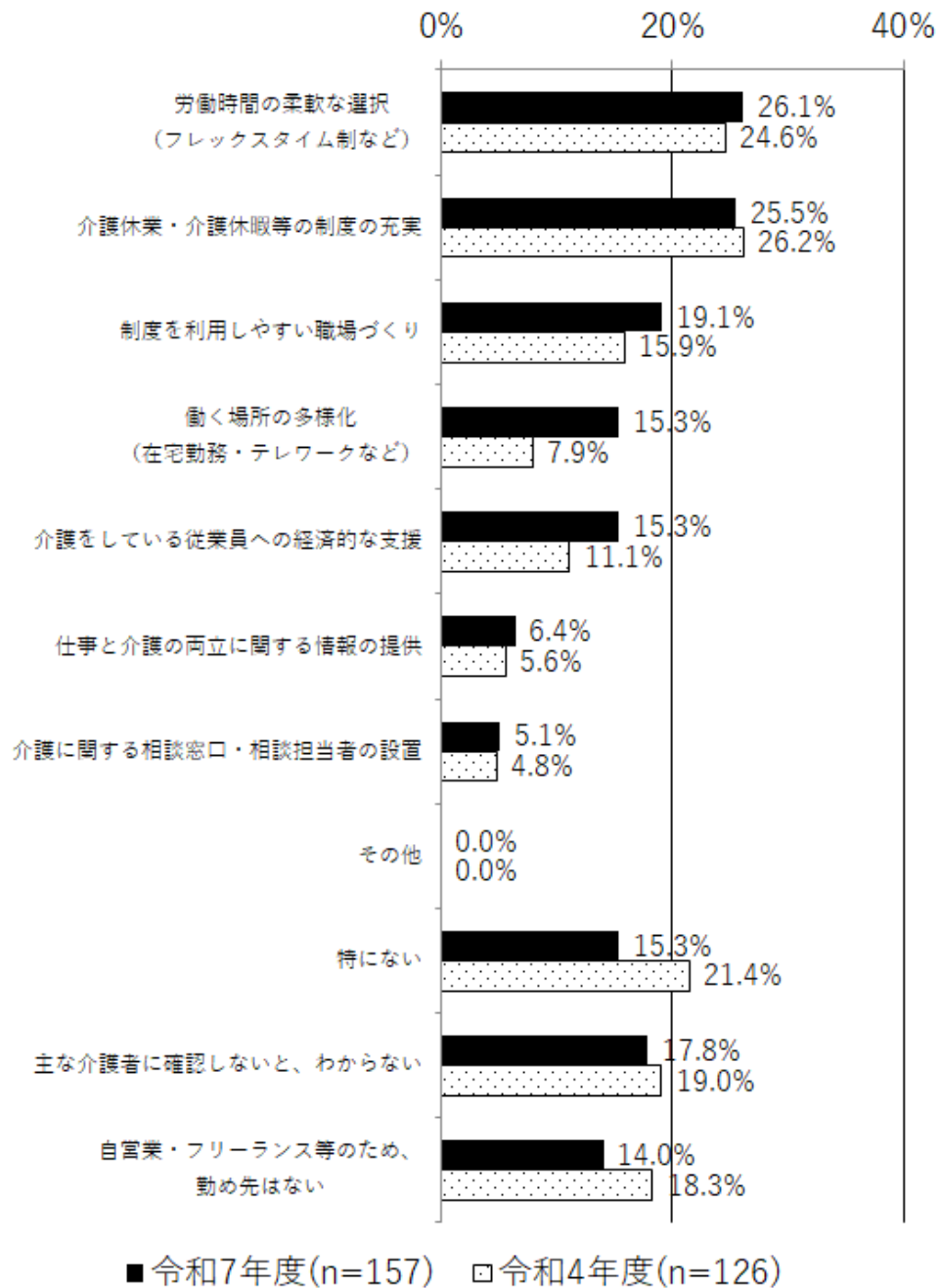
主な介護者の現在の勤務形態について「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方（157名）に働き方の調整等について尋ねたところ、「特に行っていない」が35.0%と最も多く、次いで「介護のために、『労働時間を調整』しながら、働いている」が32.5%となっている。

<介護のための働き方の調整の有無別・就労状況>



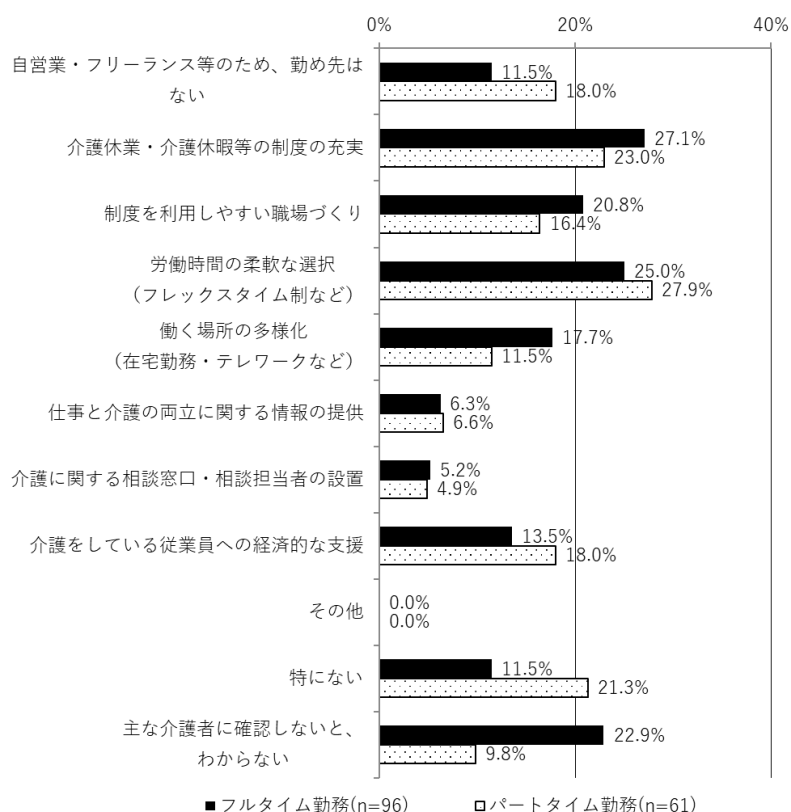
介護のための働き方の調整は、「フルタイム勤務」では「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が36.5%と最も多く、「パートタイム勤務」では「特に行っていない」が42.6%と最も多くなっている。

B票-問3 問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで選択可)



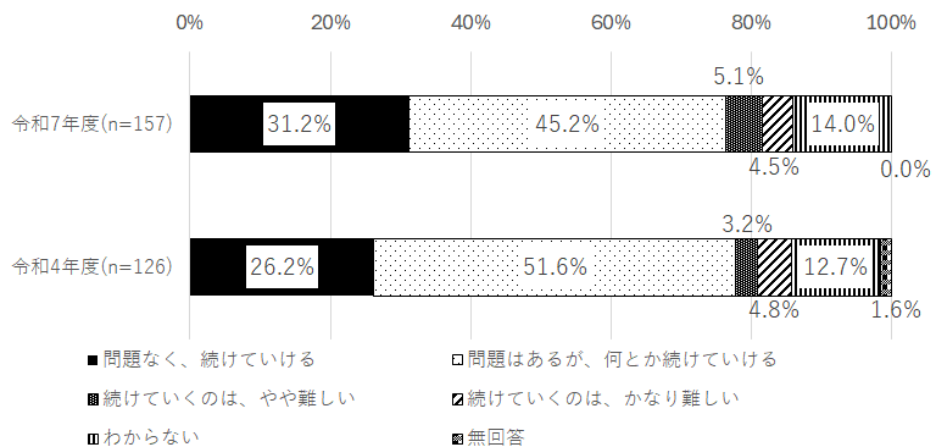
主な介護者の現在の勤務形態について「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方(157名)に、仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援について尋ねたところ、「労働時間の柔軟な選択」が26.1%と最も多く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が25.5%となっている。

<就労状況別・効果的な勤め先からの支援>



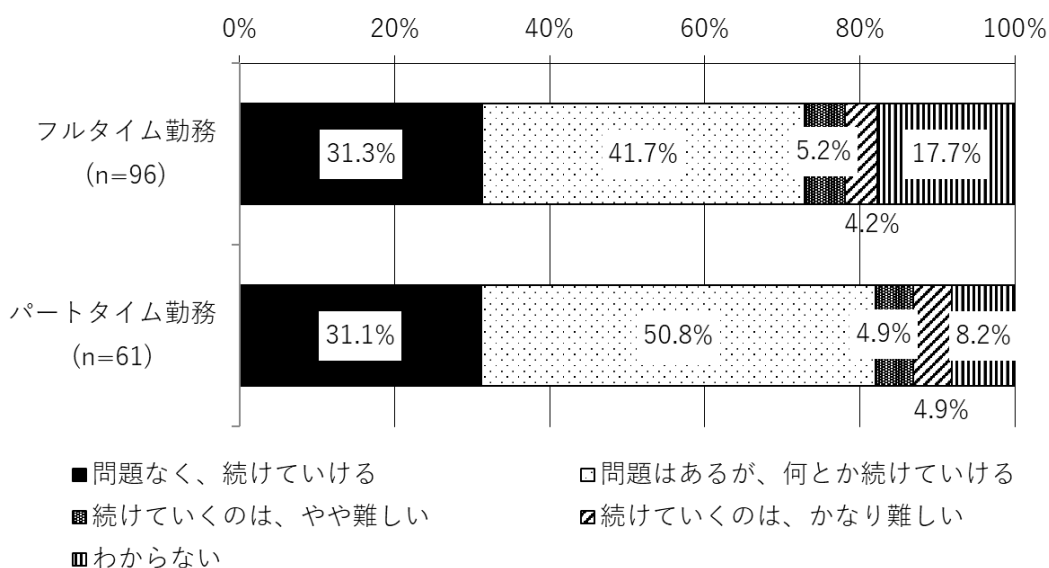
就労状況別の効果的な勤め先からの支援は、「フルタイム勤務」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が27.1%と最も多く、「パートタイム勤務」では「労働時間の柔軟な選択」が27.9%と最も多くなっている。

B票-問4 問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つを選択)



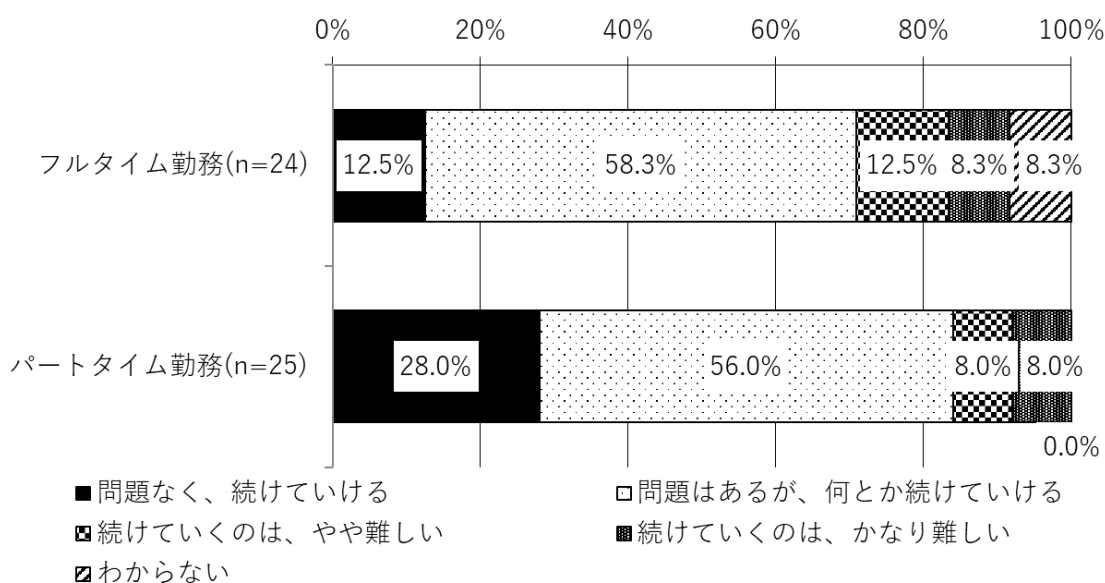
今後の就労継続の可否に係る意識は、「問題はあるが、何とか続けていける」が45.2%と最も多く、「続けていくのは、やや難しい」は5.1%、「続けていくのは、かなり難しい」は4.5%となっている。

<主な介護者の就労状況別・就労継続の見込み>



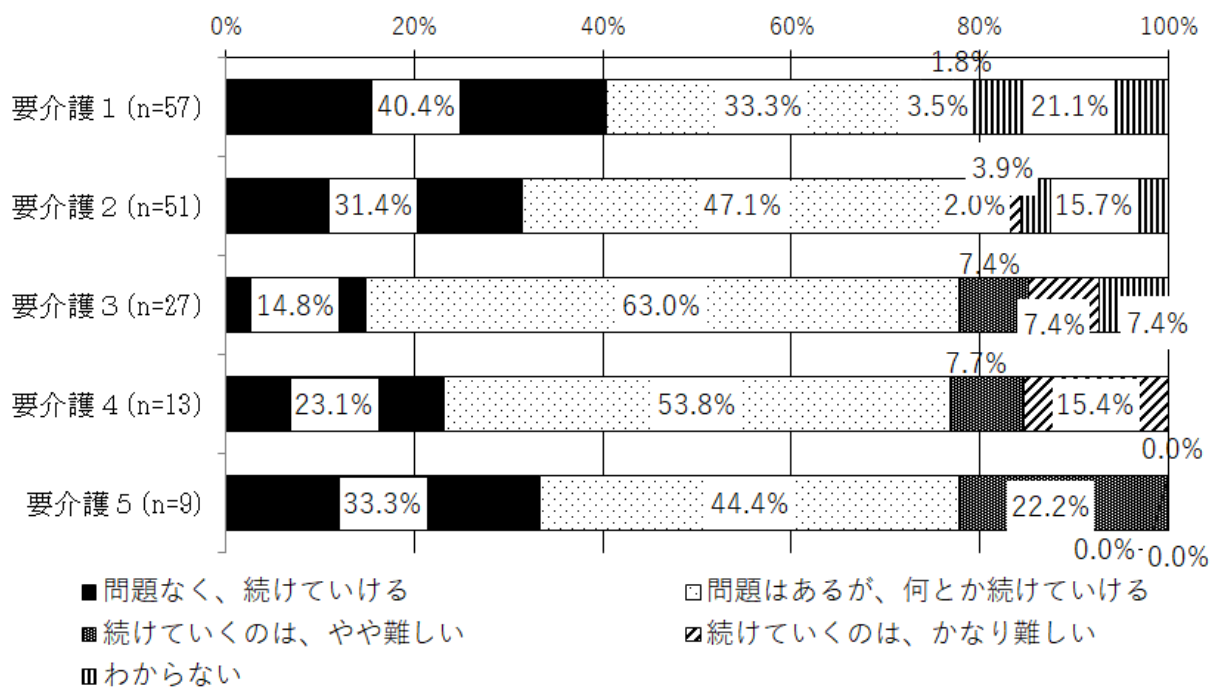
主な介護者の就労状況別での就労継続の見込みについて、「続けていくのは、かなり難しい」は、「フルタイム勤務」で4.2%、「パートタイム勤務」で4.9%となっている。また、「問題なく、続けていける」は、「フルタイム勤務」で31.3%、「パートタイム勤務」で31.1%となっている。

<主な介護者の就労状況別・就労継続の見込み (要介護3以上) ※無回答除く>



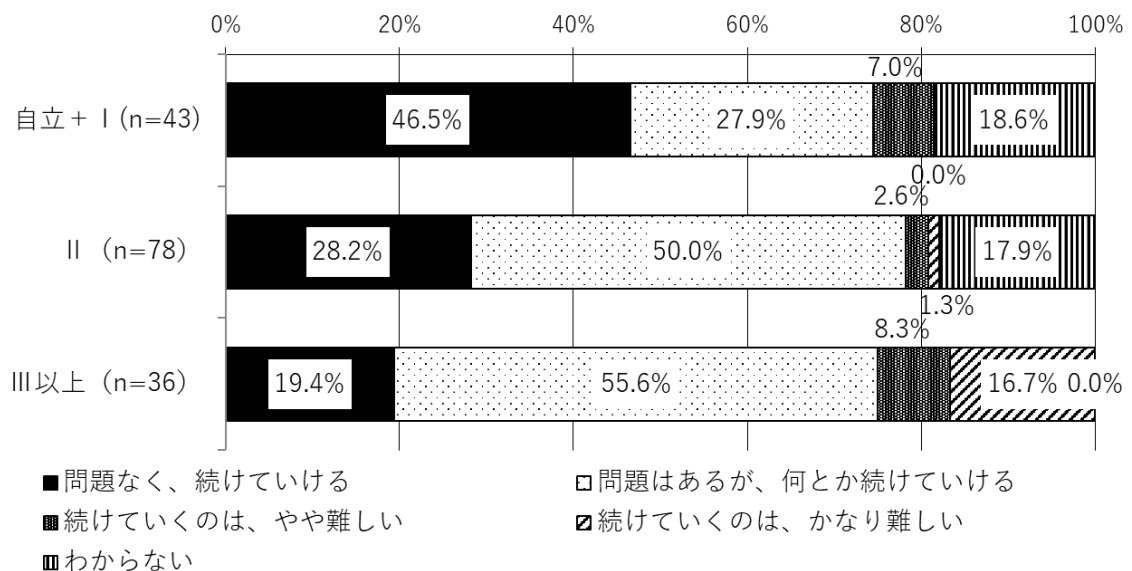
本人が要介護3以上における主な介護者の就労継続の見込みについて、「続けていくのは、かなり難しい」は、「フルタイム勤務」で8.3%、「パートタイム勤務」で8.0%となっている。また、「問題なく、続けていける」は、「フルタイム勤務」で12.5%、「パートタイム勤務」で28.0%となっている。

<要介護度別・就労継続の見込み（フルタイム+パートタイム勤務）>



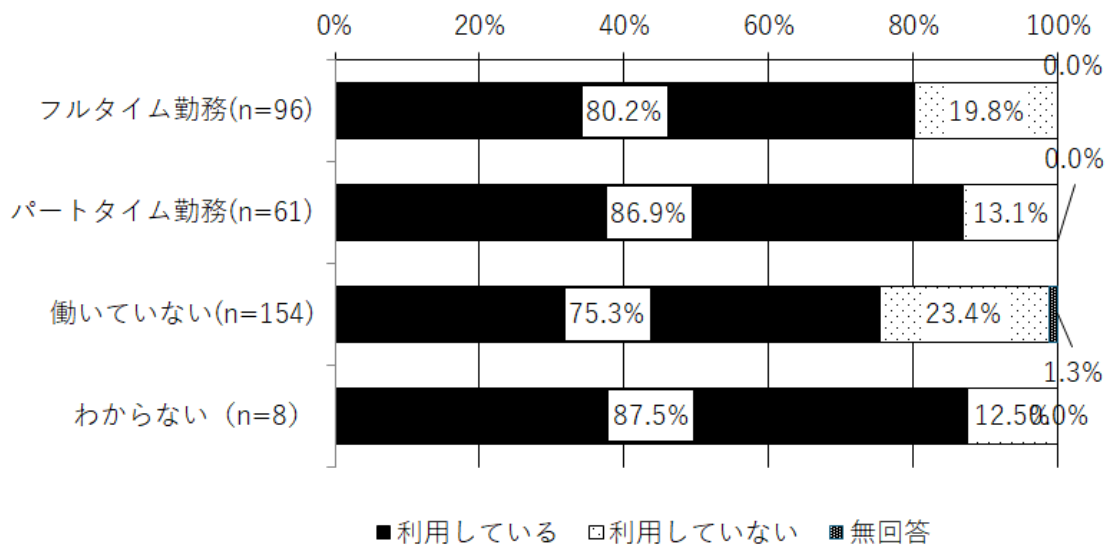
要介護度別の主な介護者の就労継続の見込みについて、「続けていくのは、かなり難しい」は、「要介護3」で7.4%、「要介護4」で15.4%、「要介護5」で0.0%となっている。

<認知症自立度別・就労継続の見込み（フルタイム+パートタイム勤務） ※無回答除く>



認知症自立度別の主な介護者の就労継続の見込みについて、「続けていくのは、かなり難しい」は「自立+I」で0.0%、「II」で1.3%、「III以上」で16.7%となっている。また、「問題なく、続けていける」は、「自立+I」で46.5%、「II」で28.2%、「III以上」で19.4%となっている。

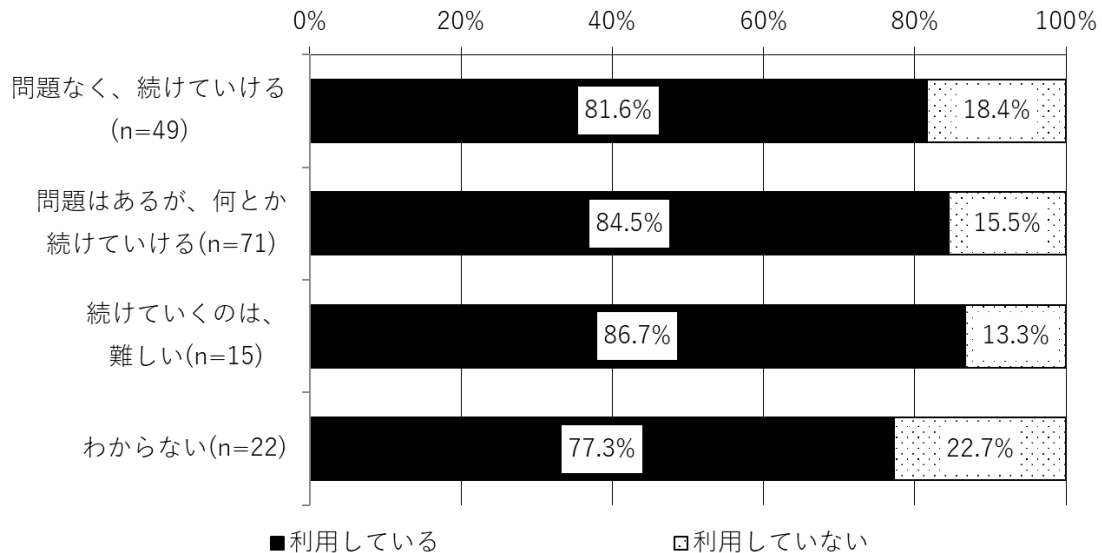
＜主な介護者の就労状況別・介護保険サービス利用の有無＞



(注) 就労状況に関する「無回答」は表示していない。

主な介護者の就労状況別での介護保険サービスの利用の有無について、「利用している」は、「フルタイム勤務」で80.2%、「パートタイム勤務」で86.9%、「働いていない」で75.3%となっている。

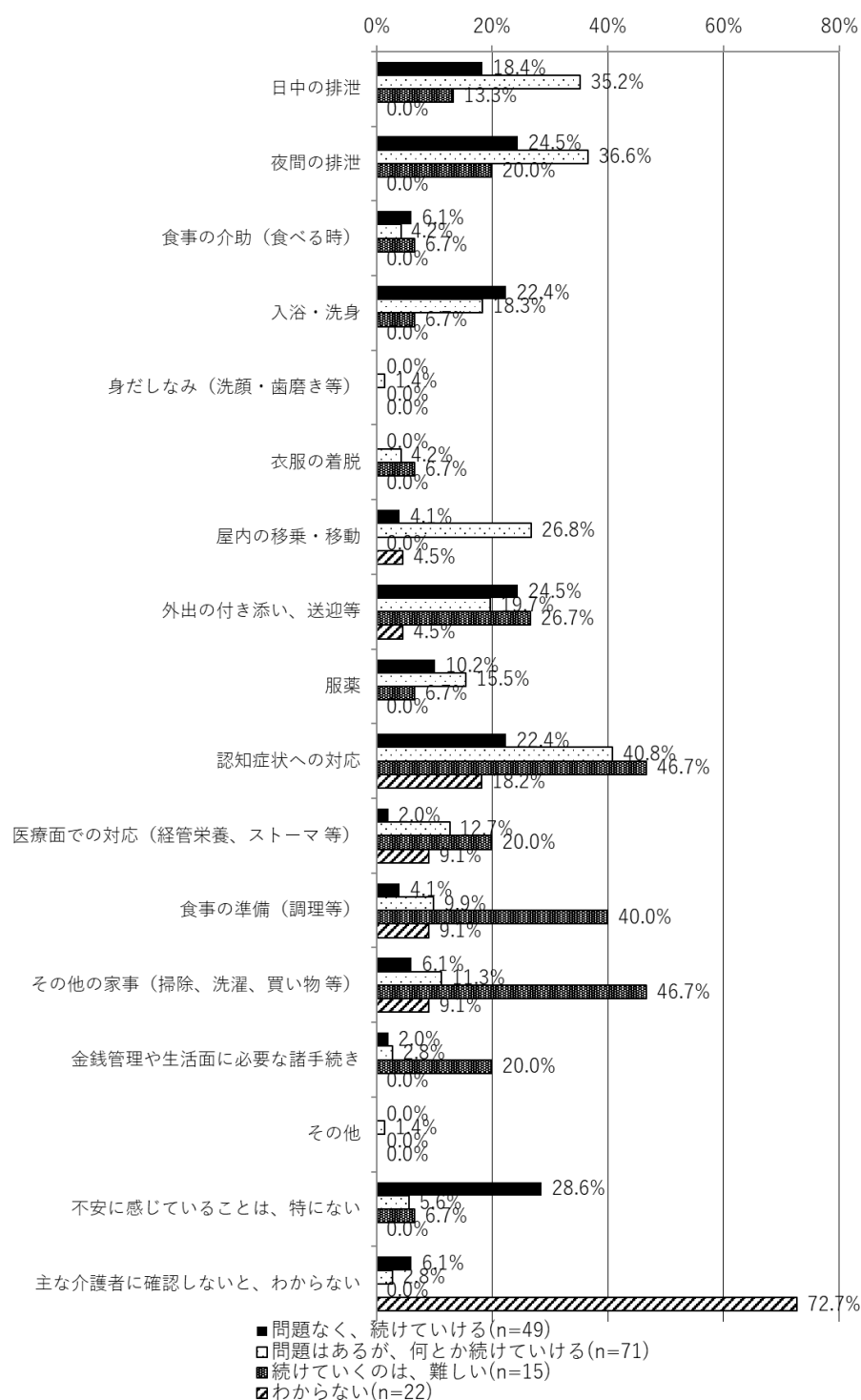
＜就労継続の見込み別・介護保険サービス利用の有無（フルタイム+パートタイム勤務）＞



(注) 「続けていくのは、難しい」は、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」の回答の合計である。

就労継続の見込み別での介護保険サービスの利用の有無について、「利用している」は、「問題なく、続けていける」で81.6%、「問題はあるが、何とか続けていける」で84.5%、「続けていくのは難しい」で86.7%となっている。

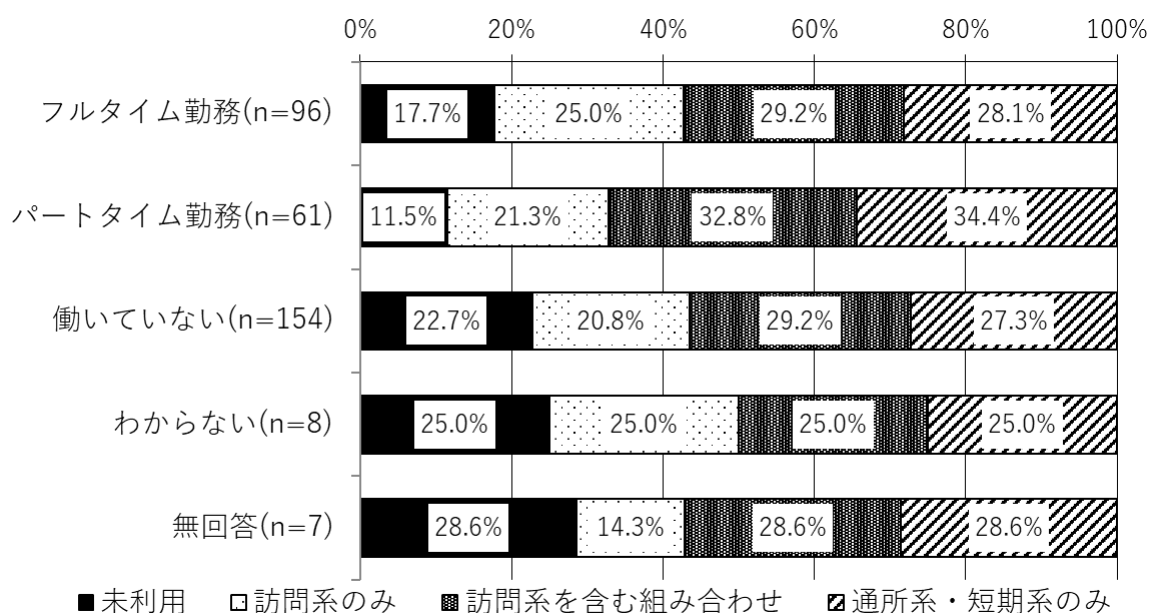
<主な介護者が不安に感じる介護別・就労継続の見込み（フルタイム+パートタイム勤務）>



(注) 「続けていくのは、難しい」は、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」の回答の合計である。

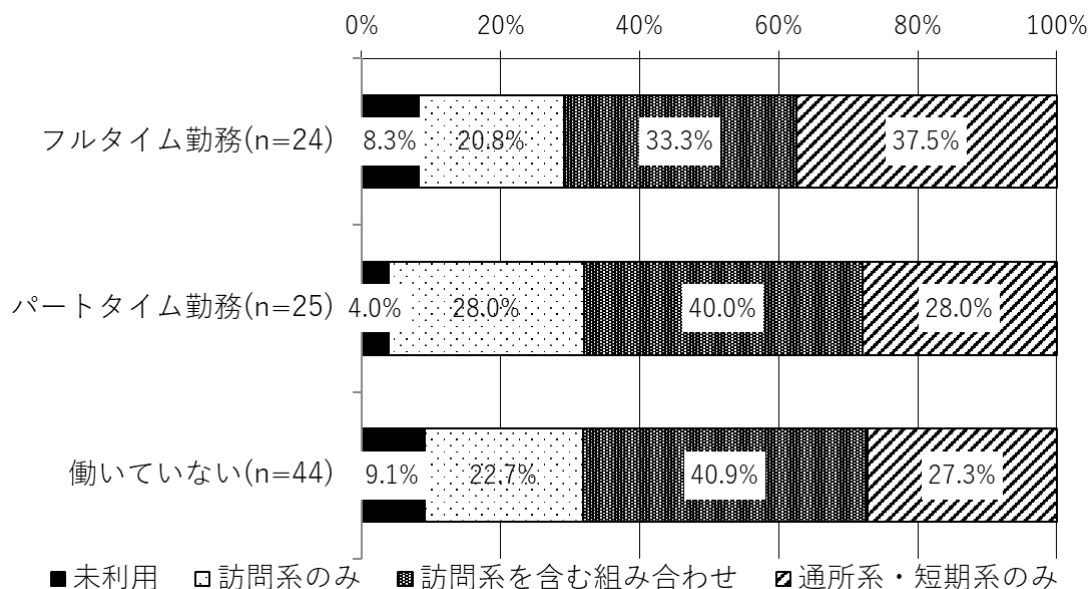
主な介護者が不安に感じる介護別の就労継続の見込みについて、就労継続の見込みが「続けていくのは、難しい」では、「認知症状への対応」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が46.7%と最も多く、次いで「食事の準備（調理等）」が40.0%となっている。

<主な介護者の就労状況別・サービス利用の組み合わせ>



主な介護者の就労状況別にサービス利用の組み合わせをみると、「フルタイム勤務」では「訪問系を含む組み合わせ」が 29.2%、「パートタイム勤務」では「通所系・短期系のみ」が 34.4%、「働いていない」では「訪問系を含む組み合わせ」が 29.2%となっている。

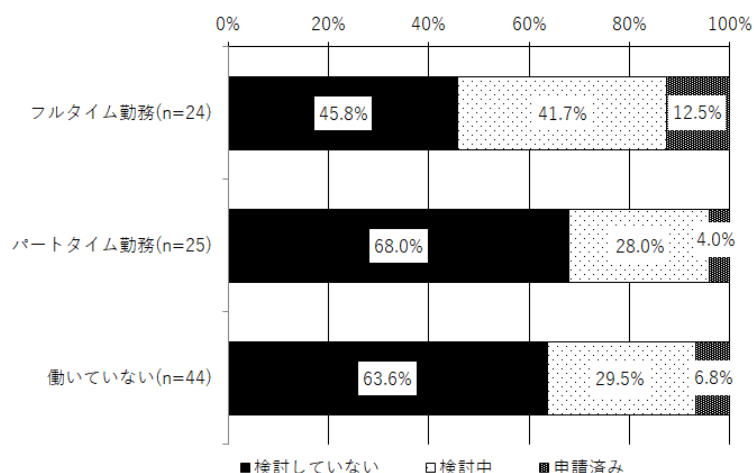
<主な介護者の就労状況別・サービス利用の組み合わせ（要介護3以上）>



(注) 主な介護者の就労状況に関する「わからない」「無回答」は0件のため、表示していない。

本人が要介護3以上における、主な介護者の就労状況別のサービス利用の組み合わせは、「フルタイム勤務」では「通所系・短期系のみ」が 37.5%、「パートタイム勤務」、「働いていない」では「訪問系を含む組み合わせ」がそれぞれ 40.0%、40.9%となっている。

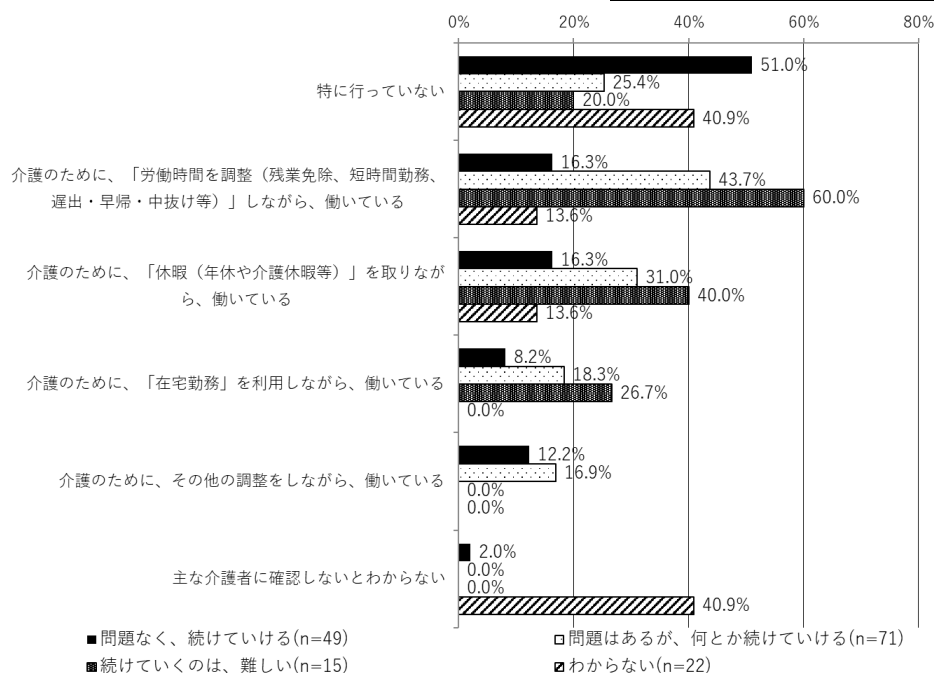
<主な介護者の就労状況別・施設等検討の状況（要介護3以上）>



(注) 主な介護者の就労状況に関する「わからない」「無回答」は0件のため、表示していない。

本人が要介護3以上における、主な介護者の就労状況別の施設等検討の状況について、「検討中」と「申請済み」の割合の合計をみると、「フルタイム勤務」では54.2%、「パートタイム勤務」では32.0%、「働いていない」では36.3%となっている。

<介護のための働き方の調整の有無別・就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務）>



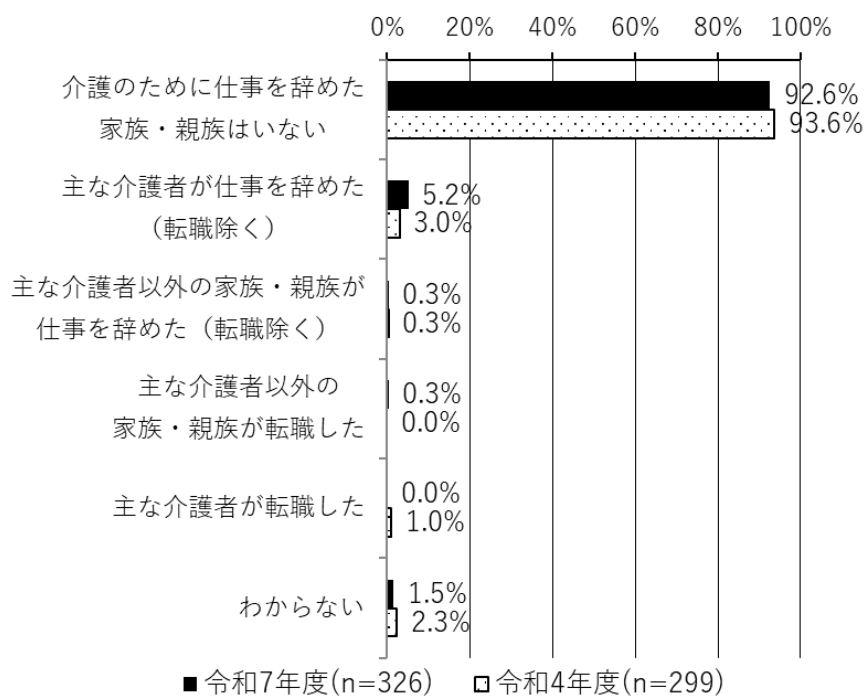
(注) 「続けていくのは、難しい」は、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」の回答の合計である。

介護のための働き方の調整の有無と就労継続見込みについて、「続けていくのは、難しい」では「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が60.0%、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が40.0%となっている。

### (5) 家族や親族の介護事由での離職経験

A票-問8 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。（複数選択可）

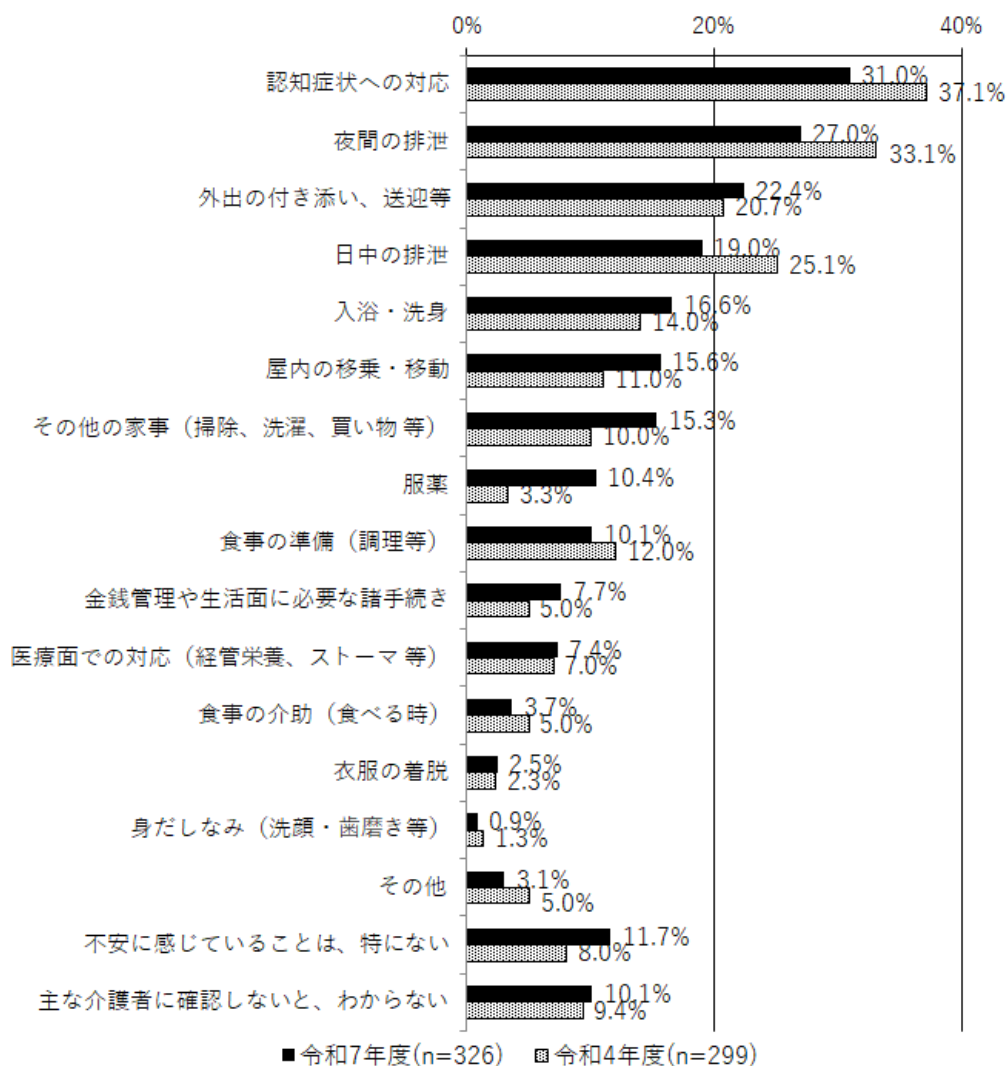
※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。



家族や親族で、本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方の有無について、「主な介護者が仕事を辞めた（転職を除く）」が5.2%となっている。

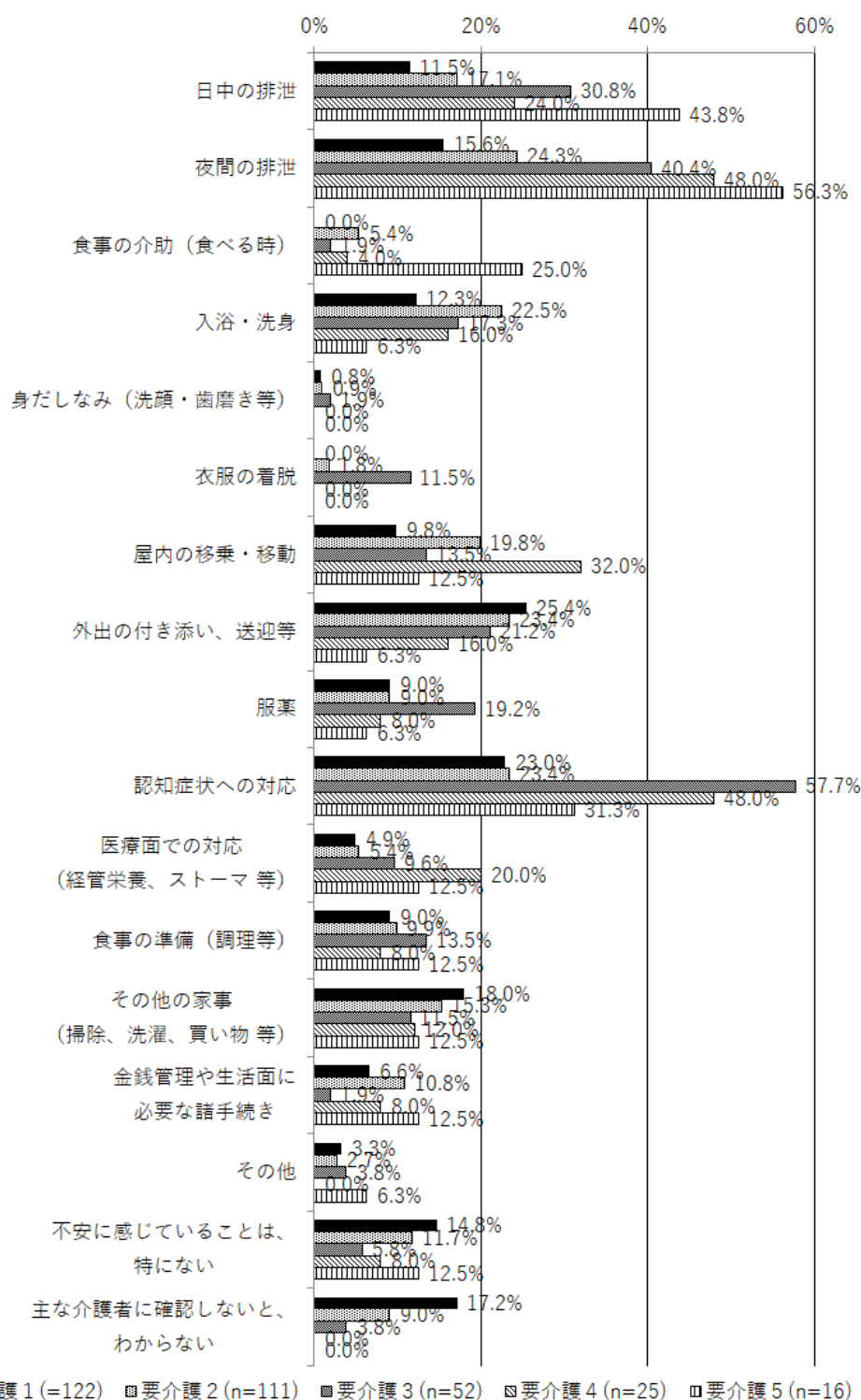
## 7. 在宅生活の継続に向けて介護者が不安に感じる介護

B票-問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（3つまで選択可）



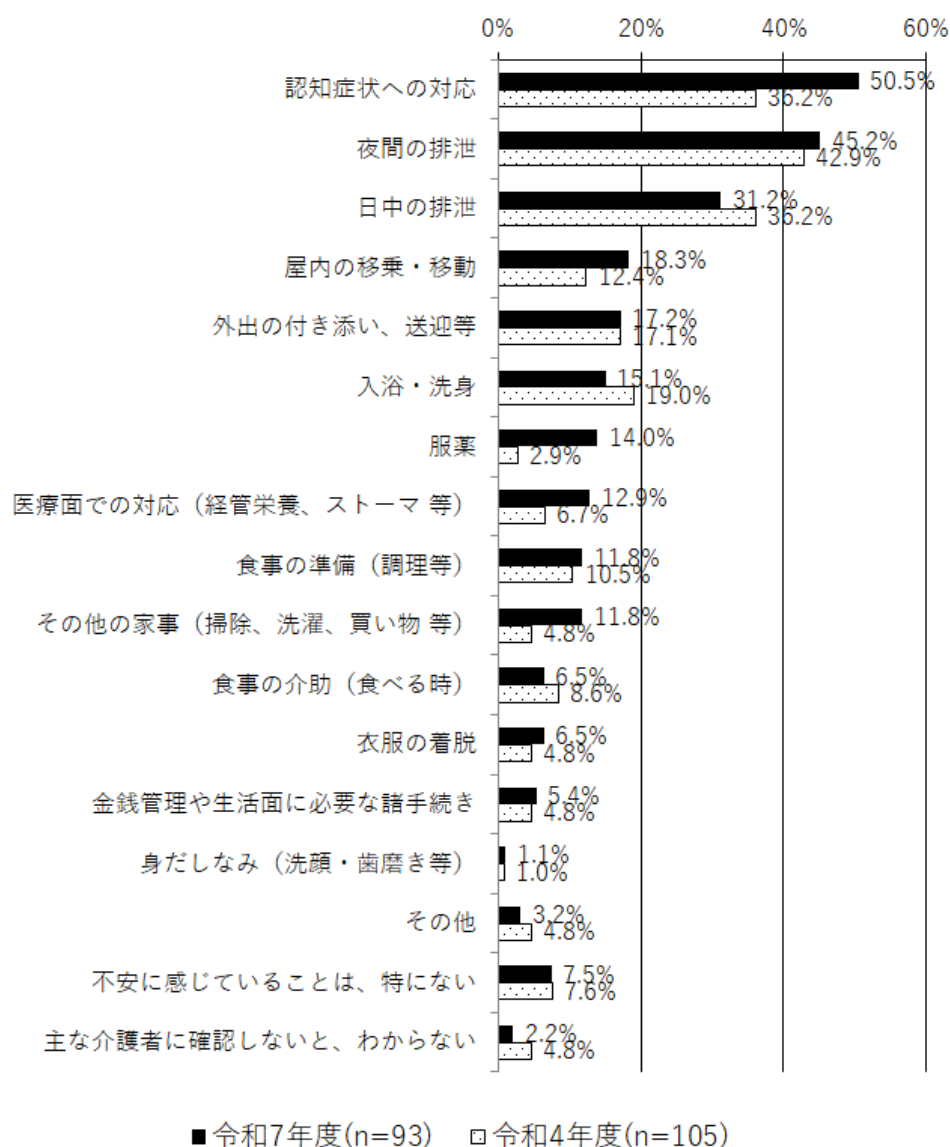
現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等は、「認知症状への対応」が31.0%と最も多く、次いで「夜間の排泄」が27.0%、「外出の付き添い、送迎等」が22.4%となっている。なお、「不安に感じていることは、特にない」は11.7%となっている。

<介護者が不安に感じる介護別・要介護度>



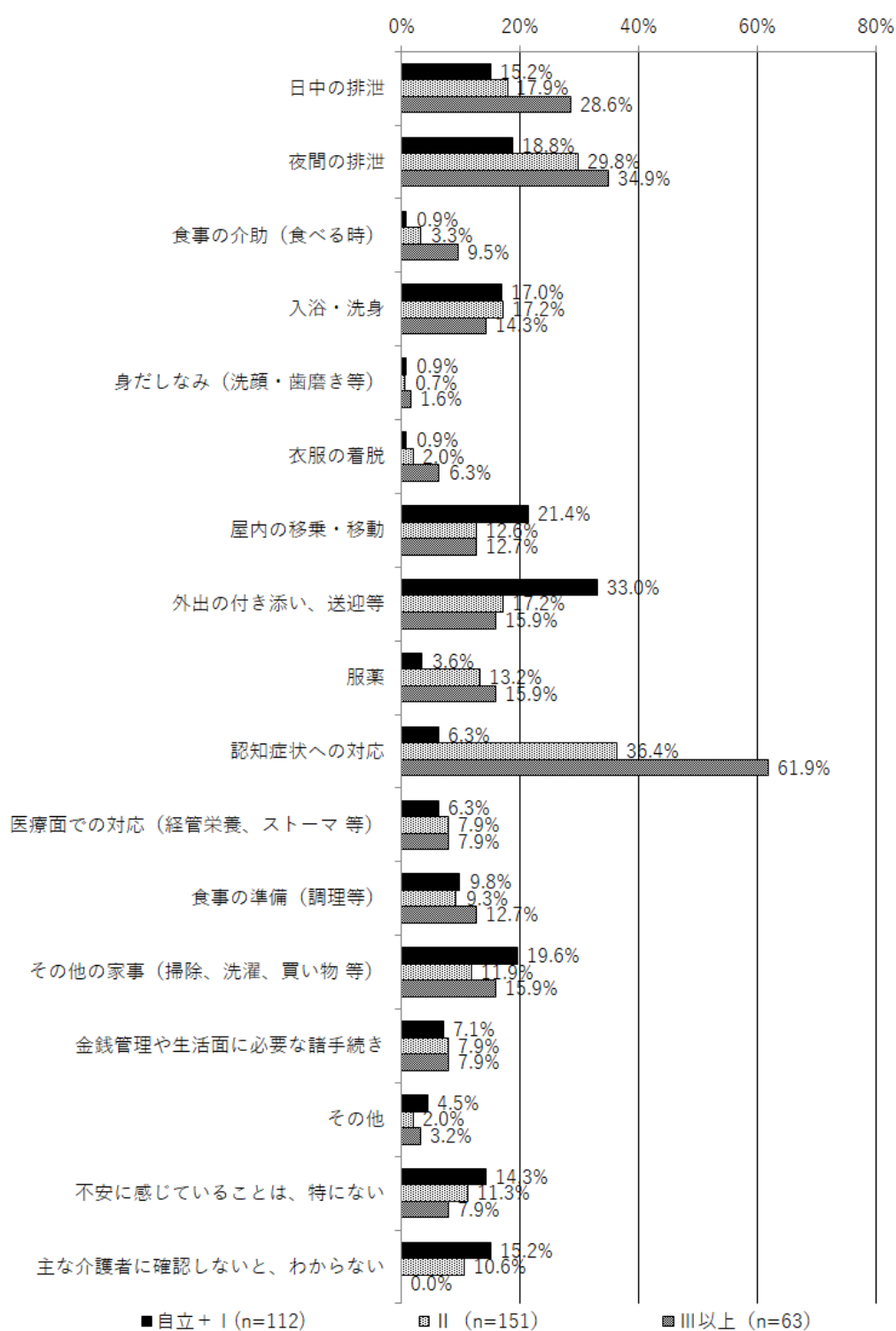
現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等について、「要介護1」では「外出の付き添い、送迎等」が25.4%となっている。「要介護2」と「要介護5」では「夜間の排泄」がそれぞれ24.3%、56.3%となっている。「要介護3」と「要介護4」では「認知症状への対応」がそれぞれ57.7%、48.0%となっている。

<介護者が不安に感じる介護（要介護3以上）>（3つまで）



要介護3以上について、主な介護者が不安に感じる介護等をみると、「認知症状への対応」が50.5%、「夜間の排泄」が45.2%、「日中の排泄」が31.2%となっている。

<認知症自立度別・介護者が不安に感じる介護>

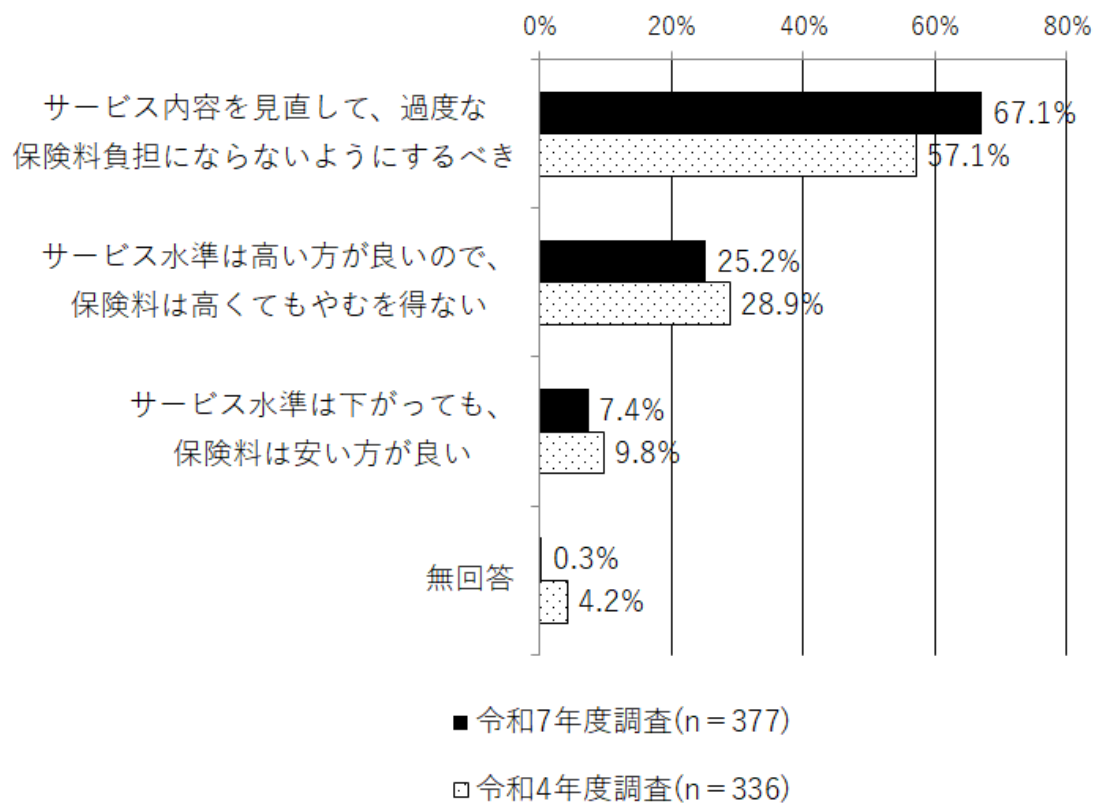


認知症自立度別に、現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等についてみると、認知症自立度の重度化に伴い多くなる項目としては、「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「食事の介助 (食べる時)」、「認知症状への対応」などが挙げられる。認知症自立度Ⅲ以上では、「認知症状への対応」が61.9%となっている。

## 8. サービス水準と保険料の関係に係る希望

A票-問 19 介護保険制度はサービスの供給量が増えるほど、また、要介護高齢者が増えるほど、保険料も高くなる仕組みになっています。

これからのサービス水準と保険料の関係は、どのようなものが望ましいとお考えですか。(1つを選択)



介護サービスの水準と保険料の関係は、「サービス内容を見直して、過度な保険料負担にならないようにするべき」の割合が 67.1%と最も多く、次いで「サービス水準は高いほうが良いので、保険料は高くてもやむをえない」が 25.2%となっている。

## 9. 介護保険制度及び本市の高齢者施策等について

A票-問 21 介護保険制度及び本市の高齢者施策等について、ご意見等あればご記入ください。

### 【介護保険サービスについて】

- ・ 仕事があるので土・日でも認定調査をしてほしい。大きな病院がなくなってしまい医療に対して不安がある。
- ・ 家族の一人が武蔵野市の施設の空きがなく奥多摩に入所中。やむを得なかったが、もっと市内の施設（特養）を増やしてほしい。
- ・ 特養入所へのハードルが高い。もっと容易に入れるようになってほしい。男性は話し相手がいらない。デイサービスでも女性が圧倒的に多く、話が合わない。ゴルフ・囲碁・将棋等、男性に特化した傾聴対応があると良い。
- ・ 福祉用具購入補助の基準を見直してほしい。ポータブルトイレを購入しようとした際、温水シャワー、暖房便座機能付は対象外と言われた。結局、自費で購入した。家族の介護の手間軽減のため、対象にした方が良くと思う。

### 【サービス水準と介護保険について】

- ・ 非常に介護保険料が高すぎる。不動産収入があるから致し方ないが、それ以上の支出がある。枠組みに変更が必要ではないか？
- ・ 介護保険料を少し安くしていただけたらと思っております。
- ・ 問19：サービス水準と保険料についての質問に関連して水準は下げずに保険料は上げない方法として、指導者や育成する人がしっかり管理、育成すれば水準は下がらないとの意見あり。

### 【市の高齢者施策について】

- ・ 吉祥寺エリアから市役所までのアクセスが非常に不便。新たなルート（ムーバス）の検討をお願いしたい。
- ・ ムーバスを活用しており非常に助かっている。利用料金は値上げせず、現状維持で利用を続けられるようお願いしたい。
- ・ オムツ支給が助かっている。
- ・ オムツ。非課税世帯ではないがオムツの費用がかさんでいる。少しでも助成金が出ると助かります。
- ・ 現在オムツを多量に使用している。非課税世帯でないため支給がない。補助金があれば助かる。
- ・ 庭の草むしりは介護保険サービス対象外。シルバー人材センターも3か月待ち。良いサービスがあると嬉しい。
- ・ 電球交換など自力で難しい。電球交換、庭の草むしりなどやってくれれば助かる。
- ・ 高齢者に必要であろう予防接種（コロナ、インフルエンザ等）の自己負担金（補助金）が異なることが不公平感を感じる。

## 【その他】

- ・ 主介護者より。現在60代、フルタイムで勤務しながら、週5日訪問しながら介護を行っている。60代は現役世代と思うが、介護で働く機会を失う人も多いと思う。ワークライフバランスではないが、「介護ライフバランス」を考えてほしい。
- ・ 眼科の病気（視力低下）がある方へのサービスの充実。身障手帳がとれないが困っている。
- ・ 選挙の時、障害者である母へ合理的配慮がされず、車で投票所へ行くことを止められた。武蔵野市は民間企業ではないのだから上記について再考してほしい。

**資料：使用した調査票**

## 武蔵野市高齢者の介護予防・日常生活アンケート

日頃から、武蔵野市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市では、令和8年度に「高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画（令和9年度～令和11年度）」及び「認知症施策推進計画」の策定を予定しています。

この調査は、市の高齢者施策がより充実したものとなるよう、日頃の生活状況や市の高齢者施策に対するご意見・ご要望等をお聞きするために実施するものです。

調査の対象者として、本年10月1日現在、市内にお住まいの65歳以上で介護保険の要介護認定を受けていない方々から1,500人を無作為で選び、調査票を送付させていただきました。

ご回答いただいた内容は、統計情報の作成のみに使用し、個人が特定される形での公表や、他の目的での使用はいたしません。調査の趣旨にご理解をいただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和7年12月

武蔵野市長 **小美濃安弘**

### ご記入にあたってのお願い

1. この調査票は、できるだけ宛名のご本人がご記入ください。ご本人によるご記入が難しい場合は、ご家族の方が一緒に回答されたり、代理で回答いただいても構いません。
2. 以下のいずれかの方法で、**令和7年12月26日（金）まで**にご回答ください。

#### ①（WEBでのご回答）

以下のURLもしくは二次元コードにアクセスしメールアドレスを登録する。登録したメールアドレス宛に送付される調査票URLをクリックし、回答を入力する。

メールアドレス登録用URL：

<https://survey.esumi.jp/seikatsu2025>

二次元コード：



#### ②（紙でのご回答）

本調査票に鉛筆やボールペン等で回答を記入しポストへ投函する。（切手不要）

3. ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を選んでください。質問によって選択肢に「○は1つ」だけのもの、「あてはまるものすべてに○」のものがありますのでご注意ください。また、数字記入欄には数字をご記入ください。
4. この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

#### お問い合わせ先

武蔵野市 健康福祉部 高齢者支援課 相談支援係 尾身、下田

電話：0422-60-1846（直通）

問 1. あなたは、すでに Web でこのアンケートに回答しましたか。(○は1つ)

- |                                      |
|--------------------------------------|
| 1. すでに Web で回答した →紙のアンケートでのご回答は不要です。 |
| 2. Web では回答していない →問 2 以降の設問にご回答ください。 |

## 1 あなたご自身のことについてお伺いします

問 2. あなたの性別と年齢、身長・体重等について教えてください。

(令和 7 年 12 月 1 日時点。それぞれ○は1つ。ただし、(3) は数字を記入)

(1) 性別	1. 男性	2. 女性	3. その他
(2) 年齢	1. 65～69 歳	2. 70～74 歳	3. 75～79 歳
	4. 80～84 歳	5. 85 歳以上	
(3) 身長・ 体重	身長 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> cm		
	体重 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> kg		
(4) お住まい の地域	1. 吉祥寺東町	2. 吉祥寺南町	3. 御殿山 1 丁目
	4. 御殿山 2 丁目	5. 吉祥寺本町	6. 吉祥寺北町
	7. 中町	8. 西久保	9. 緑町
	10. 八幡町	11. 関前	12. 境
	13. 境南町	14. 桜堤	
(5) 要支援 (介護) 認定	1. 要支援 1	2. 要支援 2	
	3. 総合事業対象者	4. 認定を受けていない (非該当を含む)	

## 2 あなたのご家族や生活状況についてお伺いします

問 3. 家族構成をお教えてください。(○は1つ)

- |                           |                           |
|---------------------------|---------------------------|
| 1. ひとり暮らし                 | 2. 夫婦 2 人暮らし (配偶者 65 歳以上) |
| 3. 夫婦 2 人暮らし (配偶者 64 歳以下) | 4. 息子・娘との 2 世帯            |
| 5. その他 ( )                |                           |

問 4. 現在のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

- |                              |                  |
|------------------------------|------------------|
| 1. 持ち家 (一戸建て)                | 2. 持ち家 (集合住宅)    |
| 3. 公営賃貸住宅 (都営・市営・公団・シルバーピア等) | 4. 民間賃貸住宅 (一戸建て) |
| 5. 民間賃貸住宅 (集合住宅)             | 6. 借家            |
| 7. その他                       |                  |

問 5. 現在のお住まいに住み続けたいですか。(○は1つ)

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1. 住み続けたい | 2. 住み替えたい |
|-----------|-----------|

問 6. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

- |             |             |        |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい    | 2. やや苦しい    | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある |        |

問 7. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族等の介護を受けている場合も含む)

### 3 認知症についてお伺いします

問 8. 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

1. はい
2. いいえ

問 9. 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

1. はい
2. いいえ

問 10. 令和5年6月に共生社会の実現を推進するための認知症基本法(いわゆる認知症基本法)が成立し、国民一人一人が「新しい認知症観」を理解することの重要性が示されています。あなたは、「新しい認知症観」を知っていますか。(○は1つ)

※「新しい認知症観」とは、認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人が個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方を指します。

1. 認知症基本法が成立したことを知っており、新しい認知症観も知っている
2. 認知症基本法が成立したことを知らないが、新しい認知症観は知っている
3. 認知症基本法が成立したことは知っているが、新しい認知症観は知らない
4. 認知症基本法が成立したことも、新しい認知症観も知らない

問 11. 認知機能低下の予防に関心がありますか。(○は1つ)

1. 関心がある
2. 関心がない
3. どちらともいえない

問 12. 実際に認知機能低下の予防に向けた活動をしていますか。(○は1つ)

1. 活動をしている
2. 活動はしていないが、意識している
3. どちらもしていない

### 4 からだを動かすことについてお伺いします

問 13. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

問 14. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

問 15. 15 分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

1. できるし、している      2. できるけどしていない      3. できない

問 16. 過去 1 年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

1. 何度もある      2. 1度ある      3. ない

問 17. 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

1. とても不安である      2. やや不安である  
3. あまり不安でない      4. 不安でない

問 18. 週に 1 回以上は外出していますか。(○は1つ)

1. ほとんど外出しない      2. 週 1 回  
3. 週 2～4 回      4. 週 5 回以上

問 19. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

1. とても減っている      2. 減っている  
3. あまり減っていない      4. 減っていない

問 20. 外出を控えていますか。(○は1つ)

1. はい      →問 20-1 へ  
2. いいえ      →問 21 へ

→問 20-1. 問 20 で「1. はい」(外出を控えている) と回答した方にお伺いします。外出を控えているのは何故ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 病気      2. 障害 (脳卒中の後遺症等)  
3. 足腰等の痛み      4. トイレの心配 (失禁等)  
5. 耳の障害 (聴こえの問題等)      6. 目の障害  
7. 外での楽しみがない      8. 経済的に出られない  
9. 交通手段がない      10. その他 (      )

## 5 食べることについてお伺いします

問 21. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

1. はい      2. いいえ

問 22. お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)

1. はい      2. いいえ

問 23. 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)

1. はい      2. いいえ

問 24. 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です) (○は 1 つ)

- |                          |
|--------------------------|
| 1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用 |
| 2. 自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし |
| 3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用 |
| 4. 自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし |

問 25. 6 か月間で 2～3 kg 以上の体重減少がありましたか。(○は 1 つ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 26. どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(○は 1 つ)

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある    | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない  |            |

## 6 毎日の生活についてお伺いします

問 27. あなたご自身の状態にあてはまるものはどれですか。(それぞれについて○は 1 つ)

①周りの人から「いつも同じことを聞く」等の物忘れがあるとされますか	1. はい	2. いいえ
②自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	1. はい	2. いいえ
③今日が何月何日かわからない時がありますか	1. はい	2. いいえ
④バスや電車を使って 1 人で外出していますか (自家用車でも可)	1. できるし、している	2. できるけどしていない
	3. できない	
⑤自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している	2. できるけどしていない
	3. できない	
⑥自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している	2. できるけどしていない
	3. できない	
⑦自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している	2. できるけどしていない
	3. できない	
⑧自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している	2. できるけどしていない
	3. できない	
⑨友人の家を訪ねていますか	1. はい	2. いいえ
⑩家族や友人の相談にのっていますか	1. はい	2. いいえ

## 7 地域での活動やたすけあいについてお伺いします

問 28. 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

(それぞれについて○は1つ)

	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤介護予防のための通いの場（地域健康クラブ、テンミリオンハウス、不老体操、いきいきサロン等）	1	2	3	4	5	6
⑥老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦コミュニティ活動	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

問 29. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者、企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（それぞれについて○は1つ）

	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している
①参加者として	1	2	3	4
②企画・運営（お世話役）として	1	2	3	4

問 30. あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします。

(①から④のそれぞれについてあてはまるものすべてに○)

①あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人	1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他( ) 8. そのような人はいない
②反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人	1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他( ) 8. そのような人はいない
③あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他( ) 8. そのような人はいない
④反対に、看病や世話をしてあげる人	1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他( ) 8. そのような人はいない



問 34. この 1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 35. この 1 か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 36. タバコは吸っていますか。(○は1つ)

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日吸っている | 2. 時々吸っている    |
| 3. 吸っていたがやめた | 4. もともと吸っていない |

問 37. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                      |                          |
|----------------------|--------------------------|
| 1. ない                | 2. 高血圧                   |
| 3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)    | 4. 心臓病                   |
| 5. 糖尿病               | 6. 高脂血症 (脂質異常)           |
| 7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) | 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気          |
| 9. 腎臓・前立腺の病気         | 10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) |
| 11. 外傷 (転倒・骨折等)      | 12. がん (悪性新生物)           |
| 13. 血液・免疫の病気         | 14. うつ病                  |
| 15. 認知症 (アルツハイマー病等)  | 16. パーキンソン病              |
| 17. 目の病気             | 18. 耳の病気                 |
| 19. その他 ( )          |                          |

## 10 現在の暮らしについてお伺いします

問 38. 日常生活の中で困っていること (支援が必要だと思っていること) はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                 |            |
|-----------------|------------|
| 1. 買い物          | 2. 料理      |
| 3. ごみ出し         | 4. 掃除・洗濯   |
| 5. 外出時の移動       | 6. 入浴      |
| 7. 金銭等の管理       | 8. その他 ( ) |
| 9. 特に困っていることはない |            |

**問 39. 普段から健康維持や介護予防に取り組んでいますか。(○は1つ)**

- |             |           |
|-------------|-----------|
| 1. 取り組んでいる  | →問 40 へ   |
| 2. 取り組んでいない | →問 39-1 へ |

**→問 39-1. 問 39 で「2. 取り組んでいない」と回答した方にお伺いします。その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)**

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1. 特に必要と思わないから                     |
| 2. 面倒だから                           |
| 3. きっかけがないから (参加できる活動が近くで行われていない等) |
| 4. その他 ( )                         |

**問 40. ここ 2 週間の様子についてお伺いします。(それぞれについて○は1つ)**

①毎日の生活に充実感がない	1. はい 2. いいえ
②これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	1. はい 2. いいえ
③以前は楽にできていたことが今はおっくうに感じられる	1. はい 2. いいえ
④自分が役に立つ人間だと思えない	1. はい 2. いいえ
⑤わけもなく疲れたような感じがする	1. はい 2. いいえ

**問 41. 生活費等を何から支出していますか。(あてはまるものすべてに○)**

- |                |                      |
|----------------|----------------------|
| 1. 年金          | 2. 賃金・給与 (自営による収入含む) |
| 3. 不動産等資産からの収入 | 4. 家族等からの仕送り         |
| 5. 預金・貯金       | 6. その他 ( )           |

**問 42. 世帯全体の合計収入額 (年金を含み、税引き前の金額) は、令和 6 年 1 月～12 月の 1 年間で、次のうちのどれにあてはまりますか。(○は1つ)**

1. 50 万円未満	2. 50 万円～100 万円未満
3. 100 万円～150 万円未満	4. 150 万円～200 万円未満
5. 200 万円～250 万円未満	6. 250 万円～300 万円未満
7. 300 万円～400 万円未満	8. 400 万円～500 万円未満
9. 500 万円～600 万円未満	10. 600 万円～700 万円未満
11. 700 万円～800 万円未満	12. 800 万円～900 万円未満
13. 900 万円～1,000 万円未満	14. 1,000 万円～1,200 万円未満
15. 1,200 万円以上	16. 回答したくない



問 44. 次のサービスについて知っていますか、また、利用したいと思いませんか。

(それぞれについて○は1つ)

要支援・要介護状態になった場合	知っているし、利用したい	知っているが、利用したいとは思わない	知らないが、利用したい	知らないし、利用したいと思わない
①看護小規模多機能型居宅介護 デイサービスを中心にショートステイや訪問介護、訪問看護を1つの事業所が一体的に提供します。	1	2	3	4
②認知症高齢者グループホーム 認知症の高齢者が共同で生活する住居において、介護、その他日常生活上の世話、機能訓練を行います。	1	2	3	4
③介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） 特別養護老人ホームに入所して入浴や食事等の日常生活上の支援や、機能訓練、療養上の支援を提供します。	1	2	3	4

問 45. 介護保険制度はサービスの供給量が増えるほど、保険料も高くなる仕組みになっています。これからのサービス水準と保険料の関係は、どのようなものが望ましいとお考えですか。(もっともお考えに近いもの1つに○)

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. サービス水準は高いほうが良いので、保険料は高くてもやむをえない</li> <li>2. サービス水準は下がっても、保険料は安いほうが良い</li> <li>3. サービス水準を見直して、過度な保険料負担にならないようにするべき</li> </ol> |
|--|

問 46. 最後に、武蔵野市の高齢者福祉施策や介護保険事業について、ご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
---

アンケート調査は以上で終了です。ご協力ありがとうございました。  
記入もれがないか、今一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、12月26日（金）までにポストへ投函してください。

## 武蔵野市高齢者の介護予防・日常生活アンケート

(必須) とある設問には必ずご回答ください。ただし、各設問における「その他」の具体的な内容のご回答は任意です。

\*  
問1. あなたは、すでに紙でこのアンケートに回答しましたか。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. すでに紙で回答した
2. 紙では回答していない

次へ

### 1 あなたご自身のことについてお伺いします

\*  
問2. あなたの性別と年齢、身長・体重等について教えてください。  
(令和7年12月1日時点。それぞれ1つ選択。ただし、(3)は数字を記入)

(1) 性別

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. 男性
2. 女性
3. その他

\*  
(2) 年齢

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. 65～69歳
2. 70～74歳
3. 75～79歳
4. 80～84歳
5. 85歳以上

\*  
(3) 身長

① 数字は半角で入力してください。

cm

\*

(3) 体重

① 数字は半角で入力してください。

k g

\*

(4) お住まいの地域

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

- |                                 |                                |                               |
|---------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> 1. 吉祥寺東町  | <input type="radio"/> 6. 吉祥寺北町 | <input type="radio"/> 11. 関前  |
| <input type="radio"/> 2. 吉祥寺南町  | <input type="radio"/> 7. 中町    | <input type="radio"/> 12. 境   |
| <input type="radio"/> 3. 御殿山1丁目 | <input type="radio"/> 8. 西久保   | <input type="radio"/> 13. 境南町 |
| <input type="radio"/> 4. 御殿山2丁目 | <input type="radio"/> 9. 緑町    | <input type="radio"/> 14. 桜堤  |
| <input type="radio"/> 5. 吉祥寺本町  | <input type="radio"/> 10. 八幡町  |                               |

\*

(5) 要支援（介護）認定

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

- |                               |  |
|-------------------------------|--|
| <input type="radio"/> 1. 要支援1 | <input type="radio"/> 3. 総合事業対象者           |
| <input type="radio"/> 2. 要支援2 | <input type="radio"/> 4. 認定を受けていない（非該当を含む） |

戻る

次へ

## 2 あなたのご家族や生活状況についてお伺いします

\*

問3. 家族構成をお教えてください。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

- |  |                                    |
|--|------------------------------------|
| <input type="radio"/> 1. ひとり暮らし            | <input type="radio"/> 4. 息子・娘との2世帯 |
| <input type="radio"/> 2. 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上） | <input type="radio"/> 5. その他       |
| <input type="radio"/> 3. 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下） |                                    |

問3. その他の具体的な内容をお教えてください。

① 具体的な内容をお答えください。

\*

問4. 現在のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

- |   |                                       |
|---|---------------------------------------|
| <input type="radio"/> 1. 持ち家（一戸建て）                | <input type="radio"/> 5. 民間賃貸住宅（集合住宅） |
| <input type="radio"/> 2. 持ち家（集合住宅）                | <input type="radio"/> 6. 借家           |
| <input type="radio"/> 3. 公営賃貸住宅（都営・市営・公団・シルバーピア等） | <input type="radio"/> 7. その他          |
| <input type="radio"/> 4. 民間賃貸住宅（一戸建て）             |                                       |

\* 問5. 現在のお住まいに住み続けたいですか。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. 住み続けたい  2. 住み替えたい

\* 問6. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. 大変苦しい  3. ふつう  5. 大変ゆとりがある  
 2. やや苦しい  4. ややゆとりがある

\* 問7. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. 介護・介助は必要ない  
 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない  
 3. 現在、何らかの介護を受けている  
(介護認定を受けずに家族等の介護を受けている場合も含む)

戻る

次へ

### 3 認知症についてお伺いします

\* 問8. 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. はい  2. いいえ

\* 問9. 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. はい  2. いいえ

\* 問10. 令和5年6月に共生社会の実現を推進するための認知症基本法（いわゆる認知症基本法）が成立し、国民一人一人が「新しい認知症観」を理解することの重要性が示されています。あなたは、「新しい認知症観」を知っていますか。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

※ 「新しい認知症観」とは、認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人が個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方を指します。

1. 認知症基本法が成立したことを知っており、新しい認知症観も知っている  
 2. 認知症基本法が成立したことを知らないが、新しい認知症観は知っている  
 3. 認知症基本法が成立したことは知っているが、新しい認知症観は知らない  
 4. 認知症基本法が成立したことも、新しい認知症観も知らない

\* 問11. 認知機能低下の予防に関心がありますか。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

- 1. 関心がある
- 2. 関心がない
- 3. どちらともいえない

\* 問12. 実際に認知機能低下の予防に向けた活動をしていますか。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

- 1. 活動をしている
- 2. 活動はしていないが、意識している
- 3. どちらもしていない

戻る

次へ

#### 4 からだを動かすことについてお伺いします

\* 問13. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

- 1. できるし、している
- 2. できるけどしていない
- 3. できない

\* 問14. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

- 1. できるし、している
- 2. できるけどしていない
- 3. できない

\* 問15. 15分位続けて歩いていますか。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

- 1. できるし、している
- 2. できるけどしていない
- 3. できない

\* 問16. 過去1年間に転んだ経験がありますか。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

- 1. 何度もある
- 2. 1度ある
- 3. ない

\*  
問17. 転倒に対する不安は大きいですか。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. とても不安である  3. あまり不安でない  
 2. やや不安である  4. 不安でない

\*  
問18. 週に1回以上は外出していますか。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. ほとんど外出しない  3. 週2～4回  
 2. 週1回  4. 週5回以上

\*  
問19. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. とても減っている  3. あまり減っていない  
 2. 減っている  4. 減っていない

\*  
問20. 外出を控えていますか。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. はい  
 2. いいえ

\*  
問20-1. 外出を控えているのは何故ですか。

① あてはまるものをすべて選んでください。(必須)

1. 病気  6. 目の障害  
 2. 障害（脳卒中の後遺症等）  7. 外での楽しみがない  
 3. 足腰等の痛み  8. 経済的に出られない  
 4. トイレの心配（失禁等）  9. 交通手段がない  
 5. 耳の障害（聴こえの問題等）  10. その他

問20-1. その他の具体的な内容をお教えてください。

① 具体的な内容をお答えください。

戻る

次へ

## 5 食べることについてお伺いします

\* 問21. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. はい  2. いいえ

\* 問22. お茶や汁物等でむせることがありますか。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. はい  2. いいえ

\* 問23. 口の渇きが気になりますか。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. はい  2. いいえ

\* 問24. 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用  
 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし  
 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用  
 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

\* 問25. 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. はい  2. いいえ

\* 問26. どなたかと食事をとる機会がありますか。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. 毎日ある  3. 月に何度かある  5. ほとんどない  
 2. 週に何度かある  4. 年に何度かある

戻る

次へ

## 6 毎日の生活についてお伺いします

\* 問27. あなたご自身の状態にあてはまるものはどれですか。

(1) 周りの人から「いつも同じことを聞く」等の物忘れがあるとされますか

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. はい  2. いいえ

\* (2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. はい  2. いいえ

\* (3) 今日が何月何日かわからない時がありますか

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. はい  2. いいえ

\* (4) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. できるし、している  
 2. できるけどしていない  
 3. できない

\* (5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. できるし、している  
 2. できるけどしていない  
 3. できない

\* (6) 自分で食事の用意をしていますか

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. できるし、している  
 2. できるけどしていない  
 3. できない

\* (7) 自分で請求書の支払いをしていますか

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. できるし、している  
 2. できるけどしていない  
 3. できない

\* (8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. できるし、している  
 2. できるけどしていない  
 3. できない

\* (9) 友人の家を訪ねていますか

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. はい  2. いいえ

\* (10) 家族や友人の相談にのっていますか

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. はい  2. いいえ

戻る

次へ

## 7 地域での活動やたすけあいについてお伺いします

\* 問28. 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

① (1)から(8) のそれぞれについてあてはまるものを1つ選んでください。(必須)

	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない
(1) ボランティアのグループ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2) スポーツ関係のグループやクラブ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(3) 趣味関係のグループ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(4) 学習・教養サークル	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(5) 介護予防のための通いの場（地域健康クラブ、テンミリオンハウス、不老体操、いきいきサロン等）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(6) 老人クラブ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(7) コミュニティ活動	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(8) 収入のある仕事	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

\* 問29. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者、企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している
(1) 参加者として	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2) 企画・運営（お世話役）として	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

\* 問30. あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします。

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人

① あてはまるものをすべて選んでください。(必須)

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 配偶者         | <input type="checkbox"/> 5. 近隣         |
| <input type="checkbox"/> 2. 同居の子ども      | <input type="checkbox"/> 6. 友人         |
| <input type="checkbox"/> 3. 別居の子ども      | <input type="checkbox"/> 7. その他        |
| <input type="checkbox"/> 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | <input type="checkbox"/> 8. そのような人はいない |

(1) その他の具体的な内容をお教えてください。

① 具体的な内容をお答えください。

\* (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人

① あてはまるものをすべて選んでください。(必須)

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 配偶者         | <input type="checkbox"/> 5. 近隣         |
| <input type="checkbox"/> 2. 同居の子ども      | <input type="checkbox"/> 6. 友人         |
| <input type="checkbox"/> 3. 別居の子ども      | <input type="checkbox"/> 7. その他        |
| <input type="checkbox"/> 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | <input type="checkbox"/> 8. そのような人はいない |

(2) その他の具体的な内容をお教えてください。

① 具体的な内容をお答えください。

\* (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

① あてはまるものをすべて選んでください。(必須)

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 配偶者         | <input type="checkbox"/> 5. 近隣         |
| <input type="checkbox"/> 2. 同居の子ども      | <input type="checkbox"/> 6. 友人         |
| <input type="checkbox"/> 3. 別居の子ども      | <input type="checkbox"/> 7. その他        |
| <input type="checkbox"/> 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | <input type="checkbox"/> 8. そのような人はいない |

(3) その他の具体的な内容をお教えてください。

① 具体的な内容をお教えてください。

\* (4) 反対に、看病や世話をしあける人

① あてはまるものをすべて選んでください。(必須)

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 配偶者         | <input type="checkbox"/> 5. 近隣         |
| <input type="checkbox"/> 2. 同居の子ども      | <input type="checkbox"/> 6. 友人         |
| <input type="checkbox"/> 3. 別居の子ども      | <input type="checkbox"/> 7. その他        |
| <input type="checkbox"/> 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | <input type="checkbox"/> 8. そのような人はいない |

(4) その他の具体的な内容をお教えてください。

① 具体的な内容をお教えてください。

戻る

次へ

## 8 就労についてお伺いします

\* 問31. 現在のあなたの就労状態はどれですか。

① あてはまるものをすべて選んでください。(必須)

- 1. 収入のある仕事に就いたことがない
- 2. 現在は収入のある仕事をしていない
- 3. 常勤（フルタイム）
- 4. 非常勤（パート・アルバイト等）
- 5. 自営業
- 6. 求職中
- 7. その他

\*

問31-1. 現在、仕事をしていない理由について、教えてください。

④ あてはまるものをすべて選んでください。(必須)

- 1. 仕事以外の趣味や社会活動に時間を費やしたいから
- 2. 仕事によって収入を得る必要がないから
- 3. 家族の介護や家事のため
- 4. 健康上の理由
- 5. 賃金面の条件で合うところがないから
- 6. 勤務場所・時間等の条件で合うところが見つからないから
- 7. 年齢制限で働くところが見つからないから
- 8. 仕事の種類（職種）で合うところが見つからないから
- 9. やりがいがある仕事が見つからないから
- 10. 仕事を探す方法がわからないから
- 11. その他
- 12. 特に理由はない

問31-1. その他の具体的な内容をお教えてください。

④ 具体的な内容をお答えください。

戻る

次へ

## 9 健康についてお伺いします

\* 問32. 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. とてもよい                       2. まあよい                       3. あまりよくない                       4. よくない

\* 問33. あなたは、現在どの程度幸せですか。(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、選んでください)

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

選択してください... ▾

\* 問34. この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. はい     2. いいえ

\* 問35. この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. はい     2. いいえ

\* 問36. タバコは吸っていますか。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. ほぼ毎日吸っている                       3. 吸っていたがやめた  
 2. 時々吸っている                               4. もともと吸っていない

\* 問37. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。

① あてはまるものをすべて選んでください。(必須)

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 1. ない                   | <input type="checkbox"/> 11. 外傷（転倒・骨折等）     |
| <input type="checkbox"/> 2. 高血圧                  | <input type="checkbox"/> 12. がん（悪性新生物）      |
| <input type="checkbox"/> 3. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）        | <input type="checkbox"/> 13. 血液・免疫の病気       |
| <input type="checkbox"/> 4. 心臓病                  | <input type="checkbox"/> 14. うつ病            |
| <input type="checkbox"/> 5. 糖尿病                  | <input type="checkbox"/> 15. 認知症（アルツハイマー病等） |
| <input type="checkbox"/> 6. 高脂血症（脂質異常）           | <input type="checkbox"/> 16. パーキンソン病        |
| <input type="checkbox"/> 7. 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）     | <input type="checkbox"/> 17. 目の病気           |
| <input type="checkbox"/> 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気         | <input type="checkbox"/> 18. 耳の病気           |
| <input type="checkbox"/> 9. 腎臓・前立腺の病気            | <input type="checkbox"/> 19. その他            |
| <input type="checkbox"/> 10. 筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等） |   |

問37. その他の具体的な内容をお教えてください。

① 具体的な内容をお答えください。

戻る

次へ

## 10 現在の暮らしについてお伺いします

\* 問38. 日常生活の中で困っていること（支援が必要だと思っていること）はありますか。

① あてはまるものをすべて選んでください。（必須）

- |                                    |  |
|------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 買い物    | <input type="checkbox"/> 6. 入浴           |
| <input type="checkbox"/> 2. 料理     | <input type="checkbox"/> 7. 金銭等の管理       |
| <input type="checkbox"/> 3. ごみ出し   | <input type="checkbox"/> 8. その他          |
| <input type="checkbox"/> 4. 掃除・洗濯  | <input type="checkbox"/> 9. 特に困っていることはない |
| <input type="checkbox"/> 5. 外出時の移動 |  |

問38. その他の具体的な内容をお教えてください。

① 具体的な内容をお答えください。

\* 問39. 普段から健康維持や介護予防に取り組んでいますか。

① あてはまるものを1つ選んでください。（必須）

1. 取り組んでいる
2. 取り組んでいない

\* 問39-1. 普段から健康維持や介護予防に取り組んでいない理由は何ですか。

① あてはまるものをすべて選んでください。(必須)

- 1. 特に必要と思わないから
- 2. 面倒だから
- 3. きっかけがないから  
(参加できる活動が近くで行われていない等)
- 4. その他

問39-1. その他の具体的な内容をお教えてください。

② 具体的な内容をお答えください。

\* 問40. ここ2週間の様子についてお伺いします。

③ あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

	はい	いいえ
(1) 毎日の生活に充実感がない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(3) 以前は楽にできていたことが今はおっくうに感じられる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(4) 自分が役に立つ人間だと思えない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(5) わけもなく疲れたような感じがする	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

\* 問41. 生活費等を何から支出していますか。

④ あてはまるものをすべて選んでください。(必須)

- 1. 年金
- 2. 貸金・給与(自営による収入含む)
- 3. 不動産等資産からの収入
- 4. 家族等からの仕送り
- 5. 預金・貯金
- 6. その他

問41. その他の具体的な内容をお教えてください。

⑤ 具体的な内容をお答えください。

\*  
問42. 世帯全体の合計収入額（年金を含み、税引き前の金額）は、令和6年1月～12月の1年間で、次のうちのどれにあてはまりますか。

④ あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

- |  |   |
|--|---|
| <input type="radio"/> 1. 50万円未満        | <input type="radio"/> 9. 500万円～600万円未満      |
| <input type="radio"/> 2. 50万円～100万円未満  | <input type="radio"/> 10. 600万円～700万円未満     |
| <input type="radio"/> 3. 100万円～150万円未満 | <input type="radio"/> 11. 700万円～800万円未満     |
| <input type="radio"/> 4. 150万円～200万円未満 | <input type="radio"/> 12. 800万円～900万円未満     |
| <input type="radio"/> 5. 200万円～250万円未満 | <input type="radio"/> 13. 900万円～1,000万円未満   |
| <input type="radio"/> 6. 250万円～300万円未満 | <input type="radio"/> 14. 1,000万円～1,200万円未満 |
| <input type="radio"/> 7. 300万円～400万円未満 | <input type="radio"/> 15. 1,200万円以上         |
| <input type="radio"/> 8. 400万円～500万円未満 | <input type="radio"/> 16. 回答したくない           |

戻る

次へ

## 11 今後の暮らしについてお伺いします

\* 問43. 今後、住み慣れた地域で暮らし続けるために、高齢者に対する施策や支援として、充実してほしいと思うものは何ですか。

◎ あてはまるものをすべて選んでください。(必須)

- 1. 認知症になった時の見守りや生活の支援等
- 2. 認知症の人やその家族が、地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う場所の確保
- 3. 判断能力が低下した時の、金銭管理や福祉サービスの利用援助等
- 4. 介護する家族の休息等のための、短期間施設に入所するサービス（ショートステイ）
- 5. 24時間電話を受け付けて、悩みごとや相談を聞いてくれるサービス
- 6. 急病やけがの際にヘルパーを派遣し、身体介護や家事援助（掃除、洗濯、調理、買い物等）を行うサービス
- 7. 身体機能が低下しないための運動指導や健康体操教室
- 8. 健康を維持するための栄養指導等
- 9. 口腔機能の維持や食べること・飲み込むことへの支援
- 10. 耳の聞こえの問題への支援
- 11. いきいきサロンやテニミリオンハウスのような身近な場所で集まり、交流できる通いの場の確保
- 12. 食事を共にしながら交流できる身近な場所の確保
- 13. 生きがいを持って生活するための生涯学習や仲間づくりへの支援
- 14. ムーバスやレモンキャブ等の外出支援
- 15. 自宅にいながら診療を受けられる医療体制の確保
- 16. 病気・けが等で入院した後でも安心して在宅に復帰できるための、医療と福祉の連携の確保
- 17. 見守りのある高齢者専用住宅の確保
- 18. 住み替えのための支援や情報提供
- 19. 終末期医療や没後等に関する不安についての相談窓口や、終活（老いじたく）等に関する情報提供
- 20. その他
- 21. 特になし

問43. その他の具体的な内容をお教えてください。

◎ 具体的な内容をお答えください。

\* 問44. 次のサービスについて知っていますか、また、利用したいと思いますか。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

	知っているし、利用したい	知っているが、利用したいとは思わない	知らないが、利用したい	知らないし、利用したいとは思わない
(1) 看護小規模多機能型居宅介護 デイサービスを中心にショートステイや訪問介護、訪問看護を1つの事業所が一体的に提供します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2) 認知症高齢者グループホーム 認知症の高齢者が共同で生活する住居において、介護、その他日常生活上の世話、機能訓練を行います。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(3) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） 特別養護老人ホームに入所して入浴や食事等の日常生活上の支援や、機能訓練、療養上の支援を提供します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

\* 問45. 介護保険制度はサービスの供給量が増えるほど、保険料も高くなる仕組みになっています。これからのサービス水準と保険料の関係は、どのようなものが望ましいとお考えですか。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

- 1. サービス水準は高いほうが良いので、保険料は高くてもやむをえない
- 2. サービス水準は下がっても、保険料は安いほうが良い
- 3. サービス水準を見直して、過度な保険料負担にならないようにするべき

問46. 最後に、武蔵野市の高齢者福祉施策や介護保険事業について、ご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

① 具体的な内容をお答えください。

戻る

次へ

## 回答確認画面

アンケート調査は以上で終了です。ご協力ありがとうございました。  
お答えいただいた内容を今一度お確かめのうえ、よろしければ「送信する」をクリックしてください。  
なお、送信後は回答の修正はできませんのでご注意ください。

回答を印刷する

武蔵野市高齢者の介護予防・日常生活アンケート

問1. あなたは、すでに紙でこのアンケートに回答しましたか。	
1 あなたご自身のことについてお伺いします	
問2. あなたの性別と年齢、身長・体重等について教えてください。 (令和7年12月1日時点。それぞれ1つ選択。ただし、(3)は数字を記入)	
(1) 性別	
(2) 年齢	
(3) 身長	
(3) 体重	
(4) お住まいの地域	
(5) 要支援(介護)認定	
2 あなたのご家族や生活状況についてお伺いします	
問3. 家族構成をお教えてください。	
問3. その他の具体的な内容をお教えてください。	
問4. 現在のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。	
問5. 現在のお住まいに住み続けたいですか。	
問6. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。	
問7. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。	
3 認知症についてお伺いします	
問8. 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。	
問9. 認知症に関する相談窓口を知っていますか。	
問10. 令和5年6月に共生社会の実現を推進するための認知症基本法(いわゆる認知症基本法)が成立し、国民一人一人が「新しい認知症観」を理解することの重要性が示されています。あなたは、「新しい認知症観」を知っていますか。	
問11. 認知機能低下の予防に関心がありますか。	
問12. 実際に認知機能低下の予防に向けた活動をしていますか。	

4 からだを動かすことについてお伺いします

問13. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	
問14. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	
問15. 15分位続けて歩いていますか。	
問16. 過去1年間に転んだ経験がありますか。	
問17. 転倒に対する不安は大きいですか。	
問18. 週に1回以上は外出していますか。	
問19. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。	
問20. 外出を控えていますか。	

問20-1. 外出を控えているのは何故ですか。

1. 病気	
2. 障害（脳卒中の後遺症等）	
3. 足腰等の痛み	
4. トイレの心配（失禁等）	
5. 耳の障害（聴こえの問題等）	
6. 目の障害	
7. 外での楽しみがない	
8. 経済的に出られない	
9. 交通手段がない	
10. その他	

問20-1. その他の具体的な内容をお教えてください。

5 食べることについてお伺いします

問21. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	
問22. お茶や汁物等でむせることがありますか。	
問23. 口の渇きが気になりますか。	
問24. 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）	
問25. 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	
問26. どなたかと食事をともにする機会はありますか。	

6 毎日の生活についてお伺いします

問27. あなたご自身の状態にあてはまるものはどれですか。	
(1) 周りの人から「いつも同じことを聞く」等の物忘れがあると 言われますか	
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	
(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか	
(4) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも 可）	
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか	
(6) 自分で食事の用意をしていますか	
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか	
(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか	
(9) 友人の家を訪ねていますか	
(10) 家族や友人の相談にのっていますか	

7 地域での活動やたすけあいについてお伺いします

問28. 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。	
(1) ボランティアのグループ	
(2) スポーツ関係のグループやクラブ	
(3) 趣味関係のグループ	
(4) 学習・教養サークル	
(5) 介護予防のための通いの場（地域健康クラブ、テンミリオンハウス、 不老体操、いきいきサロン等）	
(6) 老人クラブ	
(7) コミュニティ活動	
(8) 収入のある仕事	
問29. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者、企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。	
(1) 参加者として	
(2) 企画・運営（お世話役）として	

問30. あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします。

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人

1. 配偶者	
2. 同居の子ども	
3. 別居の子ども	
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	
5. 近隣	
6. 友人	
7. その他	
8. そのような人はいない	

(1) その他の具体的な内容をお教えてください。

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人

1. 配偶者	
2. 同居の子ども	
3. 別居の子ども	
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	
5. 近隣	
6. 友人	
7. その他	
8. そのような人はいない	

(2) その他の具体的な内容をお教えてください。

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

1. 配偶者	
2. 同居の子ども	
3. 別居の子ども	
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	
5. 近隣	
6. 友人	
7. その他	
8. そのような人はいない	

(3) その他の具体的な内容をお教えてください。

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人

1. 配偶者	
2. 同居の子ども	
3. 別居の子ども	
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	
5. 近隣	
6. 友人	
7. その他	
8. そのような人はいない	

(4) その他の具体的な内容をお教えてください。

8 就労についてお伺いします

問31. 現在のあなたの就労状態はどれですか。

1. 収入のある仕事に就いたことがない	
2. 現在は収入のある仕事をしていない	
3. 常勤（フルタイム）	
4. 非常勤（パート・アルバイト等）	
5. 自営業	
6. 求職中	
7. その他	

問31-1. 現在、仕事をしていない理由について、教えてください。

1. 仕事以外の趣味や社会活動に時間を費やしたいから	
2. 仕事によって収入を得る必要がないから	
3. 家族の介護や家事のため	
4. 健康上の理由	
5. 賃金面の条件で合うところがないから	
6. 勤務場所・時間等の条件で合うところが見つからないから	
7. 年齢制限で働くところが見つからないから	
8. 仕事の種類（職種）で合うところが見つからないから	
9. やりがいがある仕事が見つからないから	
10. 仕事を探す方法がわからないから	
11. その他	
12. 特に理由はない	

問31-1. その他の具体的な内容をお教えてください。

9 健康についてお伺いします

問32. 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

問33. あなたは、現在どの程度幸せですか。（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、選んでください）

問34. この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

問35. この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

問36. タバコは吸っていますか。

問37. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。

1. ない	
2. 高血圧	
3. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	
4. 心臓病	
5. 糖尿病	
6. 高脂血症（脂質異常）	
7. 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	
9. 腎臓・前立腺の病気	
10. 筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	
11. 外傷（転倒・骨折等）	
12. がん（悪性新生物）	
13. 血液・免疫の病気	
14. うつ病	
15. 認知症（アルツハイマー病等）	
16. パーキンソン病	
17. 目の病気	
18. 耳の病気	
19. その他	

問37. その他の具体的な内容をお教えてください。

10 現在の暮らしについてお伺いします

問38. 日常生活の中で困っていること（支援が必要だと思っていること）はありますか。

1. 買い物	
2. 料理	
3. ごみ出し	
4. 掃除・洗濯	
5. 外出時の移動	
6. 入浴	
7. 金銭等の管理	
8. その他	
9. 特に困っていることはない	

問38. その他の具体的な内容をお教えてください。

問39. 普段から健康維持や介護予防に取り組んでいますか。

問39-1. 普段から健康維持や介護予防に取り組んでいない理由は何ですか。

1. 特に必要と思わないから	
2. 面倒だから	
3. きっかけがないから (参加できる活動が近くで行われていない等)	
4. その他	

問39-1. その他の具体的な内容をお教えてください。

問40. ここ2週間の様子についてお伺いします。

(1) 毎日の生活に充実感がない	
(2) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	
(3) 以前は楽にできていたことが今はおっくうに感じられる	
(4) 自分が役に立つ人間だと思えない	
(5) わけもなく疲れたような感じがする	

問41. 生活費等を何から支出していますか。

1. 年金	
2. 賃金・給与（自営による収入含む）	
3. 不動産等資産からの収入	
4. 家族等からの仕送り	
5. 預金・貯金	
6. その他	

問41. その他の具体的な内容をお教えてください。

問42. 世帯全体の合計収入額（年金を含み、税引き前の金額）は、令和6年1月～12月の1年間で、次のうちのどれにあてはまりますか。

11 今後の暮らしについてお伺いします

問43. 今後、住み慣れた地域で暮らし続けるために、高齢者に対する施策や支援として、充実してほしいと思うものは何ですか。

1. 認知症になった時の見守りや生活の支援等	
2. 認知症の人やその家族が、地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う場所の確保	
3. 判断能力が低下した時の、金銭管理や福祉サービスの利用援助等	
4. 介護する家族の休息等のための、短期間施設に入所するサービス（ショートステイ）	
5. 24時間電話を受け付けて、悩みごとや相談を聞いてくれるサービス	
6. 急病やけがの際にヘルパーを派遣し、身体介護や家事援助（掃除、洗濯、調理、買い物等）を行うサービス	
7. 身体機能が低下しないための運動指導や健康体操教室	
8. 健康を維持するための栄養指導等	
9. 口腔機能の維持や食べること・飲み込むことへの支援	
10. 耳の聴こえの問題への支援	
11. いきいきサロンやテニミリオンハウスのような身近な場所で集まり、交流できる通いの場の確保	
12. 食事を共にしながら交流できる身近な場所の確保	
13. 生きがいを持って生活するための生涯学習や仲間づくりへの支援	
14. ムーバスやレモンキャブ等の外出支援	
15. 自宅にしながら診療を受けられる医療体制の確保	
16. 病気・けが等で入院した後も安心して在宅に復帰できるための、医療と福祉の連携の確保	
17. 見守りのある高齢者専用住宅の確保	
18. 住み替えのための支援や情報提供	
19. 終末期医療や没後等に関する不安についての相談窓口や、終活（老いじたく）等に関する情報提供	
20. その他	
21. 特になし	

問43. その他の具体的な内容をお教えてください。

問44. 次のサービスについて知っていますか、また、利用したいと思いますか。

(1) 看護小規模多機能型居宅介護 デイサービスを中心にショートステイや訪問介護、訪問看護を1つの事業所が一体的に提供します。	知っているし、利用したい
(2) 認知症高齢者グループホーム 認知症の高齢者が共同で生活する住居において、介護、その他日常生活上の世話、機能訓練を行います。	知っているし、利用したい
(3) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） 特別養護老人ホームに入所して入浴や食事等の日常生活上の支援や、機能訓練、療養上の支援を提供します。	知っているし、利用したい

問45. 介護保険制度はサービスの供給量が増えるほど、保険料も高くなる仕組みになっています。これからのサービス水準と保険料の関係は、どのようなものが望ましいとお考えですか。

1. サービス水準は高いほうが良いので、保険料は高くてもやむをえない

問46. 最後に、武蔵野市の高齢者福祉施策や介護保険事業について、ご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

『高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画策定のための  
要介護高齢者実態調査（在宅介護実態調査）』  
ご協力をお願い

武蔵野市

日頃より、武蔵野市の介護保険行政につきまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、武蔵野市では、「高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画策定のための要介護高齢者実態調査（在宅介護実態調査）」を実施することとなりました。市の高齢者施策がより充実したものとなるよう、要介護認定を受けている方の日頃の生活状況やご家族からの介護の状況等をお聞きして把握した上で、高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画の策定に向けた基礎資料にさせていただきます。

また、本調査の際に、同席されているご家族やご担当ケアマネジャー等の皆様にも、ご協力をいただければ幸いです。

なお、ご回答いただいた内容の取りまとめ作業は、武蔵野市から委託を受けた調査分析事業者（三菱UFJリサーチ&コンサルティング株）が行います。調査結果は、統計的に処理され、ご回答内容につきましては個人が特定される形での公表や、本調査の目的以外での使用はいたしません。調査の趣旨にご理解をいただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

※ 本調査内容は、認定調査員が聞き取り、調査票へ記入します。ただし、一部の設問について、ご本人様やご家族様に調査票への記入をお願いさせていただく場合がございます。ご回答いただいた結果は、調査票とは別の回答票（マークシート方式）に調査員が転記いたします。

※ 本調査へのご意見やご質問等がございましたら、下記までご連絡ください。

＜お問い合わせ先＞

■ 武蔵野市健康福祉部高齢者支援課介護認定係（担当：瀏井・渡邊）

TEL：0422-60-1866 FAX：0422-51-9218

＜お預かりする情報の取扱いについて＞

- ・本調査へのご協力は皆様の自由な意思に基づくもので、ご協力いただけない場合でも不利益を被ることはありません。
- ・お預かりする情報は「武蔵野市個人情報の保護に関する条例」及び分析事業者（三菱UFJリサーチ&コンサルティング株）の「個人情報保護方針」<<https://www.murc.jp/corporate/privacy/>>および「個人情報の取扱いについて」<<https://www.murc.jp/corporate/privacy02/>>に従って適切に取り扱います。同条例についてのご不明な点は上記お問い合わせ先まで、その他は分析事業者窓口までご連絡ください。
- ・調査票には、介護保険の被保険者番号を記入します。これは回収後、要介護認定データと関連付けた分析を行うために利用します。
- ・分析結果は、個人が特定されないよう加工、集計・分析した上で、報告書として取りまとめ、高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画の策定に向けた基礎資料として活用する予定です。

# 在宅介護実態調査 調査票

## 【A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】（複数選択可）

1. 調査対象者本人
2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族
4. 調査対象者のケアマネジャー
5. その他

### A票

## 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

### 問1 世帯類型について、ご回答ください(1つを選択)

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ世帯
3. その他

### 問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

1. ない
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない
3. 週に1～2日ある
4. 週に3～4日ある
5. ほぼ毎日ある

問9（裏面）へ

問3へ

### 問3 主な介護者の方は、どなたですか(1つを選択)

1. 配偶者
2. 子
3. 子の配偶者
4. 孫
5. 兄弟・姉妹
6. その他

### 問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください(1つを選択)

1. 男性
2. 女性
3. その他

### 問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

1. 20歳未満
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70代
8. 80歳以上
9. わからない

### 問6 主な介護者の方がケアをする、その他(認定調査対象者以外)の家族・親族の人数について、ご回答ください(1つを選択)

1. その他にはいない(0人)
2. その他に1人いる
3. その他に2人いる
4. その他に3人いる
5. その他に4人以上いる

※ここでの「ケア」とは、高齢者や障害児・者、病気等で療養中の方の介護、未就学児の育児などが含まれます。

問7 現在、主な介護者の方が行っているご本人(認定調査対象者)の介護等について、ご回答ください  
(複数選択可)

〔身体介護〕

- |              |                          |                |
|--------------|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄     | 2. 夜間の排泄                 | 3. 食事の介助(食べる時) |
| 4. 入浴・洗身     | 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)        | 6. 衣服の着脱       |
| 7. 屋内の移乗・移動  | 8. 外出の付き添い、送迎等           | 9. 服薬          |
| 10. 認知症状への対応 | 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) |                |

〔生活援助〕

- |                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等)       | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き |                         |

〔その他〕

- |         |           |
|---------|-----------|
| 15. その他 | 16. わからない |
|---------|-----------|

問8 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

- |                          |                               |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)    | 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) |
| 3. 主な介護者が転職した            | 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した         |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない | 6. わからない                      |

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

● **ここから再び、全員に調査してください。**

問9 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください(複数選択可)

- |                            |                    |                           |           |
|----------------------------|--------------------|---------------------------|-----------|
| 1. 脳血管疾患(脳卒中)              | 2. 心疾患(心臓病)        | 3. 悪性新生物(がん)              |           |
| 4. 呼吸器疾患                   | 5. 腎疾患(透析)         | 6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) |           |
| 7. 膠原病(関節リウマチ含む)           | 8. 変形性関節疾患         | 9. 認知症                    |           |
| 10. パーキンソン病                | 11. 難病(パーキンソン病を除く) | 12. 糖尿病                   |           |
| 13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの) | 14. その他            | 15. なし                    | 16. わからない |

問10 日中・夕方の時間帯(9～19時頃まで)において、介護や見守りが必要にもかかわらず、4時間以上介護や見守りをしてくれる人(ヘルパー等も含む)がそばにいない日が、週に何日程度ありますか(1つを選択)

- |       |             |             |           |
|-------|-------------|-------------|-----------|
| 1. ない | 2. 週に1～2日程度 | 3. 週に3～4日程度 | 4. 週に5日以上 |
|-------|-------------|-------------|-----------|

問 11 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください(複数選択可)

- |                        |         |                   |
|------------------------|---------|-------------------|
| 1. 配食                  | 2. 調理   | 3. 掃除・洗濯          |
| 4. 買い物(宅配は含まない)        | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 介護・福祉タクシー(レモンキャブなど) |         | 8. 見守り、声かけ        |
| 9. 通いの場(テンミリオンハウスなど)   | 10. その他 | 11.利用していない        |

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問 12 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(複数選択可)

- |                        |         |                   |
|------------------------|---------|-------------------|
| 1. 配食                  | 2. 調理   | 3. 掃除・洗濯          |
| 4. 買い物(宅配は含まない)        | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 介護・福祉タクシー(レモンキャブなど) |         | 8. 見守り、声かけ        |
| 9. 通いの場(テンミリオンハウスなど)   | 10. その他 | 11.利用していない        |

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問 13 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

- |                      |   |           |
|----------------------|---|-----------|
| 1. 入所・入居は検討していない     | } | 問 17(裏面)へ |
| 2. 入所・入居を検討している      |   |           |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている | } | 問 14 へ    |

※ 「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問 14 問 13 で「2.」「3.」と回答した方にお伺いします。入所・入居を検討された、一番大きなきっかけをご回答ください(1つを選択)

- |                                       |   |           |
|---------------------------------------|---|-----------|
| 1. ご本人が、「在宅生活の継続は難しい」と考えたため           | } | 問 15 へ    |
| 2. 主な介護者の方が、「在宅生活の継続は難しい」と考えたため       |   |           |
| 3. ケアマネジャーから、「施設等への入所・入居をすすめられた」ため    | } | 問 16 へ    |
| 4. 医師、その他の専門職から、「施設等への入所・入居をすすめられた」ため |   |           |
|                                       | } | 問 17(裏面)へ |

問 15 問 14 で「1.」と回答した方にお伺いします。ご本人が、「在宅生活の継続は難しい」と考えるようになった、最も大きな理由をご回答ください(1つを選択)

1. 「生活全般において介護されることが必要となり、在宅での生活が不安になった」ため
2. 介護される量の増加により、「家族の負担が大きくなった」と考えたため
3. その他( ※ その他の具体的な回答がある場合はP. 6に記入 )

問 16 問 14 で「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方が、「在宅生活の継続は難しい」と考えるようになった、最も大きな理由をご回答ください(1つを選択)

1. (食事や排泄、移乗・移動など)「身体介護の負担が大きくなった」ため
2. (徘徊や火の不始末、介護への抵抗など)「認知症状への対応にかかる負担が大きくなった」ため
3. (たん吸引や褥そうの処置など)「医療行為の頻度が増え、在宅では対応が難しくなった」ため
4. 主な介護者の方が在宅で介護をしながら、「仕事を続けていくことが難しくなった」ため
5. その他( ※ その他の具体的な回答がある場合はP. 6に記入 )

● **ここから再び、全員に調査してください。**

問 17 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか(1つを選択)

1. 利用している }

2. 利用していない }

問 18 問 17 で「2. 」と回答した方にお伺いします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか  
(複数選択可)

- |                             |                           |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない  | 2. 本人にサービス利用の希望がない        |
| 3. 家族が介護をするため必要ない           | 4. 以前、利用していたサービスに不満があった   |
| 5. 利用料を支払うのが難しい             | 6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない |
| 7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため  |                           |
| 8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない | 9. その他                    |

● **ここから再び、全員に調査してください。**

問 19 介護保険制度はサービスの供給量が増えるほど、また、要介護高齢者が増えるほど、保険料も高くなる仕組みになっています。

これからのサービス水準と保険料の関係は、どのようなものが望ましいとお考えですか(1つを選択)

1. サービス水準は高い方が良いので、保険料は高くてもやむを得ない
2. サービス水準は下がっても、保険料は安い方が良い
3. サービス内容を見直して、過度な保険料負担にならないようにするべき

問 20 今後利用したいサービス、利用回数を増やしたい介護サービスはどのようなものですか。(複数選択可)

サービス内容		サービスの例
1	自宅での介護・家事の手助け	ホームヘルプ(訪問介護)・訪問入浴介護 ・夜間対応型・定期巡回・随時対応型の訪問介護看護 等
2	医療関係者の訪問支援・指導	訪問看護・訪問リハビリテーション 等
3	施設に通って受ける介護・機能訓練	デイサービス(通所介護)・デイケア(通所リハビリテーション) ・認知症対応型デイサービス(認知症対応型通所介護) 等
4	介護施設での短期間の宿泊	ショートステイ(短期入所生活介護・短期入所療養介護) 等
5	自宅への訪問・施設への通い・短期間の宿泊の複合サービス	小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護
6	介護環境の整備	福祉用具のレンタル・購入補助、住宅改修費支給 等
7	認知症の方に特化した施設への入居	認知症グループホーム(認知症対応型共同生活介護)
8	特別養護老人ホーム等への入所	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 等
9	有料老人ホーム等への入居	特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム) 等
10	その他	※ その他の具体的な回答がある場合はP. 6に記入

◎ 介護保険制度及び本市の高齢者施策等について、ご意見等あればご記入ください。

※ 具体的なご意見等がある場合はP. 6に記入

- 問2で「2. 」～「5. 」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いしてください。
- 「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人(調査対象者の方)にご回答・ご記入をお願いしてください(ご本人にご回答・ご記入をお願いすることが困難な場合は、無回答で結構です)。

## ■ 自由回答票

以下の設問について、具体的な回答・ご意見等があった場合は、被保険者番号をご記入頂いたうえで、「自由回答欄」に具体的な内容をご記入ください。

なお、このページに自由回答をご記入された場合は、本調査票からこのページのみを外していただき（左上のホチキス部分を破って外して頂いて結構です）、同意書・回答票と併せてご提出ください。

**【被保険者番号：\_\_\_\_\_】**

設問	自由回答欄
問 15 ご本人が、「在宅生活の継続は難しい」と考えるようになった、最も大きな理由	<b>【「3. その他」を選択し、具体的な回答がある場合に記入】</b>
問 16 主な介護者の方が、「在宅生活の継続は難しい」と考えるようになった、最も大きな理由	<b>【「5. その他」を選択し、具体的な回答がある場合に記入】</b>
問 20 今後利用したいサービス、利用回数を増やしたい介護サービス	<b>【「10. その他」を選択し、具体的な回答がある場合に記入】</b>
介護保険制度及び本市の高齢者施策等についてのご意見等	<b>【具体的なご意見等がある場合に記入】</b>

# 在宅介護実態調査 調査票

B票

## 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入(調査票の該当する番号に○)をお願い致します。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

- |                       |   |         |
|-----------------------|---|---------|
| 1. フルタイムで働いている        | } | 問2～問4へ  |
| 2. パートタイムで働いている       |   |         |
| 3. 働いていない             | } | 問5(裏面)へ |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない |   |         |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで選択可)

- |                           |                            |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない  | 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実        |
| 3. 制度を利用しやすい職場づくり         | 4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など) |
| 5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど) | 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供       |
| 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置    | 8. 介護をしている従業員への経済的な支援      |
| 9. その他                    | 10. 特にない                   |
| 11. 主な介護者に確認しないと、わからない    |                            |

問4 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけるそうですか(1つを選択)

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける        | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい      | 4. 続けていくのは、かなり難しい   |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない |                     |

⇒ 皆様、裏面へお進みください

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください  
(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

〔身体介護〕

- |                          |                |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄                 | 2. 夜間の排泄       |
| 3. 食事の介助(食べる時)           | 4. 入浴・洗身       |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)        | 6. 衣服の着脱       |
| 7. 屋内の移乗・移動              | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬                    | 10. 認知症状への対応   |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) |                |

〔生活援助〕

- |                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等)       | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き |                         |

〔その他〕

- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他                | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない |                      |

ご協力ありがとうございました。



高齢者の介護予防・日常生活アンケート調査  
要介護高齢者・家族等介護者実態調査  
(武蔵野市高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画及び認知症施策推進計画  
策定に係る調査)  
報告書

令和8年3月発行

編集・発行

武蔵野市 健康福祉部 高齢者支援課

〒180-8777

武蔵野市緑町 2-2-28

高齢者の介護予防・日常生活アンケート調査

担当 相談支援係 電話 0422-60-1846

要介護高齢者・家族等介護者実態調査

担当 介護認定係 電話 0422-60-1866